

令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事

特記仕様書		構 造 図		機 械 設 備 図	
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
AT - 01	特記仕様書(建築工事編)(1)	S - 01	構造設計特記仕様(1)	M - 01	特記仕様書(1)
AT - 02	特記仕様書(建築工事編)(2)	S - 02	構造設計特記仕様(2)	M - 02	特記仕様書(2)
AT - 03	特記仕様書(建築工事編)(3)	S - 03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	M - 03	特記仕様書(3)
AT - 04	特記仕様書(建築工事編)(4)	S - 04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	M - 04	配置図
AT - 05	特記仕様書(建築工事編)(5)	S - 05	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)	M - 05	衛生平面詳細図
AT - 06	特記仕様書(建築工事編)(6)	S - 06	鉄骨構造標準図(1)	M - 06	合併浄化槽図
AT - 07	特記仕様書(建築工事編)(7)	S - 07	鉄骨構造標準図(2)	M - 07	空調・換気平面図
AT - 08	特記仕様書(建築工事編)(8)	S - 08	合成スラブ計施工標準		
AT - 09	特記仕様書(建築工事編)(9)	S - 09	露出柱脚設計施工標準図		
AT - 10	特記仕様書(建築工事編)(10)	S - 10	地盤改良特記仕様書		
AT - 11	特記仕様書(建築工事編)(11)	S - 11	基礎伏図	解体図	
		S - 12	基礎部材リスト、柱脚断面リスト、柱断面リスト		
		S - 13	鉄骨部材断面リスト	K - 01	解体図(1)
意 匠 図		S - 14	1階・2階伏図	K - 02	解体図(2)
		S - 15	R階・屋根垂木伏図		
図面番号	図 面 名 称	S - 16	軸組図		
A - 01	付近見取図、配置図	S - 17	架構詳細図 Y3通り		
A - 02	面積表、排煙・採光・換気計算	S - 18	架構詳細図 X1通り		
A - 03	平面図・仕上表				
A - 04	屋根伏図、天井伏図				
A - 05	断面図、立面図				
A - 06	矩計図				
A - 07	断面詳細図	電 気 設 備 図			
A - 08	平面詳細図				
A - 09	展開図(1)	図面番号	図 面 名 称		
A - 10	展開図(2)	E - 01	電気設備特記仕様書		
A - 11	展開図(3)	E - 02	電気設備機材指定表		
A - 12	建具表(1)	E - 03	盤結線図		
A - 13	建具表(2)	E - 04	幹線・弱電設備図		
A - 14	家具詳細図(1)	E - 05	照明器具姿図		
A - 15	家具詳細図(2)	E - 06	電灯コンセント設備図		
B - 01	外構図・仮設計画図				

工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント			高知県知事登録119号	管理建築士	
	高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			代表取締役 福 家 正 義	一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 図面リスト	縮 尺 1 / - A2(100%)、A3(70.7%)	年 月 日 2024/03	図 面 No. A — 00	製 図	一級建築士登録第370400号 山 本 優 太	

5 鉄 筋 工 事	○鉄筋	<table><tr><td colspan="4">鉄筋の種類等 (5.2.1)</td></tr><tr><td colspan="2">種類の記号</td><td>呼び径 (mm)</td><td>備 考</td></tr><tr><td colspan="2">○SD295</td><td>※D16以下</td><td>JIS規格品</td></tr><tr><td colspan="2">○SD345</td><td>※D19以上</td><td>JIS規格品</td></tr><tr><td colspan="2">・</td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・</td><td></td><td></td></tr></table>	鉄筋の種類等 (5.2.1)				種類の記号		呼び径 (mm)	備 考	○SD295		※D16以下	JIS規格品	○SD345		※D19以上	JIS規格品	・				・				○溶接継手	<table><tr><td>適用箇所 (5.6.3)</td><td>○図示による (構造図参照) ・</td></tr><tr><td>H12建告第1463号に適合する性能 (5.6.3)</td><td>・ A級 ・</td></tr><tr><td>溶接継手の工法 (5.6.3)</td><td>・ 図示による () ・</td></tr><tr><td>鉄筋相互のあき (5.6.3)</td><td>・ 図示による () ・</td></tr><tr><td>溶接完了後の継手部の試験 (5.6.3)</td><td>・ 図示による ()</td></tr><tr><td>不合格となった継手部への措置 (5.6.3)</td><td>・ 図示による ()</td></tr></table>	適用箇所 (5.6.3)	○図示による (構造図参照) ・	H12建告第1463号に適合する性能 (5.6.3)	・ A級 ・	溶接継手の工法 (5.6.3)	・ 図示による () ・	鉄筋相互のあき (5.6.3)	・ 図示による () ・	溶接完了後の継手部の試験 (5.6.3)	・ 図示による ()	不合格となった継手部への措置 (5.6.3)	・ 図示による ()	・マスコンクリート	<table><tr><td>適用箇所 (6.2.1) (6.13.1)</td><td>・ 図示による () ・</td></tr><tr><td>セメントの種類 (6.13.2)</td><td>・ 中庸熱ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント</td></tr><tr><td></td><td>・ 高炉セメントB種 G ・ フライアッシュセメントB種 G</td></tr><tr><td></td><td>・ 普通ポルトランドセメント ・</td></tr><tr><td>混和材料</td><td>・ 混和剤</td></tr><tr><td>混和剤の種類</td><td>※JIS A 6204に適合するAE減水剤又は高性能AE減水剤 ・</td></tr><tr><td>スランプ (6.13.2)</td><td>※15cm ・</td></tr><tr><td>・無筋コンクリート</td><td>コンクリートの種類 (6.2.1) (6.14.1)</td></tr><tr><td></td><td>※普通コンクリート</td></tr><tr><td></td><td>セメントの種類 (6.3.1)</td></tr><tr><td></td><td>※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 G ・ フライアッシュセメントB種 G</td></tr><tr><td></td><td>設計基準強度 (6.14.1)</td></tr><tr><td></td><td>※18 (N/mm²) ・</td></tr><tr><td></td><td>スランプ (6.14.1)</td></tr><tr><td></td><td>※15cm又は18cm ・</td></tr><tr><td></td><td>適用箇所 (6.14.1)</td></tr><tr><td></td><td>・ 標準仕様書 6.14.1(4) (7)～(か)による ・ 図示による () ・</td></tr><tr><td>・流動化 コンクリート</td><td>適用箇所 (6.2.1) (6.15.1)</td></tr><tr><td></td><td>・ 図示による () ・</td></tr><tr><td>○打継ぎの位置</td><td>打継ぎの位置 (6.6.4)</td></tr><tr><td>ひび割れ誘発目地</td><td>梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・ 図示による () ・</td></tr><tr><td>打継目地</td><td>柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・ 図示による () ・</td></tr><tr><td></td><td>目地の寸法 (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3)</td></tr><tr><td></td><td>・ 標準仕様書 9.7.3(1) (7)～(か)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・ 図示による () ・</td></tr><tr><td></td><td>ひび割れ誘発目地の位置 (6.8.1)</td></tr><tr><td></td><td>・ 図示による ()</td></tr><tr><td>○コンクリートの仕上り</td><td>合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5) (6.8.2)</td></tr><tr><td></td><td><table><tr><td>種 別</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>○A種</td><td>※図示による (構造図参照)</td></tr><tr><td>・ B種</td><td>※図示による ()</td></tr><tr><td>○C種</td><td>※図示による (構造図参照)</td></tr></table></td></tr><tr><td></td><td>コンクリートの仕上りの平たんさ (6.2.5) (6.8.2)</td></tr><tr><td></td><td><table><tr><td>種 別</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>・ a種</td><td>※図示による ()</td></tr><tr><td>・ b種</td><td>※図示による ()</td></tr><tr><td>・ c種</td><td>※図示による ()</td></tr></table></td></tr><tr><td>○打増し厚さ</td><td>○打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) (6.8.1)</td></tr><tr><td>(打放し仕上げ部)</td><td>・ 20mm ○ (図示)</td></tr><tr><td></td><td>○打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)</td></tr><tr><td></td><td>・ 10mm ・ 20mm ○ (図示)</td></tr><tr><td></td><td>・ 外装タイル後張り面のの打増し処理 ・ 20mm ・ ()</td></tr><tr><td></td><td>打増し範囲</td></tr><tr><td></td><td>・ 図示による ()</td></tr></table>	適用箇所 (6.2.1) (6.13.1)	・ 図示による () ・	セメントの種類 (6.13.2)	・ 中庸熱ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント		・ 高炉セメントB種 G ・ フライアッシュセメントB種 G		・ 普通ポルトランドセメント ・	混和材料	・ 混和剤	混和剤の種類	※JIS A 6204に適合するAE減水剤又は高性能AE減水剤 ・	スランプ (6.13.2)	※15cm ・	・無筋コンクリート	コンクリートの種類 (6.2.1) (6.14.1)		※普通コンクリート		セメントの種類 (6.3.1)		※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 G ・ フライアッシュセメントB種 G		設計基準強度 (6.14.1)		※18 (N/mm ²) ・		スランプ (6.14.1)		※15cm又は18cm ・		適用箇所 (6.14.1)		・ 標準仕様書 6.14.1(4) (7)～(か)による ・ 図示による () ・	・流動化 コンクリート	適用箇所 (6.2.1) (6.15.1)		・ 図示による () ・	○打継ぎの位置	打継ぎの位置 (6.6.4)	ひび割れ誘発目地	梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・ 図示による () ・	打継目地	柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・ 図示による () ・		目地の寸法 (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3)		・ 標準仕様書 9.7.3(1) (7)～(か)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・ 図示による () ・		ひび割れ誘発目地の位置 (6.8.1)		・ 図示による ()	○コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5) (6.8.2)		<table><tr><td>種 別</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>○A種</td><td>※図示による (構造図参照)</td></tr><tr><td>・ B種</td><td>※図示による ()</td></tr><tr><td>○C種</td><td>※図示による (構造図参照)</td></tr></table>	種 別	適用箇所	○A種	※図示による (構造図参照)	・ B種	※図示による ()	○C種	※図示による (構造図参照)		コンクリートの仕上りの平たんさ (6.2.5) (6.8.2)		<table><tr><td>種 別</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>・ a種</td><td>※図示による ()</td></tr><tr><td>・ b種</td><td>※図示による ()</td></tr><tr><td>・ c種</td><td>※図示による ()</td></tr></table>	種 別	適用箇所	・ a種	※図示による ()	・ b種	※図示による ()	・ c種	※図示による ()	○打増し厚さ	○打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) (6.8.1)	(打放し仕上げ部)	・ 20mm ○ (図示)		○打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)		・ 10mm ・ 20mm ○ (図示)		・ 外装タイル後張り面のの打増し処理 ・ 20mm ・ ()		打増し範囲		・ 図示による ()	6 コ ン ク リ ー ト 工 事	○コンクリートの種類等	<table><tr><td colspan="3">・普通コンクリート (6.2.1～4) (6.3.2) (6.10.1、2)</td></tr><tr><td>設計基準強度 (N/mm²)</td><td>スランプ (cm)</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>○24</td><td>○15</td><td>構造図参照</td></tr><tr><td>○21</td><td>○15</td><td>構造図参照</td></tr><tr><td>・ 18</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td colspan="3">・軽量コンクリート</td></tr><tr><td>設計基準強度 (N/mm²)</td><td>スランプ (cm)</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td colspan="3">構造体強度補正值 (6.3.2)</td></tr><tr><td colspan="3">※標準仕様書表6.3.2による</td></tr><tr><td colspan="3">・</td></tr><tr><td colspan="3">コンクリートの 類別 (6.2.1)</td></tr><tr><td colspan="3">※Ⅰ 類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)</td></tr><tr><td colspan="3">・Ⅱ 類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)</td></tr><tr><td colspan="3">種 類 (6.3.1)</td></tr><tr><td colspan="3">※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て)</td></tr><tr><td colspan="3">普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が 7日目で352J/g 以下、かつ28日目で 402J/g 以下のものとする</td></tr><tr><td colspan="3">・高炉セメントB種 G</td></tr><tr><td colspan="3">適用箇所(・1FLより下部 (立上り部含む))</td></tr><tr><td colspan="3">・フライアッシュセメントB種 G</td></tr><tr><td colspan="3">適用箇所()</td></tr><tr><td colspan="3">・</td></tr><tr><td colspan="3">アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)</td></tr><tr><td colspan="3">※A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量が3.0kg/m³ 以下)</td></tr><tr><td colspan="3">・再生骨材H</td></tr><tr><td colspan="3">本工事において細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。</td></tr><tr><td colspan="3">○骨材</td></tr><tr><td colspan="3">○混和材料 (6.3.1、2)</td></tr><tr><td colspan="3">混和剤の種類</td></tr><tr><td colspan="3">○標準仕様書 6.3.1(4) (a)による ・ ()</td></tr><tr><td colspan="3">○混和材</td></tr><tr><td colspan="3">混和材の種類</td></tr><tr><td colspan="3">○標準仕様書 6.3.1(4) (b)による ・ ()</td></tr><tr><td colspan="3">・気乾単位容積質量 (6.2.3)</td></tr><tr><td colspan="3">普通コンクリート</td></tr><tr><td colspan="3">※2.3t/m³ 程度</td></tr><tr><td colspan="3">軽量コンクリート</td></tr><tr><td colspan="3">・</td></tr><tr><td colspan="3">種 別 (6.10.1)</td></tr><tr><td colspan="3">・ 1 種 ・ 2 種</td></tr><tr><td colspan="3">適用箇所</td></tr><tr><td colspan="3">・ 図示 ・ ()</td></tr><tr><td colspan="3">適用期間 (6.2.1) (6.11.1)</td></tr><tr><td colspan="3">・ 図示による</td></tr><tr><td colspan="3">・ 積算温度を基に定める場合</td></tr><tr><td colspan="3">・ 図示による () ・</td></tr><tr><td colspan="3">・ 寒中コンクリート</td></tr><tr><td colspan="3">適用期間</td></tr><tr><td colspan="3">・ 図示による</td></tr><tr><td colspan="3">・ 積算温度を基に定める場合</td></tr><tr><td colspan="3">・ 図示による () ・</td></tr><tr><td colspan="3">・ 暑中コンクリート</td></tr><tr><td colspan="3">構造体強度補正值 ※6N/mm² ・</td></tr><tr><td colspan="3">(6.12.1、2)</td></tr></table>	・普通コンクリート (6.2.1～4) (6.3.2) (6.10.1、2)			設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	適用箇所	○24	○15	構造図参照	○21	○15	構造図参照	・ 18	・		・軽量コンクリート			設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	適用箇所	・	・		・	・		構造体強度補正值 (6.3.2)			※標準仕様書表6.3.2による			・			コンクリートの 類別 (6.2.1)			※Ⅰ 類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)			・Ⅱ 類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)			種 類 (6.3.1)			※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て)			普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が 7日目で352J/g 以下、かつ28日目で 402J/g 以下のものとする			・高炉セメントB種 G			適用箇所(・1FLより下部 (立上り部含む))			・フライアッシュセメントB種 G			適用箇所()			・			アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)			※A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量が3.0kg/m ³ 以下)			・再生骨材H			本工事において細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。			○骨材			○混和材料 (6.3.1、2)			混和剤の種類			○標準仕様書 6.3.1(4) (a)による ・ ()			○混和材			混和材の種類			○標準仕様書 6.3.1(4) (b)による ・ ()			・気乾単位容積質量 (6.2.3)			普通コンクリート			※2.3t/m ³ 程度			軽量コンクリート			・			種 別 (6.10.1)			・ 1 種 ・ 2 種			適用箇所			・ 図示 ・ ()			適用期間 (6.2.1) (6.11.1)			・ 図示による			・ 積算温度を基に定める場合			・ 図示による () ・			・ 寒中コンクリート			適用期間			・ 図示による			・ 積算温度を基に定める場合			・ 図示による () ・			・ 暑中コンクリート			構造体強度補正值 ※6N/mm ² ・			(6.12.1、2)			○コンクリートの種別	○セメント	○骨材	○混和材料	・気乾単位容積質量	・軽量コンクリート	・寒中コンクリート	・暑中コンクリート
	鉄筋の種類等 (5.2.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	種類の記号		呼び径 (mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	○SD295		※D16以下	JIS規格品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	○SD345		※D19以上	JIS規格品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	適用箇所 (5.6.3)	○図示による (構造図参照) ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	H12建告第1463号に適合する性能 (5.6.3)	・ A級 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	溶接継手の工法 (5.6.3)	・ 図示による () ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
鉄筋相互のあき (5.6.3)	・ 図示による () ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
溶接完了後の継手部の試験 (5.6.3)	・ 図示による ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
不合格となった継手部への措置 (5.6.3)	・ 図示による ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
適用箇所 (6.2.1) (6.13.1)	・ 図示による () ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
セメントの種類 (6.13.2)	・ 中庸熱ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・ 高炉セメントB種 G ・ フライアッシュセメントB種 G																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・ 普通ポルトランドセメント ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
混和材料	・ 混和剤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
混和剤の種類	※JIS A 6204に適合するAE減水剤又は高性能AE減水剤 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
スランプ (6.13.2)	※15cm ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・無筋コンクリート	コンクリートの種類 (6.2.1) (6.14.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	※普通コンクリート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	セメントの種類 (6.3.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 G ・ フライアッシュセメントB種 G																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	設計基準強度 (6.14.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	※18 (N/mm ²) ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	スランプ (6.14.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	※15cm又は18cm ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	適用箇所 (6.14.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・ 標準仕様書 6.14.1(4) (7)～(か)による ・ 図示による () ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・流動化 コンクリート	適用箇所 (6.2.1) (6.15.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・ 図示による () ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○打継ぎの位置	打継ぎの位置 (6.6.4)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ひび割れ誘発目地	梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・ 図示による () ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
打継目地	柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・ 図示による () ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	目地の寸法 (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・ 標準仕様書 9.7.3(1) (7)～(か)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・ 図示による () ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	ひび割れ誘発目地の位置 (6.8.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・ 図示による ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5) (6.8.2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	<table><tr><td>種 別</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>○A種</td><td>※図示による (構造図参照)</td></tr><tr><td>・ B種</td><td>※図示による ()</td></tr><tr><td>○C種</td><td>※図示による (構造図参照)</td></tr></table>	種 別	適用箇所	○A種	※図示による (構造図参照)	・ B種	※図示による ()	○C種	※図示による (構造図参照)																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種 別	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○A種	※図示による (構造図参照)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ B種	※図示による ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○C種	※図示による (構造図参照)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	コンクリートの仕上りの平たんさ (6.2.5) (6.8.2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	<table><tr><td>種 別</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>・ a種</td><td>※図示による ()</td></tr><tr><td>・ b種</td><td>※図示による ()</td></tr><tr><td>・ c種</td><td>※図示による ()</td></tr></table>	種 別	適用箇所	・ a種	※図示による ()	・ b種	※図示による ()	・ c種	※図示による ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種 別	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ a種	※図示による ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ b種	※図示による ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ c種	※図示による ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○打増し厚さ	○打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) (6.8.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
(打放し仕上げ部)	・ 20mm ○ (図示)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	○打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・ 10mm ・ 20mm ○ (図示)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・ 外装タイル後張り面のの打増し処理 ・ 20mm ・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	打増し範囲																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・ 図示による ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・普通コンクリート (6.2.1～4) (6.3.2) (6.10.1、2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
○24	○15	構造図参照																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
○21	○15	構造図参照																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 18	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・軽量コンクリート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
構造体強度補正值 (6.3.2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
※標準仕様書表6.3.2による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
コンクリートの 類別 (6.2.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
※Ⅰ 類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・Ⅱ 類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種 類 (6.3.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が 7日目で352J/g 以下、かつ28日目で 402J/g 以下のものとする																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・高炉セメントB種 G																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
適用箇所(・1FLより下部 (立上り部含む))																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・フライアッシュセメントB種 G																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
適用箇所()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
※A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量が3.0kg/m ³ 以下)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・再生骨材H																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
本工事において細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
○骨材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
○混和材料 (6.3.1、2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
混和剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
○標準仕様書 6.3.1(4) (a)による ・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
○混和材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
混和材の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
○標準仕様書 6.3.1(4) (b)による ・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・気乾単位容積質量 (6.2.3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
普通コンクリート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
※2.3t/m ³ 程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
軽量コンクリート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種 別 (6.10.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 1 種 ・ 2 種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 図示 ・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
適用期間 (6.2.1) (6.11.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 積算温度を基に定める場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 図示による () ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 寒中コンクリート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
適用期間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 積算温度を基に定める場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 図示による () ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 暑中コンクリート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
構造体強度補正值 ※6N/mm ² ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
(6.12.1、2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
○鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) ・ 構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1による ○図示 構造図参照	鉄筋の定着長さ (5.3.4) ・ 構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(b)による ○図示 構造図参照	柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・ あり 使用箇所() 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する	耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・ 適用箇所() ・ 構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1に加える厚さ ()mm ・ ()	各部配筋 (5.3.7) ・ 構造関係共通図 (配筋標準図) による ○図示 構造図参照 ・ ()	外観試験 (5.4.10) (5.4.11) ⊗行う (全数)	抜取試験 ※超音波探傷試験 試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。 試験の箇所数： 1 ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。 ・ 引張試験 試験ロット： 1 組の作業班が 1 日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えときは200箇所ごととする 試験の箇所数： 1 ロットに対して (※3本 ・) とする	適用箇所 (5.5.2) ・ 図示による() ・	H12建告第1463号に適合する性能 (5.5.2) ・ A級 ・	機械式継手の種類 (5.5.2) ・ 図示による() ・	鉄筋相互のあき (5.3.5) (5.5.2) ・ 図示による() ・	施工完了後の継手部の試験 (5.5.2) ・ 図示による()	不合格となった継手部への措置 (5.5.2) ・ 図示による()	○鉄筋の継手 及び定着	鉄筋の継手の方法等 (5.3.4) (5.5.2) (5.6.3) 部 位 柱及び梁主筋 ※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手 ※D19以上 耐力壁の鉄筋 ※重ね継手 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 ・重ね継手 ・ガス圧接 上記以外 () ※重ね継手	継手位置 ・ 構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による ○図示 構造図参照	主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ ・ 構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a) (2) による ・ 構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a) (3) による ○図示 構造図参照	鉄筋のかぶり厚さ 及び間隔 (溶接金網含む)	○各部配筋	○圧接完了後の試験	・機械式継手																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		特記仕様書 (建築工事編) (3)		令和4年度版 高知県土木部建築課																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL088-883-1030 FAX088-882-4779 高知県知事登録119号 管理建築士 製図 2025/03 代表取締役 一級建築士登録第203207号 一級建築士登録第370400号 AT-03 福 家 正 義 村 田 憲 明 山 本 優 太 令和5年7月改正																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

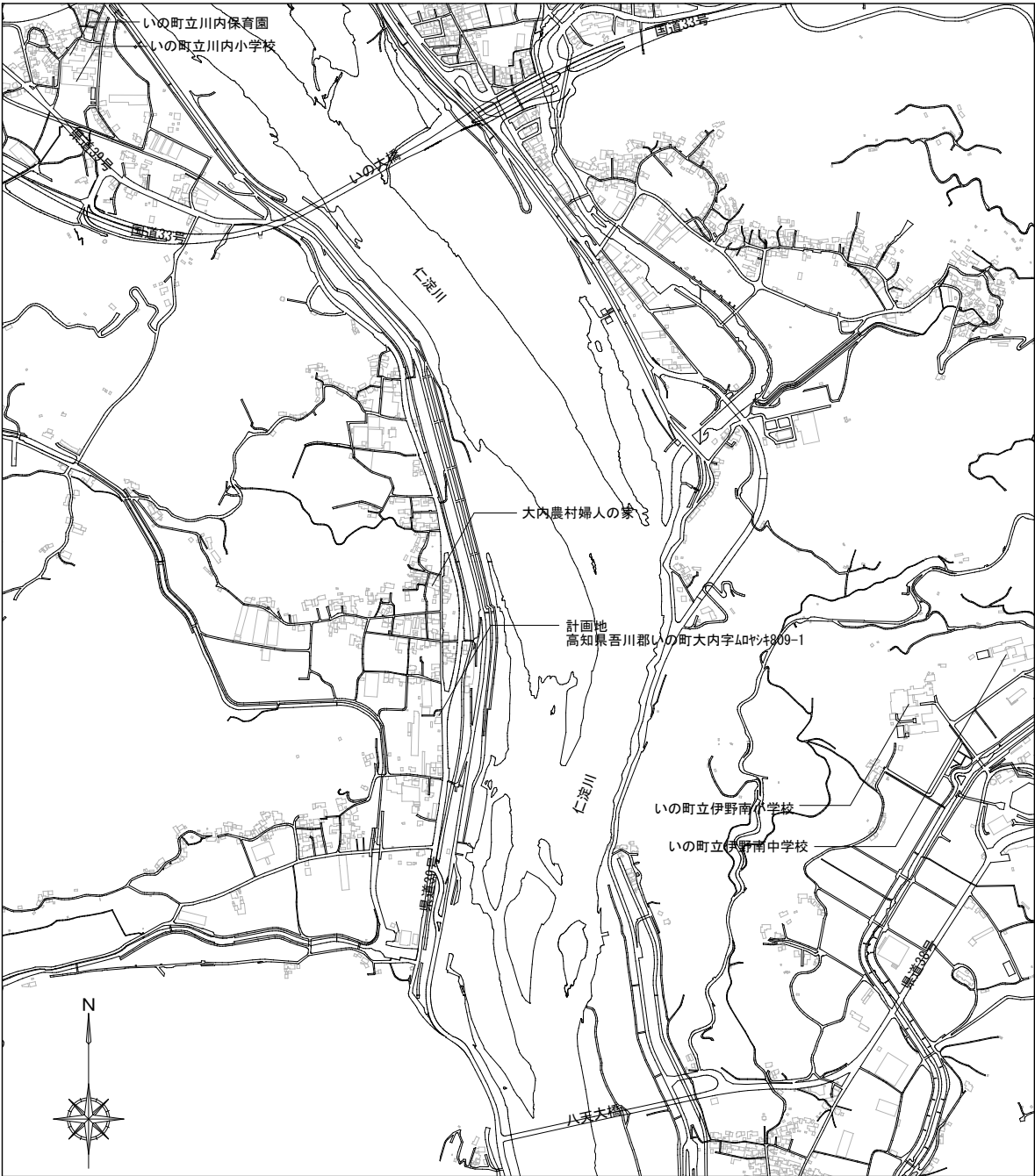
鉄骨工事	○型枠	せき板の材料及び厚さ ○合板(※12mm・ <table><tr><td>G</td></tr></table> ・()) ・断熱材を兼用した型枠材 使用箇所・図示による()・() ・M C R工法用シート 適用箇所・図示による()・() 打増し厚さ・20mm・() 打増し範囲・図示による()・() スリーブの材種・規格等 ・図示による()・()	G	(6.8.2)	○溶接材料	溶接材料 ○構造図参照 ※標準仕様書 7.2.5(1)(2)による。 ・標準仕様書 7.2.5(1)(2)以外の溶接材料 材料及び使用箇所・図示による()・()	(7.2.5)	○錆止め塗装	・工場溶接の場合 AQQL(%) ※4.0・2.5 <table><tr><td>節</td><td>・全て</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>検査水準</td><td>※第6水準</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ・全数 ・工事現場溶接の場合 ※全数 塗料の種別 (7.8.4)(18.3.2) 下記以外の鉄鋼面は標準仕様書 18.3.2及び特記仕様書 18 塗装工事 錆止め塗料塗りによる ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別 ※A種・ ・耐火被覆が接着する面の塗料の種別 ・ 種類、材料、工法等 (7.9.2～7.9.8)	節	・全て				検査水準	※第6水準																																														
	G																																																													
節	・全て																																																													
検査水準	※第6水準																																																													
○コンクリートの単位水量測定	実施要領 構造関係共通図（構造関係共通事項） 構－4 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定による		○床構造用のデッキプレート	材質、形状及び寸法 ○構造図参照 (7.2.7) <table><tr><td></td><td>適用箇所</td><td>材質・形状・寸法</td><td>備考</td></tr><tr><td>・デッキプレート 単独の構法</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・デッキプレートと コンクリートとの 合成スラブとする構法</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 開口部補強要領（補強筋の定着長さ等を含む） ・()・図示 鉄骨部材への溶接方法 ・()・図示 耐火認定 ・有り 耐火時間・()・図示 ・無し		適用箇所	材質・形状・寸法	備考	・デッキプレート 単独の構法				・デッキプレートと コンクリートとの 合成スラブとする構法				・				(7.2.7)	・耐火被覆	種類、材料、工法等 (7.9.2～7.9.8) <table><tr><td>種 類</td><td>材料・工法</td><td>性能（耐火時間）</td><td>適用箇所（部位・部分）</td></tr><tr><td rowspan="3">・耐火材吹付け</td><td>・乾式吹付けロックウール</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・半乾式吹付けロックウール</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・湿式ロックウール ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・耐火板張り</td><td>・繊維混入けい酸カルシウム板 ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・耐火材巻付け</td><td>・高断熱ロックウール ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ラス張りモルタル塗り</td><td>—</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・耐火塗料</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種 類	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）	・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール			・半乾式吹付けロックウール			・湿式ロックウール ・			・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板 ・			・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール ・			・ラス張りモルタル塗り	—			・耐火塗料												
	適用箇所	材質・形状・寸法	備考																																																											
・デッキプレート 単独の構法																																																														
・デッキプレートと コンクリートとの 合成スラブとする構法																																																														
・																																																														
種 類	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）																																																											
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール																																																													
	・半乾式吹付けロックウール																																																													
	・湿式ロックウール ・																																																													
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板 ・																																																													
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール ・																																																													
・ラス張りモルタル塗り	—																																																													
・耐火塗料																																																														
7	○鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 評価の区分 ※(R)グレード・グレードの指定はしない	(7.1.3)	○スタッド	種類等 ○構造図参照 (7.2.8) <table><tr><td>呼 び 名</td><td>呼び長さ（mm）</td><td>適 用 箇 所</td></tr><tr><td>・16</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・19</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・22</td><td></td><td></td></tr></table>	呼 び 名	呼び長さ（mm）	適 用 箇 所	・16			・19			・22			○柱底均しモルタル	無収縮モルタルとする場合の材料、調合等 ※標準仕様書 7.2.9(2)(7)から(ⅰ)による ○構造図参照 (7.2.9) 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による (7.3.3) 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※平12建告第1464号第二号イ(2)による ・ アンダーカットの寸法 ※平12建告第1464号第二号イ(3)による ・ 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 試験の要領 (7.6.3) ・図示による()・	・製作精度	○溶接技能者の技量付加試験	○溶接接合	開先の形状 ○構造図参照 (7.6.4) ・図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図）1-2） ・ ・エンドタブの切断する部分 (7.6.7) 切断する箇所 ・図示による()・ 切断範囲 ・エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から 5mm 以下残して直線上に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する ・ 切断面の仕上げ ・標準仕様書7.6.7(1)(a)(b)②による ・ スカラップの形状 (7.6.7) ・図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図）1-4(d)改良型スカラップ） ・ 適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部	○コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	・補強コンクリートブロック造 (8.2.2、3、5、7、8) <table><tr><td>断面形状及び 圧縮強さによる区分</td><td>正味 厚さ（mm）</td><td>呼び名及び寸法（mm） 長さ高さ</td><td>化粧の有無</td><td>適用箇所</td><td>備 考</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td>・無・有</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td>・無・有</td><td></td><td></td></tr></table> モルタルの調合（容積比） ※標準仕様書表8.2.1による ・セメント()：砂() 各部の配筋 ※図示による・ 目地の仕上げ・押し目地仕上げ・化粧目地仕上げ まぐさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲 ※図示による・	断面形状及び 圧縮強さによる区分	正味 厚さ（mm）	呼び名及び寸法（mm） 長さ高さ	化粧の有無	適用箇所	備 考	・			・無・有			・			・無・有			・コンクリートブロック壁及び塀 (8.3.2、3、4) <table><tr><td>断面形状及び 圧縮強さによる区分</td><td>正味 厚さ（mm）</td><td>呼び名及び寸法（mm） 長さ高さ</td><td>化粧の有無</td><td>表（8.3.1）以外の 適用箇所</td><td>備 考</td></tr><tr><td>・空洞ブロックC(16)</td><td>・120 ・150</td><td></td><td>・無・有</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・型枠状ブロック20</td><td></td><td></td><td>・無・有</td><td></td><td></td></tr></table> モルタルの調合（容積比） ※標準仕様書表8.2.1による ・セメント()：砂() 塀の厚さ（mm） 塀の高さが2m以下 ※120・ 2m超え ※150・ 壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 ※図示による・ 各部の配筋 ※図示による・	断面形状及び 圧縮強さによる区分	正味 厚さ（mm）	呼び名及び寸法（mm） 長さ高さ	化粧の有無	表（8.3.1）以外の 適用箇所	備 考	・空洞ブロックC(16)	・120 ・150		・無・有			・型枠状ブロック20			・無・有		
	呼 び 名	呼び長さ（mm）	適 用 箇 所																																																											
・16																																																														
・19																																																														
・22																																																														
断面形状及び 圧縮強さによる区分	正味 厚さ（mm）	呼び名及び寸法（mm） 長さ高さ	化粧の有無	適用箇所	備 考																																																									
・			・無・有																																																											
・			・無・有																																																											
断面形状及び 圧縮強さによる区分	正味 厚さ（mm）	呼び名及び寸法（mm） 長さ高さ	化粧の有無	表（8.3.1）以外の 適用箇所	備 考																																																									
・空洞ブロックC(16)	・120 ・150		・無・有																																																											
・型枠状ブロック20			・無・有																																																											
○高力ボルト	高力ボルトの種類 ○構造図参照 (7.2.2) ・トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト ・ ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図） 1-1 縁端距離及びボルト間隔） ・ 摩擦面の処理方法等 溶融亜鉛めっき面以外 ※標準仕様書7.4.2(1)による ・ 溶融亜鉛めっき面 (7.12.5) ・ブラスト処理（表面粗度50μmRz以上） ・ブラスト処理以外の特別な処理方法 ・図示による()・ ・すべり試験 (7.4.2) ※すべり係数試験・すべり耐力試験 試験の方法等 ・図示による()・	(7.2.2)	○普通ボルト	ボルト及びナットの材料 ○構造図参照 (7.2.3) ・標準仕様書 表7.2.3（JIS附属書品）又は次による ボルトの規格は、JIS B 1180とする。 （ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。 ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181とする。 ナットの種類は、六角ナット-Cとし、材料は鋼とする。	(7.2.3)	○アンカーボルト	・構造用アンカーボルト ○構造図参照 (7.2.4)(7.10.3) 種類 ・ABR400・ABR490・ ・建方(及び付属鉄骨)用アンカーボルト 種類 ・SS400・ アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ・ ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ※図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図） 1-1 縁端距離及びボルト間隔） ・	・入熱、バス間温度の管理	○溶接部の試験	平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 (7.6.12) ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 10.4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み部の超音波探傷試験	特記仕様書（建築工事編）（4）	令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事 (株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL088-883-1030 FAX088-882-4779 高知県知事登録119号 管理建築士 一級建築士登録第203207号 一級建築士登録第370400号 代表取締役 福家正義 村田恵明 山本優太 2025/03 AT-04 令和5年7月改正	令和4年度版 高知県土木部建築課																																																	

タイル工事	・セラソタイル	・テラソタイル												
		施工箇所	種石の種類	大きさ(mm)	寸法による区分	厚さ(mm)	表面仕上げ							
			※大理石 ・花こう岩		・300型 ・400型									
		乾式工法的方式による金物の取付け方式　・スライド方式　・ロッキング方式 あと施工アンカーの材質及び寸法等　・（　　　　　）　・図示 外壁湿式工法に使用するドレンパイプの材質　・（　　　　　）　・図示 石裏面処理及び裏打ち処理 （10.3.2）（10.5.2）（10.6.2、3） ・適用する　　・適用しない												
		位置　　・（　　　　　）　　・図示 （11.1.3）（表11.1.1）												
		・伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地												
		・タイル												
		タイルの形状、寸法等 （11.2.2、4、6）												
		施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材の 適用	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	吸水率による区分 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有	色 無標準特性	耐凍害性 ありなし	耐滑り性	備　考
				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
役物使用箇所　※各部の形状は図示による														
内　装	出隅　天端													
外　装	出隅、窓台、マグサ（標準一体成型品以外は接着成型品とする）													
見本焼き　　・行う　　・行わない 試験張り　　・行う　　・行わない														
壁タイル張りの工法 （11.2.2、6） 内外装タイル　・密着張り　・改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り 下地モルタル塗りのコンクリート素地面の処理　※MCR工法又は目荒し工法（高圧水洗処理）														
壁タイル張りの工法 （11.3.2～5） 内装タイル　　・内装タイル接着剤張り 外装タイル　　・外装タイル接着剤張り 内装タイル以外のユニットタイル　　・外装タイル接着剤張り 下地調整塗材塗りのコンクリート素地面の処理　※MCR工法又は目荒し工法（高圧水洗処理） 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項　室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　による。														
・セメント系による タイル張り														
・有機系接着剤に よるタイル張り														
木工事	○表面仕上げ	機械加工　・A種　※B種　・C種 適用箇所（　　　　　） 手加工　　・H-A種　　・H-B種　　・H-C種　　適用箇所（　　　　　） （12.1.4）												
	○木　材 G	本工事に使用する木材は、いの町産材（いの町内の森林から生産された木材）を使用するものとす。但し、これにより難いものは監督員の承認を得て使用すること。 日本農林規格（JAS）以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じたものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること。 ・代用樹種　※使用できない　　・使用箇所（　　　　　）												
	○製　材 G	間伐材等の適用　・使用する（使用箇所　　　　　） 木材の含水率　※A種　　・B種　（以降の表に記載のある場合はその数値を優先する）												
		ホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項　室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　による。												
		・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材 （12.2.1）（12.4.1）（12.5.1）（12.6.1）（12.7.1）												
		施工箇所	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等 の適用						
				※2級　・		※A種　・B種　・		・						
				※2級　・		※A種　・B種　・		・						
				※2級　・		※A種　・B種　・		・						
		・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材												
施工箇所	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等 の適用								
見え掛り面		※上小節 ・		※A種　・B種 ・		・								
見え掛り面 以外		※小節以上 ・		※A種　・B種 ・		・								
・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹用製材														
施工箇所	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等 の適用								
		※1等　・		※10%以下 ・A種　・B種　・		・								
		※1等　・		※10%以下 ・A種　・B種　・		・								
・JAS 1083（製材）以外の製材														
施工箇所	寸法 (mm)	造作材の材面の 品質	防虫処理	防腐・ 防蟻処理	含水率	間伐材等 の適用								
		（　　　　　） 造作材の場合 （※A種　・B種）	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	・								
11タイル工事	・伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	位置　　・（　　　　　）　　・図示 （11.1.3）（表11.1.1）												
		・伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地												
		・タイル												
		タイルの形状、寸法等 （11.2.2、4、6）												
		施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材の 適用	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	吸水率による区分 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有	色 無標準特性	耐凍害性 ありなし	耐滑り性	備　考
				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		役物使用箇所　※各部の形状は図示による												
		内　装	出隅　天端											
		外　装	出隅、窓台、マグサ（標準一体成型品以外は接着成型品とする）											
見本焼き　　・行う　　・行わない 試験張り　　・行う　　・行わない														
壁タイル張りの工法 （11.2.2、6） 内外装タイル　・密着張り　・改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り 下地モルタル塗りのコンクリート素地面の処理　※MCR工法又は目荒し工法（高圧水洗処理）														
壁タイル張りの工法 （11.3.2～5） 内装タイル　　・内装タイル接着剤張り 外装タイル　　・外装タイル接着剤張り 内装タイル以外のユニットタイル　　・外装タイル接着剤張り 下地調整塗材塗りのコンクリート素地面の処理　※MCR工法又は目荒し工法（高圧水洗処理） 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項　室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　による。														
・セメント系による タイル張り														
・有機系接着剤に よるタイル張り														
12木工事	○表面仕上げ	機械加工　・A種　※B種　・C種 適用箇所（　　　　　） 手加工　　・H-A種　　・H-B種　　・H-C種　　適用箇所（　　　　　） （12.1.4）												
	○木　材 G	本工事に使用する木材は、いの町産材（いの町内の森林から生産された木材）を使用するものとす。但し、これにより難いものは監督員の承認を得て使用すること。 日本農林規格（JAS）以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じたものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること。 ・代用樹種　※使用できない　　・使用箇所（　　　　　）												
	○製　材 G	間伐材等の適用　・使用する（使用箇所　　　　　） 木材の含水率　※A種　　・B種　（以降の表に記載のある場合はその数値を優先する）												
		ホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項　室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　による。												
		・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材 （12.2.1）（12.4.1）（12.5.1）（12.6.1）（12.7.1）												
		施工箇所	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等 の適用						
				※2級　・		※A種　・B種　・		・						
				※2級　・		※A種　・B種　・		・						
				※2級　・		※A種　・B種　・		・						
		・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材												
施工箇所	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等 の適用								
見え掛り面		※上小節 ・		※A種　・B種 ・		・								
見え掛り面 以外		※小節以上 ・		※A種　・B種 ・		・								
・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹用製材														
施工箇所	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等 の適用								
		※1等　・		※10%以下 ・A種　・B種　・		・								
		※1等　・		※10%以下 ・A種　・B種　・		・								
・JAS 1083（製材）以外の製材														
施工箇所	寸法 (mm)	造作材の材面の 品質	防虫処理	防腐・ 防蟻処理	含水率	間伐材等 の適用								
		（　　　　　） 造作材の場合 （※A種　・B種）	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	・								
13屋根及び とい工事	○長尺金属板葺	（13.2.2、3）（表13.2.1、2）												
	・折板葺	施工箇所	形式	長尺金属板の種類	厚さ(mm)	形状(mm)	軒先面戸板	耐火性能						
		・	※重ね形 ・はせ締め形 ・かん合形	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金 めっき鋼板及び鋼帯（GGLCCR-20-AZ150） ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 （GGCCR-20-Z25）	※0.6 ・0.8	※図示 ・山高（　） ・山ビッチ（　）	※有り ・なし	※30分 ・なし						
		・	・	・	・	・	・	・						
	・粘土瓦葺	下葺材料　　・アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 （・一般タイプ　・複層基材タイプ　　・粘着層付タイプ） 雪止め　　・設置する（施工箇所　　・図示　　・　　　　　・　　　　　）												
		（13.3.2）（表13.2.1）（表14.2.2）												
		施工箇所	形式	長尺金属板の種類	厚さ(mm)	形状(mm)	軒先面戸板	耐火性能						
	・折板葺	・	※重ね形 ・はせ締め形 ・かん合形	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金 めっき鋼板及び鋼帯（GGLCCR-20-AZ150） ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 （GGCCR-20-Z25）	※0.6 ・0.8	※図示 ・山高（　） ・山ビッチ（　）	※有り ・なし	※30分 ・なし						
		・	・	・	・	・	・	・						
		JIS G 3302以外のタイトフレームの表面処理（直接外気の影響を受けない屋内の場合） ・E種　　・F種 断熱材　※有り（種別：　　　　　　厚さ（mm）：　　　　　　防火性能：　　　　　時間） ・無し												
・粘土瓦葺	（13.4.2、3）													
	施工箇所	瓦の種類	寸法による区分	役物瓦の種類	産　地									
		※J型	※53A	・軒かわら　・そでかわら ・のしがわら　・かんむりがわら	※高知県産　・									
・折板葺	・	S形	・49A　・49B	・軒かわら　・そでかわら ・かんむりがわら										
	・	F形	・40	・半かわら　・そでかわら ・かんむりがわら										
	雪止め瓦　※適用しない　　・適用する 凍害試験　　・行う　　・行わない 棟補強用金物等の材質、形状、寸法及び留付け方法　※図示 下葺材料　※アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 （・一般タイプ　　・複層基材タイプ　　・粘着層付タイプ） 棧木の留付け工法　※図示 棟の工法　※7寸丸伏せ棟　　・F形用冠伏せ棟　　・のし積み棟 ※高知県産の粘土瓦を使用するときは、JIS A 5208の規格については、寸法に関する部分は適用しない。また、粘土瓦の大きさは、高知県で生産されている粘土瓦の大きさとする。													
特記仕様書（建築工事編）（6）	令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事													
	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知県南久保16-17 TEL088-883-1030 FAX088-882-4779 高知県知事登録119号 管理建築士 製図 2025/03 代表取締役 一級建築士登録第203207号 一級建築士登録第370400号 福家正義 村田憲明 山本優太 令和5年7月改正 AT-06													
	令和5年度版													
	令和4年度版													
	令和3年度版													
	令和2年度版													
	令和1年度版													
	令和0年度版													
	令和元年度版													
	令和元年度版													
高知県土木部建築課	令和4年度版													
	高知県土木部建築課													
	高知県土木部建築課													
	高知県土木部建築課													
	高知県土木部建築課													
	高知県土木部建築課													
	高知県土木部建築課													
	高知県土木部建築課													
	高知県土木部建築課													
	高知県土木部建築課													
高知県土木部建築課	令和4年度版													
	高知県土木部建築課													
	高知県土木部建築課													
	高知県土木部建築課													
	高知県土木部建築課													
	高知県土木部建築課													
	高知県土木部建築課													
	高知県土木部建築課													
	高知県土木部建築課													
	高知県土木部建築課													

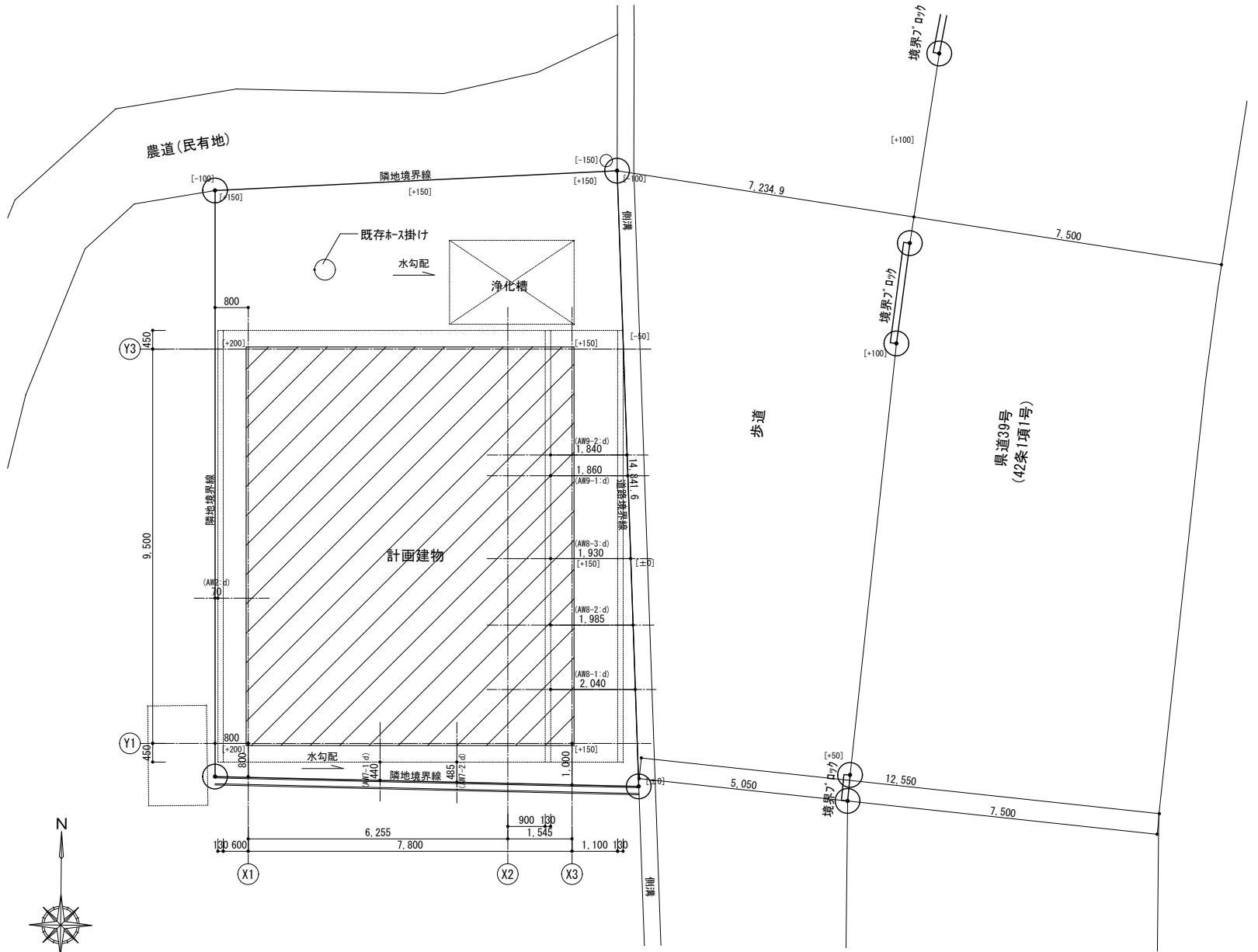
	・重量シャッター	シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉方式の種類 ※電動式（手動併用） ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 ※建具表による ・（ ） 電動式シャッターの障害物感知装置 ※建具表による ・（ ） 屋内用防火シャッター、防煙シャッターの危害防止装置 ※建具表による ・（ ） 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・（ ） ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及びカバー、スイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1	18	塗装工事	○材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.3) ※1 各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	○ビニル幅木	材質の種類 ※軟質 ・硬質 (19.2.2) 高さ（mm） ・60 ・75 ・100 厚さ（mm） ※1.5以上 ・（ ）	・ゴム床タイル	種類 ・単層品 ・積層品 (19.2.2) 色 柄 （ ） ・フラット ・凹凸 厚さ（mm） ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法（mm） （ ）	・視覚障害者用 床タイル	(19.2.2)				
	施工箇所 種 類 寸法（mm） 厚さ（mm）															
	屋内				・塩化ビニル製	※300×300		※7.0 ・								
					・磁器又はせっ器質タイル	※300×300										
	屋外				・レジンコンクリート製	※300×300										
					・磁器又はせっ器質タイル	・300×300		※30 ・								
	・レジンコンクリート製 ・300×300															
	※黄色 ブロックパターンは JIS T 9251 による															
	・織じゅうたん (19.3.2、3) (表19.3.1、2)															
	織り方 バイル形状 色柄等 バイル系の種類 帯電性 備考															
・ウルトンカーペット ・カットバイル ・無地 ※人体帯電圧																
・ダブフルフェスカーペット ・ループバイル ・柄物 ・B種 3kv以下																
・フタスミスターカーペット ・カット、ループ併用 (標準品) ・C種 ・																
接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い																
下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・（ ）																
・タフテッドカーペット																
バイル形状 バイル長さ(mm) 工 法 帯電性 備 考																
・カットバイル ※5～7 ・																
・ループバイル ※4～6 ・																
・カット、ループ併用 ・																
下敷き材（グリップバー工法の場合）																
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・（ ）																
・タイルカーペット																
バイル形状 種別 施工箇所 寸法（mm） 総厚さ(mm) 備 考																
※ループバイル ※第一種 ※500×500 ※ 6.5																
・第二種 ・																
・カットバイル																
・カット、ループ併用																
帯電性 ※人体帯電圧 3kv 以下 ・（ ）																
タイルカーペットの敷き方 平 場 ※市松敷き ・模様流し																
階段部分 ※模様流し ・市松敷き																
見切り、押え金物 ・適用する（材質、種類、形状等 ※図示 ・）																
○カーペット	・軽量シャッター	開閉方式の種類 ※手動式 ・電動式（手動併用） (16.12.2～4) 耐風圧強度 （ ） pa 電動式シャッターの障害物感知装置 ※建具表による ・（ ） スラット 形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（※Z06又はF06 ・） ・JIS G 3322（塗装溶融55%Zn-Ni-M-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（※A-Z90）	19	塗装工事	○塗装	・錆止め塗料塗り	○フローリング張り	(19.5.2～5) (表19.5.1～6)								
	セクション材料による区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材料															
	※スチールタイプ ※バランス式 ・スタンダード形 ・溶融亜鉛めっき鋼板															
	・アルミニウムタイプ ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板															
	・ファイバーグラスタイプ ・電動式 ・ハイリフト形															
	・パーチカル形															
	風圧力による強さの区分 （・125 ・100 ・75 ・50 ）															
	電動式シャッターの障害物感知装置 ※建具表による ・（ ）															
	・合わせガラス (9.7) (16.14.2～4) (図16.14.1)															
	特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類															
○強化ガラス																
特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類																
・熱線吸収板ガラス																
性能による種類 ・1種 ・2種																
○複層ガラス																
断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6																
日射取得性、日射遮へい性による区分 ・G ・S																
乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン																
・熱線反射ガラス																
日射熱遮へい性 ・1種 ・2種 ・3種																
耐久性 ・A種 ・B種																
・ガラスの留め材及び溝の大きさ																
建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ（mm）																
アルミニウム製 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による																
・ ※グレイジングチャンネル形 ・図示 ・																
鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材																
・																
ステンレス製 ※シーリング材																
・																
樹脂製 ・シーリング材																
・ガasket ※グレイジングチャンネル形																
○ガラス	・ガラスブロック積み	(16.14.5)														
	表面形状	呼び寸法	厚 さ	色 調	目地幅(mm)	伸縮調整目地(mm)	防火性能									
	正 方形	・125×125	80	・ ・	クリ7	乳白	※8～15	※6m以下ごとに幅10～25 ・図示 ・								
		・160×160	・95 ・125	・ ・			・15～25									
		・200×200	・95 ・125	・ ・			・									
		・320×320	95	・ ・			内側									
	長 方形	・250×125	80	・ ・			※6以上	・								
		・320×160	95	・ ・			・									
	曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。															
	種 類 記号 張り面 その他性能値等															
※衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム G1 ・内張り ・外張り																
・日射調整フィルム SC ・内張り ・外張り 遮へい性能 ・A ・B ・C																
品質 JIS A5759Iによる																
○カーペット	・重量シャッター	シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉方式の種類 ※電動式（手動併用） ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 ※建具表による ・（ ） 電動式シャッターの障害物感知装置 ※建具表による ・（ ） 屋内用防火シャッター、防煙シャッターの危害防止装置 ※建具表による ・（ ） 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・（ ） ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及びカバー、スイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1	18	塗装工事	○材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.3) ※1 各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	○ビニル幅木	材質の種類 ※軟質 ・硬質 (19.2.2) 高さ（mm） ・60 ・75 ・100 厚さ（mm） ※1.5以上 ・（ ）	・ゴム床タイル	種類 ・単層品 ・積層品 (19.2.2) 色 柄 （ ） ・フラット ・凹凸 厚さ（mm） ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法（mm） （ ）	・視覚障害者用 床タイル	(19.2.2)				
	施工箇所 種 類 寸法（mm） 厚さ（mm）															
	屋内				・塩化ビニル製	※300×300		※7.0 ・								
					・磁器又はせっ器質タイル	※300×300										
	屋外				・レジンコンクリート製	※300×300										
					・磁器又はせっ器質タイル	・300×300		※30 ・								
	・レジンコンクリート製 ・300×300															
	※黄色 ブロックパターンは JIS T 9251 による															
	・織じゅうたん (19.3.2、3) (表19.3.1、2)															
	織り方 バイル形状 色柄等 バイル系の種類 帯電性 備考															
・ウルトンカーペット ・カットバイル ・無地 ※人体帯電圧																
・ダブフルフェスカーペット ・ループバイル ・柄物 ・B種 3kv以下																
・フタスミスターカーペット ・カット、ループ併用 (標準品) ・C種 ・																
接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い																
下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・（ ）																
・タフテッドカーペット																
バイル形状 バイル長さ(mm) 工 法 帯電性 備 考																
・カットバイル ※5～7 ・																
・ループバイル ※4～6 ・																
・カット、ループ併用 ・																
下敷き材（グリップバー工法の場合）																
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・（ ）																
・タイルカーペット																
バイル形状 種別 施工箇所 寸法（mm） 総厚さ(mm) 備 考																
※ループバイル ※第一種 ※500×500 ※ 6.5																
・第二種 ・																
・カットバイル																
・カット、ループ併用																
帯電性 ※人体帯電圧 3kv 以下 ・（ ）																
タイルカーペットの敷き方 平 場 ※市松敷き ・模様流し																
階段部分 ※模様流し ・市松敷き																
見切り、押え金物 ・適用する（材質、種類、形状等 ※図示 ・）																
○カーペット	・軽量シャッター	開閉方式の種類 ※手動式 ・電動式（手動併用） (16.12.2～4) 耐風圧強度 （ ） pa 電動式シャッターの障害物感知装置 ※建具表による ・（ ） スラット 形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（※Z06又はF06 ・） ・JIS G 3322（塗装溶融55%Zn-Ni-M-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（※A-Z90）	19	塗装工事	○接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2) ※1 各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類 ・図示 ・（ ）	○フローリング張り	(19.2.2、3)								
	種類の記号 施工箇所 色 柄 特殊機能 厚さ(mm)															
	※FS				・無地 ・マーブル柄	・帯電防止 ・耐動荷重		※2.0 ・								
	・				・柄物	・防滑性 ・耐薬品性										
	目地処理する場合の工法 ※熱溶接工法 ・（ ）															
	帯電防止 帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2 以上～ 3.2 未満 又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1x10 ⁷ ～1x10 ¹⁰ Ω程度															
	(19.2.2)															
	種類の記号	施工箇所			色 柄	寸法（mm）		特殊機能	厚さ(mm)							
	・FT				・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450		・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・							
	・KT				・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450		・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・							
・FOA		・無地 ・柄物	・500×500 ・	・帯電防止 ・防滑性	・											
帯電防止 帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2 以上～ 3.2 未満 又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1x10 ⁷ ～1x10 ¹⁰ Ω程度																
(19.2.2)																
種類の記号	施工箇所	色 柄	寸法（mm）	特殊機能	厚さ(mm)											
・FT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・											
・KT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・											
・FOA		・無地 ・柄物	・500×500 ・	・帯電防止 ・防滑性	・											
帯電防止 帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2 以上～ 3.2 未満 又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1x10 ⁷ ～1x10 ¹⁰ Ω程度																
(19.2.2)																
種類の記号	施工箇所	色 柄	寸法（mm）	特殊機能	厚さ(mm)											
・FT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・											
・KT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・											
・FOA		・無地 ・柄物	・500×500 ・	・帯電防止 ・防滑性	・											
帯電防止 帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2 以上～ 3.2 未満 又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1x10 ⁷ ～1x10 ¹⁰ Ω程度																
(19.2.2)																
種類の記号	施工箇所	色 柄	寸法（mm）	特殊機能	厚さ(mm)											
・FT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・											
・KT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・											
・FOA		・無地 ・柄物	・500×500 ・	・帯電防止 ・防滑性	・											
帯電防止 帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2 以上～ 3.2 未満 又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1x10 ⁷ ～1x10 ¹⁰ Ω程度																
(19.2.2)																
種類の記号	施工箇所	色 柄	寸法（mm）	特殊機能	厚さ(mm)											
・FT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・											
・KT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・											
・FOA		・無地 ・柄物	・500×500 ・	・帯電防止 ・防滑性	・											
帯電防止 帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2 以上～ 3.2 未満 又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1x10 ⁷ ～1x10 ¹⁰ Ω程度																
(19.2.2)																
種類の記号	施工箇所	色 柄	寸法（mm）	特殊機能	厚さ(mm)											
・FT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・											
・KT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・											
・FOA		・無地 ・柄物	・500×500 ・	・帯電防止 ・防滑性	・											
帯電防止 帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2 以上～ 3.2 未満 又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1x10 ⁷ ～1x10 ¹⁰																

・床点検口	<table><tr><td>材 種</td><td>寸 法</td><td colspan="2">形 式</td><td>枠の許容差</td><td>受枠と蓋枠のクリアランス</td></tr><tr><td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td><td>・450×450 ・600×600 ・</td><td>・一般形 ・密閉形</td><td>・屋内外用 ・屋内用</td><td>受枠、蓋枠とも ±0.5mm 以内 片側 2.0mm以内</td></tr><tr><td colspan="5">一般形：パッキンを装着しないもの、又はがたつき防止用パッキンを装着したもの 密閉形：ボルト、ナット等のメカニカル構造にパッキンを装着したもの</td></tr><tr><td colspan="5">材料の品質及び性能</td></tr><tr><td>使用部位</td><td>材 料</td><td colspan="2">屋 内 外 用</td><td>屋 内 用</td></tr><tr><td rowspan="3">受枠材 蓋枠材</td><td>アルミニウム合金 押出形材</td><td colspan="3">JIS H 4100 A6063S-T5 表面処理：標準仕様書 表14.2.1のAB-1種、AB-2種、BB-1種、BB-2種</td><td rowspan="3">鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3313 SEHC) の類に 一般さび止めペイント (JIS K 5621) 、 又はメラミン樹脂焼付塗装 等の防錆処理をおこなったもの</td></tr><tr><td>ステンレス</td><td colspan="3">JIS G 4305 SUS304 表面仕上：HL 又は No.2B程度 (目地ともの場合)</td></tr><tr><td>鋼材</td><td colspan="3">－</td></tr><tr><td>二重蓋の中蓋</td><td>鋳鉄</td><td colspan="3">JIS G 5501 FC150, FC200</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">目地材</td><td>黄銅</td><td colspan="3">JIS H 3100 C2600, C2720, C2801P JIS H 3250 C2602, C3604B</td><td></td></tr><tr><td>ステンレス</td><td colspan="3">JIS G 4305, JIS G 4308 SUS304</td><td></td></tr><tr><td>底板材</td><td>ステンレス鋼板</td><td colspan="3">JIS G 4305, JIS G 4308 SUS 304</td><td>JIS G 4305 SUS430</td></tr><tr><td>コーナービス</td><td>アルミニウム板</td><td colspan="3">JIS H 4000(A1100P H24)</td><td>－</td></tr><tr><td rowspan="2">底板補強材</td><td></td><td colspan="3">表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)</td><td rowspan="2">鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3313 SEHC) の類に一般 さび止めペイント (JIS K 5621) 、 又はメラミン樹脂焼付塗装等の 防錆処理をおこなったもの</td></tr><tr><td>鋼材</td><td colspan="3">－</td></tr><tr><td>錠</td><td></td><td colspan="3">亜鉛合金製 (クロムめっき) 黄銅製、ステンレス製の類</td><td>－</td></tr><tr><td>開閉方式</td><td></td><td colspan="4">施錠・開錠は、錠又は開閉用ハンドル式とする</td></tr><tr><td>パッキン材</td><td></td><td colspan="4">塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スチレンブタジエン 枠の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有する。</td></tr><tr><td>アンカー材</td><td>鋼材</td><td colspan="4">電気亜鉛めっき又は防錆塗料をおこなったもの</td></tr><tr><td>取っ手</td><td></td><td colspan="4">黄銅鑄物製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鑄物製、 ステンレス鑄鋼品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、 合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする。</td></tr><tr><td>蓋の耐荷重性能</td><td></td><td colspan="4">蓋中央部が荷重値 Pn=1,000N において残留たわみが点検 口の有効径の 0.08% 以内 であること。 受け枠・蓋その他に使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値の Pn の2倍以上であること。</td></tr></table>	材 種	寸 法	形 式		枠の許容差	受枠と蓋枠のクリアランス	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	受枠、蓋枠とも ±0.5mm 以内 片側 2.0mm以内	一般形：パッキンを装着しないもの、又はがたつき防止用パッキンを装着したもの 密閉形：ボルト、ナット等のメカニカル構造にパッキンを装着したもの					材料の品質及び性能					使用部位	材 料	屋 内 外 用		屋 内 用	受枠材 蓋枠材	アルミニウム合金 押出形材	JIS H 4100 A6063S-T5 表面処理：標準仕様書 表14.2.1のAB-1種、AB-2種、BB-1種、BB-2種			鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3313 SEHC) の類に 一般さび止めペイント (JIS K 5621) 、 又はメラミン樹脂焼付塗装 等の防錆処理をおこなったもの	ステンレス	JIS G 4305 SUS304 表面仕上：HL 又は No.2B程度 (目地ともの場合)			鋼材	－			二重蓋の中蓋	鋳鉄	JIS G 5501 FC150, FC200				目地材	黄銅	JIS H 3100 C2600, C2720, C2801P JIS H 3250 C2602, C3604B				ステンレス	JIS G 4305, JIS G 4308 SUS304				底板材	ステンレス鋼板	JIS G 4305, JIS G 4308 SUS 304			JIS G 4305 SUS430	コーナービス	アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24)			－	底板補強材		表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)			鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3313 SEHC) の類に一般 さび止めペイント (JIS K 5621) 、 又はメラミン樹脂焼付塗装等の 防錆処理をおこなったもの	鋼材	－			錠		亜鉛合金製 (クロムめっき) 黄銅製、ステンレス製の類			－	開閉方式		施錠・開錠は、錠又は開閉用ハンドル式とする				パッキン材		塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スチレンブタジエン 枠の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有する。				アンカー材	鋼材	電気亜鉛めっき又は防錆塗料をおこなったもの				取っ手		黄銅鑄物製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鑄物製、 ステンレス鑄鋼品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、 合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする。				蓋の耐荷重性能		蓋中央部が荷重値 Pn=1,000N において残留たわみが点検 口の有効径の 0.08% 以内 であること。 受け枠・蓋その他に使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値の Pn の2倍以上であること。				・旗 竿	<table><tr><td>材 種</td><td>形 式</td><td>高さ(mm)</td><td>操作方法</td><td>固定方法</td><td>備考</td></tr><tr><td>・アルミニウム合金製 ・</td><td>・テーパー式 ・同一断面式</td><td></td><td>・ハンドル式 ・ロープ式</td><td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td><td></td></tr><tr><td colspan="6">材種 ※ステンレス製 (SUS304) ()</td></tr><tr><td colspan="2">形 式</td><td>材 種</td><td colspan="2">柱径、肉厚(mm)</td><td>高さ(m)</td></tr><tr><td colspan="2">・上下式額内蔵式 (・標準品 ・スプリング式) ・</td><td>・ステンレス製 ・</td><td colspan="2">・φ76.3 t=2.0 ・</td><td>・GL+700 ・</td></tr><tr><td colspan="6">フェンスの種類</td></tr><tr><td colspan="6">・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス</td></tr><tr><td colspan="2">高 さ</td><td>()</td><td colspan="3">・図示</td></tr><tr><td colspan="6">コンクリートの設計基準強度</td></tr><tr><td colspan="6">※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³を満足する調合強度</td></tr><tr><td colspan="6">・図示</td></tr><tr><td colspan="6">配筋</td></tr><tr><td colspan="6">※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。</td></tr><tr><td colspan="6">・図示</td></tr><tr><td colspan="6">取付け方法 ※図示</td></tr><tr><td colspan="6">(20.4.2、3)</td></tr><tr><td colspan="2">材 種</td><td>種 類</td><td colspan="2">質量区分</td><td>備 考</td></tr><tr><td colspan="2">・間知石</td><td>・花こう岩 ・凝灰岩</td><td colspan="2">－</td><td>－</td></tr><tr><td colspan="2">・コンクリート間知ブロック</td><td></td><td colspan="2">・A ・B</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">積み方</td><td colspan="4">※谷積み ・布積み</td></tr><tr><td colspan="2">目塗り</td><td colspan="4">() ・図示</td></tr><tr><td colspan="2">伸縮調整目地</td><td>材種及び厚さ</td><td colspan="3">() ・図示</td></tr><tr><td colspan="6">種 類</td></tr><tr><td colspan="2">規格等</td><td colspan="4">JISによる種類</td></tr><tr><td>・鋼製書架</td><td rowspan="2">JIS S 1039の規格による</td><td>・1種</td><td>・2種</td><td>・3種</td><td></td></tr><tr><td>・鋼製物品棚</td><td>・4種</td><td>・5種</td><td>・6種</td><td>・</td></tr><tr><td colspan="6">枠の材質 ※アルミニウム製</td></tr><tr><td colspan="6">表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り</td></tr><tr><td colspan="6"></td></tr><tr><td colspan="6">材種</td></tr><tr><td colspan="6">・メラミン樹脂化粧板張り (心材：集成材) ・人工大理石</td></tr><tr><td colspan="6">奥行き (mm)</td></tr><tr><td colspan="6">・約450 ・約600</td></tr><tr><td colspan="6"></td></tr><tr><td colspan="2">材 質</td><td>厚さ (mm)</td><td>高さ (mm)</td><td colspan="2">備考</td></tr><tr><td colspan="2">※網入り磨板ガラス</td><td>※6.8</td><td>※500</td><td colspan="2">アルミ製枠付き</td></tr><tr><td colspan="2">・線入り磨板ガラス</td><td>・</td><td>・</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="6">・可動式</td></tr><tr><td colspan="2">種類</td><td>材質</td><td>高さ (mm)</td><td colspan="2">備考</td></tr><tr><td colspan="2">・垂直降下式 (巻取り型)</td><td>※不燃布 (不燃認定品)</td><td>※500 ・800 ・</td><td colspan="2">ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)</td></tr><tr><td colspan="2">・回転降下式</td><td>鋼板製又はアルミ製</td><td>※500 ・800 ・</td><td colspan="2">表面仕上げ ※天井材張り ・</td></tr><tr><td colspan="6">降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)</td></tr><tr><td colspan="6"></td></tr><tr><td colspan="6">照明器具 ※有り ・無し</td></tr><tr><td colspan="6">施錠 ※有り ・無し</td></tr><tr><td colspan="6"></td></tr><tr><td colspan="6">材質、形状、寸法 ※図示 ()</td></tr><tr><td colspan="6">合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量</td></tr><tr><td colspan="6">※1各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による。</td></tr><tr><td colspan="6"></td></tr><tr><td colspan="2">種 類</td><td colspan="4">※コンクリートブロック製 (市販品) ・花こう石類 (文字記号等入り)</td></tr><tr><td colspan="6">設置方法</td></tr><tr><td colspan="6">根切り底を突き締めたうえ、厚さ60mmの砂利地業を行い、コンクリートで根巻きして建て込む。</td></tr><tr><td colspan="6">建て込みは監督職員の立ち会いのもと行う。</td></tr><tr><td colspan="2">コンクリートの調合</td><td>容積比</td><td>セメント1：砂2：砂利4</td><td colspan="2">程度</td></tr></table>	材 種	形 式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製 ・	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式		材種 ※ステンレス製 (SUS304) ()						形 式		材 種	柱径、肉厚(mm)		高さ(m)	・上下式額内蔵式 (・標準品 ・スプリング式) ・		・ステンレス製 ・	・φ76.3 t=2.0 ・		・GL+700 ・	フェンスの種類						・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス						高 さ		()	・図示			コンクリートの設計基準強度						※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m ³ を満足する調合強度						・図示						配筋						※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。						・図示						取付け方法 ※図示						(20.4.2、3)						材 種		種 類	質量区分		備 考	・間知石		・花こう岩 ・凝灰岩	－		－	・コンクリート間知ブロック			・A ・B			積み方		※谷積み ・布積み				目塗り		() ・図示				伸縮調整目地		材種及び厚さ	() ・図示			種 類						規格等		JISによる種類				・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種	・2種	・3種		・鋼製物品棚	・4種	・5種	・6種	・	枠の材質 ※アルミニウム製						表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り												材種						・メラミン樹脂化粧板張り (心材：集成材) ・人工大理石						奥行き (mm)						・約450 ・約600												材 質		厚さ (mm)	高さ (mm)	備考		※網入り磨板ガラス		※6.8	※500	アルミ製枠付き		・線入り磨板ガラス		・	・			・可動式						種類		材質	高さ (mm)	備考		・垂直降下式 (巻取り型)		※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)		・回転降下式		鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・		降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)												照明器具 ※有り ・無し						施錠 ※有り ・無し												材質、形状、寸法 ※図示 ()						合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量						※1各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による。												種 類		※コンクリートブロック製 (市販品) ・花こう石類 (文字記号等入り)				設置方法						根切り底を突き締めたうえ、厚さ60mmの砂利地業を行い、コンクリートで根巻きして建て込む。						建て込みは監督職員の立ち会いのもと行う。						コンクリートの調合		容積比	セメント1：砂2：砂利4	程度		・旗 竿	・旗竿受金物	・車止め支柱	・フェンス	・ブロックコンクリート 間知ブロック積み	・鋼製書架 及び物品棚	・屋内揭示板	・洗面カウンター	・防煙垂れ壁	・屋外揭示板	・収納家具	・敷地境界石標
	材 種	寸 法	形 式		枠の許容差	受枠と蓋枠のクリアランス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	受枠、蓋枠とも ±0.5mm 以内 片側 2.0mm以内																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	一般形：パッキンを装着しないもの、又はがたつき防止用パッキンを装着したもの 密閉形：ボルト、ナット等のメカニカル構造にパッキンを装着したもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	材料の品質及び性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	使用部位	材 料	屋 内 外 用		屋 内 用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	受枠材 蓋枠材	アルミニウム合金 押出形材	JIS H 4100 A6063S-T5 表面処理：標準仕様書 表14.2.1のAB-1種、AB-2種、BB-1種、BB-2種			鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3313 SEHC) の類に 一般さび止めペイント (JIS K 5621) 、 又はメラミン樹脂焼付塗装 等の防錆処理をおこなったもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		ステンレス	JIS G 4305 SUS304 表面仕上：HL 又は No.2B程度 (目地ともの場合)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		鋼材	－																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	二重蓋の中蓋	鋳鉄	JIS G 5501 FC150, FC200																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
目地材	黄銅	JIS H 3100 C2600, C2720, C2801P JIS H 3250 C2602, C3604B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	ステンレス	JIS G 4305, JIS G 4308 SUS304																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
底板材	ステンレス鋼板	JIS G 4305, JIS G 4308 SUS 304			JIS G 4305 SUS430																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
コーナービス	アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24)			－																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
底板補強材		表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)			鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3313 SEHC) の類に一般 さび止めペイント (JIS K 5621) 、 又はメラミン樹脂焼付塗装等の 防錆処理をおこなったもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	鋼材	－																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
錠		亜鉛合金製 (クロムめっき) 黄銅製、ステンレス製の類			－																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
開閉方式		施錠・開錠は、錠又は開閉用ハンドル式とする																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
パッキン材		塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スチレンブタジエン 枠の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
アンカー材	鋼材	電気亜鉛めっき又は防錆塗料をおこなったもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
取っ手		黄銅鑄物製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鑄物製、 ステンレス鑄鋼品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、 合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
蓋の耐荷重性能		蓋中央部が荷重値 Pn=1,000N において残留たわみが点検 口の有効径の 0.08% 以内 であること。 受け枠・蓋その他に使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値の Pn の2倍以上であること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
材 種	形 式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・アルミニウム合金製 ・	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
材種 ※ステンレス製 (SUS304) ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
形 式		材 種	柱径、肉厚(mm)		高さ(m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・上下式額内蔵式 (・標準品 ・スプリング式) ・		・ステンレス製 ・	・φ76.3 t=2.0 ・		・GL+700 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
フェンスの種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
高 さ		()	・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
コンクリートの設計基準強度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m ³ を満足する調合強度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
配筋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
取付け方法 ※図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
(20.4.2、3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
材 種		種 類	質量区分		備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・間知石		・花こう岩 ・凝灰岩	－		－																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・コンクリート間知ブロック			・A ・B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
積み方		※谷積み ・布積み																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
目塗り		() ・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
伸縮調整目地		材種及び厚さ	() ・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
種 類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
規格等		JISによる種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種	・2種	・3種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・鋼製物品棚		・4種	・5種	・6種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
枠の材質 ※アルミニウム製																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
材種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・メラミン樹脂化粧板張り (心材：集成材) ・人工大理石																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
奥行き (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・約450 ・約600																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
材 質		厚さ (mm)	高さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
※網入り磨板ガラス		※6.8	※500	アルミ製枠付き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・線入り磨板ガラス		・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・可動式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種類		材質	高さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・垂直降下式 (巻取り型)		※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・回転降下式		鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
照明器具 ※有り ・無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
施錠 ※有り ・無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
材質、形状、寸法 ※図示 ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
※1各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種 類		※コンクリートブロック製 (市販品) ・花こう石類 (文字記号等入り)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設置方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
根切り底を突き締めたうえ、厚さ60mmの砂利地業を行い、コンクリートで根巻きして建て込む。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
建て込みは監督職員の立ち会いのもと行う。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
コンクリートの調合		容積比	セメント1：砂2：砂利4	程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・耐震スリット	<table><tr><td>方 向</td><td>幅 (mm)</td><td>タ イ プ</td><td>耐火性能</td><td>防水性能</td><td>備 考</td></tr><tr><td>・垂直方向 ・水平方向</td><td>・25 ・</td><td>※完全 (全貫通型) ・</td><td>・耐火型 ・非耐火型</td><td>・有り ・無し</td><td></td></tr><tr><td colspan="6">目地 (目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による)</td></tr><tr><td>目 地</td><td colspan="2">内 壁</td><td colspan="3">外 壁</td></tr><tr><td>目地材</td><td colspan="2">・シーリング材 (見え掛かり部のみ) ・</td><td colspan="3">・シーリング材 (見え掛かり部のみ) ・シーリング材 (内外とも)</td></tr><tr><td>目地寸法 (mm)</td><td colspan="2">※スリット幅 × 深さ 10</td><td colspan="3">※スリット幅 × 深さ 10</td></tr></table>	方 向	幅 (mm)	タ イ プ	耐火性能	防水性能	備 考	・垂直方向 ・水平方向	・25 ・	※完全 (全貫通型) ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し		目地 (目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による)						目 地	内 壁		外 壁			目地材	・シーリング材 (見え掛かり部のみ) ・		・シーリング材 (見え掛かり部のみ) ・シーリング材 (内外とも)			目地寸法 (mm)	※スリット幅 × 深さ 10		※スリット幅 × 深さ 10			・止水板	<table><tr><td>形状</td><td>・差込式</td><td>・据置式</td><td>・壁張り式</td></tr><tr><td>設置箇所</td><td colspan="3">※図示</td></tr></table>	形状	・差込式	・据置式	・壁張り式	設置箇所	※図示			・エキスパンション ジョイント金物	材 質	・アルミニウム ・ステンレス	クリアランス	・50 ・100 ・150	耐火性能	・有り () ・無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
方 向	幅 (mm)	タ イ プ	耐火性能	防水性能	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・垂直方向 ・水平方向	・25 ・	※完全 (全貫通型) ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
目地 (目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
目 地	内 壁		外 壁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
目地材	・シーリング材 (見え掛かり部のみ) ・		・シーリング材 (見え掛かり部のみ) ・シーリング材 (内外とも)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
目地寸法 (mm)	※スリット幅 × 深さ 10		※スリット幅 × 深さ 10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
形状	・差込式	・据置式	・壁張り式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
設置箇所	※図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・くつふきマット	材 種		受け枠		備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼 (SUS304) 製 ・		・ステンレス鋼 (SUS304) ・硬質アルミニウム合金 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・流し台ユニット	材 種	寸法 (mm)		備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		W	D	H																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 水封50mm以上のトラップ付 天板ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・吊り戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・水切り棚	・1200 ・900 ・600	－	－	市販品 ステンレス製 ・1段式 ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
品質・性能	JIS A 4420による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
形状	※図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

 ・旗 竿 | ・旗竿受金物 | ・車止め支柱 | ・フェンス | ・ブロックコンクリート 間知ブロック積み | ・鋼製書架 及び物品棚 | ・屋内揭示板 | ・洗面カウンター | ・防煙垂れ壁 | ・屋外揭示板 | ・収納家具 | ・敷地境界石標 || ・排水工事 | ・排水工事 | ・排水工事 | ・排水工事 | ・排水工事 | ・排水工事 | ・排水工事 | ・排水工事 | ・排水工事 | ・排水工事 | ・排水工事 | ・排水工事 | ・排水工事 | ・排水工事 |
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事
・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	・排水工事	<				

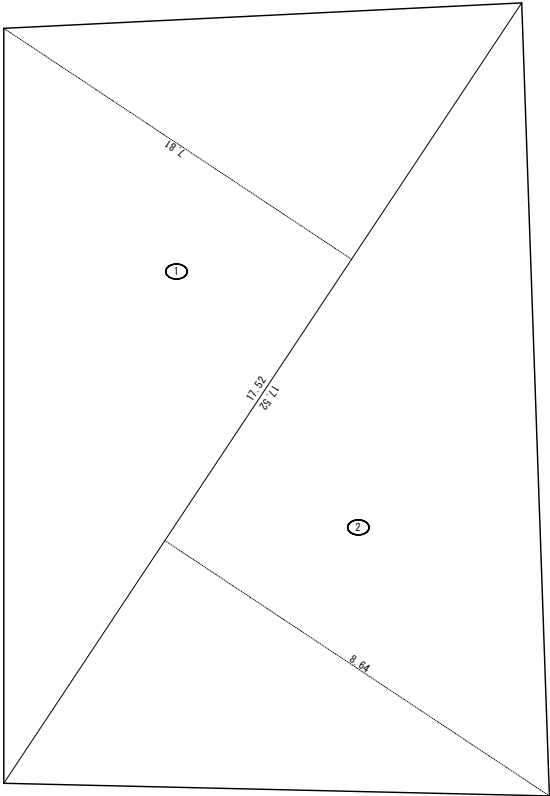


付近見取図 S=1:10000



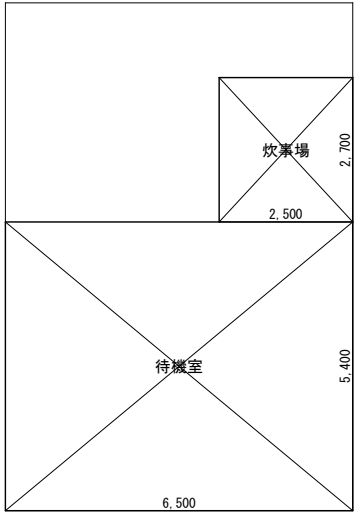
配置図 S=1:100

工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明
図 名 付近見取図, 配置図		縮 尺 1 / 100, 10000 A2(100%), A3(70, 7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. A — 01	製 図	一級建築士登録第370400号 山 本 優 太



敷地面積求積図 S=1:100

番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	17.52	7.81	136.8312	68.41560
2	17.52	8.64	151.3728	75.68640
合 計				144.10200
敷 地 面 積				144.10 m ²



居室床面積求積図 S=1:100

■居室部屋別面積表

項 目		計 算 式	計 算 結 果	面 積
2階	待機室	6.500*5.400	35.100000	
		計	35.100000	35.10 m2
	炊事場	2.500*3.100	7.750000	
		計	7.750000	7.75 m2

■排煙・採光・換気計算表

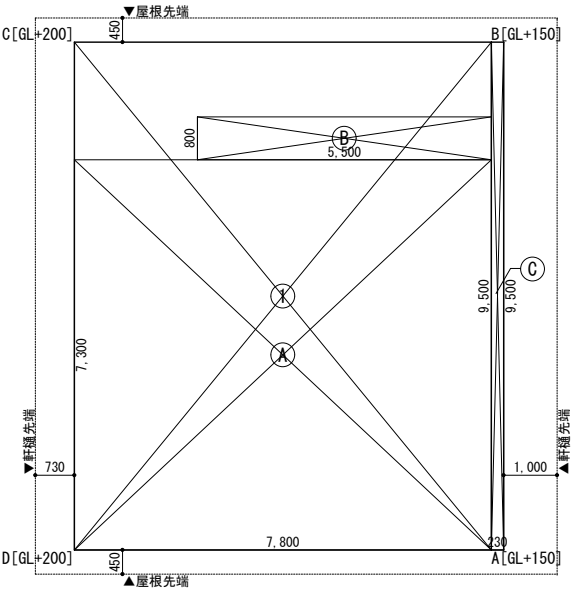
階	室 名	床面積 (A)	排 煙				判定	採 光										換 気				判定				
			必要面積 1/50	有 効 面 積				必要面積 1/20	窓 の 面 積			採光補正係数A=d/h*α-β				有効採光面積	必要面積 1/20	有 効 面 積								
				建具	計算式	面積			建具	計算式	面積	d	h	α	β			A	A補正	建具	計算式		面積			
2階	待機室	35.1	0.702	有効面積 計			OK	1.755	有効面積 計			有効面積 計				19.2107	OK	1.755	有効面積 計			5.0250	OK			
				AW2	(1.80)/2*0.20	0.1800			AW2	(1.80)*0.90	1.6200	0.070	1.340	10	1				-0.4776	0.0000	0.0000			AW2	(1.80)/2*0.90	0.8100
				AW7	(1.75*2)/2*0.20	0.3500			AW7-1	(1.75)*0.90	1.5750	0.440	2.530	10	1				0.7391	0.7391	1.1641			AW7	(1.75*2)/2*0.90	1.5750
				AW8	(1.465*2+1.47)/2*0.5	1.1000			AW7-2	(1.75)*0.90	1.5750	0.485	2.020	10	1				1.4010	1.4010	2.2066			AW8	(1.465*2+1.47)/2*1.20	2.6400
									AW8-1	(1.465)*1.20	1.7580	2.040	1.190	10	1				16.1429	3.0000	5.2740					
									AW8-2	(1.47)*1.20	1.7640	1.985	1.190	10	1				15.6807	3.0000	5.2920					
									AW8-3	(1.465)*1.20	1.7580	1.930	1.190	10	1				15.2185	3.0000	5.2740					
	炊事場	7.75	0.155	有効面積 計			OK	0.3875	有効面積 計			有効面積 計				1.9125	OK	0.3875	有効面積 計			0.6375	OK			
				AW9	(0.425*2)*0.25	0.2125			AW9-1	(0.425)*0.75	0.3188	1.860	1.415	10	1				12.1449	3.0000	0.9563			AW9	(0.425*2)*0.75	0.6375
									AW9-2	(0.425)*0.75	0.3188	1.840	1.415	10	1				12.0035	3.0000	0.9563					

■面積表

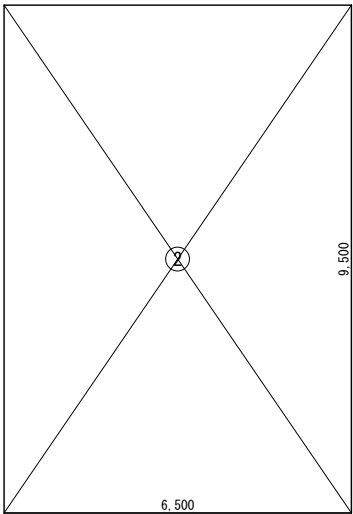
項 目	記 号	計 算 式	計 算 結 果	面 積
床 面 積	1階	1 7.800*9.500	74.100000	
		1階床面積 計		74.10 m2
	2階	2 6.500*9.500	61.750000	
		2階床面積 計		61.75 m2
	延 床 面 積			135.85 m2
	車庫部分	A 7.800*7.300	56.940000	
		B 5.500*0.800	4.400000	
車庫部分の面積		61.340000 61.34 m2		
建 築 面 積	建物	1 7.800*9.500	74.100000	
		C 0.230*9.500	2.185000	
	建 築 面 積			76.285000 76.28 m2

■平均地盤面算定表

地点	高さ	距離	高さ×距離	平均地盤面 (GL)
A	0.150 m	9.500 m	1.425 m2	0.175000 m ≒ 0.18 m
B	0.150 m		1.170 m2	
C	0.200 m	9.500 m	1.900 m2	
D	0.200 m	7.800 m	1.560 m2	
A	0.150 m	6.500 m	0.975 m2	
合計		34.600 m	6.055 m2	



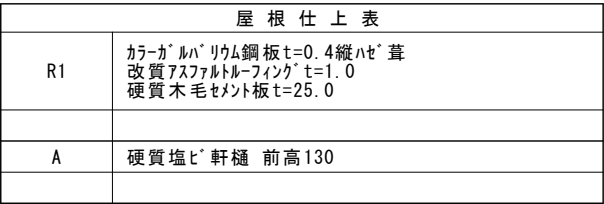
(建築面積・1階床面積)



(2階床面積)

建築・床面積求積図 S=1:100

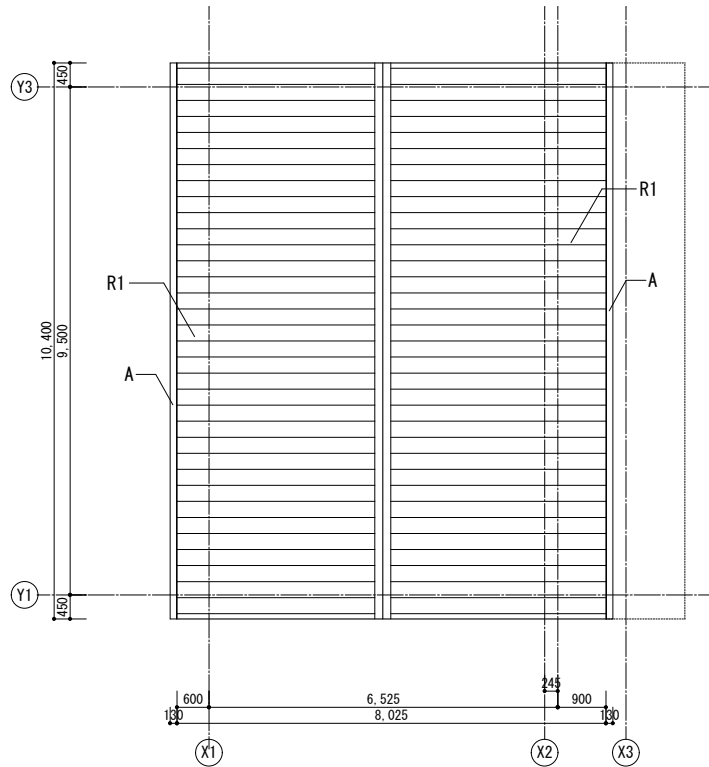
工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
	図 名 面積表, 排煙・採光・換気計算	縮 尺 1 / 100 A2(100%), A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. A — 02	製 図 一級建築士登録第370400号 山 本 優 太	



内 部 仕 上 表								
階	室 名	床	腰壁 / 巾木	壁	天 井	廻 り 縁	天 井 高 さ	備 考
1階	車庫	コンクリート直均しの上コンクリート表面強化剤塗	コンクリート打放し (B種)	石膏ボードt=12.5+けい酸カルシウム板t=6, EP-G塗	天井裏見出し 一部 けい酸カルシウム板t=6, EP-G塗	---	---	
	階段下物置	コンクリート直均しの上コンクリート表面強化剤塗	コンクリート打放し (B種)	石膏ボードt=12.5+けい酸カルシウム板t=6, EP-G塗	けい酸カルシウム板t=6, EP-G塗	塩ビ廻縁	1,000 ~2,300	
	玄関・階段室	コンクリート直均しの上コンクリート表面強化剤塗、 階段部コンクリート直均しの上ビニルシート張	コンクリート打放し (B種)	石膏ボードt=12.5+9.5, ビニルクロス張り	石膏ボードt=9.5, ビニルクロス張	塩ビ廻縁	---	
	トイレ	コンクリート直均しの上ビニルシート張	コンクリート打放し (B種)	石膏ボードt=12.5+9.5, ビニルクロス張り 一部 石膏ボードt=12.5+シーリング 石膏ボード9.5, ビニルクロス張り	石膏ボードt=9.5, ビニルクロス張	塩ビ廻縁	2,400	
	脱衣室	コンクリート直均しの上ビニルシート張	コンクリート打放し (B種)	石膏ボードt=12.5+シーリング 石膏ボード9.5, ビニルクロス張り	石膏ボードt=9.5, ビニルクロス張	塩ビ廻縁	2,400	
	シャワー室	---	---	---	---	---	---	シャワーユニット新設 (JSV0808UL同等品)
2階	待機室	畳敷き, 一部積層フローリング 張t=12	木製巾木H=60	石膏ボードt=12.5+9.5, ビニルクロス張り	石膏ボードt=9.5, ビニルクロス張	塩ビ廻縁	2,700	※VOC測定
	炊事場	積層フローリング 張t=12	木製巾木H=60	石膏ボードt=12.5+9.5, ビニルクロス張り 一部 石膏ボードt=12.5+化粧板けい酸カルシウム板t=6.	石膏ボードt=9.5, ビニルクロス張	塩ビ廻縁	2,500	キッチン新設 (アイ1型1307H同等品), ※VOC測定
	廊下	積層フローリング 張t=12	木製巾木H=60	石膏ボードt=12.5+9.5, ビニルクロス張り	石膏ボードt=9.5, ビニルクロス張	塩ビ廻縁	2,500	
	トイレ	ワン合板t=9の上ビニルシート張	ビニル巾木H=100	石膏ボードt=12.5+9.5, ビニルクロス張り 一部 石膏ボードt=12.5+シーリング 石膏ボード9.5, ビニルクロス張り	石膏ボードt=9.5, ビニルクロス張	塩ビ廻縁	2,500	
	物置	ワン合板t=9の上ビニルシート張	ビニル巾木H=100	石膏ボードt=12.5+9.5, ビニルクロス張り	石膏ボードt=9.5, ビニルクロス張	塩ビ廻縁	2,500	
	押入	シ合板t=9	雑巾摺	押入用石膏ボードt=12.5	石膏ボードt=9.5, ビニルクロス張	塩ビ廻縁	2,400	

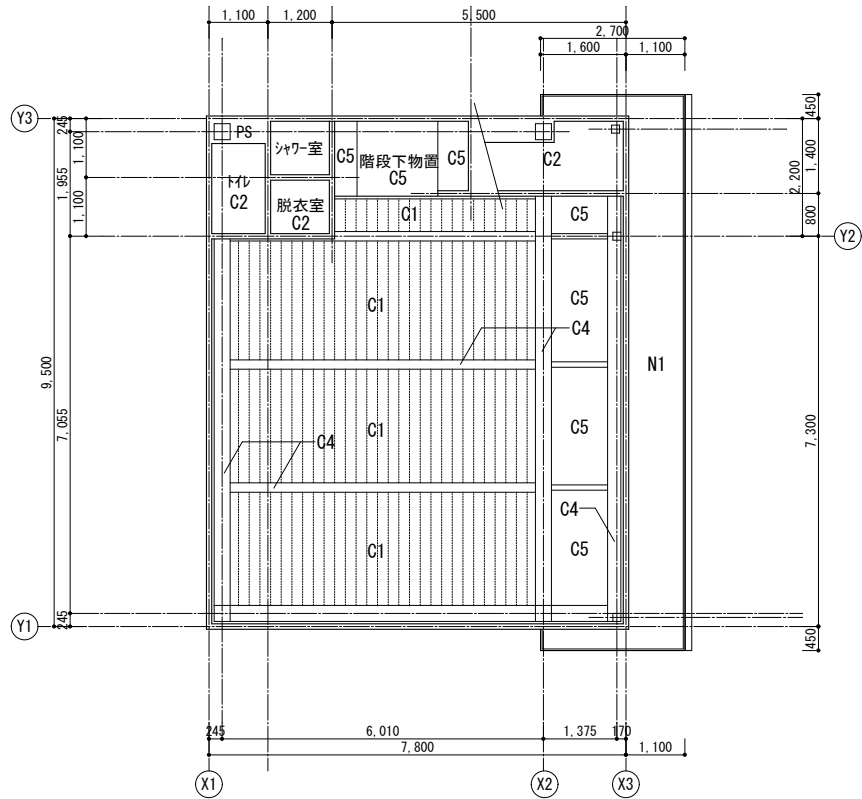
防火材料認定番号		
名称	規格番号	防火材料認定番号
石膏板・ド t=9.5	JIS A 6901	QM-9828
化粧石膏板・ド t=9.5	JIS A 6901	QM-0524
石膏板・ド t=12.5	JIS A 6901	NM-8619
押入用石膏板・ド t=12.5	JIS A 6901	NM-1734
シーリング石膏板・ド t=12.5	JIS A 6901	NM-9639
けい酸カルシウム板 t=6.0, 8.0	JIS A 5430	NM-3522
ビニルクロス	JIS A 6921	不燃認定品

工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明
図 名 平面図、仕上表	縮 尺 1 / 100 A2(100%)、A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. A — 03	製 図	一級建築士登録第370400号 山 本 優 太

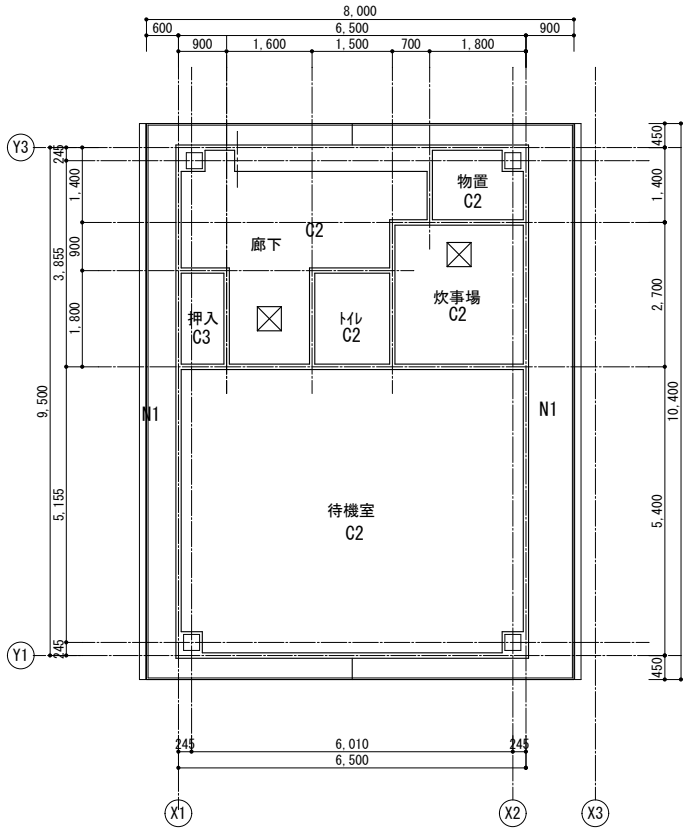


屋根仕上表	
R1	カラーガルバリウム鋼板t=0.4縦ハセ'葺 改質アスファルトルーフィング' t=1.0 硬質木毛セメント板t=25.0
A	硬質塩ビ'軒樋 前高130

天井・軒天仕上表	
C1	デッキ裏見出し -
C2	石膏ボード' t=9.5, ビニルクロス張 塩ビ'廻縁
C3	押入用石膏ボード' t=9.5 塩ビ'廻縁
C4	鉄部見出しSOP塗 -
C5	けい酸カルシウム板t=9, EP-G塗 塩ビ'廻縁
N1	窯業系サイディング' t=12(木目調)張
A	硬質塩ビ'軒樋 前高130



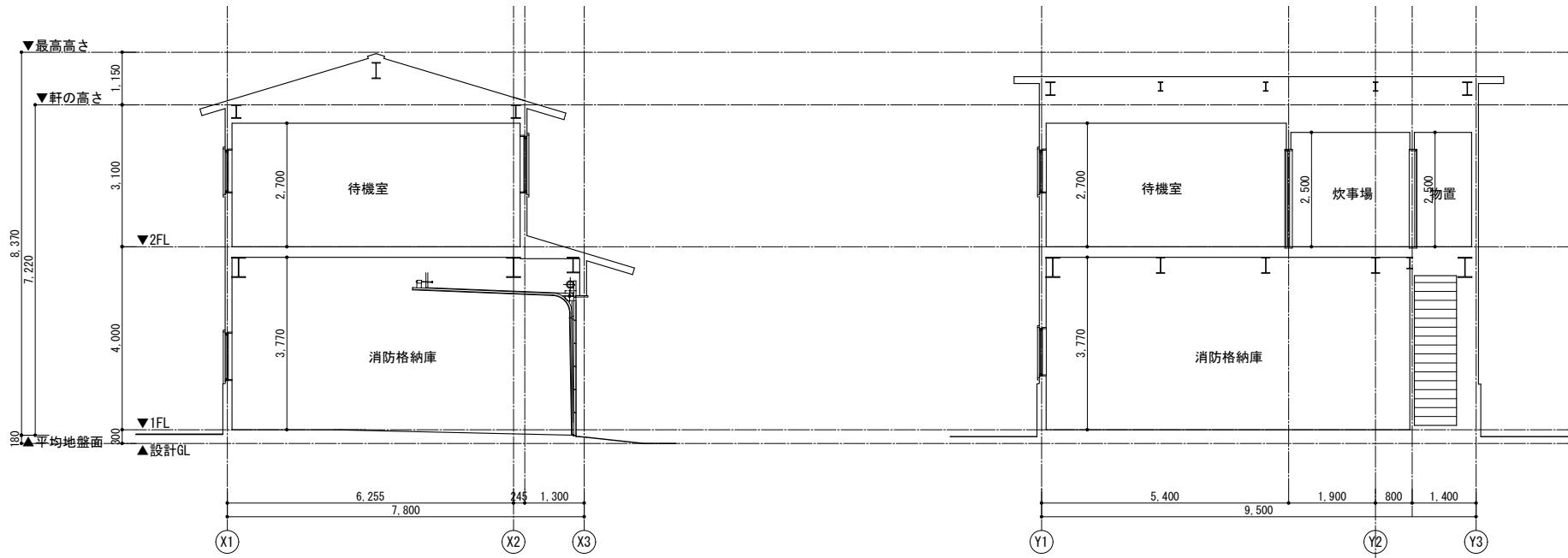
1階平面図 S=1:100



2階平面図 S=1:100

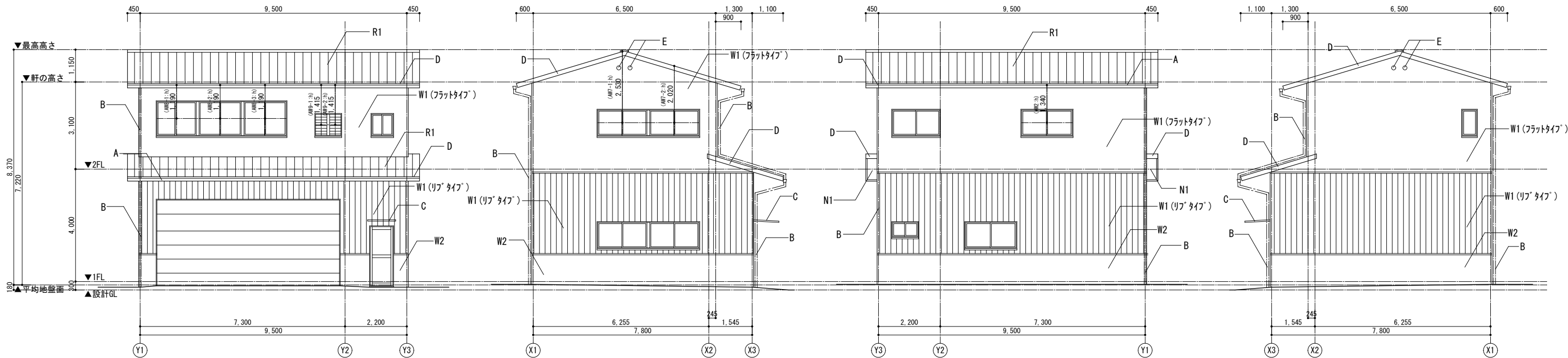
⊠ 天井点検口450×450

工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 屋根伏図, 天井伏図		縮 尺 1 / 100 A2(100%), A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. A — 04	製 図 一級建築士登録第370400号 山 本 優 太	



断面図(1) S=1:100

断面図(2) S=1:100



東面立面図 S=1:100

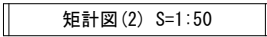
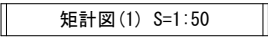
南面立面図 S=1:100

西面立面図 S=1:100

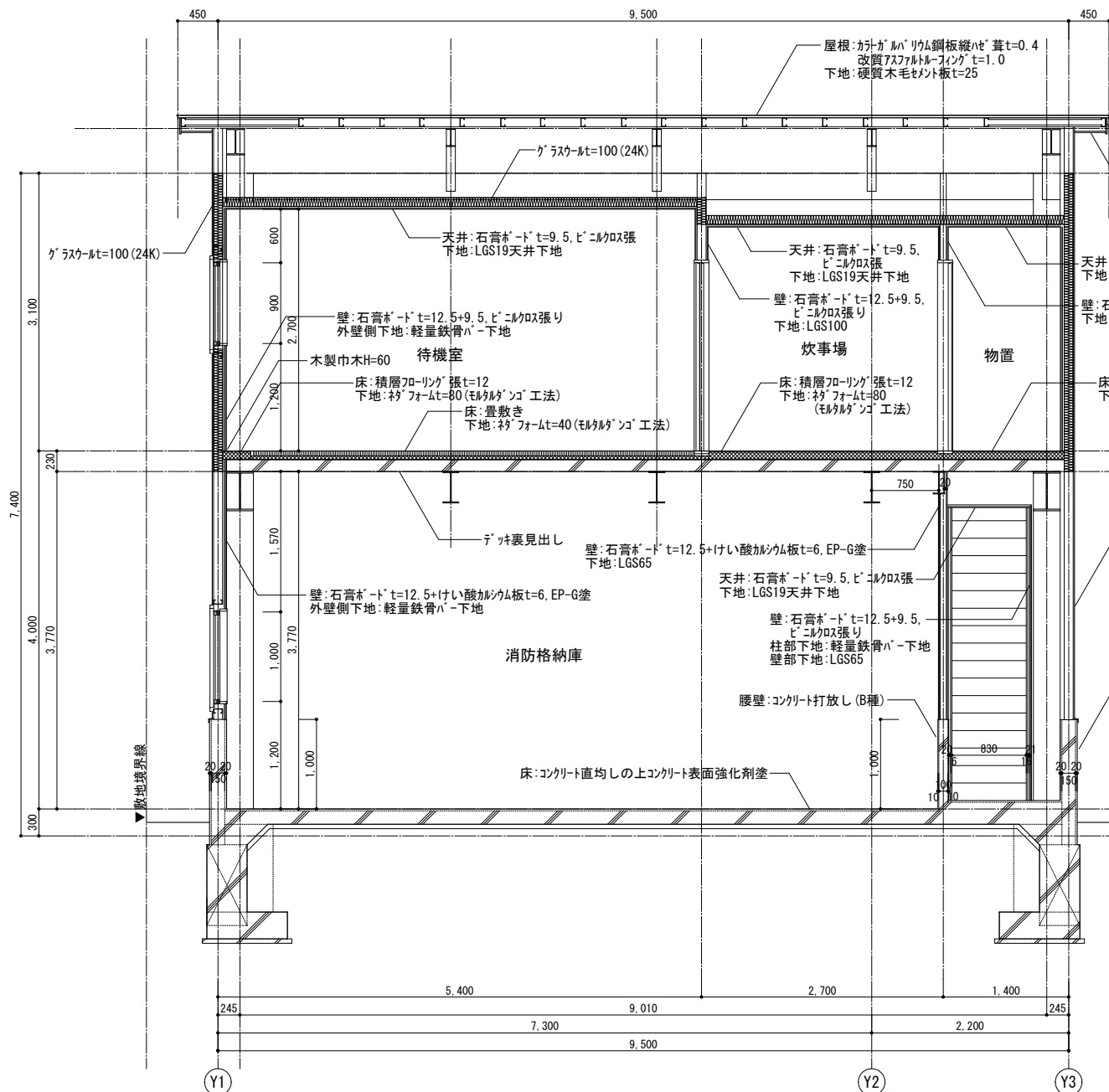
北面立面図 S=1:100

仕上表		
部位	記号	仕上
屋根	R1	カラーガルバリウム鋼板t=0.4縦バネ葺
	N1	窯業系サイディングt=12(木目調)張
外壁	W1	金属サイディングt=15
	W2	コンクリート打放し(B種)
その他	A	塩ビ既成軒樋 前高130
	B	カラーVP管75φ (SUS掴み金物@1000)
	C	既成75mm庇
	D	窯業系破風板t=16
	E	アルミ換気フード150φ

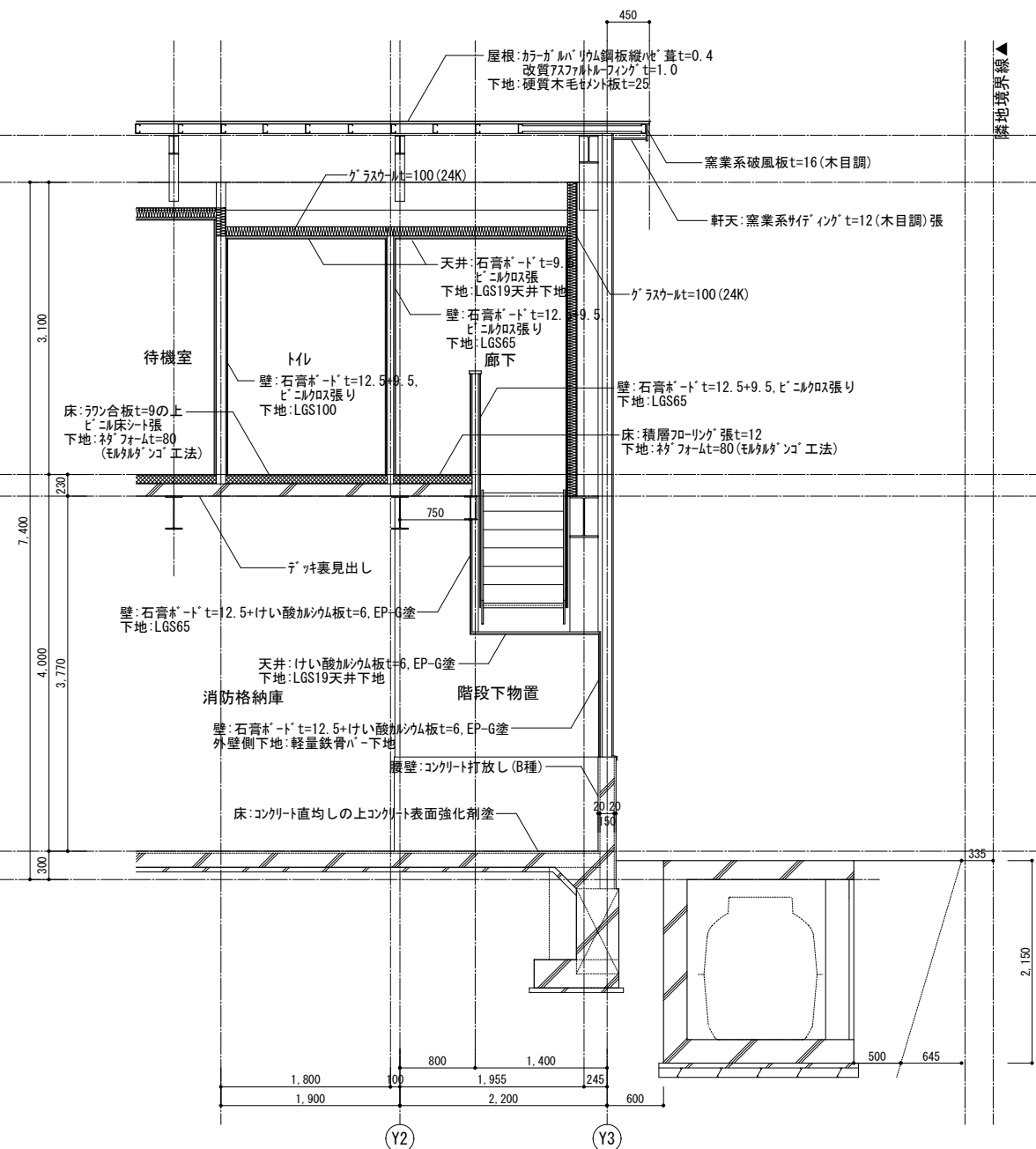
工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明
	図 名 断面図, 立面図	縮 尺 1 / 100 A2(100%), A3(70, 7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. A — 05	製 図 一級建築士登録第370400号 山 本 優 太



工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 矩計図	縮 尺 1 / 50 A2(100%) A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. A — 06	製 図	一級建築士登録第370400号 山 本 優 太	

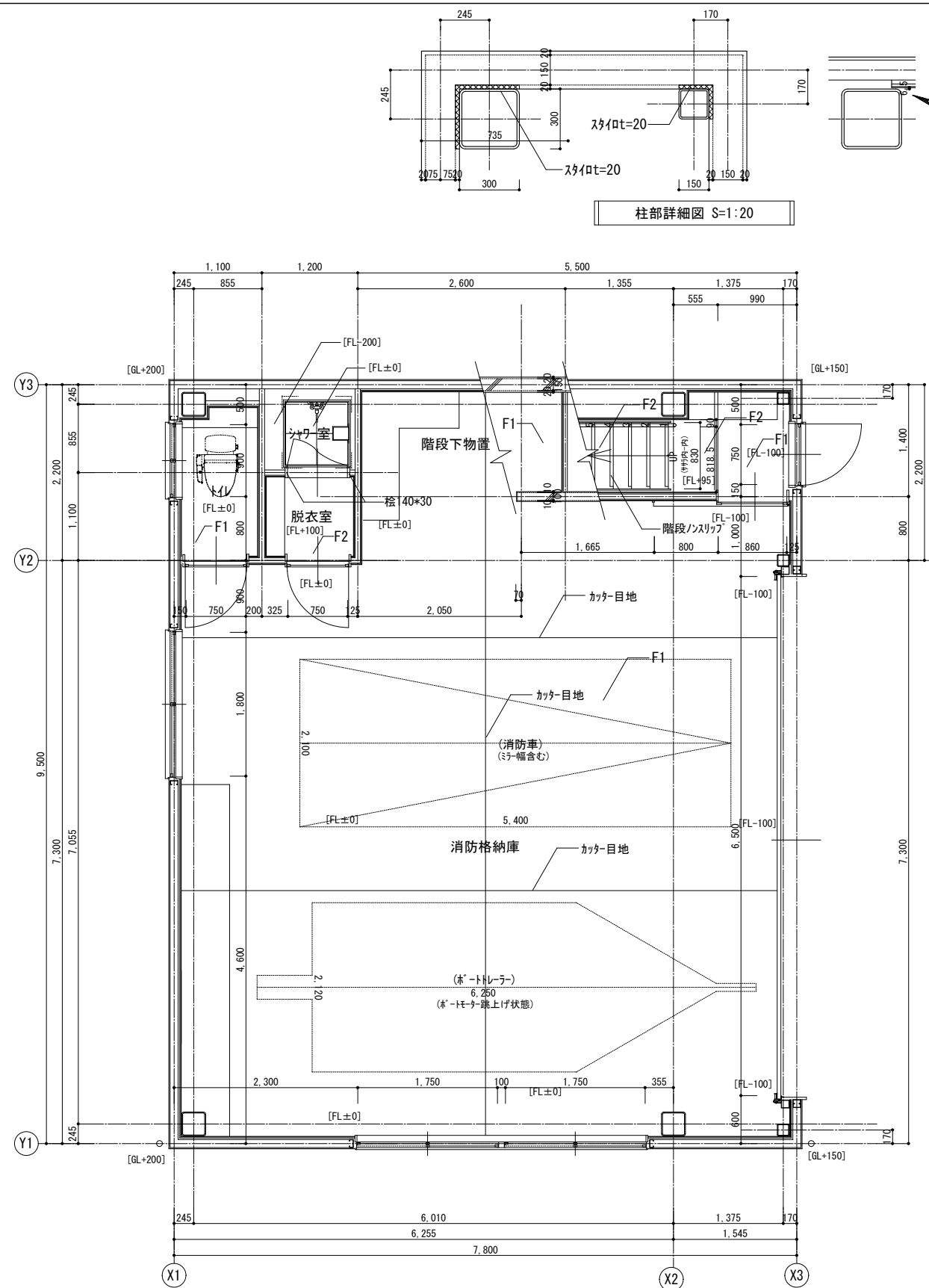


断面詳細図 (1) S=1:50



断面詳細図 (2) S=1:50

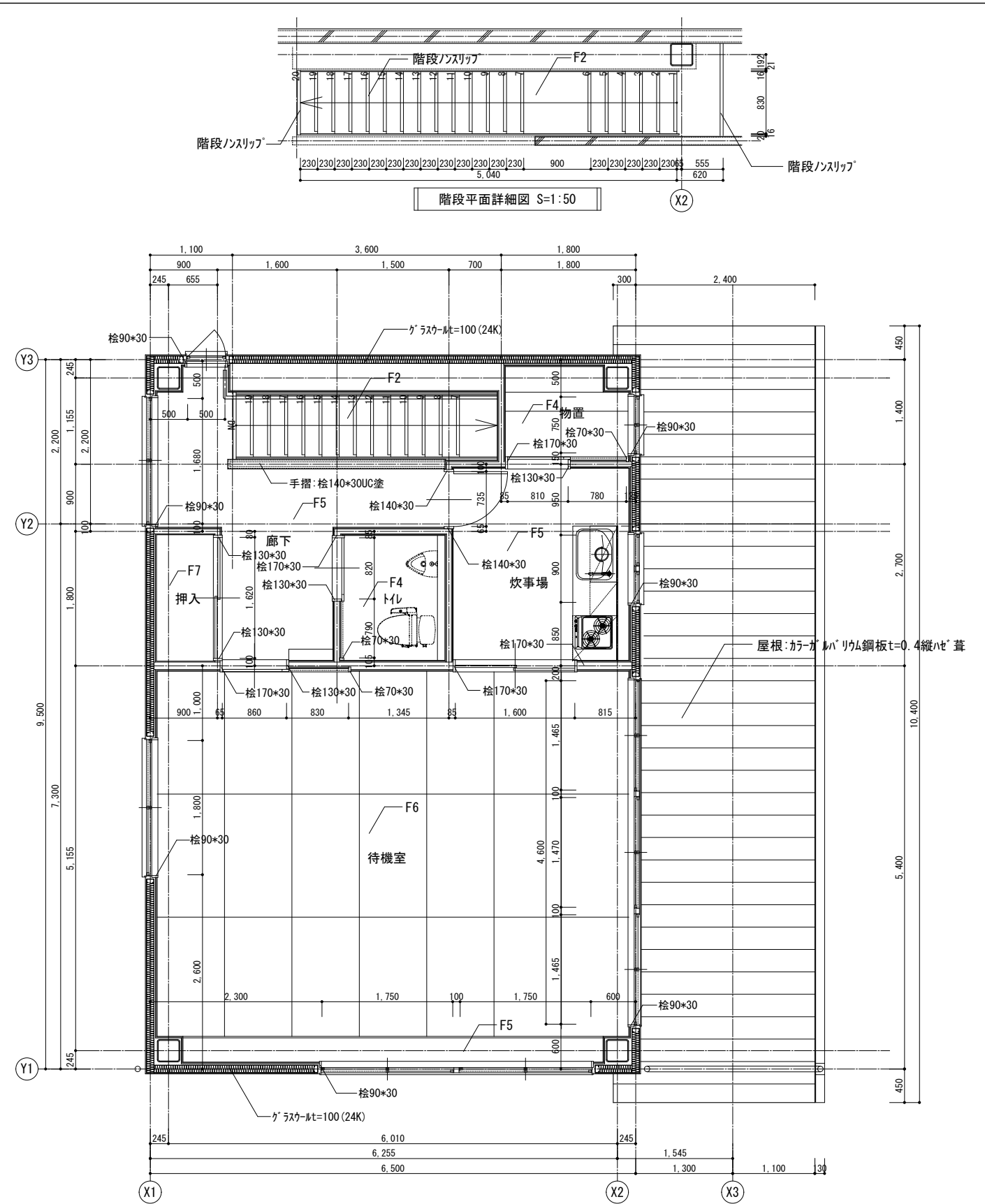
工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明
	図 名 断面詳細図	縮 尺 1 / 50 A2(100%), A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. A — 07	製 図 一級建築士登録第370400号 山 本 優 太



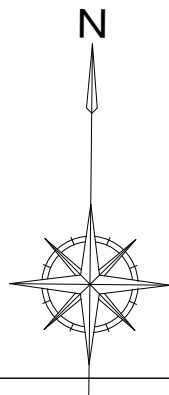
1階平面詳細図 S=1:50

※カッター目地15mm, 土間コンクリート20mm増打の上施工

床 仕 上 表	
F1	コンクリート直均しの上コンクリート表面強化剤塗
F2	コンクリート直均しの上ビニル床シート張
F3	(鉄骨階段部)コンクリート直均しの上ビニル床シート張
F4	ウツ合板 $t=9$ の上ビニル床シート張, 柵 ϕ フォーム $t=80$ 下地
F5	積層フローリング ϕ 張 $t=12$, 柵 ϕ フォーム $t=80$ 下地
F6	畳敷き, 柵 ϕ フォーム $t=40$ 下地
F7	シ合板 $t=9$, 柵 ϕ フォーム $t=80$ 下地

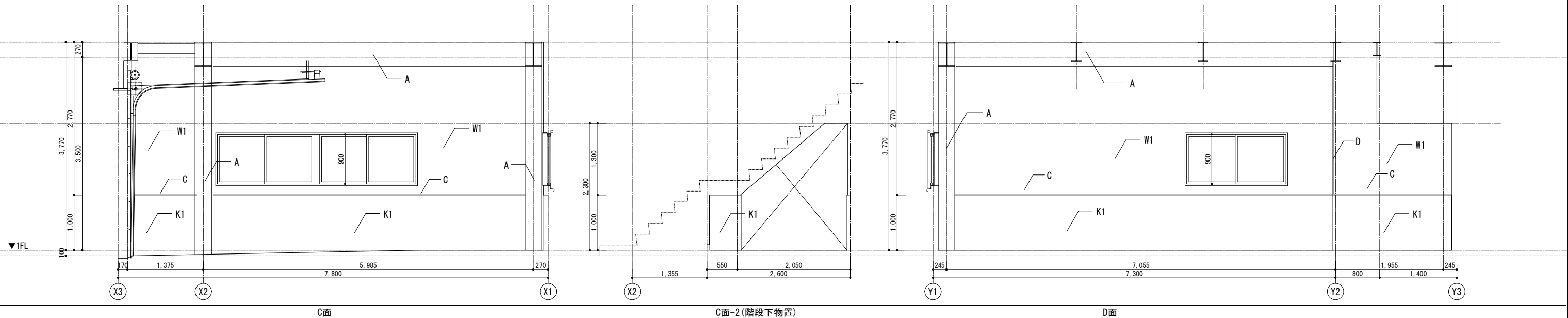
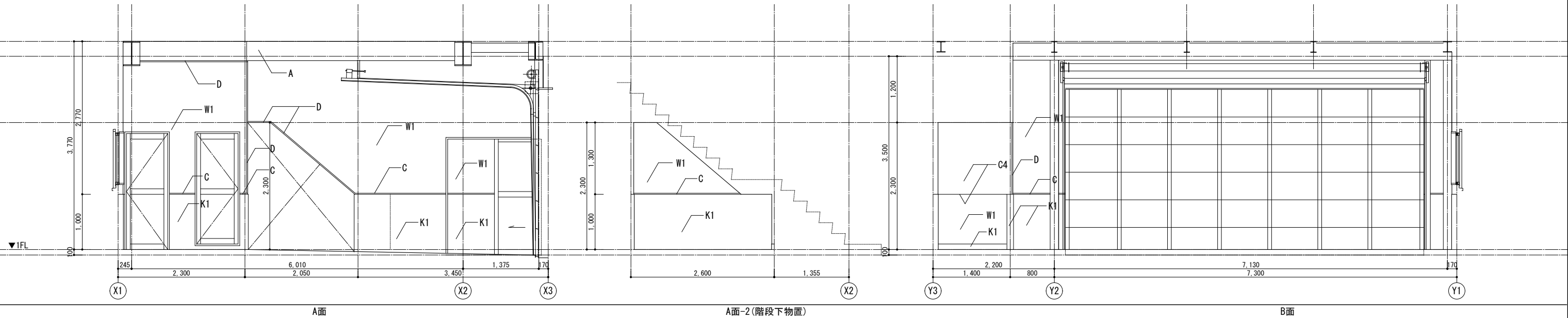


2階平面詳細図 S=1:50

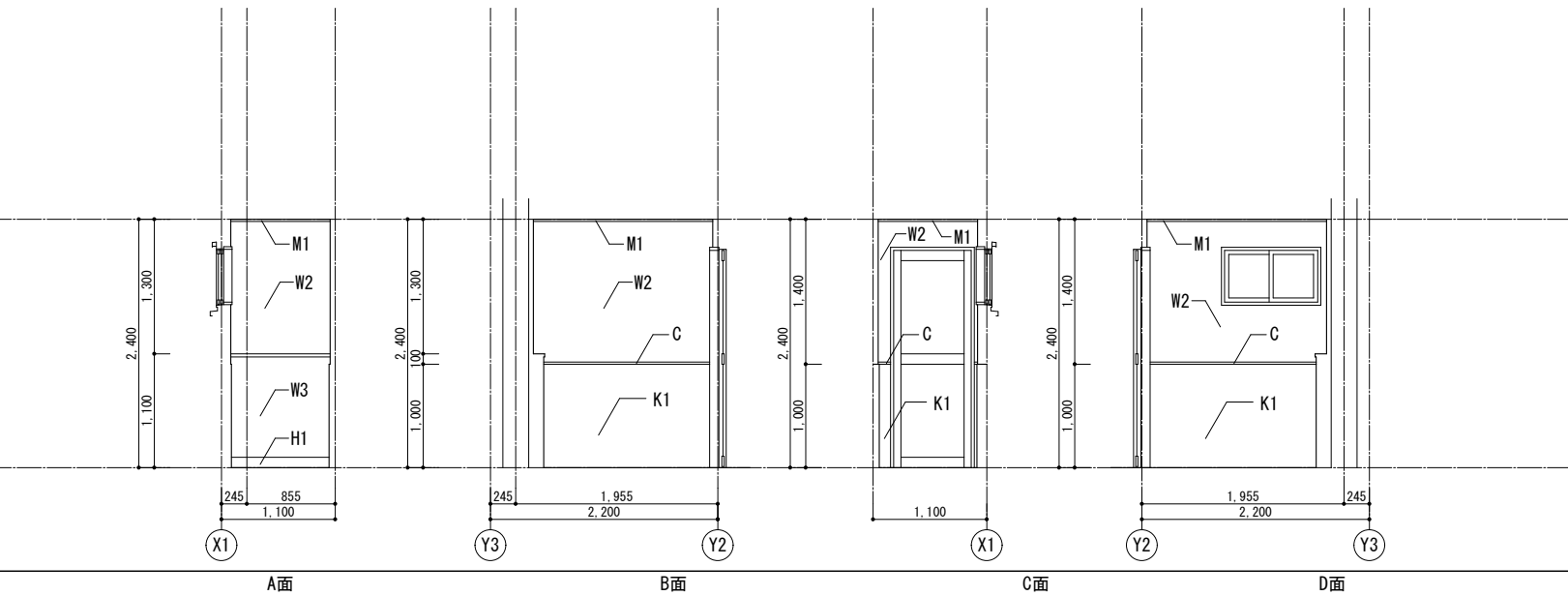


工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 098-883-1030 FAX 098-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 一
図 名 平面詳細図		縮 尺 1 / 50 A2 (100%) A3 (70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. A — 08	製 図 一級建築士登録第370400号 山 本 優 太

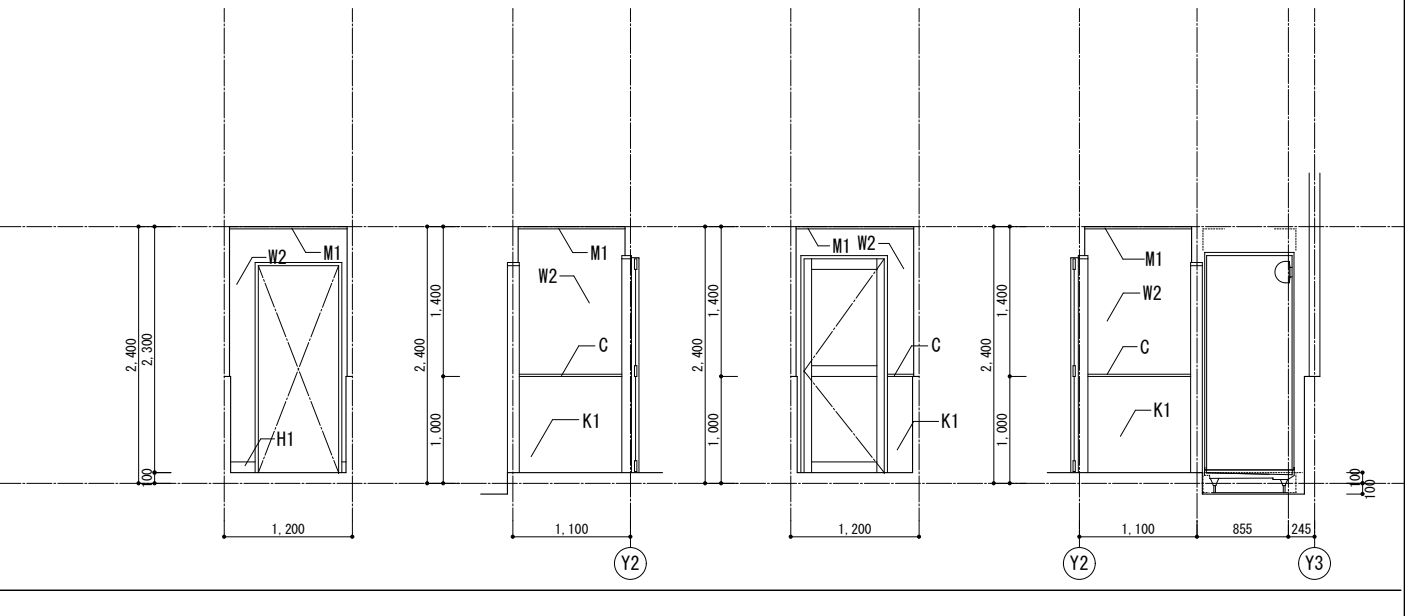
1階-消防格納庫



1階-トイレ

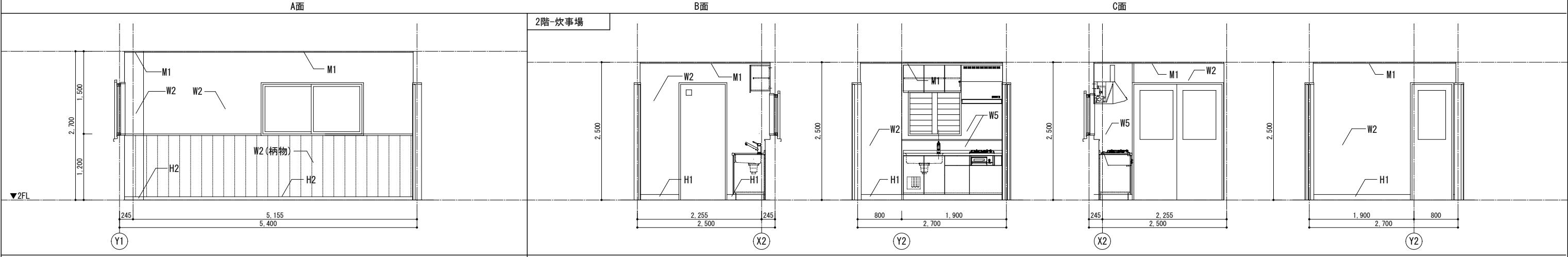
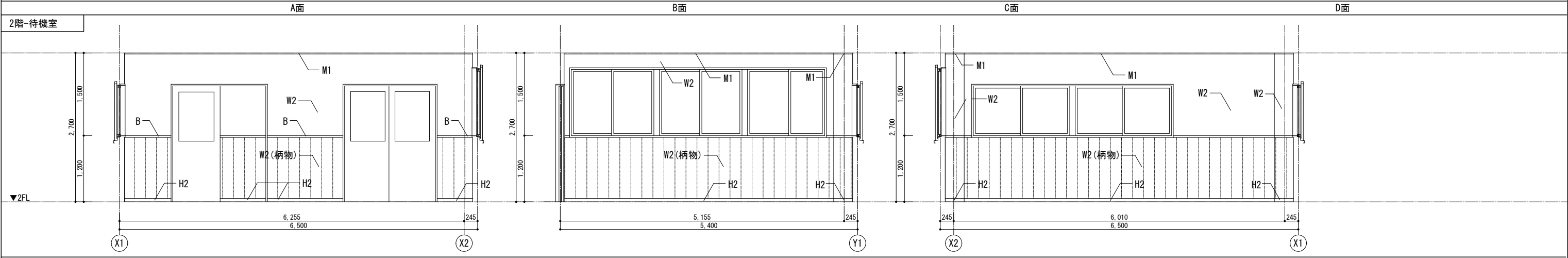
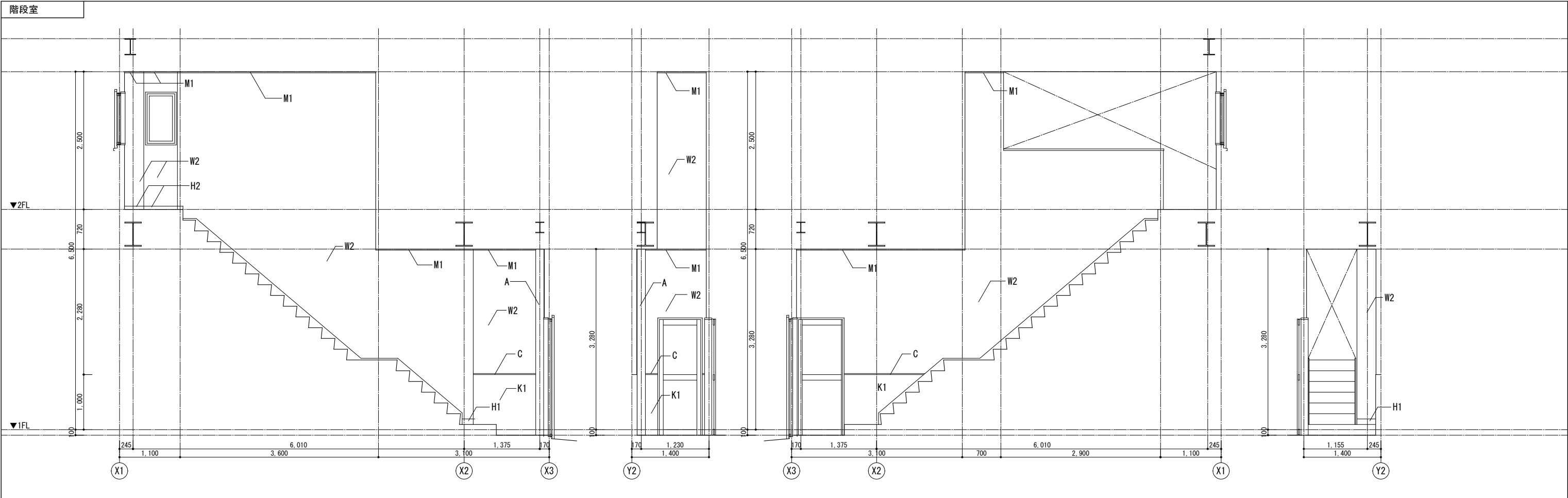


1階-脱衣室

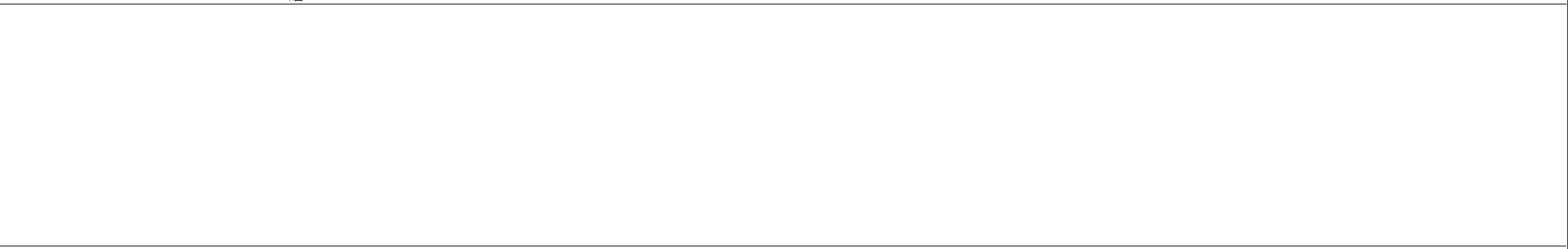
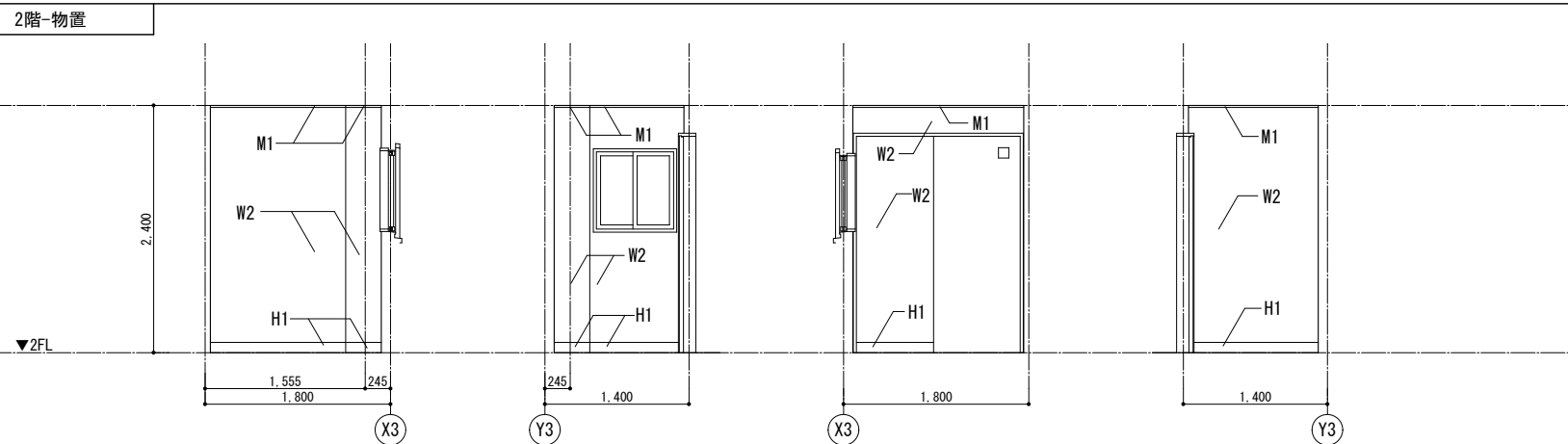
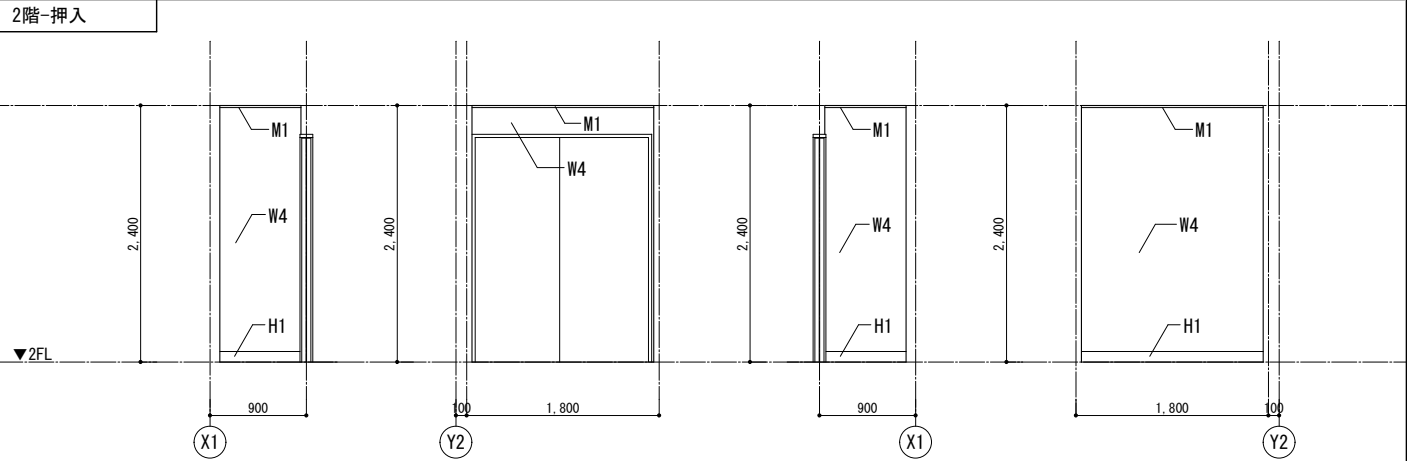
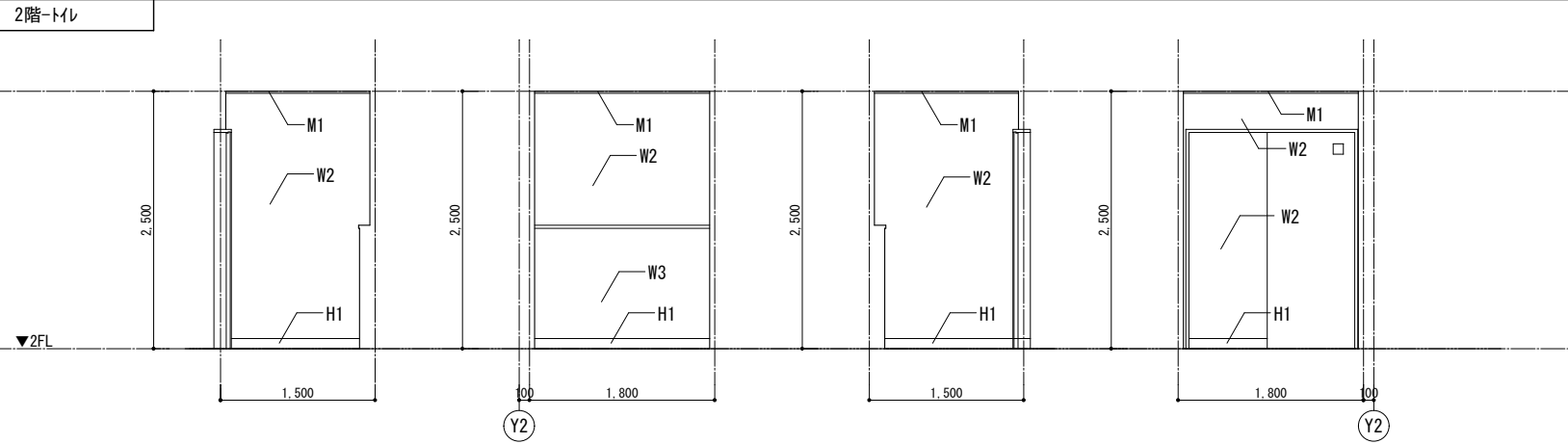
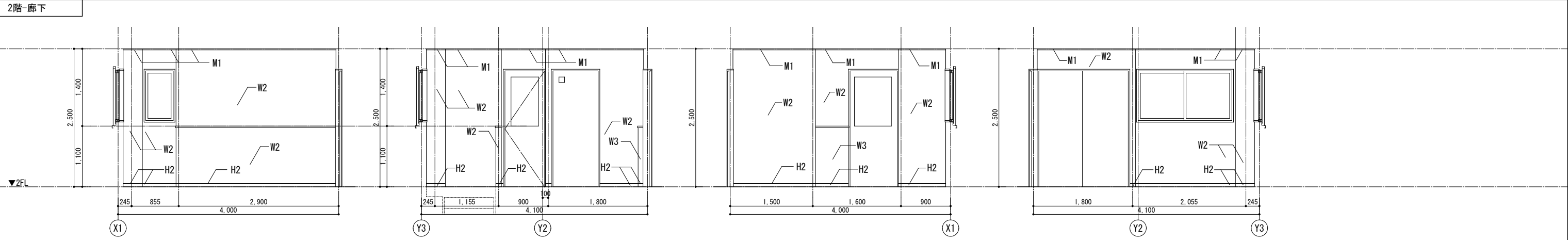


W1	石膏ボードt=12.5+けい酸カルシウム板t=6、EP-G塗	W5	石膏ボードt=12.5+化粧けい酸カルシウム板t=6	H1	ビニル幅木H=100	A	鉄部見出し S0P塗
W2	石膏ボードt=12.5+9.5、ビニル張り	K1	コンクリート打直し (B種)	H2	木製幅木H=60	B	検見切30×10 UC塗
W3	石膏ボードt=12.5+シーリング 石膏ボード9.5、ビニル張り					C	7ミリ見切材
W4	押入用石膏ボードt=12.5	C4	けい酸カルシウム板t=6、EP-G塗	M1	塩ビ廻縁	D	7ミリ見切材 (コーナー)

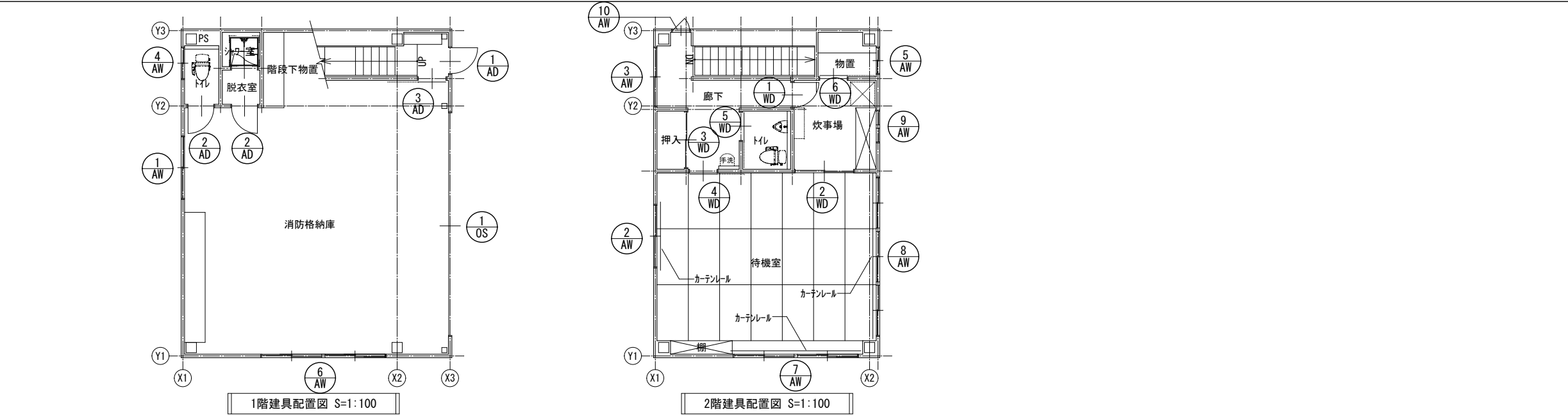
工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事		(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 展開図(1)	縮 尺 1 / 50 A2(100%) A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. A — 09	製 図	一級建築士登録第370400号 山 本 優 太	



D面				A面				B面				C面				D面			
W1	石膏ボードt=12.5+けい酸カルシウム板t=6, EP-G塗	W5	石膏ボードt=12.5+化粧けい酸カルシウム板t=6	H1	ビニル幅木H=100	A	鉄部見出し SOP塗	工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事				(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779				高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義			
W2	石膏ボードt=12.5+9.5, ビニルクロス張り	K1	コンクリート打放し (B種)	H2	木製幅木H=60	B	検見切30*10 UC塗												
W3	石膏ボードt=12.5+シーリング石膏ボード9.5, ビニルクロス張り					C	7ミリ見切材	図 名 展開図 (2)				縮 尺 1 / 50 A2 (100%), A3 (70, 7%)				図 面 No. 製 図 A — 10			
W4	押入用石膏ボードt=12.5	C4	けい酸カルシウム板t=6, EP-G塗	M1	塩ビ廻縁	D	7ミリ見切材 (コーナー)												
																管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明			
																一級建築士登録第370400号 山 本 優 太			



W1	石膏ボードt=12.5+けい酸カルシウム板t=6, EP-G塗	W5	石膏ボードt=12.5+化粧けい酸カルシウム板t=6	H1	ビニル幅木H=100	A	鉄部見出し SOP塗	工 事 名	(株) ハウジング総合コンサルタント				高知県知事登録119号	管理建築士
W2	石膏ボードt=12.5+9.5, ビニルクロス張り	K1	コンクリート打放し (B種)	H2	木製幅木H=60	B	栓見切30*10 UC塗	令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779				代表取締役 福 家 正 義	一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明
W3	石膏ボードt=12.5+シーリング石膏ボード9.5, ビニルクロス張り					C	7ミリ見切材	図 名	縮 尺	年 月 日	図 面 No.	製 図		一級建築士登録第370400号
W4	押入用石膏ボードt=12.5	C4	けい酸カルシウム板t=6, EP-G塗	M1	塩ビ廻縁	D	7ミリ見切材 (コーナー)	展開図 (3)	1 / 50 A2 (100%), A3 (70, 7%)	2025/03	A — 11		山 本 優 太	



符号	室名	数量	1 OS	1階消防格納庫	合計	1	1 AD	1階玄関	合計	1	2 AD	1階トイレ、1階脱衣室	合計	2	3 AD	1階消防格納庫	合計	1
形状寸法																		
材質・種類	見込	スチールハーフタイプ		-	7mm片開戸		70	7mm片開戸		70	7mm片引戸		70	7mm片引戸		70		
ガラス	明かり窓: アクリル板=3.0(650*90程度)				FW6.8 / AP3		FT5 / AP3		FT5 / AP3		T5 / AP3							
塗装	熱硬化性ポリエステル樹脂系塗料(工場塗装品)				-		-		-		-							
建具金物	カー鋼板t=0.5(溶融亜鉛めっき処理下地)				H, DC, LA, T, S2, AG(三方25*90)		H, DC, LO, IM, T, S1, AG(三方25*90)		H, DC, LO, IM, T, S1, AG(三方25*90)		FF, S4, AG(三方25*150)							
	3方枠:カー鋼板t=0.8(30*300), 他付属金物一式				他付属金物一式		他付属金物一式		他付属金物一式		他付属金物一式							
備考	チェーン式スタンダード型, 耐風圧1250Pa, 水圧解放装置																	
符号	室名	数量	1 AW	1階消防格納庫	合計	1	2 AW	2階待機室	合計	1	3 AW	2階廊下	合計	1	4 AW	1階トイレ	合計	1
形状寸法																		
材質・種類	見込	7mm引違窓		70	7mm引違窓		70	7mm引違窓		70	7mm引違窓		70	7mm引違窓		70		
ガラス	FW6.8				T5+A6+T5		T5+A6+T5		T5+A6+T5		FT5							
塗装	-				-		-		-		-							
建具金物	クレセント錠, 7mm水切, AG(四方25*90), 網戸				クレセント錠, 7mm水切, 桧額縁(四方25*90, UC塗), 網戸		クレセント錠, 7mm水切, 桧額縁(四方25*90, UC塗), 網戸		クレセント錠, 7mm水切, 桧額縁(四方25*90, UC塗), 網戸		クレセント錠, 7mm水切, AG(四方25*90), 網戸							
	他付属金物一式				他付属金物一式		他付属金物一式		他付属金物一式		他付属金物一式							
備考																		

建具記号			
AW	: アルミ製窓	WD	: 木製扉
AD	: アルミ製扉	WW	: 木製窓
AG	: アルミ製ガラリ窓	S	: 障子
SW	: 鋼製窓	FD	: 襖
SD	: 鋼製扉	OS	: オーバースライダー
SG	: 鋼製ガラリ	SS	: 重量シャッター
LS	: 軽量鋼製扉	PSS	: パネル, グリルシャッター
STW	: ステンレス製窓	LSS	: 軽量シャッター
STD	: ステンレス製扉	TF	: 防煙垂壁
STG	: ステンレス製ガラリ窓	TB	: トイレブース
SPT	: スチールパーティション		

ガラス記号			
F	: 型板ガラス	SR	: 熱線反射ガラス
FL	: フロート板ガラス	HA	: 熱線吸収板ガラス
FW	: 網入型板ガラス	IG	: 複層ガラス
PW	: 網入磨板ガラス	HS	: 倍強度ガラス
L	: 合わせガラス	GB	: ガラスブロック
T	: 強化ガラス	PC	: ポリカーボネイト樹脂板
FT	: 強化型板ガラス		
AP	: アルミパネル	A	: 空気層

建具金物記号			
H	: 丁番 (ステンレス)	JH	: 自由丁番
PH	: ビボットヒンジ	FH	: フロアーヒンジ
AH	: オートヒンジ	LH	: ラバトリーヒンジ
HC	: ヒンジクローザー	DC	: ドアチェック
F	: フランス落し	T	: 戸当たり
HM	: 本締錠付モノロック	LO	: レバーハンドル錠
MH	: シリンダー付ケースロック	LA	: レバーハンドル錠
BH	: 本締錠	LP	: 非常開装置付レバーハンドル錠
BHE	: 非常開装置付本締錠	OM	: 空錠
FF	: シリンダー付引き戸錠	IM	: 表示錠
SL	: シリンダー付引違戸用錠	BM	: 浴室錠
GT	: グレモン錠	AG	: アルミ額縁
PP	: 押板		
PB	: 握棒		
CH	: ケースハンドル錠		
OP	: ワンタッチ式排煙用オペレーター装置		

(90° 開き・取付位置: FL+1500以下)

査摺記号			
S1	: ステンレス査摺 (□ 型)		
S2	: ステンレス査摺 (L 型)		
S3	: ステンレス査摺 (C 型)		
			ネオブレン製パッキング
S4	: ステンレスレールM型		
S5	: ステンレスレールU型		

- 特記事項 (共通)
- 1: 建具金物は原則としてステンレス製とする。

2: ガラスの取り付けは、全てシリコン系(SR-1)とする。

3: ガラリ (ドアーガラリ共) の有効開口率は35%程度とする。

4: レバーハンドル錠、本締錠等は原則として部屋側サムターン、外部側錠の組合わせとする。

5: 扉部が柱、壁等に当たる箇所は、床付戸当たりをつけること。戸当たりの取付位置は、監督職員の指示による。

6: FH・AH・DCの開閉装置は、ストップ付とする。

7: 建具は、付属金物一式を含む。

8: 特記なきかぎり鋼製建具枠はDP塗とする。

工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事		(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 建具表(1)		縮 尺 1 / 50 A2(100%), A3(70, 7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. A — 12	製 図	一級建築士登録第370400号 山 本 優 太	

符号	室名	数量	5 AW	2階物置	合計	1	6 AW	1階消防格納庫	合計	1	7 AW	2階待機室	合計	1	8 AW	待機室	合計	1
形状寸法																		
材質・種類	見込	7㎜引違窓		70		7㎜2連引違窓		70		7㎜2連引違窓		70		7㎜3連引違窓		70		
ガラス	T5+A6+T5				FW6.8				T5+A6+T5				T5+A6+T5					
塗装	-				-				-				-					
建具金物	クレント錠, 7㎜水切, 桧額縁(四方25*90, UC塗), 網戸				クレント錠, 7㎜水切, AG(四方25*90), 網戸				クレント錠, 7㎜水切, 桧額縁(四方25*90, UC塗), 網戸				クレント錠, 7㎜水切, 桧額縁(四方25*90, UC塗), 網戸					
	他附属金物一式				他附属金物一式				他附属金物一式				他附属金物一式					
備考																		
符号	室名	数量	9 AW	2階炊事場	合計	1	10 AW	2階廊下	合計	1	1 WD	2階炊事場	合計	1	2 WD	2階炊事場	合計	1
形状寸法																		
材質・種類	見込	2連7㎜L-パ-窓		70		7㎜片開窓		70		桧縁付合板片開戸		36		桧縁付合板引違戸		36		
ガラス	FT5				T5+A6+T5				T5				T5					
塗装	-				-				UC塗				UC塗					
建具金物	7㎜水切, 桧額縁(四方25*90, UC塗), 網戸				カムタッチハンドル, 調整器, 7㎜水切, 桧額縁(四方25*90, UC塗), 網戸				H, L.O, IM, T				戸車, 7㎜Y型フラットレール, 引手					
	他附属金物一式				他附属金物一式				他付属金物一式				他付属金物一式					
備考																		
符号	室名	数量	3 WD	2階押入	合計	1	4 WD	2階待機室	合計	1	5 WD	2階トイレ	合計	1	6 WD	2階物置	合計	1
形状寸法																		
材質・種類	見込	桧縁付合板引違戸		36		桧縁付合板片引戸		36		桧縁付合板片引戸		36		桧縁付合板片引戸		36		
ガラス	-				T5				F4				F4					
塗装	UC塗				UC塗				UC塗				UC塗					
建具金物	戸車, 7㎜Y型フラットレール, 引手				戸車, 7㎜Y型フラットレール, 引手				戸車, 7㎜Y型フラットレール, 引手				戸車, 7㎜Y型フラットレール, 引手					
	他付属金物一式				他付属金物一式				他付属金物一式				他付属金物一式					
備考																		

建具記号			
AW	: アルミ製窓	WD	: 木製扉
AD	: アルミ製扉	WW	: 木製窓
AG	: アルミ製ガラリ窓	S	: 障子
SW	: 鋼製窓	FD	: 襖
SD	: 鋼製扉	OS	: オーバースライダー
SG	: 鋼製ガラリ	SS	: 重量シャッター
LS	: 軽量鋼製扉	PSS	: パネル、グリルシャッター
STW	: ステンレス製窓	LSS	: 軽量シャッター
STD	: ステンレス製扉	TF	: 防煙垂壁
STG	: ステンレス製ガラリ窓		
SPT	: スチールパーティション	TB	: トイレブース

ガラス記号			
F	: 型板ガラス	SR	: 熱線反射ガラス
FL	: フロート板ガラス	HA	: 熱線吸収板ガラス
FW	: 網入型板ガラス	IG	: 複層ガラス
PW	: 網入磨板ガラス	HS	: 倍強度ガラス
L	: 合わせガラス	GB	: ガラスブロック
T	: 強化ガラス	PC	: ポリカーボネイト樹脂板
FT	: 強化型板ガラス		
AP	: アルミパネル	A	: 空気層

建具金物記号			
H	: 丁番 (ステンレス)	JH	: 自由丁番
PH	: ビボットヒンジ	FH	: フロアーヒンジ
AH	: オートヒンジ	LH	: ラバトリーヒンジ
HC	: ヒンジクローザー	DC	: ドアチェック
F	: フランス落し	T	: 戸当たり
HM	: 本締錠付モノロック	LO	: レバーハンドル空錠
MH	: シリンダー付ケースロック	LA	: レバーハンドル錠
BH	: 本締錠	LP	: 非常開装置付レバーハンドル空錠
BHE	: 非常開装置付本締錠	OM	: 空錠
FF	: シリンダー付引き戸錠	IM	: 表示錠
SL	: シリンダー付引違戸用錠	BM	: 浴室錠
GT	: グレモン錠	AG	: アルミ額縁
PP	: 押板		
PB	: 握棒		
CH	: ケースハンドル錠		
OP	: ワンタッチ式排煙用オペレーター装置		

(90° 開き・取付位置: FL+1500以下)

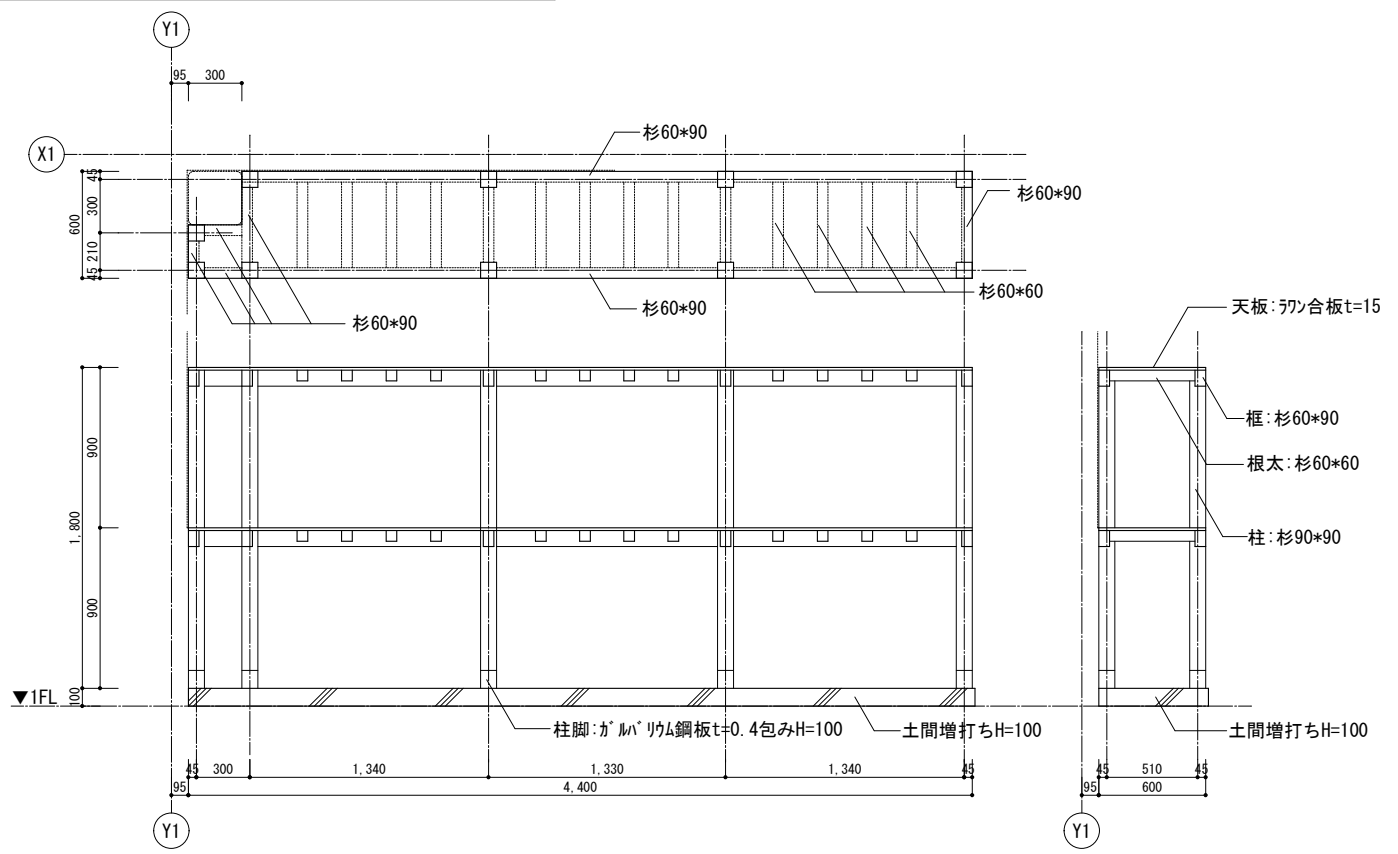
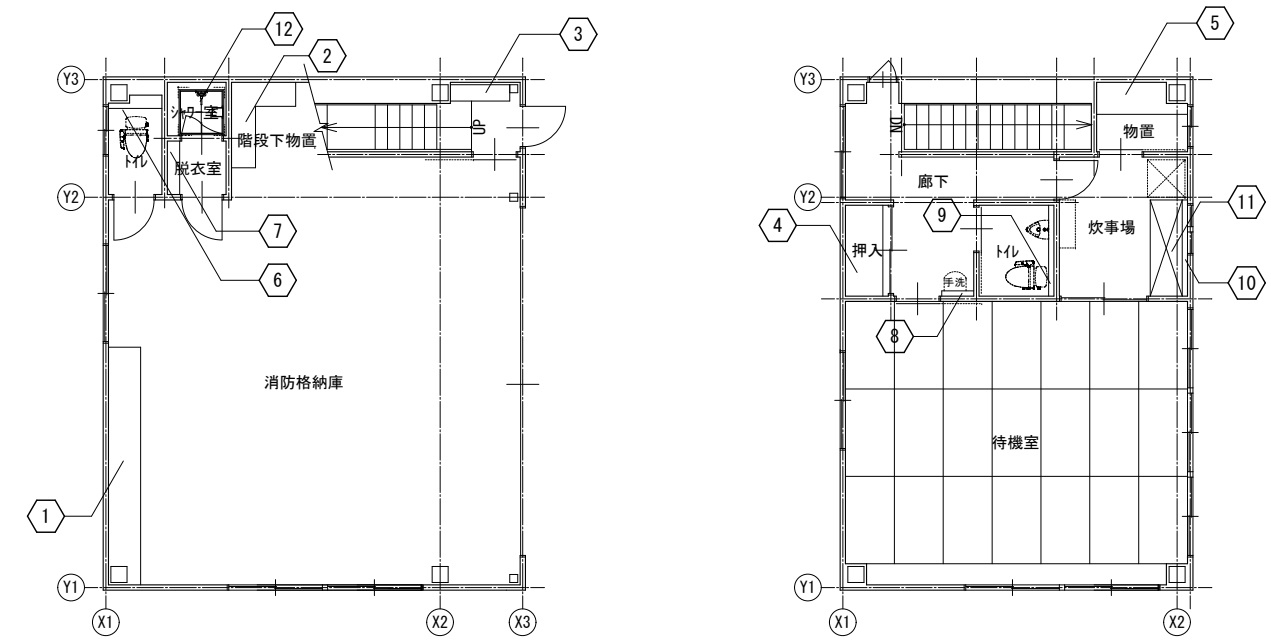
二重水切 (アルミ) : 記入数値は巾寸法を示す

查据記号	
S 1	: ステンレス沓摺 (□ 型)
S 2	: ステンレス沓摺 (L 型)
S 3	: ステンレス沓摺 (C 型)
	ネオブレン製パッキング
S 4	: ステンレスレールM型
S 5	: ステンレスレールU型

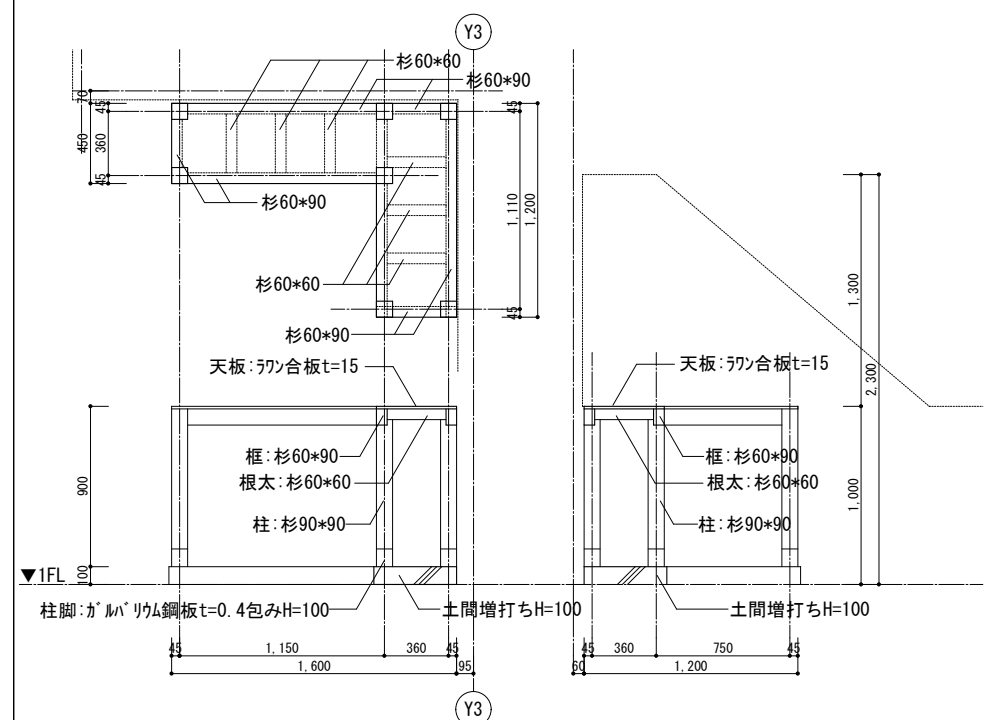
- 特記事項 (共通)
- 建具金物は原則としてステンレス製とする。
 - ガラスの取り付けは、全てシリコーン系 (SR-1) とする。
 - ガラリ (ドアーガラリ共) の有効開口率は35%程度とする。
 - レバーハンドル錠、本締錠等は原則として部屋側サムターン、外部側錠の組合わせとする。
 - 扉部が柱、壁等に当たる箇所は、床付戸当たりをつけること。
戸当たりの取付位置は、監督職員の指示による。
 - FH・AH・DCの開閉装置は、ストップ付とする。
 - 建具は、付属金物一式を含む。
 - 特記なきかぎり鋼製建具枠はDP塗とする。

工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事		(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 建具表 (2)		縮 尺 1 / 50 A2 (100%), A3 (70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. A — 13	製 図	一級建築士登録第370400号 山 本 優 太	

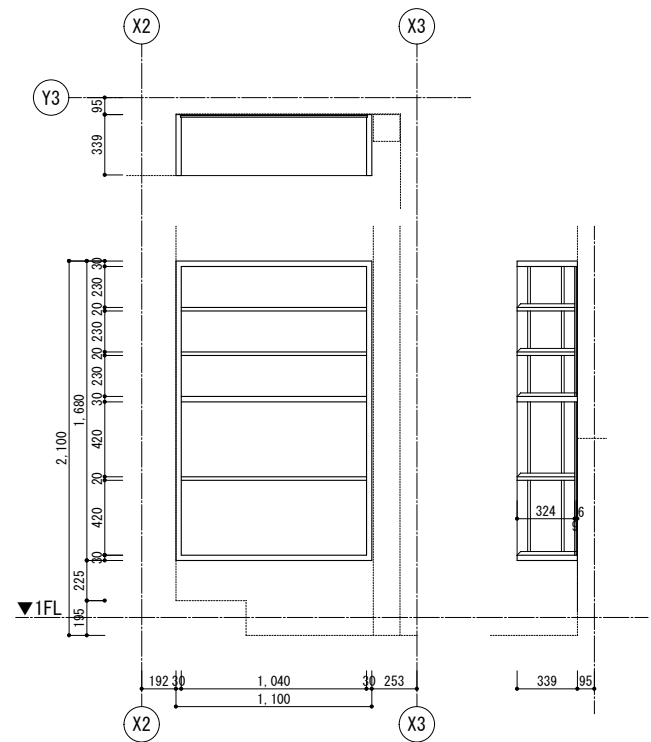
記号	1	名 称	木製棚-1	数量	1
材 種	杉, 珧合板	室 名	倉庫		
金 物					
塗 装					
備 考		柱脚: カルパ リウム鋼板包みt=0.4			



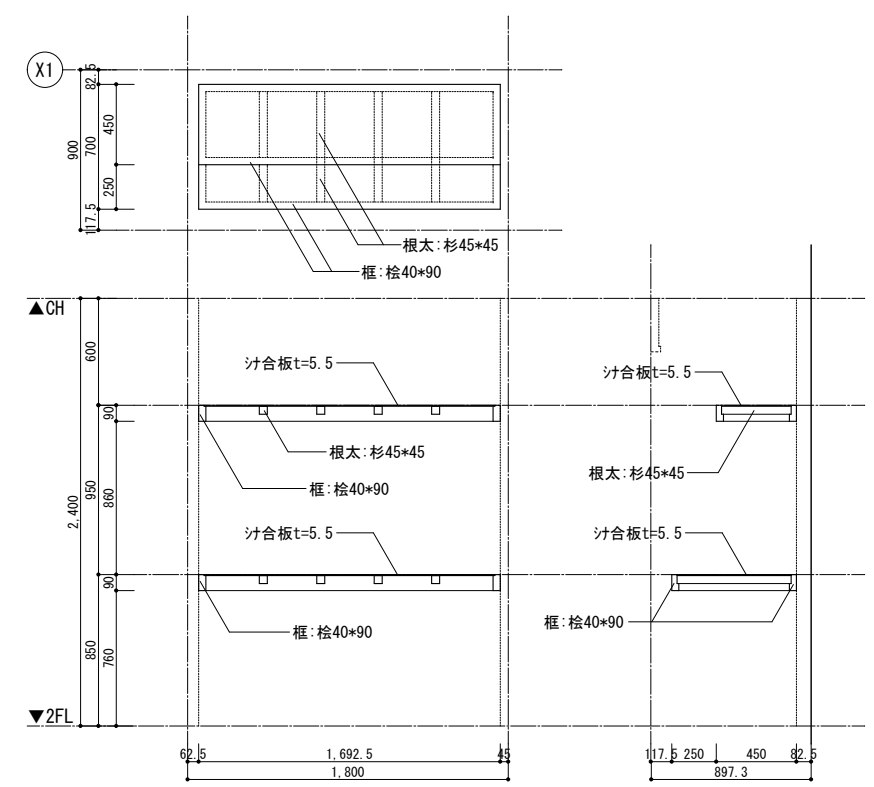
記号	2	名 称	木製棚-2	数量	1
材 種	杉, 珧合板	室 名	倉庫		
金 物					
塗 装					
備 考		柱脚: カルパ リウム鋼板包みt=0.4			



記号	3	名 称	下足箱	数量	1
材 種	桧合板	室 名	玄関		
金 物	桧合板フラッシュt=20, 30, 桧合板t=9				
塗 装	底面受SUS t=0.4 (3方立上げ), SUSダボ, アルミダボ レール				
備 考	UC塗				

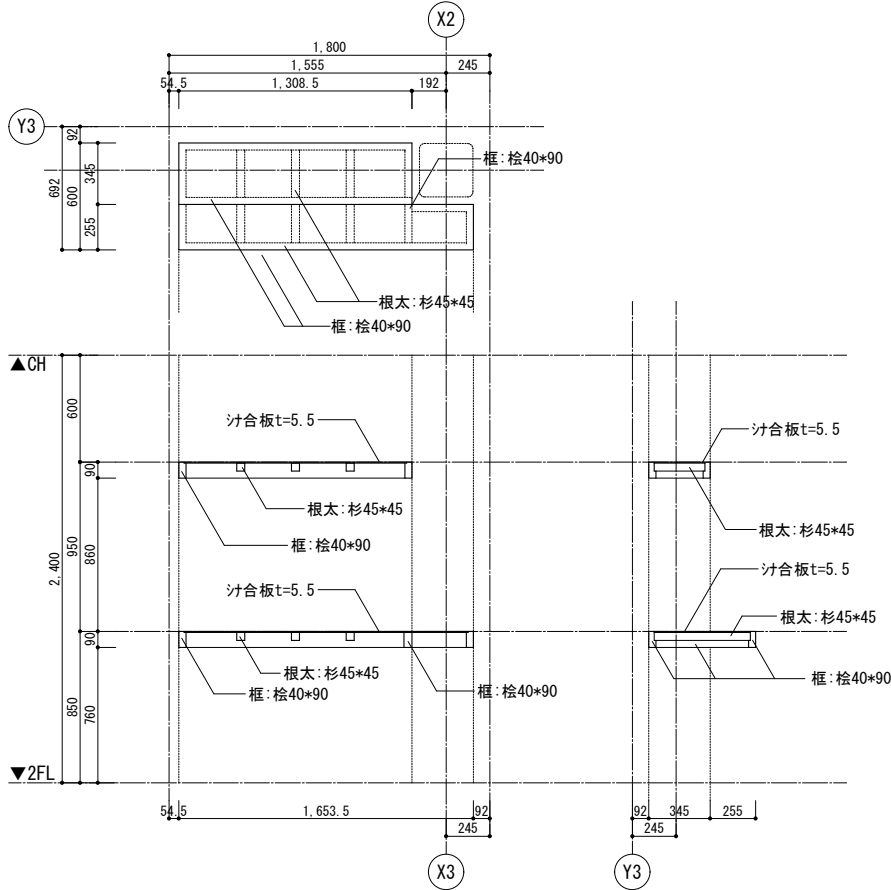


記号	4	名 称	押入中棚	数量	1
材 種	杉, 桧, 珧合板	室 名	2階押入		
金 物		塗 装			
		備 考			

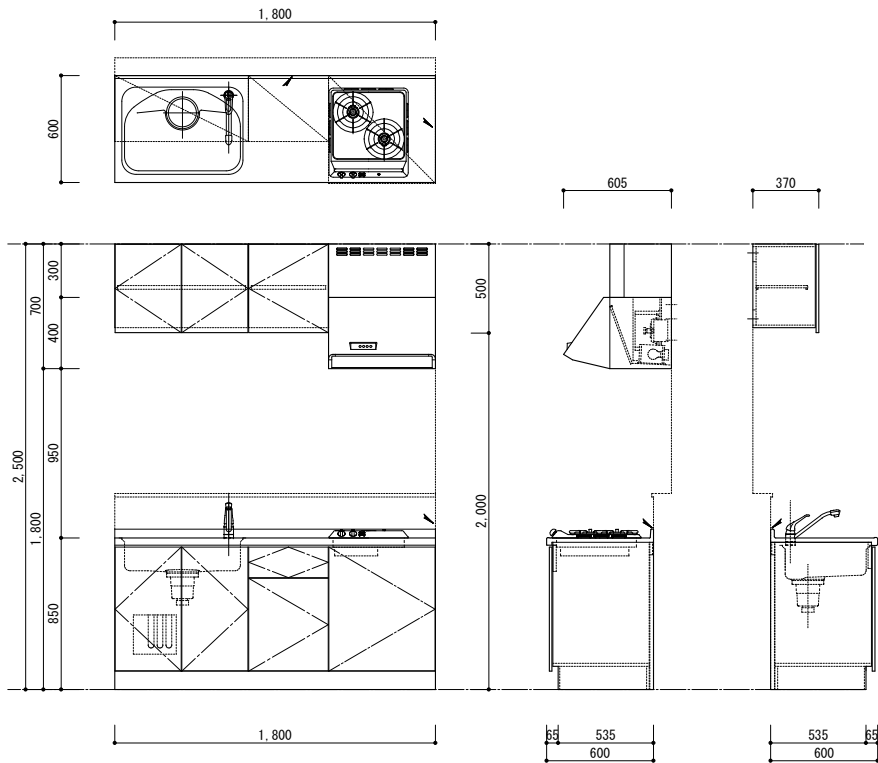


工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 家具詳細図(1)		縮 尺 1 / 30 A2(100%), A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. A — 14	製 図	一級建築士登録第370400号 山 本 優 太	

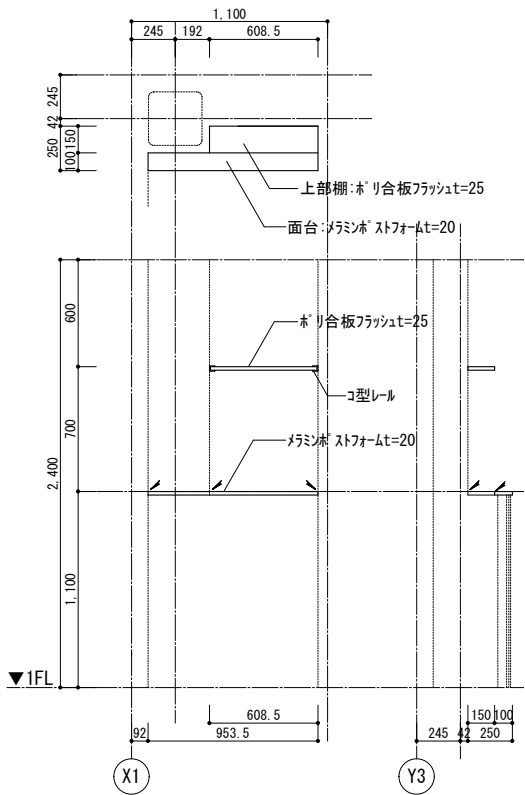
記号	5	名 称	押入中棚-2	数量	1
		室 名	2階物置		
材 種	杉、桧、沓合板	塗 装			
金 物		備 考			



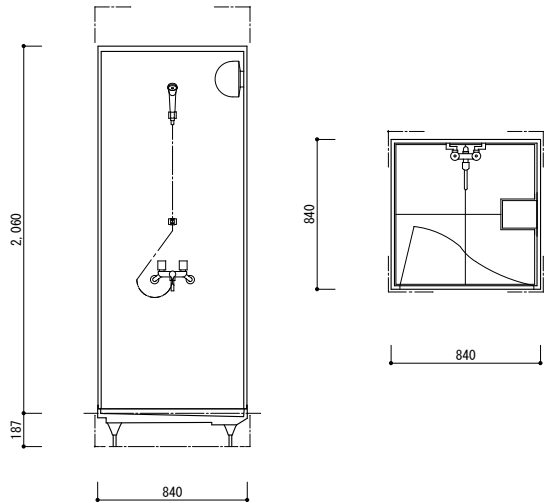
記号	10	名 称	キッチン	数量	1
		室 名	炊事場		
材 種	メーカー仕様による				
金 物	メーカー仕様による				
塗 装	メーカー仕様による				
備 考	LIXIL ティオ1型1307H 同等品				



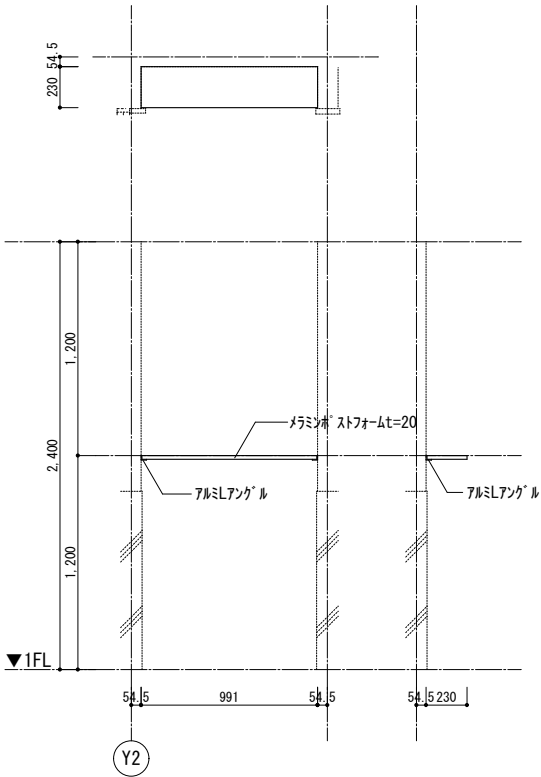
記号	6	名 称	面台/上部棚	数量	各1
		室 名	1階トイレ		
材 種	(面台) マシンボ' ストフォームt=20 / (上部棚) 板' リ合板フラッシュt=25				
金 物	(上部棚) コ型レール				
塗 装					
備 考	標準色				



記号	12	名 称	シャワーユニット	数量	1
		室 名	1階トイレ		
材 種	メーカー仕様による				
金 物	メーカー仕様による				
塗 装	メーカー仕様による				
備 考	TOTO JSV0808UL 同等品				



記号	7	名 称	物置台	数量	1
		室 名	1階脱衣室		
材 種	マシンボ' ストフォームt=20				
金 物	Lアングル				
塗 装					
備 考	標準色				



記号	13	名 称	ステンレス箱文字	材 種	ステンス (HL)	塗 装		数量	14
		室 名	外壁東面	金 物		備 考			

大内コミュニティ消防センター

150*150

記号	8	名 称	面台	材 種	マシンボ' ストフォームt=20	塗 装		数量	1
		室 名	2階ホール	金 物		備 考	標準色		

Architectural drawing of a hallway vanity (記号8). The drawing includes front and side elevations with detailed dimensions and material specifications. Key dimensions include a total width of 1,100mm and a depth of 600mm. Material specifications include マシンボ' ストフォームt=20 for the vanity and 内装板' -ド' 仕上 (Interior paneling) for the walls. The drawing also shows the vanity's placement relative to the floor (1FL).

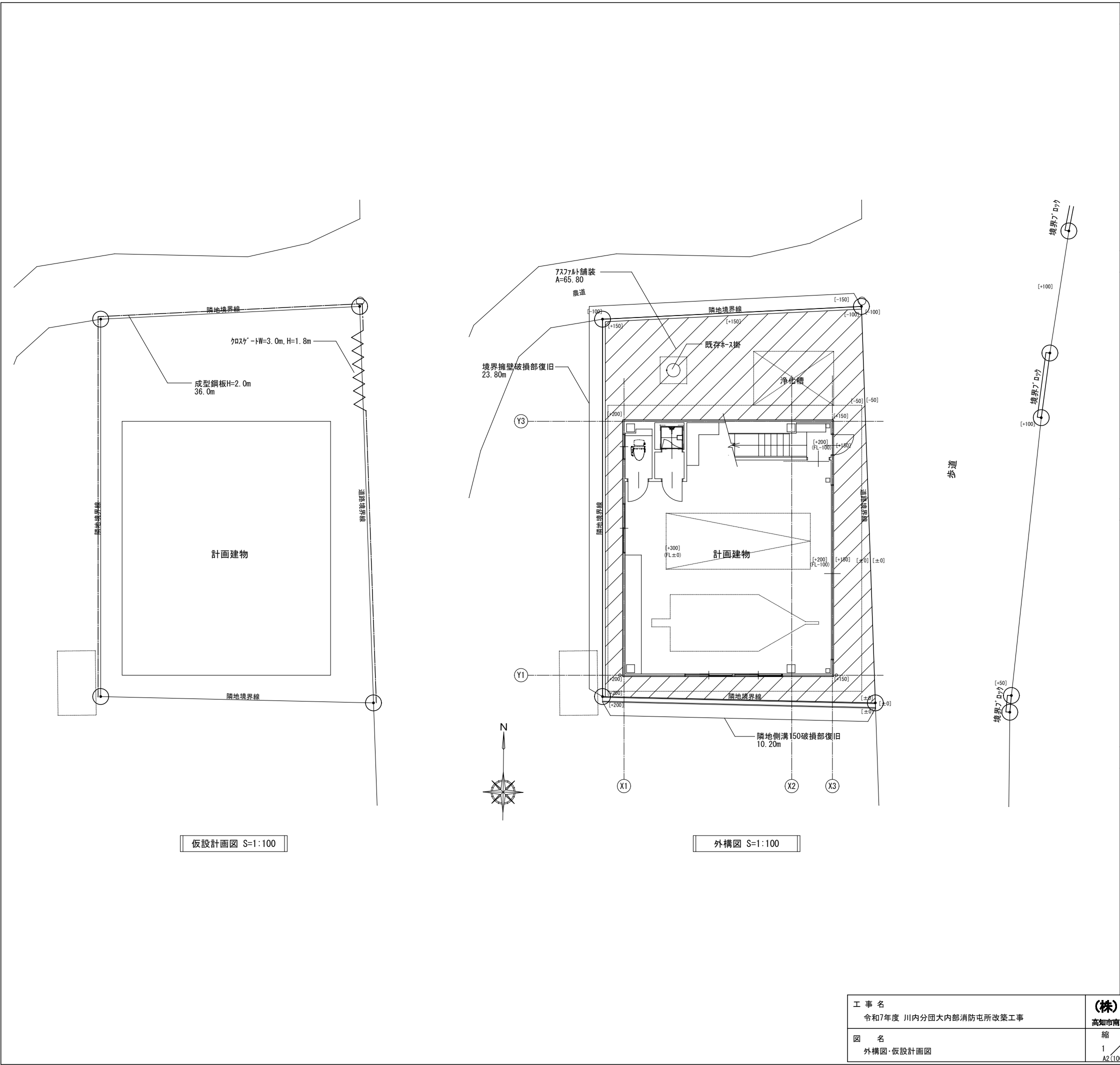
記号	9	名 称	面台	材 種	マシンボ' ストフォームt=20	塗 装		数量	1
		室 名	2階トイレ	金 物		備 考	標準色		

Architectural drawing of a toilet vanity (記号9). The drawing includes front and side elevations with detailed dimensions and material specifications. Key dimensions include a total width of 1,673.5mm and a depth of 600mm. Material specifications include マシンボ' ストフォームt=20 for the vanity and 内装板' -ド' 仕上 (Interior paneling) for the walls. The drawing also shows the vanity's placement relative to the floor (1FL).

記号	10	名 称	面台	材 種	マシンボ' ストフォームt=20	塗 装		数量	1
		室 名	2階炊事場	金 物		備 考	標準色		

Architectural drawing of a kitchen vanity (記号10). The drawing includes front and side elevations with detailed dimensions and material specifications. Key dimensions include a total width of 1,800mm and a depth of 600mm. Material specifications include マシンボ' ストフォームt=20 for the vanity and 内装板' -ド' 仕上 (Interior paneling) for the walls. The drawing also shows the vanity's placement relative to the floor (1FL).

工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一般建築士登録第203207号 村 田 憲 明
図 名 家具詳細図(2)		縮 尺 1 / 20.30 A2(100%) A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. A — 15	製 図	一般建築士登録第370400号 山 本 優 太



【新設】アスファルト舗装				
【復旧】隣地側溝150				
【復旧】境界擁壁150				

工 事 名		(株) ハウジング総合コンサルタント			高知県知事登録119号	管理建築士	
令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事		高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			代表取締役	一級建築士登録第203207号	
図 名		縮 尺	年 月 日	図 面 No.	製 図	村 田 憲 明	
外構図・仮設計画図		1 / 20, 100 A2(100%), A3(70, 7%)	2025/03	B — 01		一級建築士登録第370400号 山 本 優 太	

新 構造設計特記仕様 その2

※修正箇所は下線を引くこと
適用は ■ 印を記入する。

9. 鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート

鉄筋コンクリート工事の施工に関しては記載無きは、JASS5 2018による。

(a) コンクリートの仕様

本仕様書では、JASS5に規定する普通骨材を用いた一般仕様のコンクリートを「普通コンクリート」と定義し、表9.1に示す様に設計基準強度が36N/mm²以下のコンクリートについてはJASS5の3節～11節を適用し、36N/mm²を超えるコンクリートについてはJASS5の17節（高強度コンクリート）を適用する。また、設計基準強度もしくは品質基準強度と構造体強度補正値から定める調査管理強度以上とし、発注するレディーミクストコンクリートの呼び強度が表9.2に示すJIS規格外となる場合は、法第37条の大臣認定を受けた製品を用いる必要がある。

軽量コンクリートについてはJASS5の14節によること。

表9.1 コンクリート圧縮強度（N/mm²）に応じた仕様書の使い分け

設計基準強度 F_{cd}	18	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60
JASS5での区分	普通コンクリート										高強度コンクリート				

表9.2 レディーミクストコンクリートのJIS規格品

調査管理強度（N/mm ² ）	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60	60超
----------------------------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

呼び強度（JIS規格品）	21	24	27	30	33	36	40	42	45	50	55	55	60	60	※
--------------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---

(b) 品質と施工

■ 構造体の計画供用期間の級は特記による。特記が無い場合は標準とする。

■ 標準 □長期 □超長期
（本仕様書では計画供用期間の級は、「短期」を想定していない。）

■ コンクリートはJISA 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するJIS認証工場製の製品とする。

□ 設計基準強度が36N/mm²を超えるコンクリートを扱うレディーミクストコンクリート工場は、「高強度コンクリート」の製品認証を受けているか、建築基準法第37条第二号によって国土交通大臣が指定建築材料として認定した高強度コンクリートの製造工場とする。

■ レディーミクストコンクリート工場および高強度コンクリートを打設する施工現場には、コンクリート主任技士またはコンクリート技士、あるいはこれらと同等以上の知識経験を有すると認められる技術者が常駐していなければならない。

■ 施工者は、工事に先立ち、コンクリートの調査・製造計画、施工計画、品質管理計画書を作成し、工事監督者の承認を得ること。

□ フレッシュコンクリートの流動性は、スランプまたはスランプロワーで表し、設計基準強度が36N/mm²以下33N/mm²以上の場合スランプ21cm以下、33N/mm²未満の場合スランプ18cm以下とし、設計基準強度が36N/mm²超45N/mm²未満の場合はスランプ21cm以下またはスランプロワー50cm以下、設計基準強度が45N/mm²以上の場合はスランプ23cm以下またはスランプロワー60cmとし、特記による。

■ コンクリートに含まれる塩化物量は、塩化物イオン量として0.3kg/m³以下とする。

■ コンクリートの練混ぜから打込み終了までの時間は、原則として外気温が25℃未満の時は120分、25℃以上の時は90分とする。

■ コンクリート打込み時の自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。

■ 打撃部は構造的に影響の少ない位置を選び打撃処理を行い、打込み前に十分な水浸しを行う。

■ コンクリート打込み中、及び、打込み後5日間はコンクリートの温度を下回らないようにし、セメントの種類に応じた湿度を発生する。

(c) 調査および構造体コンクリート強度

■ コンクリートの強度を求める強度試験は、JISA 1108（コンクリートの圧縮強度試験方法）

もしくはJISA 1107（コンクリートからのコアの採取方法）による。

i) 高強度コンクリート

□ 調査強度を定めるための基準とする材料は、特記による。特記のない場合は28日とする。

□ 構造体コンクリート強度を保証する材料は、特記による。特記のない場合は91日とする。

□ 構造体コンクリート強度は、次の①又は②を満足するものとする。

①標準発生した供試体による場合、調査強度を定めるための基準とする材料において調査管理強度以上とする。

②構造体温度発生した供試体による場合、構造体コンクリート強度を保証する材料において設計基準強度に3N/mm²を加えた値以上とする。

□ 調査管理強度は、以下による。

$$μF_m = F_c + μS_0 \quad (N/mm^2)$$

$$μF_m : \text{高強度コンクリートの調査管理強度} \quad (N/mm^2)$$

$$F_c : \text{コンクリートの設計基準強度} \quad (N/mm^2)$$

$$μS_0 : \text{高強度コンクリートの構造体強度補正値でJASS5による。}$$

□ 調査強度は標準発生供試体の圧縮強度で表すものとし、下記の式を満足するように定める。

$$μF \geq μF_m + 1.73σ_m \quad (N/mm^2)$$

$$μF \geq 0.85μF_m + 3σ_m \quad (N/mm^2)$$

$$μF : \text{高強度コンクリートの調査強度} \quad (N/mm^2)$$

$$σ_m : \text{高強度コンクリートの圧縮強度の標準偏差} \quad (N/mm^2) \text{で、レディーミクストコンクリート工場の実績による。実績がない場合は、} 0.1(F_c + μS_0) \text{とする。}$$

ii) 普通コンクリート

■ 調査を定めるための基準とする材料は、原則として28日とする。

■ 構造体コンクリート強度は表9.3を満足すれば合格とする。

表9.3 構造体コンクリート圧縮強度の判定基準

供試体の養生方法	試験材齢 ⁽¹⁾	判定基準
標準養生 ⁽²⁾	28日	$X \geq F_m$
コ ア	91日	$X \geq F_u$

ただし、X：1回の試験における3個の供試体の圧縮強度の平均値（N/mm²）

F_m ：コンクリートの調査管理強度（N/mm²）

F_u ：コンクリートの品質基準強度（N/mm²）

[注]（1）早い材齢において試験を行い、合格判定基準を満たした場合は、合格とする。

（2）工事監督者の承認を得て、供試体成形後、翌日までは20±10℃の日光および風が直接当たらない箇所、乾燥しないように養生して保管することができる。

*標準発生供試体の代わりあらかじめ準備した現場水中養生供試体によることができる。

その場合の判定基準は材齢28日までの平均気温が20℃以上の場合は、3個の供試体の圧縮強度の平均値が調査管理強度以上であり、平均気温が20℃未満の場合は、3個の供試体の圧縮強度の平均値から3N/mm²を減じた値が品質基準強度以上であれば合格とする。

*コア供試体の代わりあらかじめ準備した現場から養生供試体によることができる。

その場合の判定基準は材齢28日を超え91日以内のn日において3個の供試体の圧縮強度の平均値から3N/mm²を減じた値が品質基準強度以上であれば合格とする。

■ 調査管理強度は、以下による。

$$F_m = F_c + μS_0 \quad (N/mm^2)$$

$$F_m : \text{コンクリートの調査管理強度} \quad (N/mm^2)$$

$$F_c : \text{コンクリートの品質基準強度} \quad (N/mm^2)$$

$$μS_0 : \text{標準発生した供試体の材齢m日における圧縮強度と構造体コンクリートのn日における圧縮強度の差による構造体強度補正値} \quad (N/mm^2)$$

■ 調査強度は標準発生した供試体の材齢m日における圧縮強度で表すものとし、下記の式を満足するように定める。調査強度を定める材齢m日は、原則として28日とする。

$$F \geq F_m + 1.73σ \quad (N/mm^2)$$

$$F \geq 0.85F_m + 3σ \quad (N/mm^2)$$

$$F : \text{コンクリートの調査強度} \quad (N/mm^2)$$

σ：使用するコンクリートの圧縮強度の標準偏差（N/mm²）で、レディーミクストコンクリート工場の実績による。実績のない場合は、2.5N/mm²、または0.1F_cの大きい方の値とする。

(d) 検査

■ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（一財）国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果nの記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し、工事監督者の承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。

■ スランプの許容差は普通コンクリートの場合、スランプが8cm以上18cm以下の場合±2.5cm、21cmの場合±1.5cm（呼び強度A E減水剤を使用する場合は±2cm）とする。高強度コンクリートの場合は、スランプが18cm以下の場合±2.5cm、21cm以上の場合±2cmとし、スランプロワーの許容差は、目標スランプロワーが50cm以下の時は±7.5cm、50cmを超える時は±10cmとする。

■ 使用するコンクリートの圧縮強度試験は、普通コンクリートでは標準養生を行った供試体を用いて材齢28日で行い、1回の試験は、打込み区ごと、打込み日ごと、かつ、150m³またはその端数ごとに3個の供試体を用いて行う。3回の試験で1検査ロットを構成する。高強度コンクリートでは、打込み日かつ300m³ごとに検査ロットを構成して行う。1検査ロットにおける試験回数では3回とする。検査は適当な間隔をあけた任意の3台のトラックアジテータから採取した合計9個の供試体による試験結果を用いて行う。検査に用いる供試体の養生方法は標準発生とする。

■ 構造体コンクリートの圧縮強度の検査は普通コンクリートでは、打込み区ごと、打込み日ごと、かつ150m³またはその端数ごとに1回行う。1回の試験には適当な間隔をおいた3台の運搬車から1箇所ずつ採取した合計3個の供試体を用いる。

高強度コンクリートでは打込み日、打込み区かつ300m³ごとに行う。検査には適当な間隔をあけた任意の3台のトラックアジテータから採取した合計9個の供試体を用いる。検査に用いる供試体の養生方法は標準発生または構造体温度養生とする。

■ 使用するコンクリートの圧縮強度の判定は、JASS5による。

構造体コンクリートの圧縮強度の判定は、（c）調査および構造体コンクリート強度による。

□ コンクリートの試験は、「建築物の工事における試験および検査に関する東京都取扱い要綱」

第4条の試験機関で行うこと。

試験・検査機関名 (都知事登録 号)

代行業者名 (登録番号 号)

代行業者とは、試験・検査に伴う業務を代行するものを言う。

(2) 鉄筋

(a) 施工

■ 鉄筋はJIS G 3112（鉄筋コンクリート用棒鋼）に適合するものを用いる。溶接金網および鉄筋

格子は、JIS G 3551（溶接金網および鉄筋格子）に適合するものを用いる。

□ 高強度せん断補強筋は、技術評価を取得し、建築基準法第37条の材料認定を受けたものを用いる。

■ 鉄筋の加工寸法、形状、鉄筋の継手位置、継手の重なり長さ、定着長さは「新 鉄筋コンクリート

構造配筋標準図（1）～（3）」による。

■ 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手、機械式継手または溶接継手によることとし、鉄筋径と

使用箇所を定め特記による。

表9.4 鉄筋の継手

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級				鉄筋の径	使用箇所
	(1) 引張り最小部位	(2) (1) 以外の部位				
		A級	B級	S A級		
■ 重ね継手	標準図による				■ D (16) 以下	基礎、腰壁
■ 圧接継手	■ 告示1463号第2項各号				■ D (19) 以上	地中梁
□ 溶接継手	□ 告示1463号第3項各号	□	□		□ D () 以上	
□ 機械式継手	□ 告示1463号第4項各号	□	□	□	□ D () 以上	

注) (1) 以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋手協会、日本建築センター等の認定・認定等を取得した継手工法の等級で、構設計算にあたって「鉄筋手使用率（建築物の構造適用係数÷標準使用率 2020）」によって選定した部材の条件・仕様によること。

[注]（1）以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって「鉄筋継手使用基準（建築物の構造関係技術基準取組書 2020）」によって検討した部材の条件・仕様によること。

■ 機械式継手および圧接継手および溶接継手は（公社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」による他、所要の品質が得られるように工事計画および工事管理計画を定めて、工事監督者の承認を受ける。

■ ガス圧接継手の施工は、強風時または降雨時には原則として作業を行わない。ただし、風除け・覆いなどの設備をした場合には、工事監督者の承認を得て作業を行うことができる。

■ 圧接技量資格者は、（公社）日本鉄筋継手協会によって認定された技量適格性証明書を工事監督者に提出し、承認を受ける。

□ 機械式鉄筋定着工法に用いる定着板には信頼できる機関による性能証明書等を取得した定着金物を用いる。

(b) 検査

i) 鉄筋の種類・径の検査

■ 鉄筋搬入時に鉄筋の種類と径をミルシート、ロールマーク、結束ごとの表示で確認し、必要に応じて径は計測する。

ii) 鉄筋の検査

■ 鉄筋の数量、材質、加工形状、配置、間隔、継手と定着の位置と長さ、カットオフ長さ等を目標、又は計測で確認する。

iii) 鉄筋継手部の検査

各継手工法ごとの検査は平12建告第1463号による他、具体的な検査方法は、（公社）日本鉄筋継手協会仕様書を参照のこと。

表9.5 鉄筋継手部の検査（検査結果は工事監督者に報告すること）

鉄筋継手工法	検査の種類	検査数量	試験方法
圧接継手	■ 外観検査	全数	目視又は計測
	■ 超音波探傷検査	抜取り1検査ロット当たり（30）箇所又は（ ）%	JIS Z 3062：2014による
	□ 引張試験による検査	抜取り1検査ロット当たり（ ）箇所又は（ ）%	JIS Z 3120：2014による
溶接継手	□ 外観検査	全数	目視又は計測
	□ 超音波探傷検査	抜取り1検査ロット当たり（ ）箇所又は（ ）%	JRJS 0005：2017による
	□ 引張試験による検査	抜取り1検査ロット当たり（ ）箇所又は（ ）%	JIS Z 2241：2011による
機械式継手	□ 外観検査	全数	目視又は計測
	□ 超音波探傷検査	抜取り1検査ロット当たり（ ）箇所又は（ ）%	JRJS 0003：2017による
	□ 引張試験による検査	抜取り1検査ロット当たり（ ）箇所又は（ ）%	JIS Z 2241：2011による

[注] 1 抜取り1検査ロットは、同一作業班が同一日に作業した継手箇所で200箇所程度とする。

[注] 2 ガス圧接部分の検査は超音波探傷検査によって行う場合、数ロットについては引張試験も併用し、1回の引張試験は超音波探傷試験に合格した部位から抜き取り3本以上とする。

※外観検査の実施は次による。（必要に応じて測定器具等の検査機器を用いること）

表9.6 外観検査の要領

	自主検査	受入検査		工事監督者	備 考
		検査機関	施 工 者		
□ 全数	全数	()	()		
□ 全数	超音波探傷又は超音波測定検査実施部位	検査機関による検査部位以外	()		
□ 全数	—	全数	()		
□ 全数	抜取り1検査ロット当たり()箇所又は()%	()	()		

□ 引張試験を行う試験機関、非破壊試験を行う検査機関は、建築主、工事監督者、又は施工者が

自ら契約した機関とする。

□ 試験機関は「建築物の工事における試験及び検査における東京都取扱い要綱」第4条の試験機関、

検査機関は同要綱第9条の検査機関とする。

(都知事登録 号)

検査機関名 (都知事登録 号)

(3) かぶり厚さ

■ 最小かぶり厚さは、表9.7に規定する設計かぶり厚さを10mm減じた値とする。

■ 設計かぶり厚さは、コンクリート打込み時の変形・移動などを考慮して、最小かぶり厚さが

確保されるように、部位・部材ごとに定めるものとし、表9.7以上の値とする。

表9.7 設計かぶり厚さ（単位：mm）

構造体の計画供用期間の級		標準・長期		超長期	
部材の種類		屋 内	屋 外 ⁽²⁾	屋 内	屋 外 ⁽²⁾
構造部材	柱・梁・耐力壁	40	50	40	50
	床スラブ・屋根スラブ	30	40	40	50
非構造部材	構造部材と同等の耐久性を要求する部材	30	40	40	50
	計画供用期間中に維持保全を行う部材 ⁽¹⁾	30	40	(30)	(40)
直接土に接する柱・梁・壁・床および布基礎の立上り部分、擁壁の壁部分		50			
基礎、擁壁の基礎・底盤		70			

[注]（1）計画供用期間の級が超長期で計画供用期間中に維持保全を行う部材では、維持保全の周期に応じて定める。

[注]（2）計画供用期間の級が標準、長期および超長期で、耐久性上有効な仕上げを施す場合は、屋外側では設計かぶり厚さを10mm減じることができる。

■ 完成した構造体の各部位における最外側鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

■ コンクリート構造体に埋設目地・施工目地などを設ける場合は、建築基準法施工令第79条に規定

する数値を満足し、構造耐力上必要な断面寸法を確保し、防水および耐久性上有効な措置を

講じれば上記によらなくても良い。

(4) 型枠

■ 型枠および支保工の存置期間は、下表による。

表9.8 型枠存置日数 昭和46年建設省告示第110号（最終改正：令和元年国土交通省告示第203号）

構造部	種 別	せ き 板		支 柱			
		スラブ下、梁下		スラブ下		梁下	
		早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント
コンクリートの材令（日）	有量期間の平均気温	セメントの種類	高炉セメントA種 シリカセメントA種	高炉セメントA種 シリカセメントA種	高炉セメントA種 シリカセメントA種	高炉セメントA種 シリカセメントA種	高炉セメントA種 シリカセメントA種
	15℃以上	2	3	4	6	8	17
	5～15℃	3	5	6	10	12	25
コンクリートの圧縮強度	5℃未満	5	8	10	16	15	28
	※ 5.0N/mm ²	設計基準強度の50%				85%	100%

※ JASS 5では普通コンクリートの場合計画供用期間の級が標準にあっては5N/mm²以上、長期及び超長期の場合には10N/mm²以上、また高強度コンクリートの場合は10N/mm²以上。

[注] 1 片持ち梁、庇、スパン9.0m以上の梁下は、工事監督者の承認による。

[注] 2 大梁の支柱の盛替えは行わない。また、その他の梁の場合も原則として行わない。

[注] 3 支柱の盛替えは、必ず直上層のコンクリート打ち後とする。

[注] 4 盛替え後の支柱直下には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。

[注] 5 支柱の盛替えは、小梁が続ってからスラブを行う。一列に全部の支柱を取り払って盛替えはしてはならない。

[注] 6 直上層に等しい大きな積載荷重がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛替えを行わないこと。

[注] 7 支柱の盛替えは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

工 事 名
令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事

図 名
構造設計特記仕様(2)

(株)ハウジング総合コンサルタント
高知市南久美16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

※修正箇所は下線を引くこと

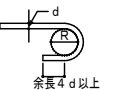
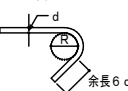
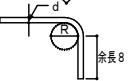
１．一般項目

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
(2) 記号

d…異形鉄筋の呼び名に用いた数値（径） D…部材の径、又は鉄筋内法直径
◎…開筋 r…半径 C…中心線 L l o…部材間の内法距離 h o…部材間の内法高さ
ST…あばら筋 HOOP…帯筋 S、HOOP…補強帯筋

２．鉄筋加工

- (1) 鉄筋の折り曲げ加工

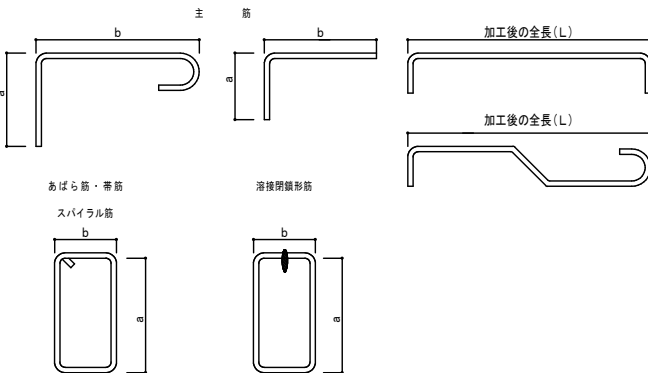
図	折曲げ角度	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内法直径(D)
	180°	SD295 SD345	D16以下	3d以上
	135°		D19～D41	4d以上
	90°	SD390	D41以下	5d以上
		SD490A	D25以下	5d以上
			D29～D41	6d以上

- [注] (1) dは呼び名に用いた数値とする。
(2) スパイラル筋の重ね継手部に90°フックを用いる場合は、余長は12d以上とする。
(3) 片持スラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フックまたは135°フックを用いる場合は、余長は4d以上とする。
(4) スラブ筋、壁筋には、溶接金網を除いて丸鋼を使用しない。
(5) 折り曲げ内法直径を上表の数値よりも小さくする場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い、支障ないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。
(6) SD490の鉄筋を90°を超える曲げ角度で折り曲げ加工する場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い、支障ないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。

- (2) 加工寸法の許容差

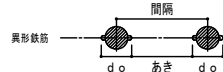
項 目	符 号	許 容 差
各加工主筋	D25以下 D29以上D41以下	a、b ±15 ±20
あばら筋・帯筋・スパイラル筋	a、b	±5
加工後の全長	L	±20

- [注] (1) 各加工寸法及び加工後の全長の測り方の例を下図に示す。



- (3) 鉄筋のあき

異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上、粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mmのうち最も大きい値。

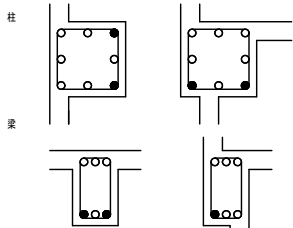


- (4) 鉄筋のフック

- a～eに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。
a. あばら筋、帯筋、および幅止メ筋
b. 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）
c. 柱、梁（基礎梁は除く）の出すみ部分
および下端の隅隅にある場合の鉄筋（右図参照）
d. 単純梁の下端筋
e. その他、本配筋標準に記載する箇所

図の●印の鉄筋の重ね継手の

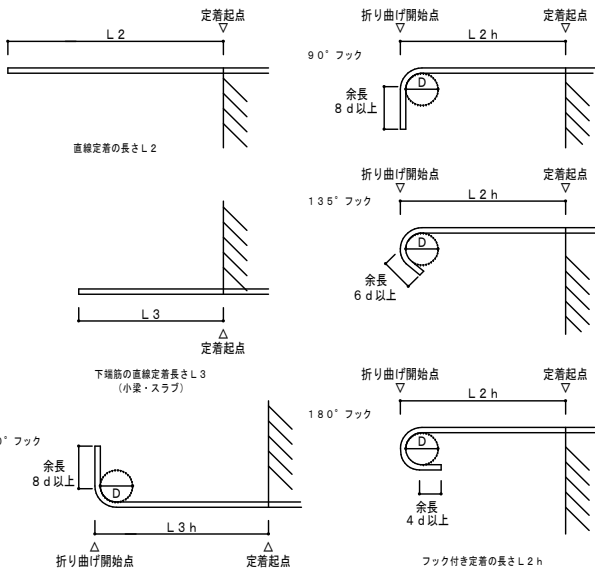
末端にはフックが必要



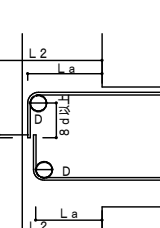
- (5) 定着長さ（軽量コンクリートでは5dを加算する。）

鉄筋種別	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)	定着の長さ					小梁下端 L3 (フックなし)	L3h (フックあり)	スラブ下端筋 L3 (フックなし)
		一般	一般	一般	一般	一般			
SD295	18	40d	30d	20d	15d				
	21	35d	25d	15d	15d				
	24～27	30d	20d	15d	15d				
	30～36	30d	20d	15d	15d				
	39～45	25d	15d	15d	15d				
	48～60	25d	15d	15d	15d				
SD345	18	40d	30d	20d	20d				
	21	35d	25d	20d	20d				
	24～27	35d	25d	20d	15d				
	30～36	30d	20d	15d	15d				
	39～45	30d	20d	15d	15d				
	48～60	25d	15d	15d	15d				
SD390	21	40d	30d	20d	20d				
	24～27	40d	30d	20d	20d				
	30～36	35d	25d	20d	15d				
	39～45	35d	25d	15d	15d				
	48～60	30d	20d	15d	15d				
SD490	24～27	45d	35d	25d	-				
	30～36	40d	30d	25d	-				
	39～45	40d	30d	20d	-				
	48～60	35d	25d	20d	-				

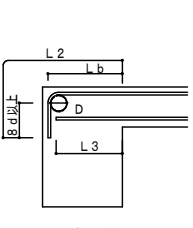
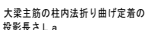
- [注] (1) フック付き鉄筋の定着長さL2hは、定着起点から鉄筋の折り曲げ開始点までの距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は定着長さに含まない。
(2) フック部の折り曲げ内法直径D及び余長は、「鉄筋の折り曲げ加工」の表による。
(3) 梁主筋を柱へ定着する場合、水平定着長さがL2h確保できない場合は折り曲げ定着とし、全定着長をL2以上とするともに、水平投影長さをLa以上とし、余長を8d以上とする。尚、Laの値は原則として柱せいの3/4倍以上とする。
(4) 耐圧スラブの下端筋の定着長は一般定着L2とする。



下端筋のフック付き定着長さL3h（小梁・スラブ）



大梁主筋の柱内法折り曲げ定着の投影長さLa



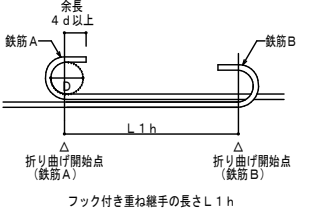
小梁・スラブの上端筋の梁内折り曲げ定着の投影定着長さLb



- (6) 継手

■重ね継手（軽量コンクリートでは5dを加算する。）

鉄筋種別	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)	重ね継手長さ	
		L1 (フックなし)	L1h (フックあり)
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24～27	35d	25d
	30～36	35d	25d
	39～45	30d	20d
	48～60	30d	20d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24～27	40d	30d
	30～36	35d	25d
	39～45	35d	25d
	48～60	30d	20d
SD390	21	50d	35d
	24～27	45d	35d
	30～36	40d	30d
	39～45	40d	30d
	48～60	35d	25d
SD490	24～27	55d	40d
	30～36	50d	35d
	39～45	45d	35d
	48～60	40d	30d

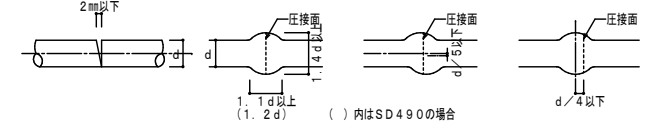


- [注] (1) 表中のdは、異形鉄筋の呼び名の数値を表し、丸鋼には適用しない。
(2) 直径の異なる鉄筋相互の重ね継手の長さは、細い方のdによる。
(3) フック付き重ね継手の長さは、鉄筋相互の折り曲げ開始点間の距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は継手長さに含まない。

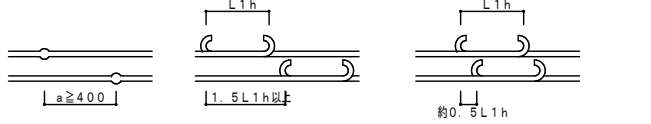
■継手に関する注意点

- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない。
- 鉄筋径dの差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない。
- ガス圧接継手の形状、および継手の配置は下図による。

・ガス圧接形状（平成12年建設省告示1463号下図のほか、折れ曲がり、焼き割れ、へこみ、垂れ下がり及び内部欠陥がないもの）



・圧接継手



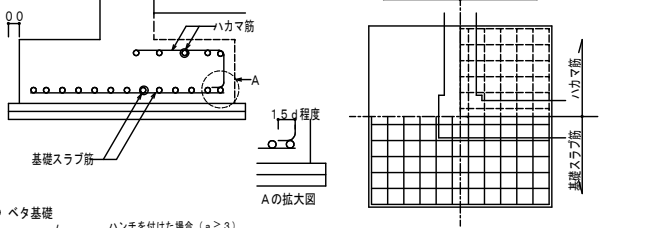
- 溶接継手および機械式継手を用いる場合は、信頼できる機関の評定を受けたA級継手工法とする
- 非破壊検査は工事監理者が承認した信頼できる検査機関で行うこと。

３．杭・基礎

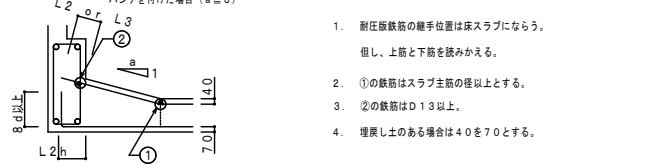
（配筋については地震力等の水平力等を考慮して別途検討すること）

- (1) 直接基礎

- ① 独立基礎



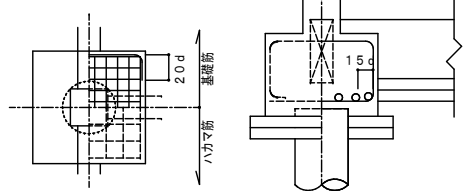
- ② ベタ基礎



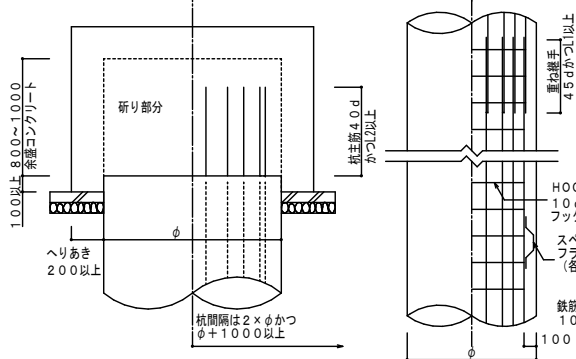
- 耐圧板鉄筋の継手位置は床スラブにならう。但し、上筋と下筋を読みかえる。
- ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする。
- ②の鉄筋はD13以上。
- 埋戻し土のある場合は40を70とする。

- (2) 杭基礎

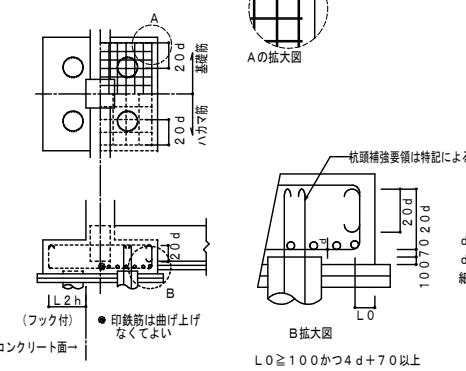
- ① 場所打ち杭



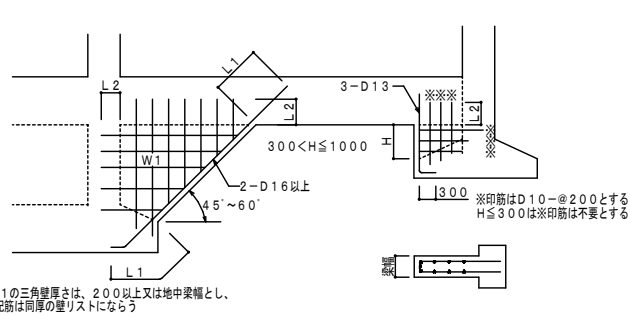
杭頭処理要領



- ② PHC杭



- (3) 基礎接合部の補強



工 事 名
令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事

図 名
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

(株)ハウジング総合コンサルタント
高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779

縮 尺
1 / 50
A2(100%)、A3(70.7%)

年 月 日
2025/03

図 面 No.
S — 03

高知県知事登録119号
代表取締役
福 家 正 義

製 図

管理建築士
一般建築士登録第203207号
村 田 憲 明

構造担当
一般建築士登録第378344号
高 須 賀 範 昌

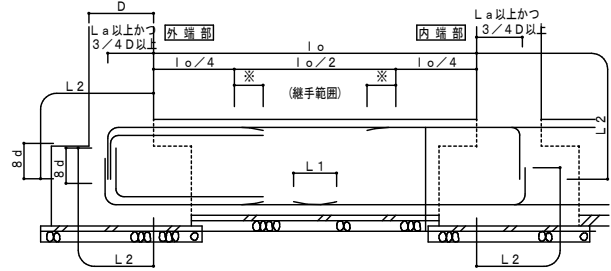
鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）

※修正箇所は下線を引くこと

4. 地中梁

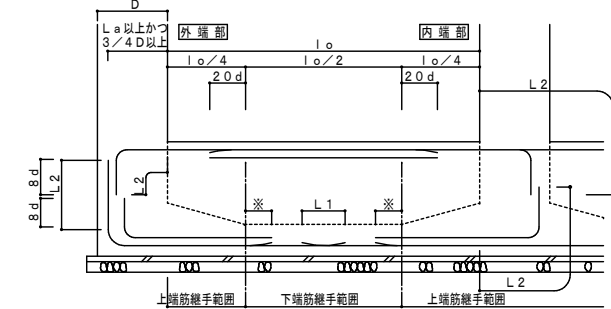
(1) 独立基礎、杭基礎の場合（定着、継手）

（長期荷重が支配的な場合の継手は6.（2）大梁継手位置とする。）



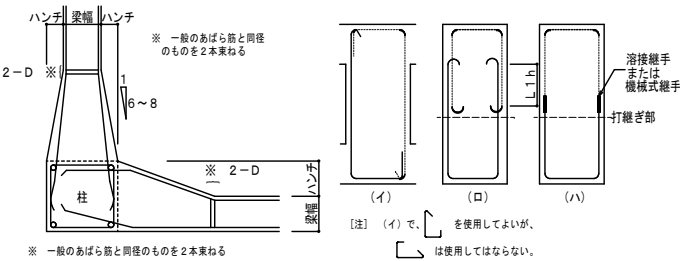
※ 主筋のカットオフ長さは、 $l_o/4 + 15d$ を基本とし、特別な長さを要する部分は6.大梁の項の表6-1による。

(2) 布基礎、べた基礎の場合（定着、継手）





※ 主筋のカットオフ長さは、 $l_o/4 + 15d$ を基本とし、特別な長さを要する部分は6.大梁の項の表6-1による。

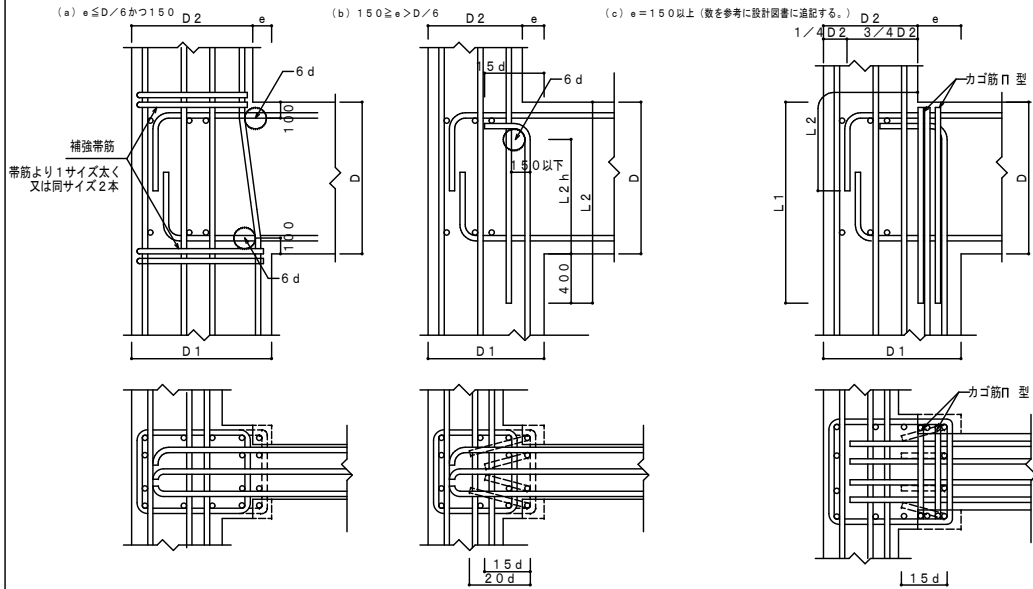
(3) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領 (4) せいの高い梁のあばら筋加工要領図



※ 一般のあばら筋と同径のものを2本束ねる

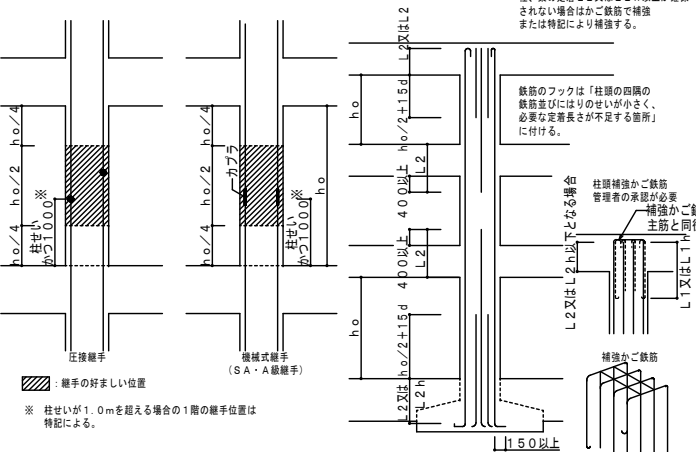
【注】(イ)で、を使用してよいが、は使用してはならない。
(ロ)では、あばら筋の継手は180°フック付きとする。

(6) 絞り

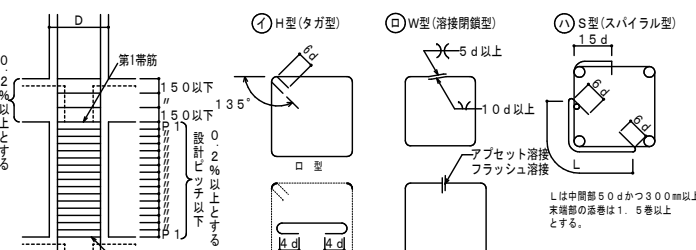


5. 柱

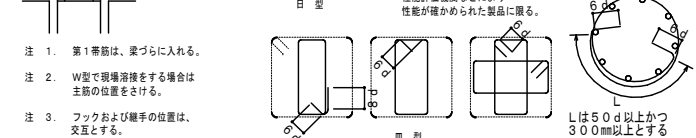
(1) 柱主筋の継手



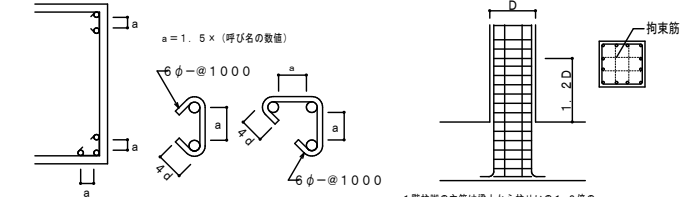
(2) 柱主筋の定着



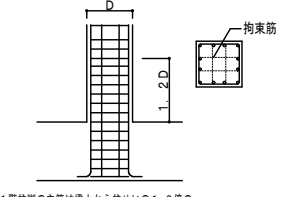
(3) 帯筋



(4) 寄せ筋の保持

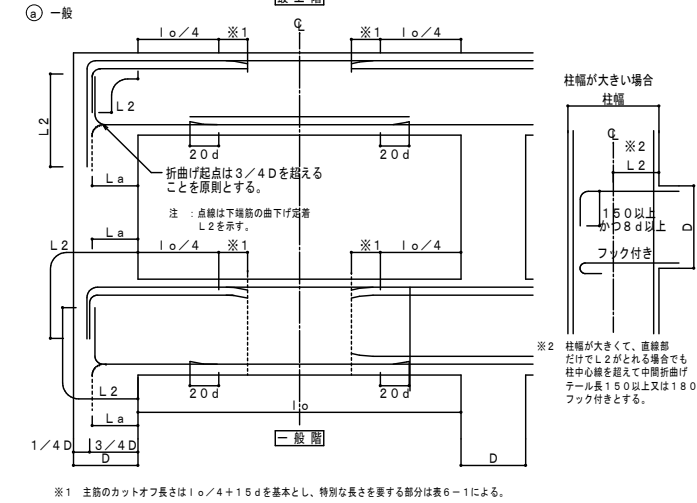


(5) 柱脚部の補強



6. 大梁

(1) 定着



※ 1 主筋のカットオフ長さは $l_o/4 + 15d$ を基本とし、特別な長さを要する部分は表6-1による。

(2) ハンチがある場合

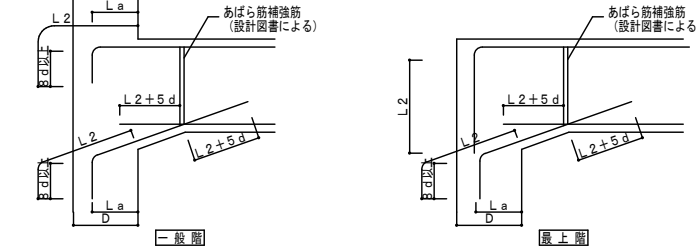
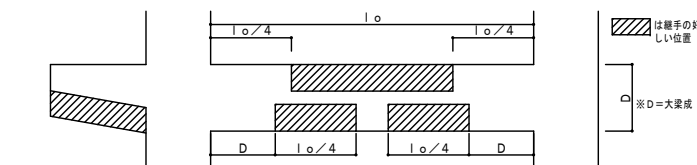


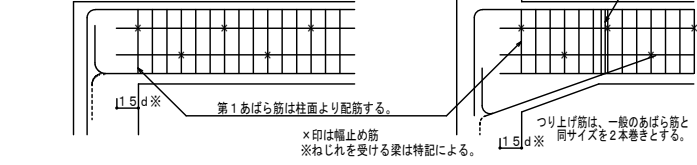
表6-1 特別なカットオフ長さを要する部材 (mm)

部 材 名	$l_o/4$ に加える長さ	部 材 名	$l_o/4$ に加える長さ

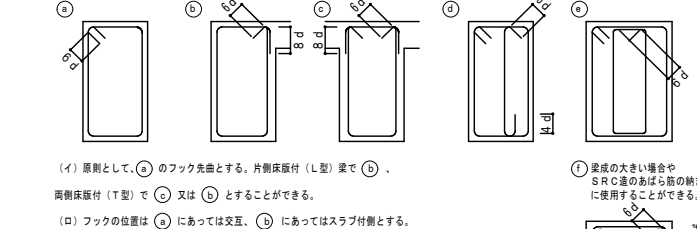
(2) 大梁主筋の継手（S A級、A級継手を使用する場合の継手位置は特記による。）



(3) あばら筋、腹筋、幅止めの位置



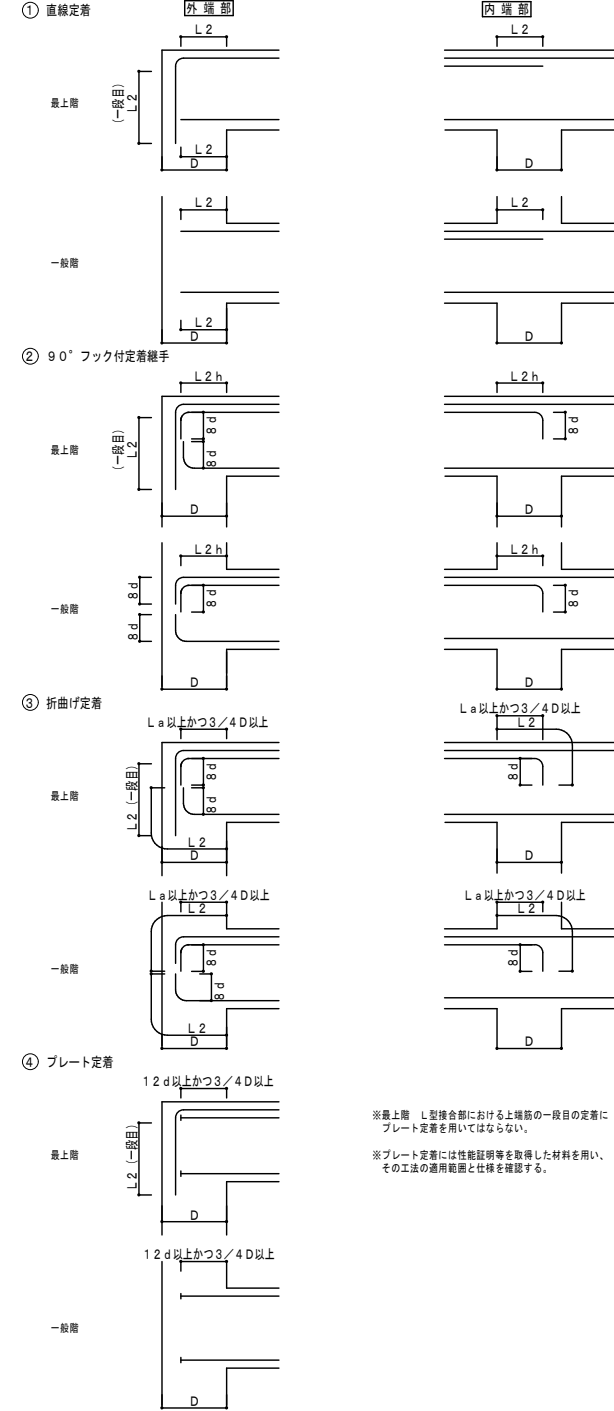
(4) あばら筋の型



(5) 幅止め筋の本数、加工

腹 筋	D<600 不要 600≤D<900 2-D10 1段 900≤D<1200 4-D10 2段 1200≤D D10≦300以内 1200以上 D13≦300以内
幅止め筋	D10≦1000以内で割り付ける

(6) 梁主筋の定着



※最上層 L型接合部における上端筋の一段目の定着にプレート定着を用いてはならない。
※プレート定着には性能証明等を取得した材料を用い、その工法の適用範囲と仕様を確認する。

工 事 名
令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事

図 名
鉄筋コンクリートお構造配筋標準図(2)

(株)ハウジング総合コンサルタント
高知市南久保16-17 TEL 089-883-1030 FAX 089-882-4779

縮 尺
1 / 50
A2(100%)、A3(70.7%)

年 月 日
2025/03

図 面 No.
S — 04

高知県知事登録119号
代表取締役
福 家 正 義

製 図

管理建築士
一級建築士登録第203207号
村 田 憲 明

構造担当
一級建築士登録第378344号
高 須 賀 範 昌

鉄骨構造標準図（１）

※修正箇所は下線を引くこと

1. 一般事項

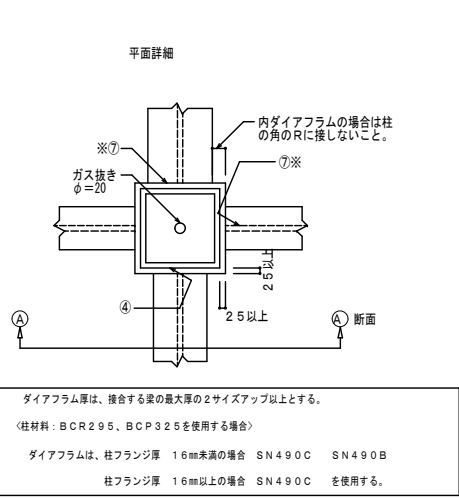
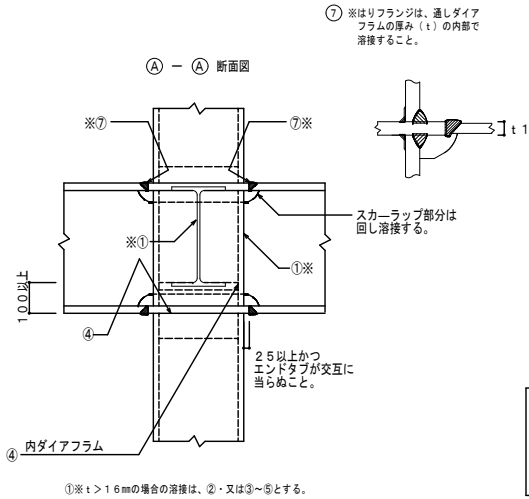
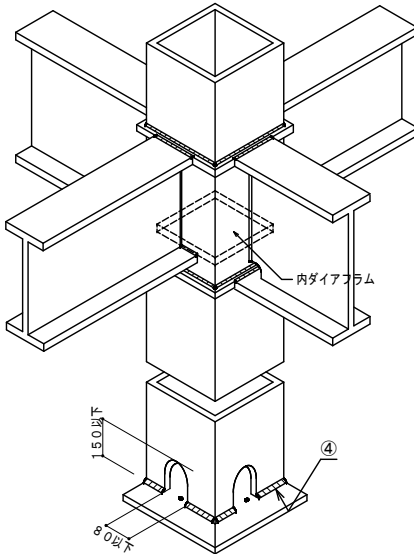
- (1) 材料及び検査
- (a) 新構造設計特記仕様その1による。
- (b) 本標準図はベースプレートを除き鋼材の厚さが40mm以下の工事に適用する。
但し、ベースプレートの厚さは除く。
- (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法・精度及びその他の検査結果を添付する。
- (2) 工作一般
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る。
- (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による。
- (c) 高強力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする。
- (3) 高力ボルト接合
- (a) 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない。
- (b) 高力ボルトの摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、一様にさびを発生させた状態とする。但しショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面荒さが、 $5.0\mu\text{m Rz}$ 以上である場合は、さびの発生は要しない。
- (c) 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するように注意して行う。
- (4) 溶接接合
- (a) 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロによる、溶接部の性能、溶着金属の性能を満足すること。
- (b) 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適用するJIS Z 3801（手溶接）又はJIS Z 3841（半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする。
- (c) 溶接機器
(イ) 交流アーク溶接機 300A～500A (ロ) アークエアガウジング機（直流） (ハ) セルフシールドアーク溶接機
(ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機 (ホ) 溶接電流を測定する電流計 (ヘ) 溶接棒乾燥機
- (d) 溶接方法
被覆アーク溶接（アーク手溶接、MC、MP） セルフシールドアーク溶接（半自動溶接、GC、GP）
ガスシールドアーク溶接（半自動溶接、GC、GP） アークエアガウジング（AAG）
- (e) 溶接姿勢
- 下向 F 立向 V 横向 H 上向 O
- (f) 組立溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う。
(イ) 仮付位置
組立溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける。
- (ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する。
- (g) 溶接施工
(イ) エンドタブ
・完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける。
・エンドタブの材質は、母材と同質とする。但し、鉄骨製作に十分な実績があり、かつ溶接部の品質が十分確保できると判断される場合には監理者の承認を受けてほかの方法とすることができる。
・エンドタブの長さは、MC：35mm以上、NGC、GC：40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残して切断して、グラインダー仕上げとする。
・プレス鋼板タブ、図形タブ使用については、資料を提出し設計者、又は工事監理者の承認を得る。
(ロ) 裏当て金
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、巾は25mm以上を原則とする。但し、溶接性能が確認できれば監理者の承認を得て変更することができる。
(ハ) スカラップ半径は $r1=30\sim35\text{mm}$ と $r2=10\text{mm}$ のダブルールとする。
但し梁成が $D=150$ 未満の場合のスカラップは $r1=20\text{mm}$ とする。
(ニ) ノンスカラップ工法
(ホ) 裏はつり
標準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、アークエアガウジングを行った上で、部材に確認マークを付ける。
(ヘ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。また、開先部を備めない様に養生を行う。
- (5) 塗装
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない。

2. 溶接標準図

(注) f：余盛 G：ルート間隔 R：フェース S：脚長 (単位mm)

- (1) 隅肉溶接
- (2) 屋根スラブの補強
- (3) 部分溶け込み溶接 (使用箇所注意)
- (4) 完全溶込み溶接 (平継手 T形継手)
- (5) 溶接姿勢
- (6) 溶接姿勢
- (7) 溶接姿勢
- (8) フレーア溶接

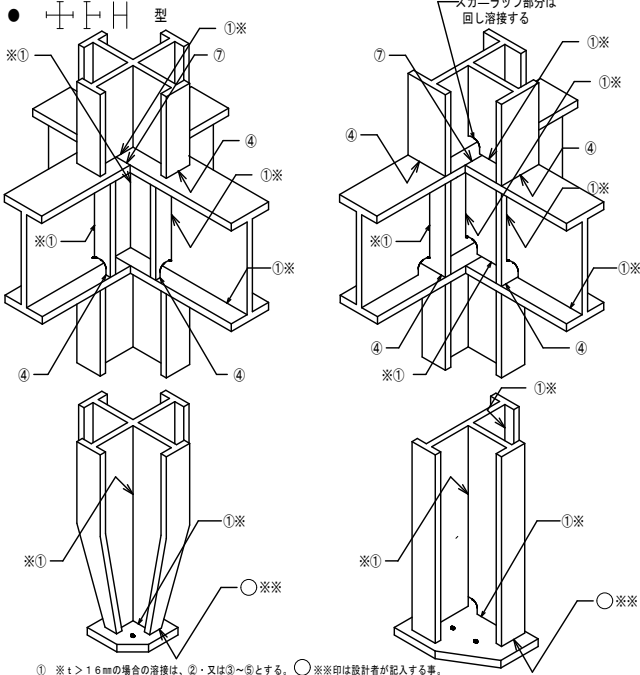
●BOX型 (通しダイアフラムの場合)



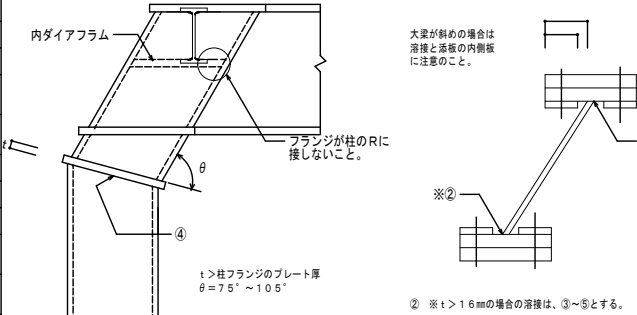
●鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類		規格	溶接材料	入熱 (kJ/cm)	バス間温度 (℃)
一般鋼材	400N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGM11, YGM15 YGM18, YGM19	40以下	350以下
		JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	30"	350"
		JIS Z 3211	E43xx, E49xx	40"	350"
	490N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGM11, YGM15 YGM18, YGM19	30"	250"
		JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40"	350"
		JIS Z 3211	E49xx	40"	350"
冷間成形角形鋼管	400N級炭素鋼 BCR295, BCP235 STKR400	JIS Z 3312	YGM11, YGM15 YGM18, YGM19	30"	250"
		JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40"	350"
	490N級炭素鋼 BCP325 STKR490	JIS Z 3312	YGM18, YGM19	30"	250"
		JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	30"	250"

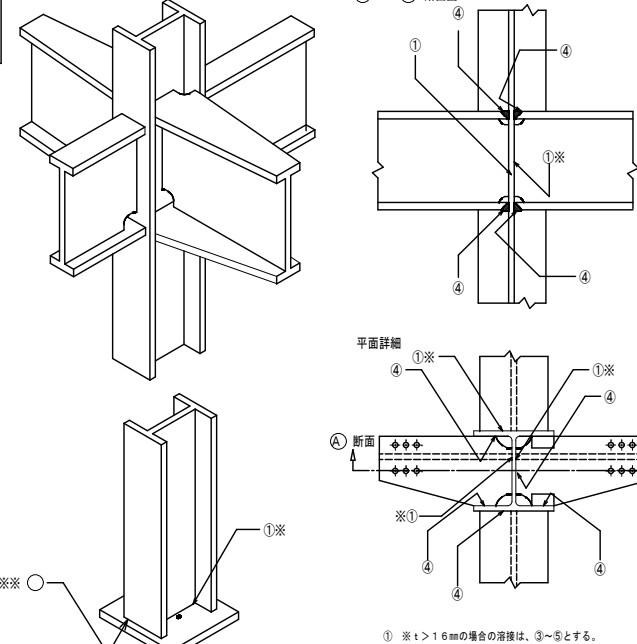
注) ロボット溶接の場合 (一社) 日本ロボット工業会による建築ロボットの型式認証条件に従うこと。
490N/mm²を超える部材は適合する溶着金属を使用すること。
ガスシールドアーク溶接による完全溶込み溶接部に適用する。



●柱が途中で折れる場合、及び梁せいが異なる場合



●B.H方式



工 事 名
令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事

図 名
鉄骨構造標準図(1)

(株)ハウジング総合コンサルタント
高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779

縮 尺
1/50
A2(100%), A3(70.7%)

年 月 日
2025/03

図 面 No.
S 06

高知県知事登録119号
代表取締役
福 家 正 義

管理建築士
一級建築士登録第203207号
村 田 憲 明

構造担当
一級建築士登録第378344号
高 須 賀 範 昌

鉄骨構造標準図（２）

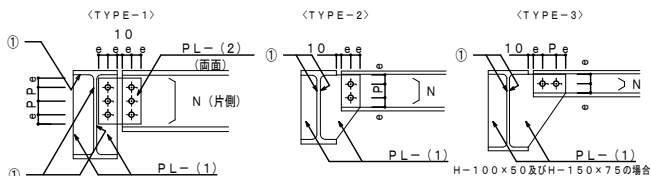
３．継手標準図、その他

（１） 高力ボルト、ボルト、アンカーボルトのピッチ（P） ボルト穴径・最小継端距離（mm）

呼び径 d	ボルト穴径	最小継端距離（e）					ピッチ（P）	
		（１）	（２）	（３）	（２）（３）の標準	最小	標準	
高力ボルト	M16	18	40	28	22	40	40	60
	M20	22	50	34	26	40	50	60
	M22	24	55	38	28	40	55	60
	M24	26	60	44	32	45	60	70
アンカーボルト（内はボルトを示す）	M16	21（16.5）		28	22	（40）	（40）	（60）
	M20	25（20.5）		34	26	（40）	（50）	（60）
	M22	27（22.5）		38	28	（40）	（55）	（60）
	M24	29（24.5）		44	32	（45）	（60）	（70）
	M27	32		49	36			
	M30	35		54	40			
M30を超える		呼び径+5	9d/5	4d/3				

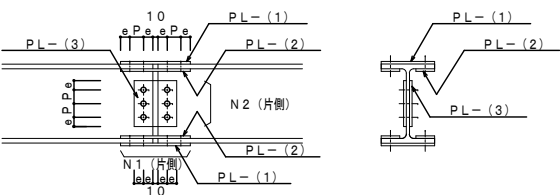
〔注〕（１）引張材の接合部で応力方向にボルトが３本以上並ばない場合の応力方向の継端距離。
（２）せん断継・手動ガス切断後の場合の継端距離。
（３）圧延継・自動ガス切断後・の引き継ぎ・機械仕上継の場合の継端距離。

（２） ピン接合梁継手リスト



番号	タイプ	部 材	PL-（１）	PL-（２）	N-径
3	H-125・60・6・8	6			2-M16
3	H-150・75・5・7	6			2-M16
2	H-175・90・5・8	6			2-M16
2	H-200・100・5.5・8	6			2-M16
2	H-250・125・6・9	6			3-M16
2	H-300・150・6.5・9	9			3-M20
2	H-350・175・7・11	9			4-M20
1	H-350・175・7・11	9	6		4-M20
2	H-400・200・8・13	9			5-M20
1	H-400・200・8・13	9	9		4-M20

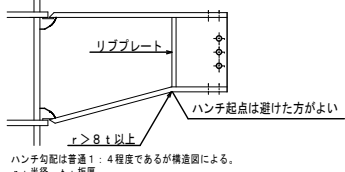
（３） 剛接合梁継手リスト（SCS-H97による）



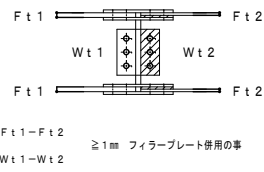
〔注〕端部をBHとする場合は設計図による。

符 号	部 材	フランジ			ウェブ	
		PL-（１）	PL-（２）	N1-径	PL-（３）	N2-径

（４） ハンチ部の継手

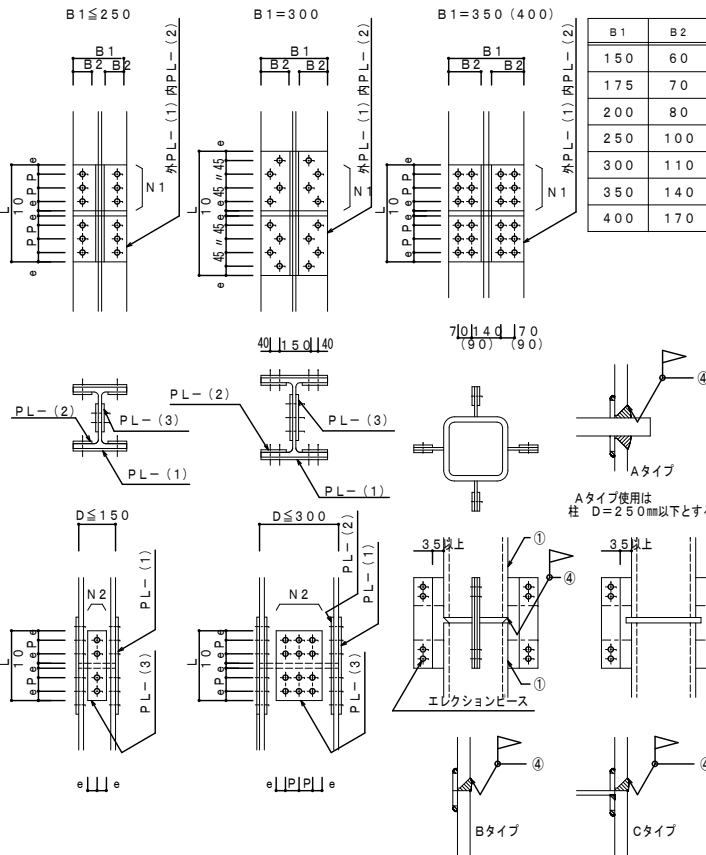


フランジとウェブ厚の差のある場合



（５） 柱継手リスト

※修正箇所は下線を引くこと



〔注〕現場溶接は原則として超音波探傷試験を100％行う。

符 号	部 材	フランジ			ウェブ	
		PL-（１）	PL-（２）	N1-径	PL-（３）	N2-径

（６） ターンバックルブレース（JIS規格品とする…JIS A 5540…2008/5541…2008）

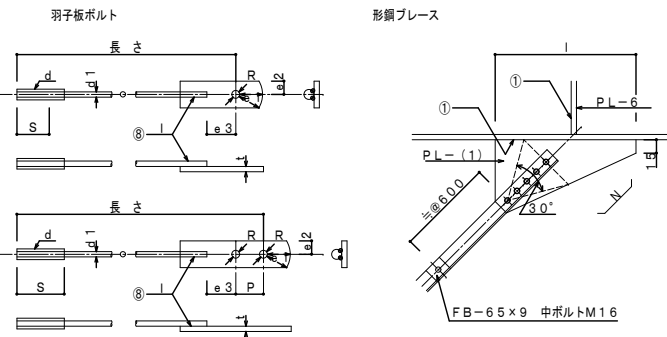
（a） 羽子板ボルト

ねじの呼び（d）		M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径 d1	最 大	10.83	12.66	14.66	16.33	18.33	20.33	22.00
	最 小	10.59	12.41	14.41	16.07	18.07	20.07	21.69
調整ねじの長さ		S 100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径		R 17.0	17.0	17.0	21.5	21.5	23.5	21.5
許容差±0.5mm								
はしあき（最小）		(2) e1 40	40	45	50	50	55	50
切板製	ヘリあき（最小）	(1) e2 28	28	28	34	34	38	38
	板 厚 t	6	6	6	9	9	9	9
平鋼製	ヘリあき（最小）	(1) e2 25.0	25.0	25.0	32.5	32.5	37.5	37.5
	板 厚 t	6	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴迄のあき（最小）		e3 52	52	59	66	66	73	70
溶接長さ（最小）		W 40	50	55	60	75	85	85
取付ボルト	種 類	JIS B 1186 2種高力ボルト（F10T）（3）						
	ねじの呼び	M16	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本 数	1	1	1	1	1	1	2

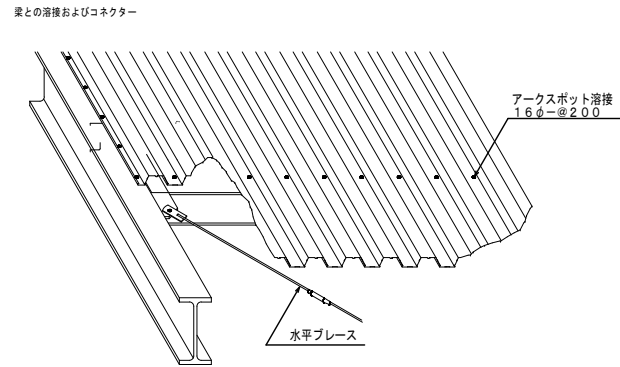
〔注〕（１）e1、e2が確保されてれば形状は自由より。
（２）羽子板とガセットプレートの場合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断（支圧）接合とする。
（３）溶融亜めっき製品では、JIS B 1186 に規定する1種 F8T Aに準じるものを使用する。

（b） 形鋼ブレース

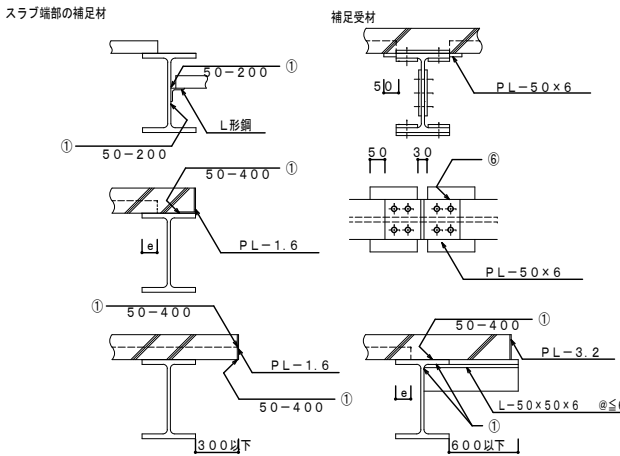
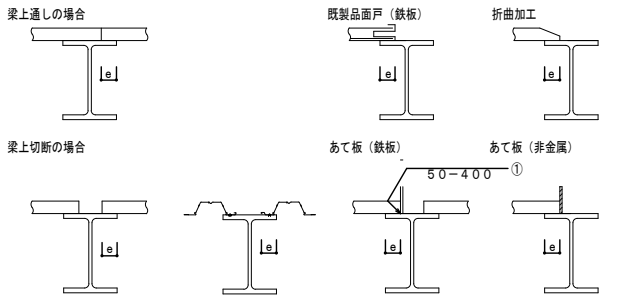
符 号	部 材	PL-（１）	N-径	I



（７） デッキプレート（床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照）



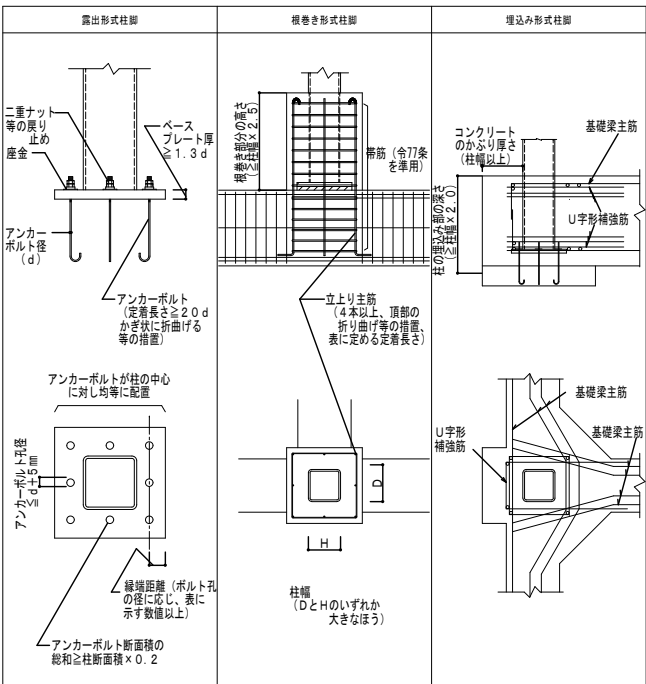
受梁へのかり寸法及端部処理 e：長手方向で50mm以上、巾方向で30mm以上とする。且つ、各メーカーの仕様による。



（８） 柱脚

注）許容応力度計算を行わなかった場合の構造形式

※構造用アンカーボルトは原則としてJIS B 1220、JIS B 1221を使用する。



（９） 頭付きスタッド（JIS B 1198 - 2011）

スタッド材の標準形状・寸法

形 状	スタッド材				
	呼び名	軸径 d mm	頭径 D mm	頭高さ T mm	呼び長さ L mm
	φ13mm	13	25	8	□80 □100□120□
	φ16mm	16	29	8	□80 □100□120□
	φ19mm	19	32	10	□80 □100□120□150□
	φ22mm	22	35	10	□80 □100□120□150□
	φ25mm	25	41	12	□120□150□170□

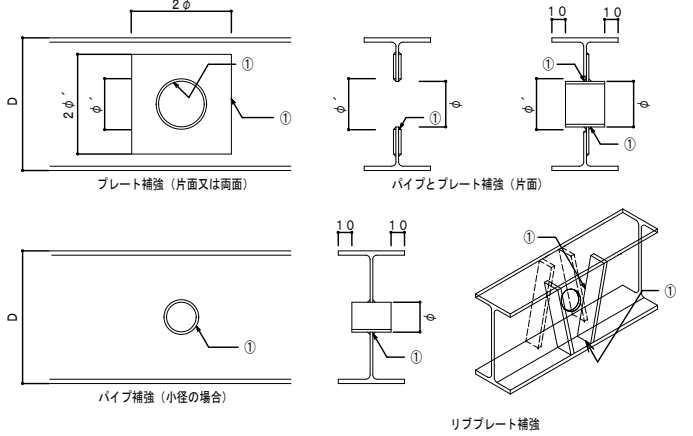
（１０） 梁貫通補強

・計算で確認された場合は下記の位置、寸法及び補強方法によらなくて良い。

・梁端部（内法スパン1.0の1/10以内かつ、2D以内）は避ける。

・φ≤0.4D

・φ'は補強筋の穴径を示す。



プレート補強の板厚

スリプ径	補 強 筋
φ≤0.15D	補強筋不要（計算で安全性の確認を行う）
φ≤D/4	Web板厚以上（片面）
φ≤D/3	Web板厚×1.2倍以上（片面）
φ≤0.4D	Web板厚以上（両面）

工 事 名
令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事

図 名
鉄骨構造標準図(2)

(株)ハウジング総合コンサルタント
高知市南久保16-17 TEL 089-883-1030 FAX 089-882-4779

縮 尺
1 / 50
A2(100%)、A3(70.7%)

年 月 日
2025/03

図 面 No.
S — 07

高知県知事登録119号
代表取締役
福 家 正 義

製 図
村 田 憲 明

管理建築士
一般建築士登録第203207号
村 田 憲 明

構造担当
一般建築士登録第378344号
高 須 賀 範 昌

J F E 建材
株式会社

設計

アクセサリー

フラッシング
(Q.L.デッキ割付の幅範囲に用いる。)

W (100-250) 25 100

ハンガー金具
(Q.L.デッキ下梁を利用する天井インサート用金具。)

40 25

クローザー
(Q.L.デッキの巾どみきぎに用いる。)

185 25

注1) スパンとは鉄骨造の連続デッキプレートを支える梁の中点間距離、鉄筋コンクリート梁の場合は両端支持をいう。
 注2) スパンが3.4mを超える場合は、合成スラブと床は取り替える（軸間16mm以下、片手300mm以下）で結合する。
 注3) 鉄骨梁の場合、梁と床の接合は溶接または接合、打込み、または溶け付スタッドを用いる。
 注4) 梁の断面寸法と 梁に1、2または3層時の耐久性性能が要求される場合は、それらに即応寸法を指す。

注5) 許容縦向き荷重 W 算出式

$[A] \ QL99-50$	$[B] \ QL99-75$
$W=5,400 \times \frac{2.7}{\mathbf{L}} \text{ かつ } 9,800 \text{ N/mm 以下}$	$W=5,400 \times \frac{3.4}{\mathbf{L}} \text{ かつ } 9,800 \text{ N/mm 以下}$

※許容縦向き荷重は、床にかかる全重量（床が荷重をいかに受け持つ能力）で、デッキプレートとコンクリート梁の両方を示している値を示す。

付帯条件

連続支持合成スラブの場合、デッキプレートは2スパン以上によって連続的に小径支持等によって、ほぼ等間隔に支持されるものとする。

デッキプレートと梁との接合

2) 打込み順

3) 焼結接合部

施工は打込み組製造業者の施工要領による。

施工の工程等は以下に別途説明をご確認下さい。

日本セルテック(株) JPT 株式会社

国土交通省告示第326号(平成14年4月16日制定)及び国土交通省令第4号(平成14年4月16日制定)に基づき下記仕様による。(梁・合流スラブ工法)焼結接合部に関する規定が適用される。

第4号(平成14年4月16日制定)に基づき下記仕様による。(梁・合流スラブ工法)焼結接合部に関する規定が適用される。

合流スラブ工法主梁の「焼結接合部」の規定が適用される。

焼結接合部 [SPW]

— アーク手摺 —

自動焼結接合部 [A.P.]

仕様 230A以上

アーク手摺機

A)

工 程	手 順 ・ 要 領
1	アーク発生 火点付を梁の上になしき(間隔2mm以下)溶接棒を火点付位置に当てアークを発生させる。
2	火点付焼結 溶接棒を若干引き上げてアークを断絶し、径10mm程度の「の」字を描いて火点付を焼結し、溶接棒を梁の上まで押し込み、溶接棒の内部を溶かすように円中央へ2～3回転(1回以上)を繰り返す。
3	整 形 溶接面を整え、中央部で多少の突起を許す。溶接棒を梁の上から引き上げて仕上がり面を形成。

溶接材料名: 電 気 炭 210A 電 流: 600A 電 圧: 20V 電 流: 600A

(1) 一次側電源の必要容量・電圧・電流

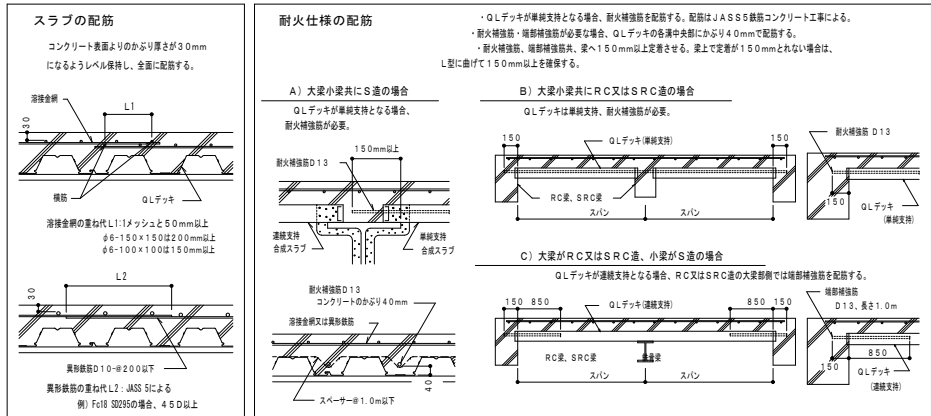
(2) ワイヤの種類と直径 : YGW 1

3) 標準仕様表: 下表

火点付板厚	梁フランジ厚
1.2mm	6～9mm未満
	9mm以上
1.6mm	6～9mm未満
	9mm以上

注1. デッキプレート 板厚1.2mm

2. CO₂ガス流量 2.0L/分以下

[illegible]

施工順序		数 込 み		デッキプレートと梁との 接 合				検 査	
施 									

(1) 設計上の留意点

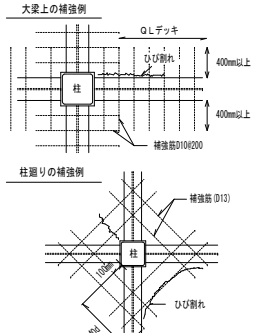
- ① 小車の剛性を大きくする
- ② 2つ引掛け防止のための拘束筋を設ける。(右図参照例参照)
- ③ スピンとスラブ厚さの比を小さくし、配筋量を大きくする。
(コンクリート厚さをその1.5倍とし、約 30~80mm 程度とする。)
- ④ チョーグレートは各層で必要とされるようにする。
引掛けスラブ使用の場合にも、チョーグレートも各層でアークスポンジ設置するのが望ましい。

(2) 施工上の留意点

- ① 水セメント比を小さくする。

【例】 表層部	175 kg/m ³ / (m ³ 以下)	スラブ厚 15mm
ベームコンクリートスラブ 10mm		
- ② 表層部 A 区画を注意する
- ③ 表層部の底面より上部より 20mm を確保する。(傾斜筋は底面部を上部に引き出す)
- ④ コンクリート打込み直前 1 週間ほど養生作業を行うのがよい。歩行速度は可。
- ⑤ 打込み後初期には底面より養生シート等で保護養生を行う。

照射方向の土層上面は、水気養生を行い、乾燥面を乾燥面と見なすようにし、充分養生期間を要す。



その他の納まり・参考例等については、Q Lデッキ施工マニュアルまたは別途『納まり図』（技術資料CADデータ収録）を参照下さい。

□2014/7/28/A2-JWW/A□

工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 合成スラブ設計施工標準	縮 尺 1 / 50 A2(100%) A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. S — 08	製 國 日本	構造担当 <small>（図式より1/50縮尺で図面を作成）</small> 一級建築士登録第378344号 高 須 賀 範 昌	

ISベース柱脚工法設計・施工標準図
(SP:角型鋼管用 保有耐力接合タイプ) 1/3

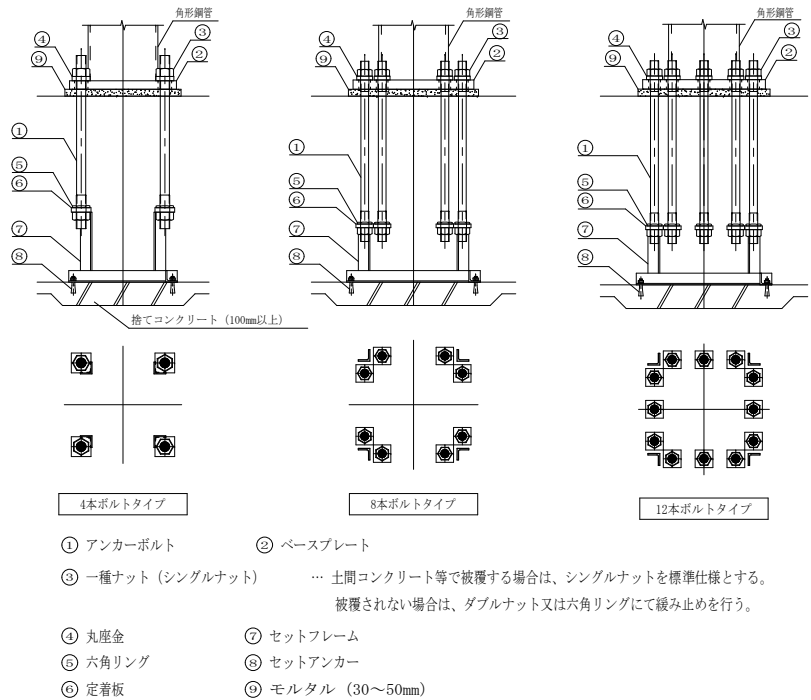
一般財団法人 日本建築センター 鋼構造評定委員会評定 BCI評定—ST0282-02 (2022年12月16日)

国土交通大臣認定番号 (アンカー用ボルトセット)		※ () はミルメーカーと加工工場を示す。	
MBLT-0116	M24～M48 (朝日工業・アイエスケー中島工場)	MBLT-0180	M24～M48 (朝日工業・アイエスケー前橋工場)
MBLT-0144	M30～M48 (JFE条鋼・アイエスケー中島工場)	MBLT-0181	M30～M48 (JFEスチール・アイエスケー前橋工場)
MBLT-0164	M52～M76 (JFE条鋼・アイエスケー前橋工場)		

適用柱材
F値=235N/mm ² , 275N/mm ² , 295N/mm ² , 325N/mm ²
2023年11月作成

アイエスケー株式会社	
(大阪本社)	TEL 06-6449-0881 FAX 06-6449-0877
(東京支店)	TEL 03-3433-0844 FAX 03-3433-0847

1. 構造概要



3. アンカー用ボルトセット

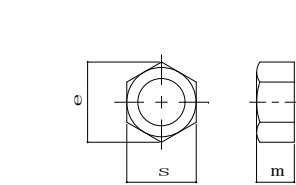
3-1. アンカーボルト

材料： 大臣認定材料 (ISB740C, ISB740E, ISB800B)

		db			L	
品番	呼び径	ピッチ	ISB740C	ISB740E	ISB800B	Ls
			22.0	—	—	
A21	M30	3.5	28.0	—	—	115
A31	M36	4.0	33.15	33.0	—	130
A34					825	
A41					745	
A42					845	
A43	M42	4.5	38.92	38.8	—	145
A44					945	
A52					1045	
A53					1015	
A61	M52	5.0	—	49.0	1100	185
A62					1200	
A71	M56	5.5	—	52.0	1165	195
A72					1265	
A81	M60	5.5	—	56.0	1230	205
A91	M64	6.0	—	60.0	1295	215
A92					1395	
AA1	M68	6.0	—	64.0	1360	225
AA2					1460	
AB1	M72	6.0	—	67.8	1425	235
AC1	M76	6.0	—	71.8	1490	245

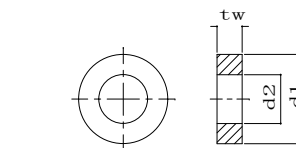
3-2. ナット

種類： 1種六角ナット JIS B 1181
強度区分： JIS B 1052 8 (M48以下)
強度区分： JIS B 1052 10 (M52以上)



3-3. 丸座金

材質： 一般構造用圧延鋼材 SS400

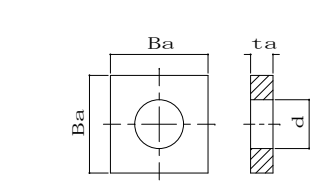


呼び径	m	s	e
M24	19	36	41.6
M30	24	46	53.1
M36	29	55	63.5
M42	34	65	75.0
M48	38	75	86.5
M52	42	80	92.4
M56	45	85	98.1
M60	48	90	104.0
M64	51	95	110.0
M68	54	100	115.0
M72	58	105	121.0
M76	61	110	127.0

呼び径	品番	d1	d2	tw
M24	C1	52	25	9
M30	C2	58	31	12
M36	C3	68	37	16
M42	C4	78	43	19
M48	C5	90	50	19
M52	C6	100	54	25
M56	C7	108	58	28
M60	C8	114	62	32
M64	C9	120	66	36
M68	CA	128	70	36
M72	CB	134	74	36
M76	CC	140	78	36

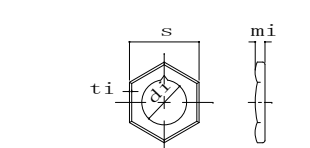
3-4. 定着板

材質： 一般構造用圧延鋼材 SS400 (M48以下)
溶接構造用圧延鋼材 SM490A (M52以上)



3-5. 六角リング

材質： JIS G3131 SPHC



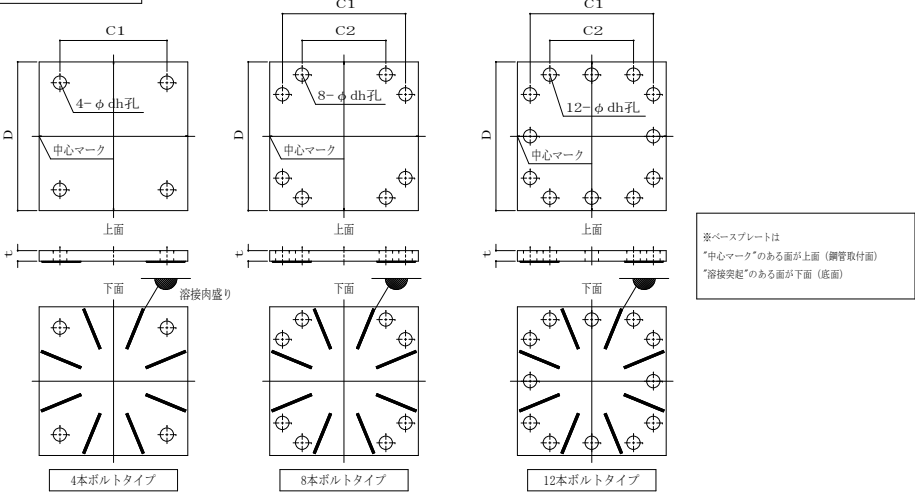
呼び径	品番	Ba	ta	d
M24	P1	50	9	26
M30	P2	65	12	32
M36	P3	75	16	38
M42	P4	85	19	44
M48	P5	95	22	50
M52	P6	115	25	54
M56	P7	120	25	58
M60	P8	130	28	62
M64	P9	135	32	66
M68	PA	140	32	70
M72	PB	150	36	74
M76	PC	155	36	78

呼び径	S	di	mi	ti
M24	36	22.5	5	1.6
M30	46	28.9	7	2.0
M36	55	33.6	8	2.0
M42	65	39.2	9	2.3
M48	75	45.7	10	2.3
M52	80	49.9	11	2.8
M56	85	52.6	12	2.8
M60	90	56.6	12	3.2
M64	95	60.3	13	3.2
M68	100	64.3	14	3.2
M72	105	68.2	14	3.6
M76	110	72.2	15	3.6

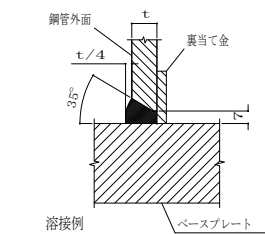
2. ベースプレート

2-1. 材質 JIS G 3136 SN490B (t=40mm以下の場合のみ使用)
建築構造用認定鋼板 TMCP325B (板厚の制限なしで使用)

2-2. 形状と寸法



2-3. 柱材との溶接



柱材とベースプレートの溶接は、完全溶け込み溶接とする。

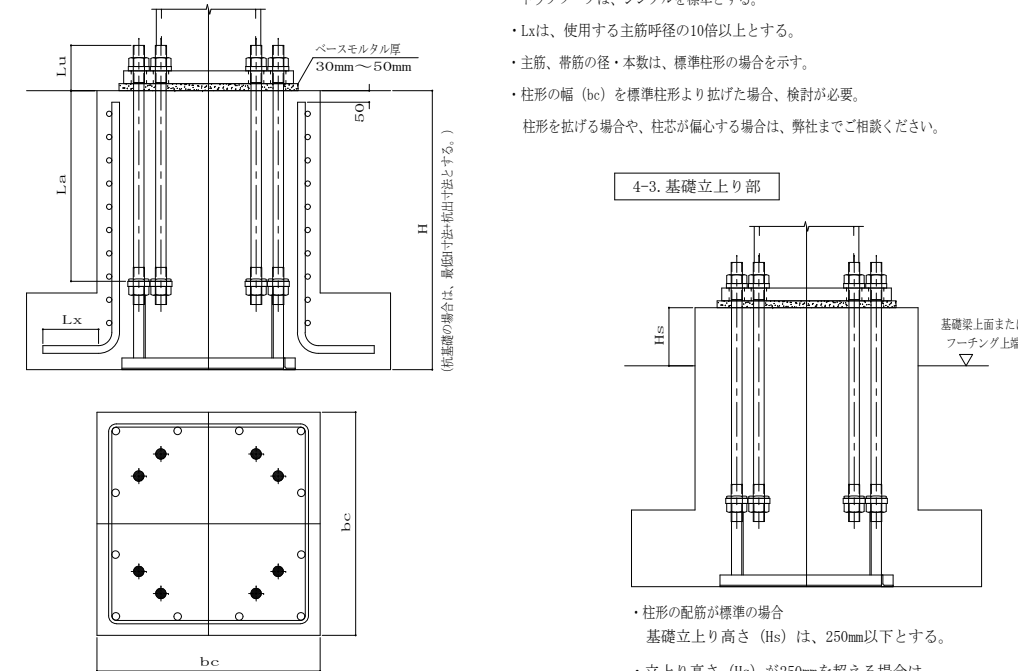
※溶接施工に関しては、
「日本建築学会；建築工事標準仕様書 JASS 6鉄骨工事」に準じる。

※柱材のめっき仕様について
柱材をめっきする場合は、弊社までご相談ください。

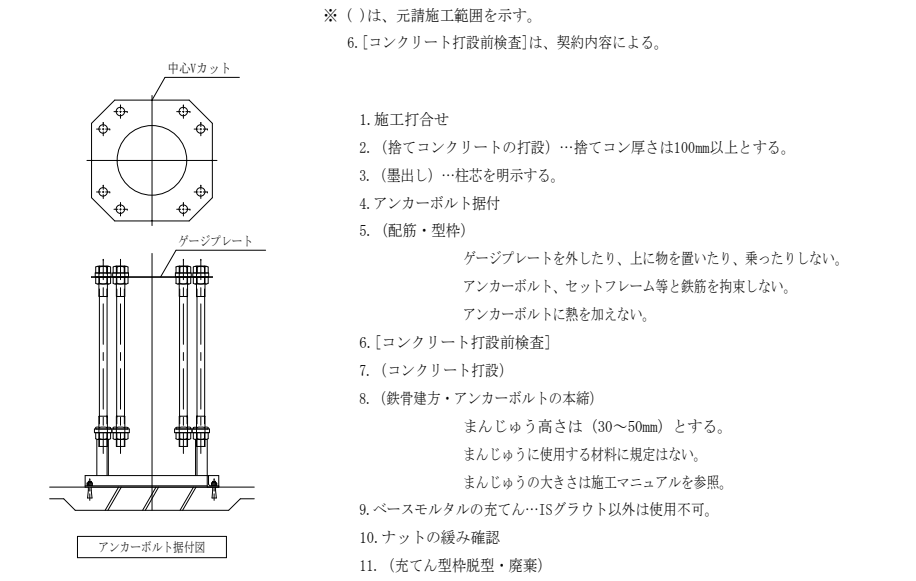
4. コンクリート柱形

4-1. 使用材料 コンクリート： $F_c=21\text{N/mm}^2$ 以上 (鋼管サイズ□550以下)
 $F_c=24\text{N/mm}^2$ 以上 (鋼管サイズ□600以上)
鉄筋： JIS G 3112 SD295A (D16以下)
JIS G 3112 SD345 (D19～D25)
JIS G 3112 SD390 (D29以上)

4-2. 形状・配筋



5. 施工



6. 施工管理

・ISベースの施工 (アンカーボルトの据付及びベースモルタルの充てん) は、弊社が認定した施工者が行う。
・施工は、施工マニュアルに準じて行い、施工後「チェックシート」により許容範囲内にあることを確認する。
・材料は弊社にて支給する。支給品以外の材料を使用した場合、ISベースの性能を保証できない場合がある。
・アンカー用ボルトセットは大臣認定材である。形状・寸法・材質の変更、切り欠き・溶接などの加工は認められない。

工 事 名		(株) ハウジング総合コンサルタント		高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一般建築士登録第203207号 村 田 憲 明
令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事		縮 尺 1 / 50 A2 (100%), A3 (70. 7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. S — 09	製 図 構造担当 一般建築士登録第378344号 高 須 賀 範 昌
図 名 露出柱脚設計指針標準図					

スリーエスG-cube工法特記仕様書 [GBRC性能証明 第07-21号改2]

1. 工 事 概 要

本地業は、セメントスラリーを用いたスラリー系機械攪拌式深層混合処理工法による地盤改良地業である。

この工法は、セメント系固化材を原地盤と攪拌混合し、現地盤をコラム状に固化する地盤改良を行うものである。

2. 一 般 事 項

本地業は、本特記仕様書によるほか、「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（以下指針という）及び

スリーエスG工法 品質・施工マニュアルによる工事を行う。

3. 特 記 事 項

(1) コラムの径、掘削深度（改良長＋空掘長）、本数配置等は設計図書による。但し、コラムの径・長さ・本数・位置及びセメントスラリーの配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切と判断される場合は、監督員の承認の上に変更することができる。

(2) コラム設計基準強度はFc=1000kN/㎡とする

(3) 設計の要求する性能を確保するため、適切な配合管理、施工管理および品質検査を実施する。

(4) セメントスラリーを用いた機械攪拌式深層混合処理工法のスリーエスG工法協会に所属する会員とする。

(5) 工法の選定は、(財)日本建築総合試験所において下記の性能証明を有する工法を選定する。

①変動係数25%が砂質土、粘性土、ローム地盤で採用できること。

②小規模建築物に対する品質管理が規定されていること。

③材齢7日強度で合否判定が可能であると認定されていること。

(6) 品質及び施工管理は、スリーエスG工法品質・施工管理マニュアルに基づいて行うものとする。

4. 施 工 計 画

工事に先立ち、施工計画書を監査員に提出する。施工計画書は次の事項を明記する。

- (1) 地盤概要

(2) 工事内容（コラム径・コラム長・空掘り長・コラム数・設計基準強度）

(3) 工事期間及び工程

(4) 工事要領（使用固化材・配合・攪拌翼の昇降速度・吐出量等）
- (5) 施工機器及び仮設設備と配置

(6) 配合管理・施工管理・品質管理の方法

(7) 建築技術性能証明書

(8) その他、必要事項

5. 施 工 機 械

- (1) 攪拌翼はセメントスラリーと原位置土を確実に攪拌混合するための共回り現象を防止する攪拌装置を装備すること
- (2) 攪拌翼は上下にセメントスラリー吐出口を設け、掘削時に下吐出口から引上げ時に上吐出口からセメントスラリーを吐出可能な吐出切替構造であること
- (3) 所定の施工管理項目の計測及び記録ができる管理装置を用いること
- (4) 改良機本体は本工事の施工仕様を満足させる施工制御機器を装備したものでリーダー付及び自走式タイプであること
- (5) ミキシングプラントは所定吐出量を十分供給できる能力を有していること

6. 固形材の配合及び配合量

- (1) 固形材

(2) 配 合

(3) 配合量
- セメントまたはセメント系固化材とする。

水/固化材比 W/ C=70%

300kg/m³

土質サンプリング及びpH試験、含水比試験又は湿潤密度試験を実施する。これらの試験で問題がないと判断した場合はスリーエスG

工法品質・施工管理マニュアルに従い、配合量を決定すると共に事前配合試験を不要とすることができる。

ただし、基準値を外れた場合や必要と判断される場合はこの限りではない。

7. 品 質 検 査

(1) 設計対象層及び調査箇所数。

① 設計対象層是最弱層とし、砂質土、粘性土、ロームの土質区分では（粘性土）とする。

② 設計対象層（最弱層）の深度は、GL-(1.00 ～ 1.50m) 付近とする。

表 1. 調査箇所数

項 目	採取部位	採取箇所数	備 考
小規模建築物における品質検査	頭部モールドコア	1箇所	材齢 7日
	深部モールドコア	1箇所	材齢 7日

注) 深部モールドコアにおいて、Xi7<Fcの場合は、材齢28日強度を確認する。

頭部モールドコアの抜き取り数は、改良体100本に1箇所以上とする。

(2) メーターサンプラーによる品質管理

設計対象層に対しメーターサンプラーにてサンプリングを行う。

改良部の連続性、土塊混入状況、及び不良率の確認をフェノール試験、指圧試験により行う。

ただし、現場状況等によりメーターサンプラーによるサンプリングが困難な場合は、深部モールドコアを1箇所追加し、計2箇所

でサンプリングすることによりメーターサンプラーの代用を行う。

高温養生（60℃）による材齢1日圧縮試験を行う。

これらにより、健全な品質を確認しモールドコア試験を実施する。

(3) 合否の判定（小規模建築物における品質検査）

① 抜き取り 1 箇所に対して 3 個の供試体を採取する。

② 合否の判定はn個（コアの個数）の一軸圧縮試験結果が、下式を満足する場合を合格と判定する。

$$X_i \geq F_c$$

X_i : 検査対象層より採取した個々のコアの一軸圧縮強さ（材齢7日）（ $1 \leq i \leq n$ ）（kN/㎡）、
（もし $X_{i7}<F_c$ の場合は、 $X_{i28} \geq F_c$ を確認する。）

F_c : 設計基準強度（kN/㎡）

n : コアの抜き取り個数

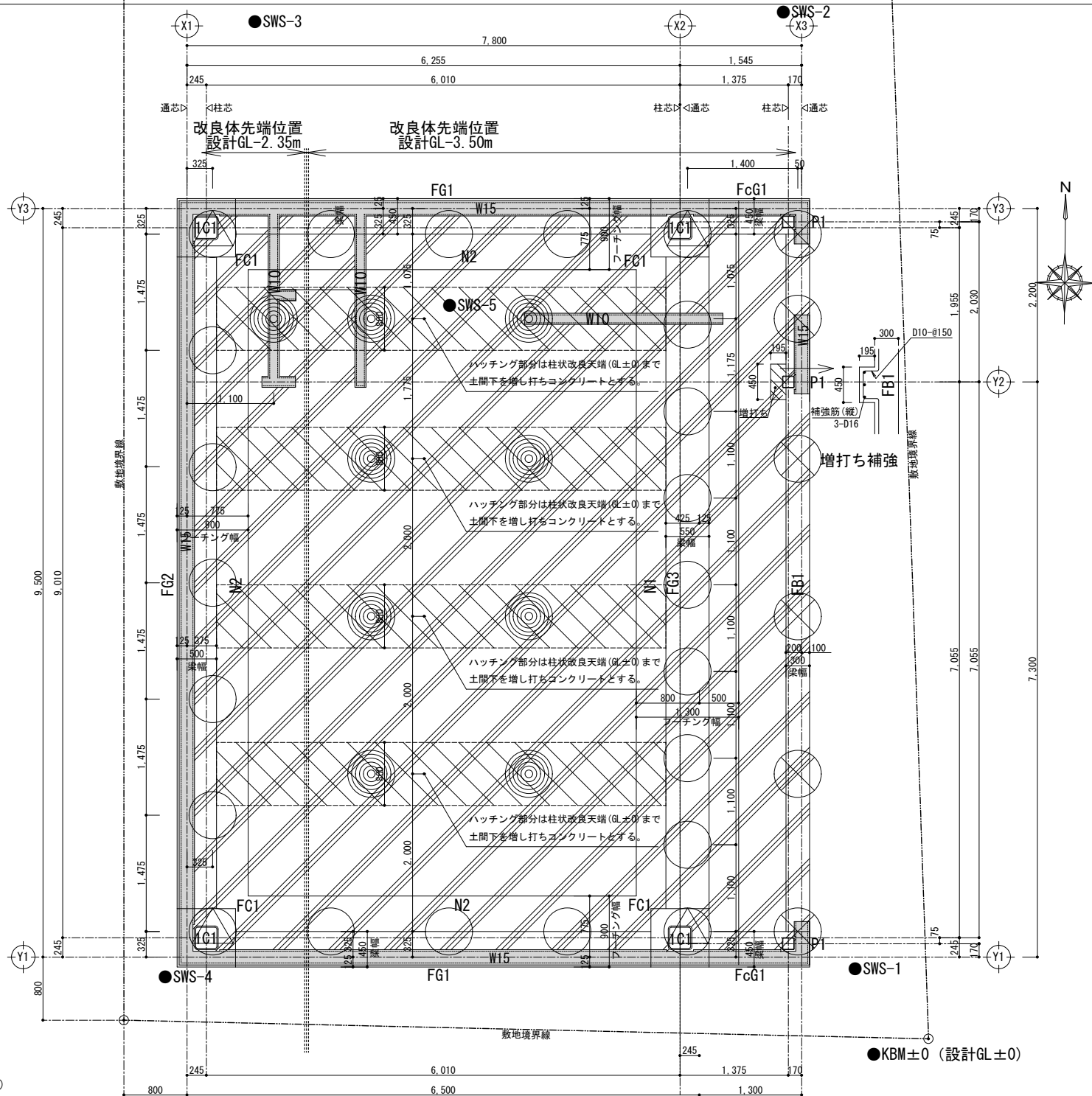
i : 個々の供試体

8. 工 事 報 告

工事完了後、次の項目について報告書をまとめ、監督員に提出する。

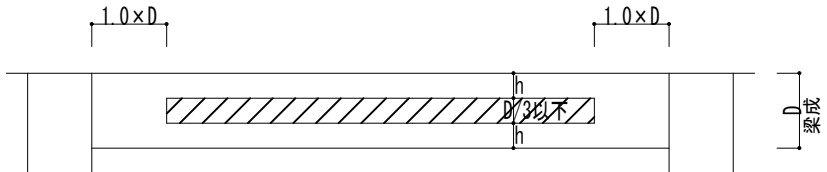
- ① コラム伏図及び番号
- ② コラムの施工日
- ③ コラムの径及び改良長
- ④ 掘削深度
- ⑤ 固化材の配合と使用量
- ⑥ モールドコア圧縮強度試験結果

工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 地盤改良特記仕様書	縮 尺 1 / 50 A2(100%)、A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. S — 10	製 図	構造担当 一級建築士登録第378344号 高 須 賀 範 昌	



R C 梁貫通孔補強要領

【梁貫通孔を設けることができる範囲】



：原則として梁貫通孔を設けることができる範囲

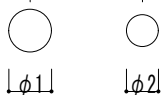
梁主筋が1段筋の場合：h≧φかつ175程度

梁主筋が2段筋の場合：h≧φかつ250程度

基礎梁の場合は端部1.0×Dを1.0mと読替える

【貫通孔の間隔】

梁に平行に3×(φ1+φ2)/2以上



【梁貫通孔補強筋】

- 有孔梁のせん断終局強度が無孔梁のせん断終局強度と同等以上となる補強筋量とする。
- 貫通孔径がD/10以下かつ150未満の場合で、スタラップの配置を変えず貫通孔を配置できる場合は補強を省略してよい。
- 補強筋には下表同等の製品を使用し、採用に先立ち補強筋の計算について監督職員の承諾を得ること。
- 貫通孔の配置、径の制限については各製品の仕様によることができる。

各社製品一覧

MAXウェブレン、ウェブレン

ダイヤレンNS、ダイヤレン

スーパーハリーフ

MAXリンブレック型

スリーエス G-C u b e 工法

GBRC性能証明07-21号 改2

改良体	基礎 長期地耐力	A	改良体の天端GL-1200（布基礎下改良） 改良径：600mm 設計基準強度：F _c =1200kN/m ²
		B	改良体の天端GL-1250（布基礎下改良） 改良径：600mm 設計基準強度：F _c =1200kN/m ²
	土間 長期地耐力	C	改良体の天端GL-1100（土間下改良） 改良径：600mm 設計基準強度：F _c =1200kN/m ²
		D	改良体の天端GL±0（土間下改良） 改良径：600mm 設計基準強度：F _c =1200kN/m ²

	長期地耐力	改良体天端位置	改良体先端位置	
			GL-2.35m	GL-3.50m
A	80kN/m ²	改良体天端位置 GL-1.20m	杭長 1.15m×5本	杭長 2.30m×13本
B	80kN/m ²	改良体天端位置 GL-1.25m	杭長 1.10m×2本	杭長 2.25m×2本
C	20kN/m ²	改良体天端位置 GL-1.10m	—	杭長 2.40m×6本
D	20kN/m ²	改良体天端位置 GL±0.00m	杭長 2.35m×1本	杭長 3.50m×8本

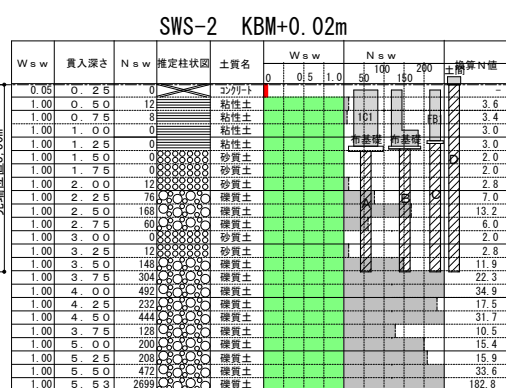
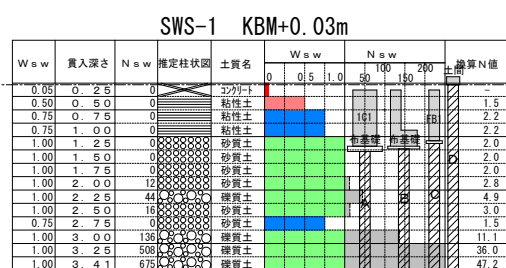
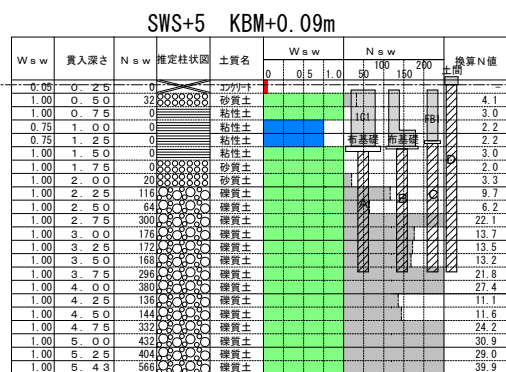
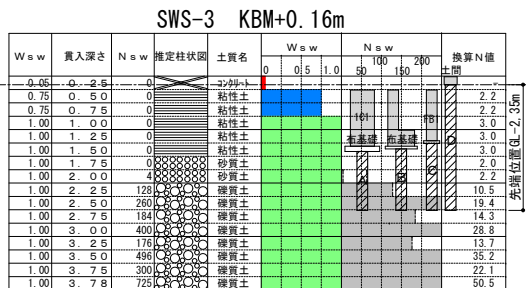
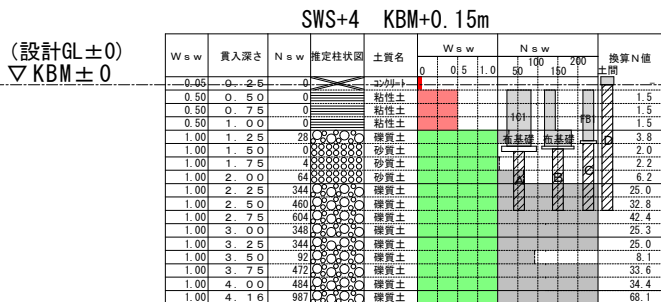
【使用材料】

・基礎コンクリート F_c=24N/mm²

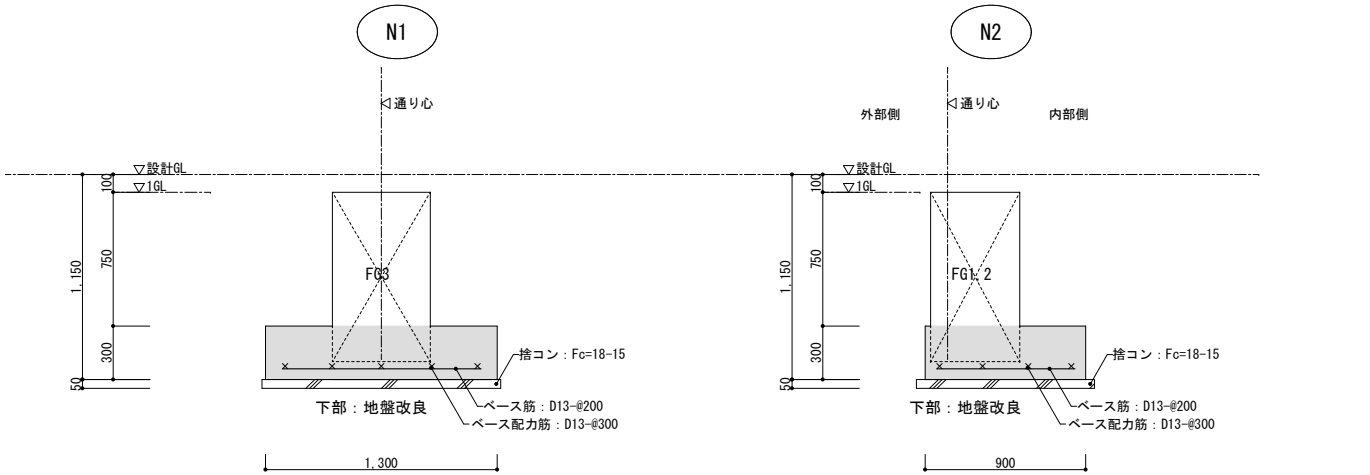
・鉄筋SD345 (D19以上)、SD295 (D16以下)、(D19以上は圧接継手とする。)

・FG1、FG2の腹筋の継手・定着は40dを確保すること。

地盤改良図 S=1:50



工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明
	図 名 基礎伏図	縮 尺 1/50 A2(100%), A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. S — 11	製 図 一級建築士登録第378344号 高 須 賀 範 昌



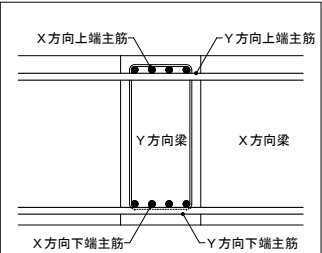
布基礎配筋断面リスト S=1:30

基礎梁断面リスト S=1:30

層	符号	FG1, FcG1	F62	F63
基礎 (1GL)	位置	全断面	全断面	全断面
	断面			
	b × D	450 × 950	500 × 950	550 × 950
	上端筋	4 - D22	5 - D22	10 - D22
	下端筋	4 - D22	5 - D22	10 - D22
	スターラツプ	□ D13-@200	□ D13-@200	□ D13-@200
	ハラ筋	4 - D13	4 - D13	4 - D13
	巾止筋	D10 - @600	D10 - @600	D10 - @600

層	符号	FB1
基礎 (1GL)	位置	全断面
	断面	
	b × D	300 × 950
	上端筋	3 - D22
	下端筋	3 - D22
	スターラツプ	2-D13-@200
	ハラ筋	4 - D13
	巾止筋	D10 - @600

基礎梁配筋要領図



※ 原則として、X、Y方向の基礎梁のレベルが
同一である場合、X方向梁主筋はY方向梁主筋
の上に配筋する。

土間コンクリート

土間コンクリート t=150
Fc=21N/mm2
D13-@200(シヅク ルクロス)

立上り壁

Fc=21N/mm2

符号	壁厚	配筋
W10	150	D13-@200(シヅク ルクロス)
W15	100	D10-@200(シヅク ルクロス)

I S ベース柱脚断面リスト S=1:30

部位	柱 符 号	1C1
柱脚	柱 部 材	□-300×300×16 (BCR295)
	I S ベース記号	SP303
	形 状	
	ベースプレート	530×530×45 (材質:設計施工標準図仕様による)
基礎柱	アンカーボルト	8-M42 (材質:設計施工標準図仕様による)
	基礎柱符号	FC1
	断 面 ・ 配 筋	
	b × D	740 × 740
基礎柱	主筋	24-D22 (SD345)
	1st. Hoop	1-□-D13 (SD295)
	Hoop	□-D13-@100 (SD295)

鉄骨柱断面リスト S=1:30

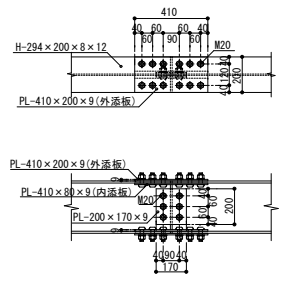

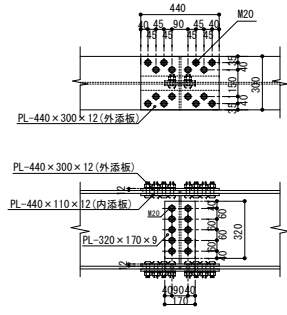

※ 特記なき限り、鉄骨柱の鋼種はBCR295とする。
※ 表中、λ maxは有効細長比の最大値を表す。

階	符号	2C1
2 階	断面	
	呼称	□-300×300×12 λ max = 51.124
1 階	断面	
	呼称	□-300×300×16 λ max = 51.884

工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779	高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 基礎部材リスト、柱脚断面リスト、柱断面リスト	縮 尺 1 / 50 A2(100%), A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. S — 12	製 図 構造担当 一級建築士登録第378344号 高 須 賀 範 昌




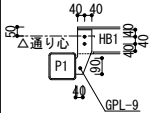
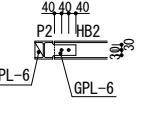
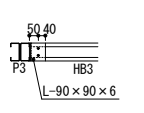
鉄骨大梁断面リスト S=1:30

※ 特記なき限り、鉄骨大梁の鋼種はSS400とする。
※ 特記なき限り、高力ボルトはS10Tとする。

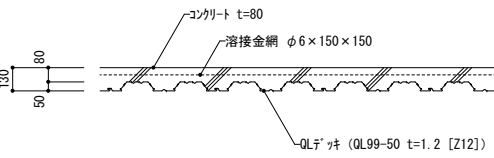
層	符号	RG1											
R層	断面	<table><tr><td>梁サイズ</td><td colspan="2">H-294×200×8×12</td></tr><tr><td>フランジ外添板</td><td>PL-410×200×9 (2枚)</td><td rowspan="2">ボルトM20 (24本)</td></tr><tr><td>内添板</td><td>PL-410×80×9 (4枚)</td></tr><tr><td>ウェブ 添板</td><td>PL-200×170×9 (2枚)</td><td>ボルトM20 (6本)</td></tr></table> <div></div> <p>継手:RG1J</p>	梁サイズ	H-294×200×8×12		フランジ外添板	PL-410×200×9 (2枚)	ボルトM20 (24本)	内添板	PL-410×80×9 (4枚)	ウェブ 添板	PL-200×170×9 (2枚)	ボルトM20 (6本)
	梁サイズ	H-294×200×8×12											
	フランジ外添板	PL-410×200×9 (2枚)	ボルトM20 (24本)										
内添板	PL-410×80×9 (4枚)												
ウェブ 添板	PL-200×170×9 (2枚)	ボルトM20 (6本)											
呼称	H-294×200×8×12												
備考	—												
層	符号	2G1・2cG1											
2層	断面	<table><tr><td>梁サイズ</td><td colspan="2">H-440×300×11×18</td></tr><tr><td>フランジ外添板</td><td>PL-440×300×12 (2枚)</td><td rowspan="2">ボルトM20 (32本)</td></tr><tr><td>内添板</td><td>PL-440×110×12 (4枚)</td></tr><tr><td>ウェブ 添板</td><td>PL-320×170×9 (2枚)</td><td>ボルトM20 (10本)</td></tr></table> <div></div> <p>継手:2G1J</p>	梁サイズ	H-440×300×11×18		フランジ外添板	PL-440×300×12 (2枚)	ボルトM20 (32本)	内添板	PL-440×110×12 (4枚)	ウェブ 添板	PL-320×170×9 (2枚)	ボルトM20 (10本)
	梁サイズ	H-440×300×11×18											
	フランジ外添板	PL-440×300×12 (2枚)	ボルトM20 (32本)										
内添板	PL-440×110×12 (4枚)												
ウェブ 添板	PL-320×170×9 (2枚)	ボルトM20 (10本)											
呼称	H-440×300×11×18												
備考	—												

鉄骨垂木、胴縁断面、耐風梁リスト S=1:30

※ 特記なき限りSSC400とする
※ 特記なき限り、高力ボルトはS10Tとする。



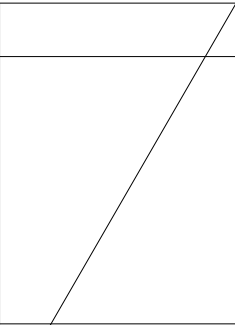



階	部位	垂木	垂木受け	胴縁(横)	開口補強	開口補強	開口補強
各階	取付位置	屋根、下屋屋根	下屋屋根	外壁	外壁	外壁	外壁
	符号	—	—	—	HB1	HB2	HB3
	断面						
	呼称	C-100×50×20×2.3 @606	H-300×150×6.5×9	C-100×50×20×2.3 @606	H-150×150×7×10	H-100×100×6×8	2C-100×50×20×2.3
	接合部	ねPL-6 L形加工 2-M12(中ボルト) L=150	2cG1, 2B3に対して、HTB-2-M16で固定	ね L-130×130×9 L=100 2-M12(中ボルト)	GPL-9 HTB-2-M16	GPL-6 HTB-2-M16	L-90×90×6 L=100 2-M12(中ボルト)
	備考	但し、@1818毎に 2C-100×50×20×2.3 とする					

合成スラブ断面リスト S=1:30

層	符 号	2S1
2層	ス ラ ブ 厚	130 (コンクリート:80, QLデッキ:50)
	形 状・断 面	
	デッキプレート	Q Lデッキ : QL99-50 t=1.2 (表面処理 : 亜鉛めっき製品 [Z12])
	コンクリート	普通コンクリート : Fc = 21 N/mm2
	ひび割れ防止筋	溶接金網 φ6×150×150

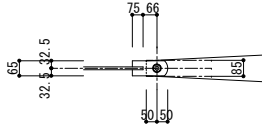
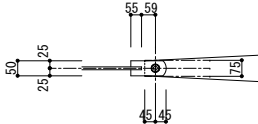
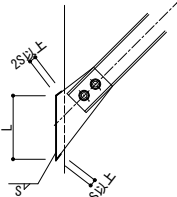
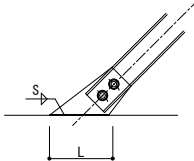
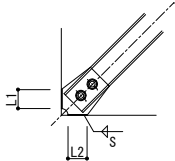
鉄骨小梁断面リスト S=1:30

※ 特記なき限り、鉄骨小梁の鋼種はSS400とする。
※ 特記なき限り、高力ボルトはS10Tとする。

層	符号	RB1	RB2	
R層	断面			
	呼称	H-294×200×8×12	H-250×125×6×9	
	接合部	両端 : G. PL-9, HTB. 3-M20 (1列)	両端 : G. PL-6, HTB. 4-M16 (2列)	
層	符号	2B1	2B2	2B3
2層	断面			
	呼称	H-340×250×9×14	H-250×125×6×9	H-200×100×5.5×8
	接合部	両端 : G. PL-9, HTB. 6-M20 (2列)	両端 : G. PL-6, HTB. 4-M16 (2列)	両端 : G. PL-6, HTB. 2-M16 (1列)

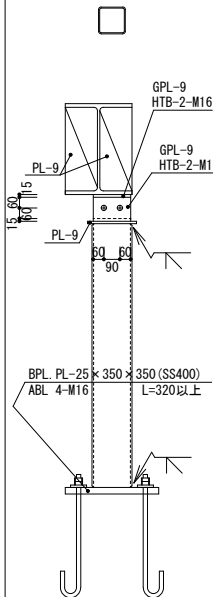
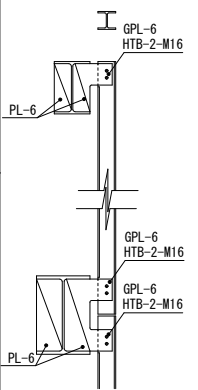
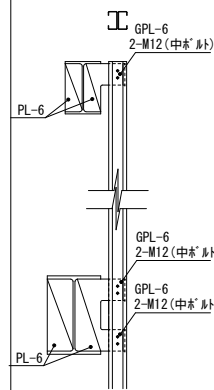
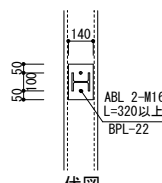
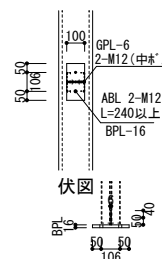
ブレースリスト S=1/30スケール

※ ブレースはターンバックルブレース(SS400) (JIS規格品)とする
※ 特記なき限り、高力ボルトはS10Tとする。

符 号	V20			V16		
断 面						
鉄 骨	1-M20 (ターンバックル付ブレース)			1-M16 (ターンバックル付ブレース)		
接合部	G. PL-9 (S=8) HTB 1-M20			G. PL-9 (S=8) HTB 1-M16		
必要溶接長 L	TYPE① L=80	TYPE② L=56	TYPE③ L=72	TYPE① L=80	TYPE② L=56	TYPE③ L=72
備考	JIS規格品					
ブレースのガセットの種類						
TYPE①		TYPE②		TYPE③		
						
必要溶接長 L (Leは有効溶接長さとする)						
L ≥ Le		L ≥ Le/2+2S		L = L1+L2 (L1, L2 ≥ Le/4+2S)		
下フランジに取り付け						

間柱リスト S=1:30

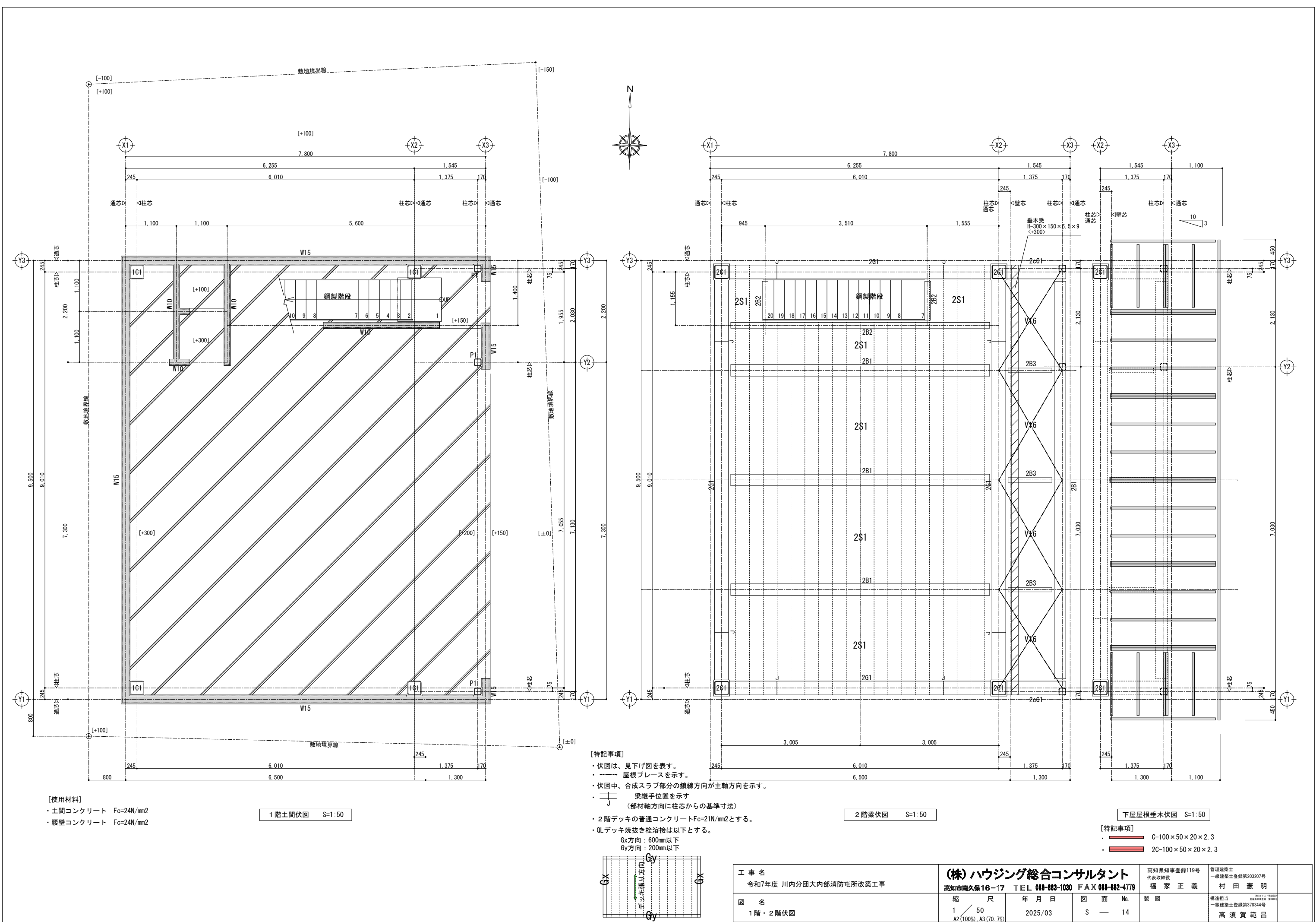
※ 特記なき限りSSC400とする
※ 特記なき限り、高力ボルトはS10Tとする。

階	符号	P1	P2	P3
各階	断面	 <p>断面図</p>	 <p>側面図</p>	 <p>側面図</p>
	側面図	 <p>伏図</p>	 <p>伏図</p>	
	伏図			
	呼称	□-150×150×6 (STKR)	H-100×100×6×8	2C-100×50×20×3.2

階段断面リスト

「架構詳細図 Y 3通り」に示す。

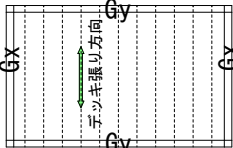
工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明
	図 名 鉄骨部材断面リスト	縮 尺 1 / 50 A2 (100%) A3 (70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. S — 13	製 図 構造担当 一級建築士登録第378344号 高 須 賀 範 昌



【使用材料】
・土間コンクリート Fc=24N/mm2
・腰壁コンクリート Fc=24N/mm2

1階土間伏図 S=1:50

- 【特記事項】
- ・伏図は、見下げ図を表す。
 - ・ 屋根ブレースを示す。
 - ・ 伏図中、合成スラブ部分の鎖線方向が主軸方向を示す。
 - ・ 梁継手位置を示す
(部材軸方向に柱芯からの基準寸法)
 - ・ 2階デッキの普通コンクリートFc=21N/mm2とする。
 - ・ QLデッキ焼抜き栓溶接は以下とする。
Gx方向：600mm以下
Gy方向：200mm以下



2階梁伏図 S=1:50

下屋屋根垂木伏図 S=1:50

- 【特記事項】
- ・ C-100×50×20×2.3
 - ・ 2C-100×50×20×2.3

工 事 名
令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事

図 名
1階・2階伏図

(株)ハウジング総合コンサルタント
高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779

縮 尺
1 / 50
A2(100%) A3(70.7%)

年 月 日
2025/03

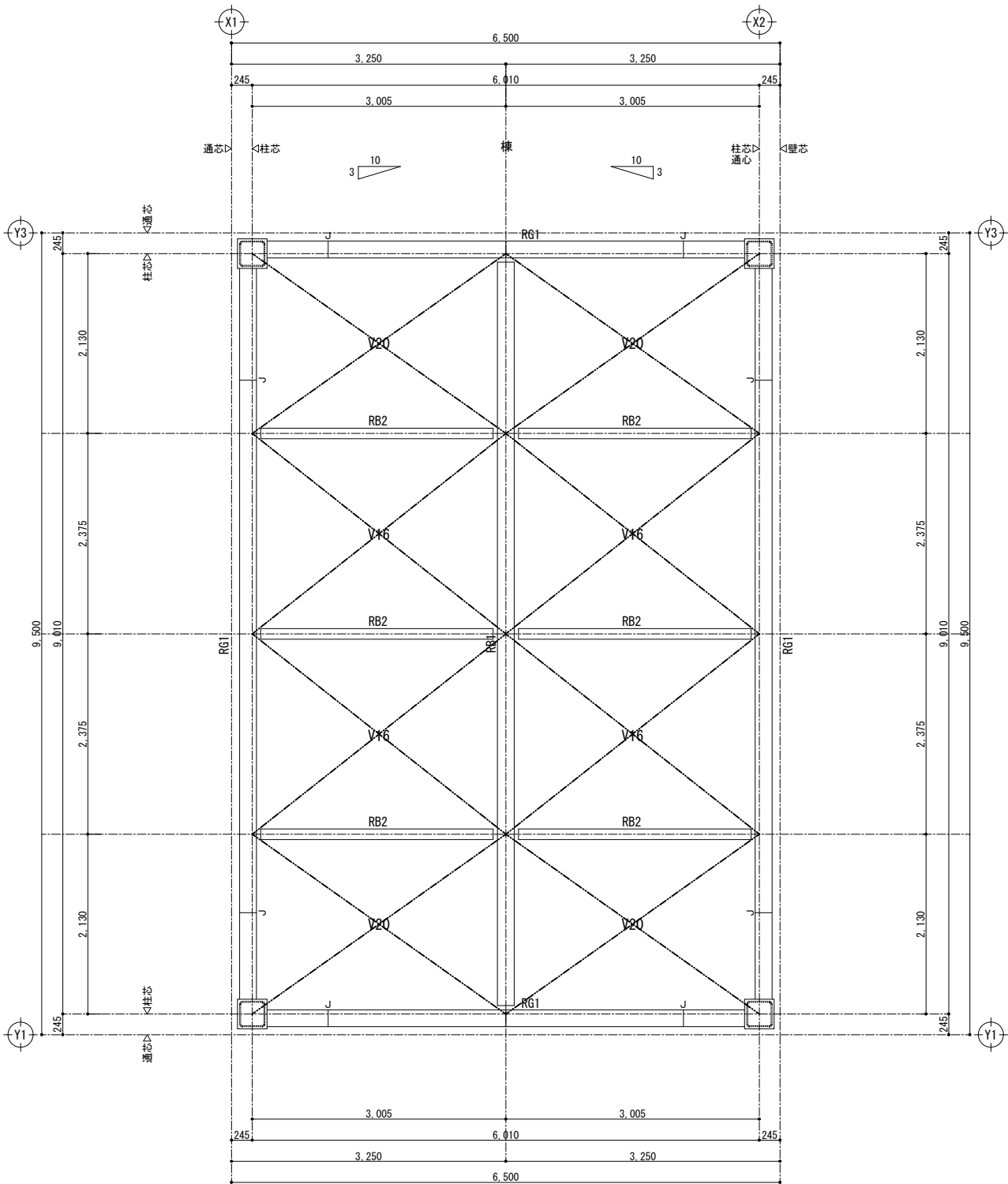
図 面 No.
S — 14



高知県知事登録119号
代表取締役
福 家 正 義

製 図

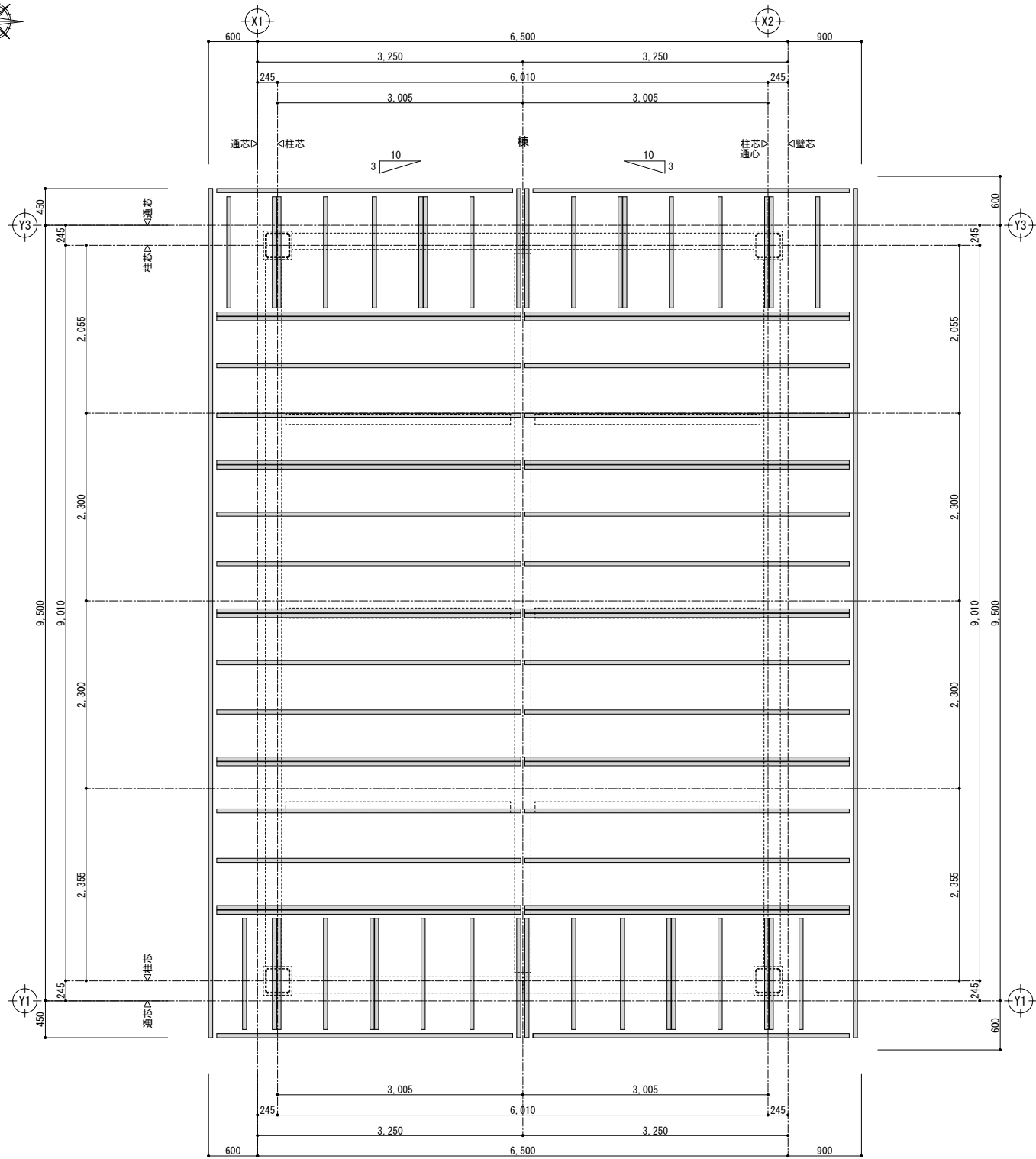
管理建築士
一級建築士登録第203207号
村 田 憲 明



構造担当
一級建築士登録第378344号
高 須 賀 範 昌



- 【特記事項】
- ・伏図は、見下げ図を表す。
 - ・伏図中、合成スラブ部分の鎖線方向が主軸方向を示す。
 - ・  梁継手位置を示す
(部材軸方向に柱芯からの基準寸法)
 - ・  屋根ブレースを示す。

R階梁伏図 S=1:50

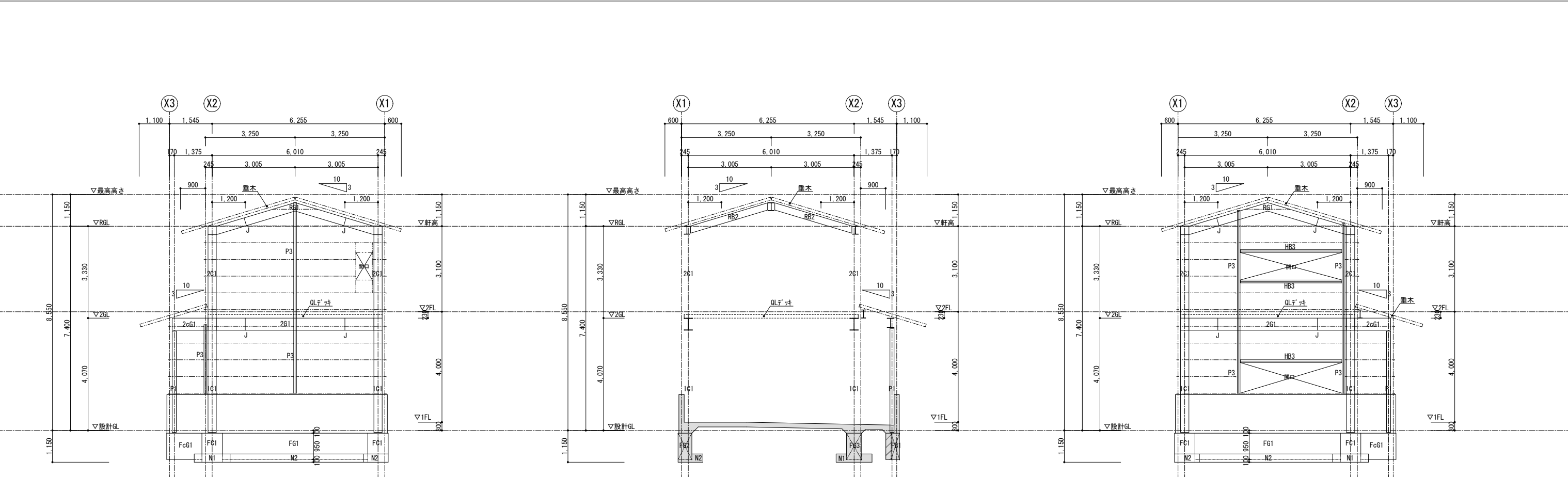


- 【特記事項】
- ・  C-100×50×20×2.3
 - ・  2C-100×50×20×2.3

- 【屋根葺き材】
- 屋根立てハゼ葺きH30の条件
- ①屋根本体動き巾 376mm以内
 - ②ドリルビスピッチ 606mm以内
- 品名：ドリルスクリュー PAN-S対応
品番：PAN-4×19S

屋根垂木伏図 S=1:50

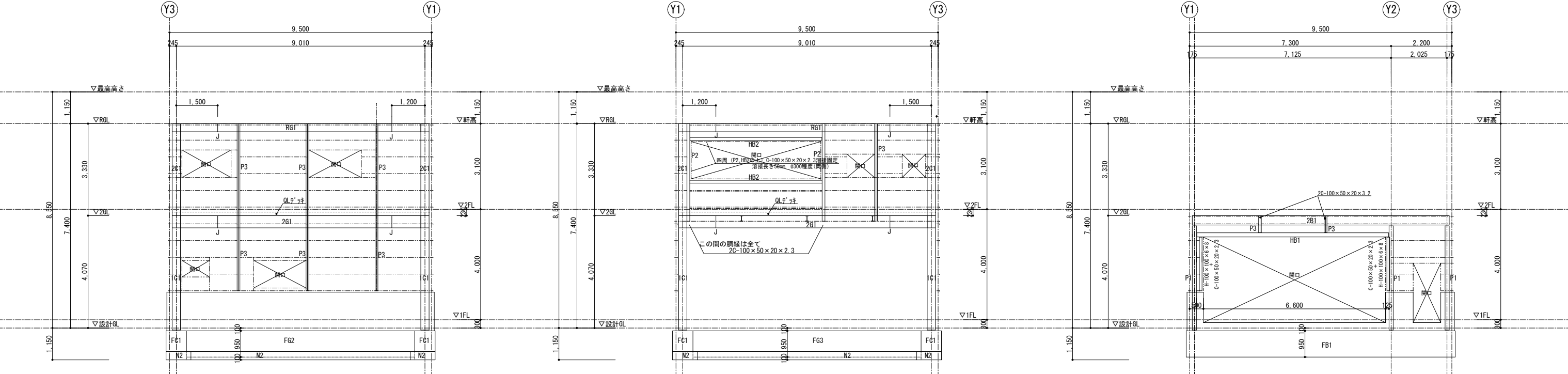
工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明
	図 名 R階・屋根垂木伏図	縮 尺 1 / 50 A2(100%) A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. S — 15	製造担当 一級建築士登録第378344号 高 須 賀 範 昌



Y3通り軸組図 S=1:100
北面

Y2通り軸組図 S=1:100

Y1通り軸組図 S=1:100
南面



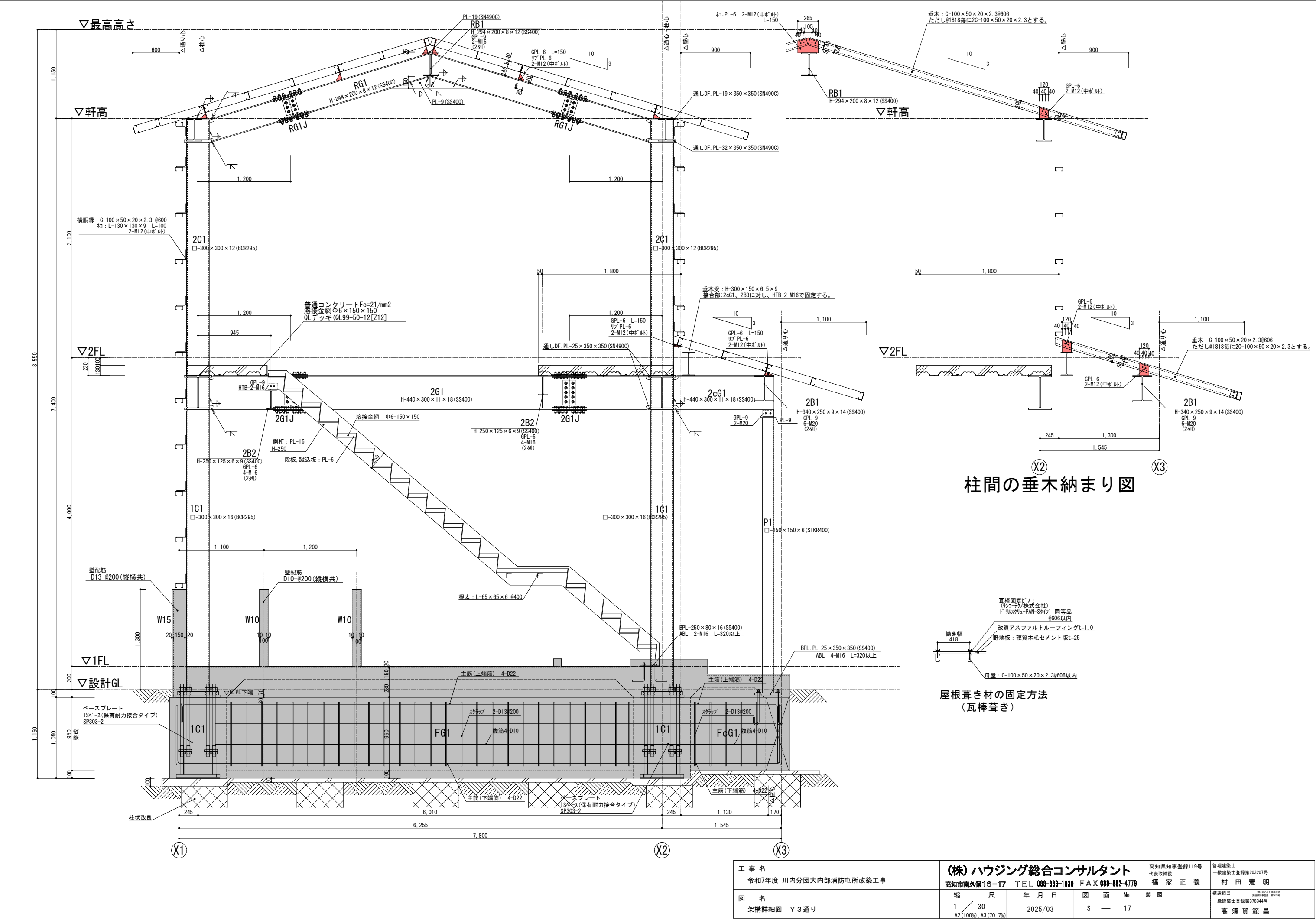
X1通り軸組図 S=1:100
西面

X2通り軸組図 S=1:100

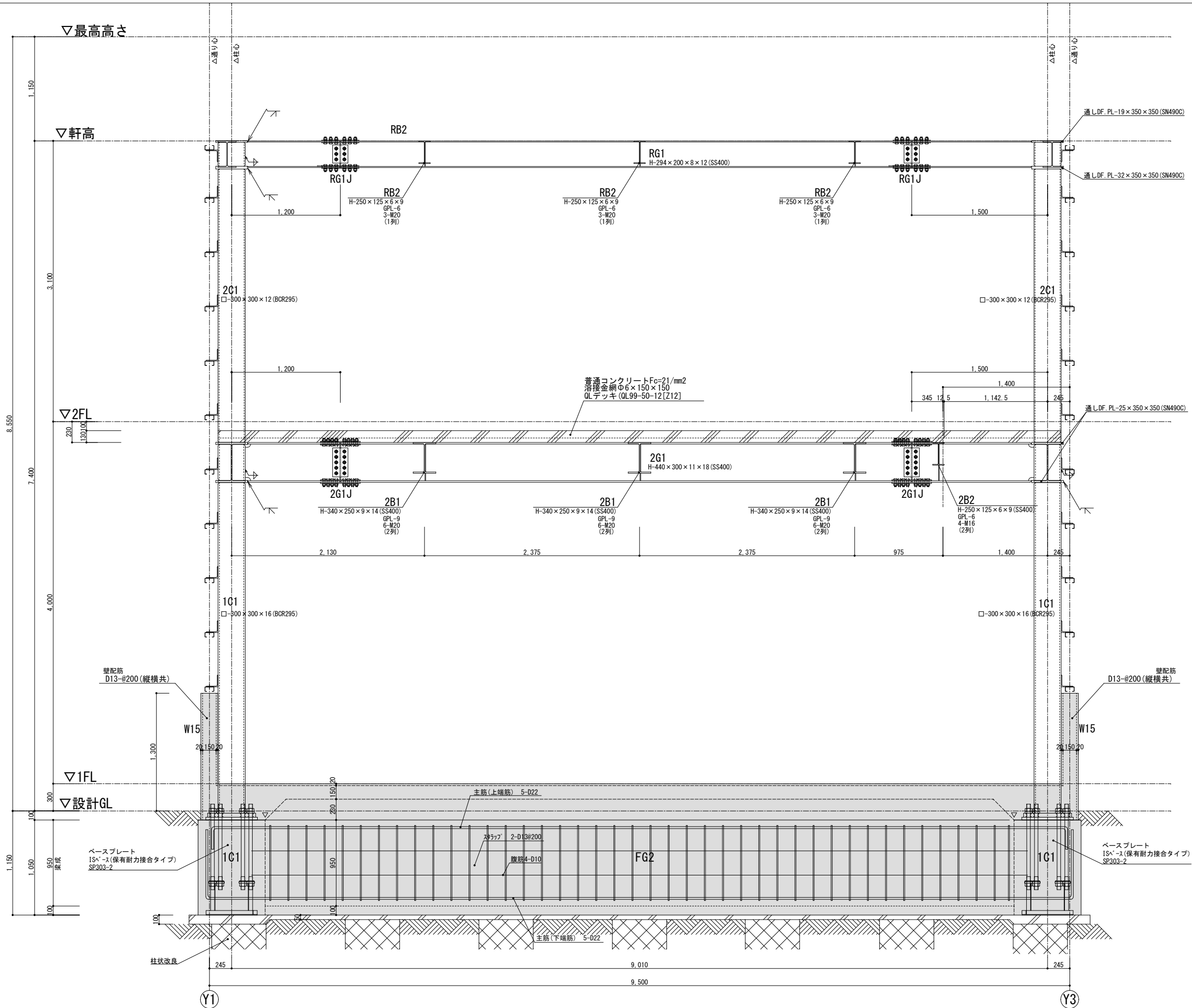
X3通り軸組図 S=1:100
東面

特記事項
・.....は、胴縁を表す
・特記なき限り胴縁は、C-100×50×20×2.3とする。

工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一般建築士登録第203207号 村 田 憲 明
	図 名 軸組図	縮 尺 1 / 50 A2(100%) A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. S — 16	製 図 構造担当 一般建築士登録第378344号 高 須 賀 範 昌



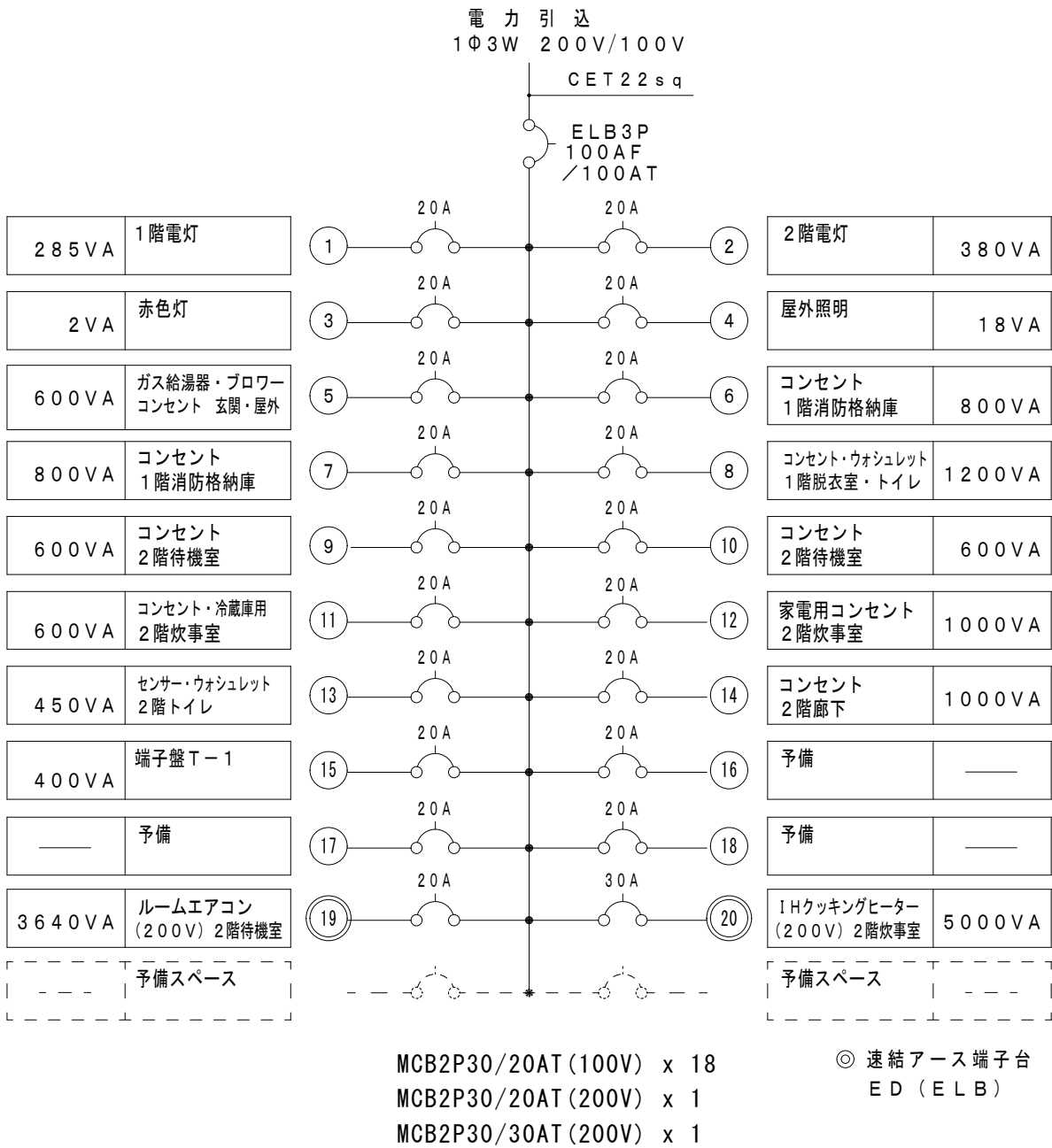
工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明
図 名 架構詳細図 Y3通り		縮 尺 1 / 30 A2(100%), A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. S — 17	製 図 構造担当 一級建築士登録第378344号 高 須 賀 範 昌



工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明
図 名 架構詳細図 X 1 通り		縮 尺 1 / 30 A2 (100%) A3 (70. 7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. S — 18	製 図 構造担当 一級建築士登録第378344号 高 須 賀 範 昌

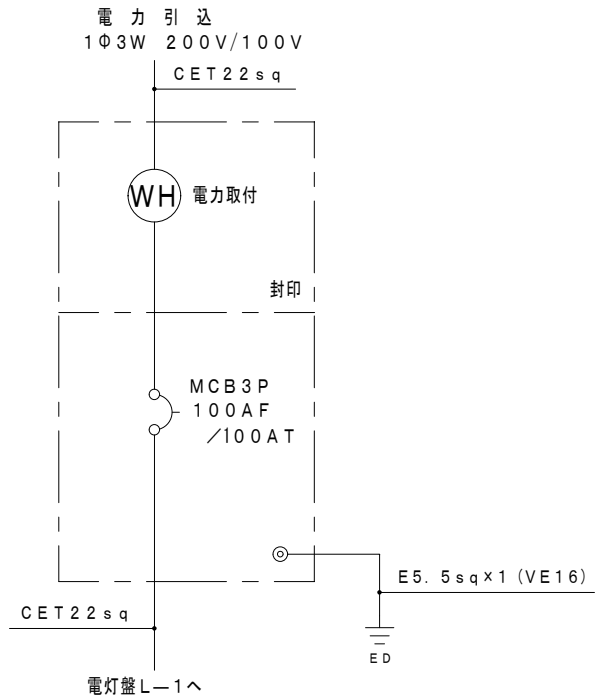
機材名		指定品	機材名		指定品	機材名		メーカー名	機材名		メーカー名	機材名		メーカー名	
電線管類・同付属品		J I S マーク表示品				LED照明器具		アイリスオーヤマ（株） 岩崎電気（株） （株）遠藤照明 コイズミ照明株式会社 東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株） （株）YAMAGIWA 山田照明（株）		蓄電池 ﾊﾞﾝﾄ形据置鉛蓄電池 制御弁式据置鉛蓄電池 据置ニッケル・ｶﾄﾞﾐウムｱﾙｶﾘ蓄電池		エナジーウィズ株式会社 （株）GSユアサ 古河電池（株）			
電線類等		国土交通省大臣官房官庁 営繕部監修の公共工事標準 仕様書（電気設備工事編） J I S マーク表示品				照明制御装置		東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株）		監視カメラ装置		㈱JVCケンウッド・公共産業システム ＴＯＡ（株） ﾊﾞﾅﾜｺﾝﾍﾞｸﾄ（株）			
耐火・耐熱ケーブル		耐火・耐熱電線認定機関 の認定または評価された 旨の表示をしたもの				可変速電動機用インバーター装置		（株）日立産機システム 富士電機（株） 三菱電機（株） （株）安川電機		盤類（公共建築工事標準仕様） 分電盤・制御盤 キュービクル式配電盤		（株）イトウテック 共栄電機工業（株） 光電設（株） 上記の他、令和5年版「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」に掲載されたもの			
配線器具類		J I S マーク表示品				高圧交流遮断機（真空）		東芝インフラシステムズ*（株） 日新電機（株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 富士電機機器制御（株） 三菱電機（株） （株）明電舎		太陽光発電装置		山洋電気（株） （株）GSユアサ 東芝インフラシステムズ*（株） パナソニック（株）			
配線用遮断機 JIS C 8201-2-1 に適合するもの 漏電遮断機 JIS C 8201-2-2 に適合するもの		J I S マーク表示品				高圧限流ヒューズ		（株）宇都宮電機製作所 エナジーサポート（株） 東芝インフラシステムズ*（株） （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三菱電機（株）		交流無停電電源装置（UPS）		エナジーウィズ株式会社 山洋電気（株） （株）GSユアサ （株）GS17サイナフラシステムズ* 東芝インフラシステムズ*（株） 富士電機（株） 古河電池（株） 三菱電機（株） （株）明電舎			
電磁接触器 JIS C 8201-1、JIS C 8201-4-1 に 適合するもの		J I S マーク表示品				高圧負荷開閉器		エナジーサポート（株） 大垣電機（株） （株）新愛知電機製作所 （株）戸上電機製作所 日本高圧電気（株） （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三菱電機（株）							
低圧進相コンデンサ JIS C 4901 に適合するもの		J I S マーク表示品				高圧進相コンデンサ		（株）指月電機製作所 東芝インフラシステムズ*（株） ニチコン（株） 日新電機（株） 三菱電機（株） 利昌工業（株） ※1							
指示電気計器 JISC1102（指示電気計器）		J I S マーク表示品				※1 モールドコンデンサに限る									
非常用照明器具		（社）日本照明器具工業会 の J I L 適合マークが貼付 されたもの				高圧用変圧器		愛知電機（株） 四変テック（株） （株）ダイヘン タカオカ化成工業（株）※2 （株）東光高岳 東芝インフラシステムズ*（株） 日新電機（株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 三菱電機（株） （株）明電舎 利昌工業（株） ※2							
誘導灯器具		誘導灯認定委員会の認定 証票が貼付されたもの				※2 モールド変圧器に限る									
自家発電装置 付属する配電盤をふくむ		日本内燃力発電設備協会 の認定証票が貼付された もの													
防災電源用直流電源装置		蓄電池設備認定委員会の 認定証票が貼付されたもの													
自動閉鎖装置		連動機構・装置等自主評定 委員会の自主評定マークが 貼付されたもの													
非常放送装置の蓄電池		J E A 蓄電池設備認定委員 会の認定証票が貼付された もの													
非常警報装置（非常ベル）		日本消防検定協会の認定 証票が貼付されたもの													
自動火災報知装置		日本消防検定協会の検定 合格証票が貼付されたもの													
構内交換装置		（財）電気通信端末機器 審査協会の認定品													

工事名 令和7年度 川内分団大内内部消防屯所改築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 電気設備機材指定表		縮尺 S / N A2(100%) A3(70.7%)	年月日 2025/03	図面No. E — 02	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太	



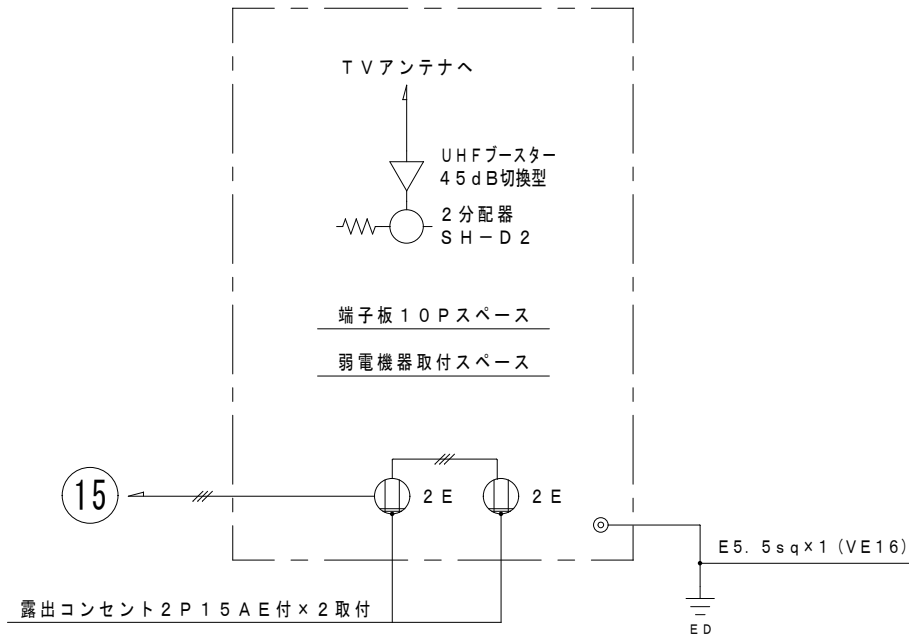
電灯盤L-1 ※市販品可

樹脂製 露出・半埋込両用型 ドア付
※感震ブレーカー付



引込開閉器盤S-1 ※市販品

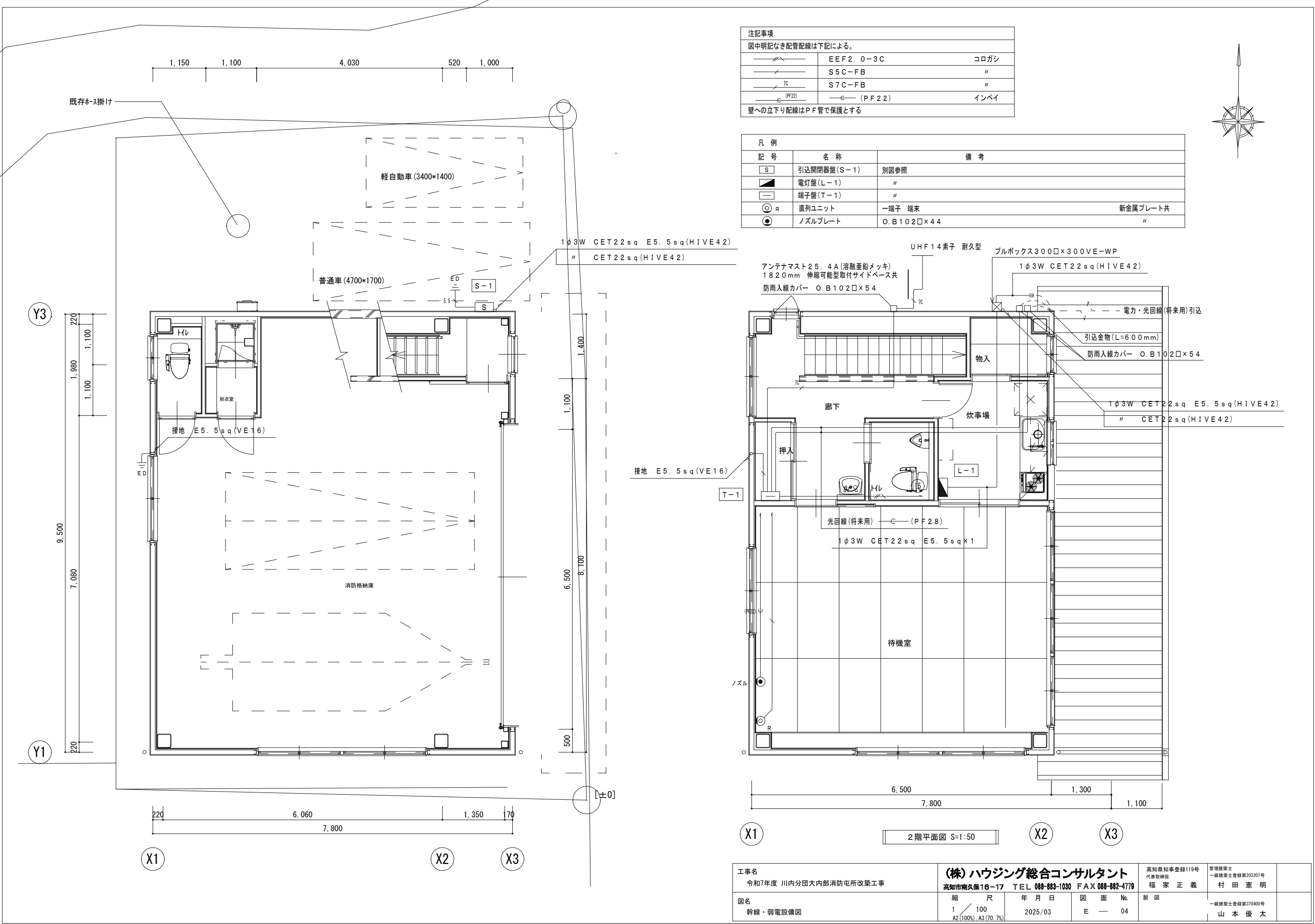
SUS-WP 露出型



端子盤T-1 ※市販品可

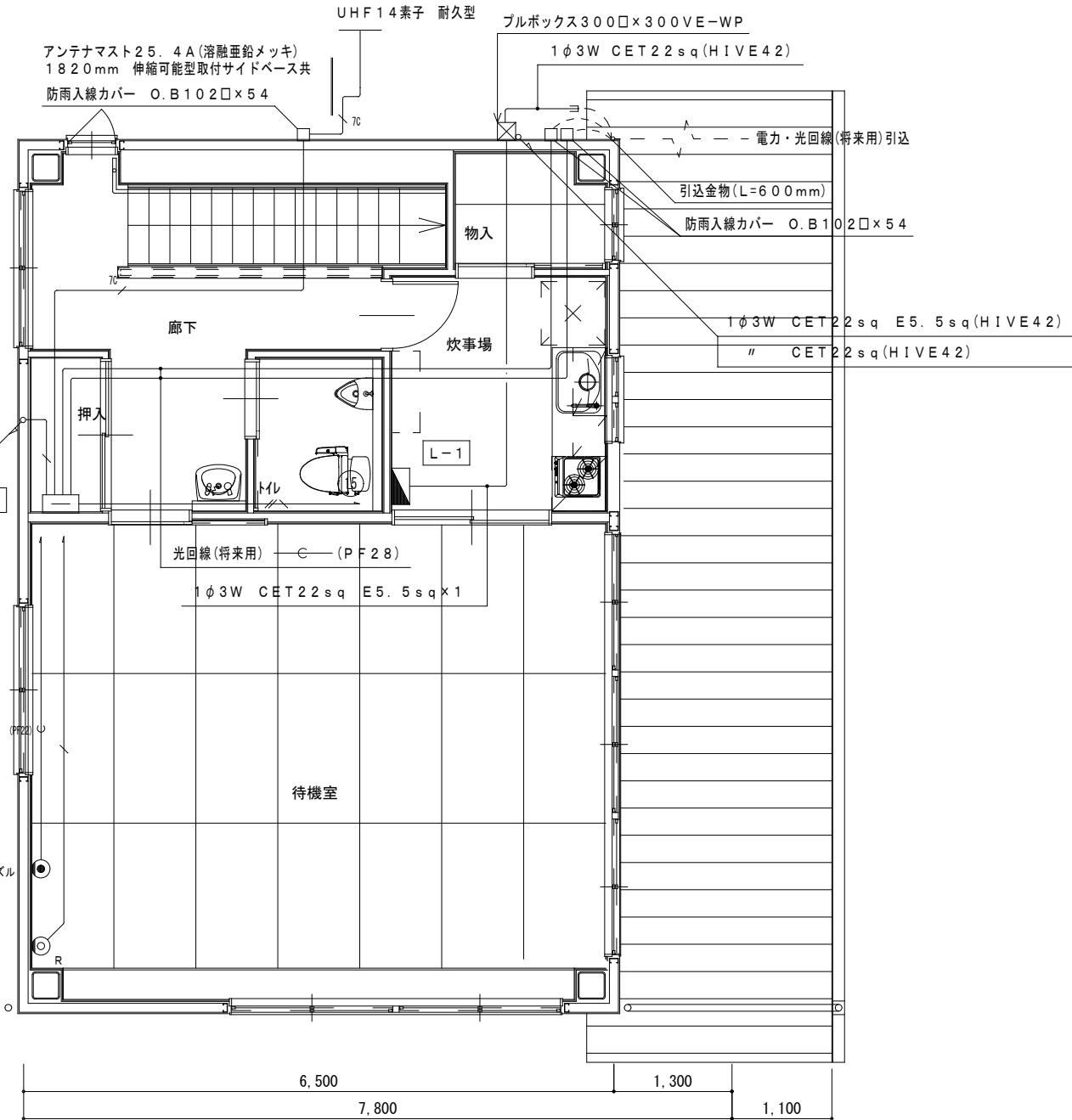
鋼板製 露出型

工事名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 盤結線図	縮尺 N / S	年月日 2025/03	図面No. E — 03	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太	



注記事項		
図中明記なき配管配線は下記による。		
	EEF2.0-3C	コロガシ
	S5C-FB	"
	S7C-FB	"
	(PF22)	インベイ
壁への立下り配線はPF管で保護とする		

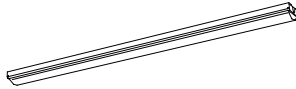
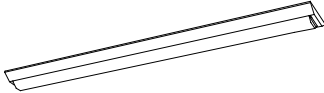

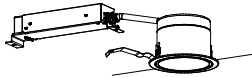
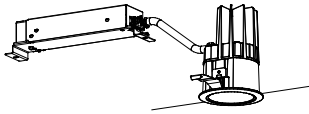
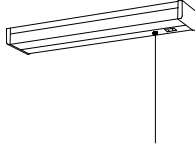

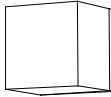
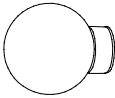
凡 例		
記 号	名 称	備 考
	引込開閉器盤(S-1)	別図参照
	電灯盤(L-1)	"
	端子盤(T-1)	"
	直列ユニット	一端子 端末
	ノズルプレート	O.B102□×44
		新金属プレート共



2 階平面図 S=1:50

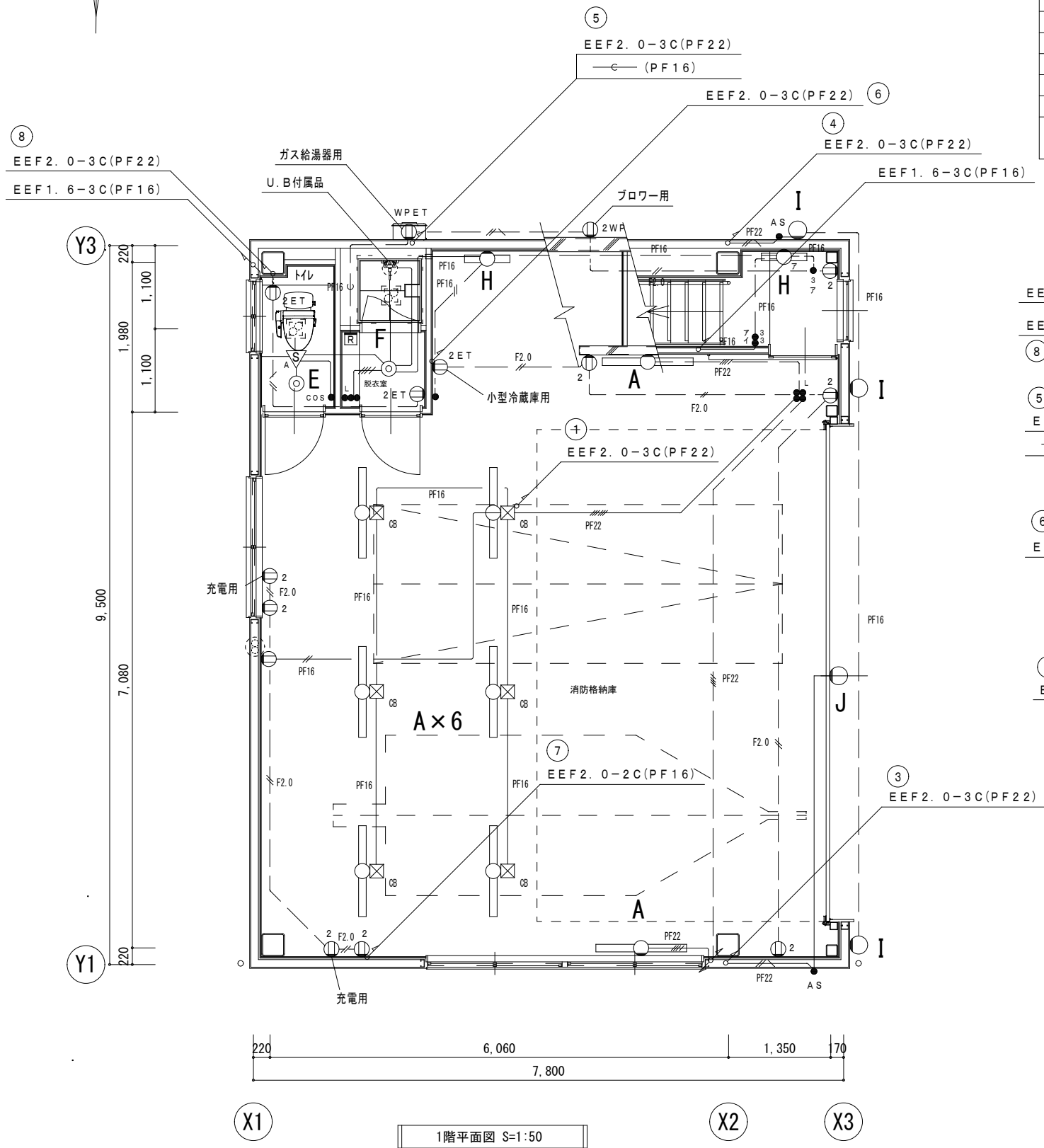
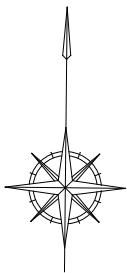
工事名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント			高知県知事登録119号	管理建築士
	高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			代表取締役	一級建築士登録第203207号
図名 幹線・弱電設備図	縮 尺 1 / 100 A2(100%), A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. E - 04	製 図 福 家 正 義	村 田 憲 明
					一級建築士登録第370400号 山 本 優 太

照明器具姿図

A	LEDベースライト LSS1-4-30	C	LEDベースライト W150	D	LEDシーリングライト 白熱灯100W相当	E	LEDダウンライト	F	LEDダウンライト	G	LED流し元灯 FL20W-1相当
消費電力：20.6W		消費電力：20.6W		消費電力：7.9W		消費電力：11.6W		消費電力：7W		消費電力：12W	
											
一般タイプ、3200lmタイプ 定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵		一般タイプ、3200lmタイプ 定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 温白色（3500K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵		器具光束：840lmタイプ 電源ユニット内蔵、電圧100V カバー：ポリカーボネート 枠：樹脂（乳白） 温白色（3500K）、Ra94 巾φ150 高31 高演色LED 調光器不可		LED内蔵くワンコア（ひと粒）タイプ 電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 3500K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角30度、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 器具光束：1570lm、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイ） 反射板（下部）：アルミ（ホワイ）つや消し仕上） 枠：銅板（ホワイ）つや消し仕上）、埋込穴φ100		LED内蔵くワンコア（ひと粒）タイプ 電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 3500K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角30度、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 器具光束：950lm、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイ） 反射板（下部）：アルミダイカスト（ホワイ）つや消し仕上） 枠：アルミダイカスト（ホワイ）つや消し仕上）、埋込穴φ75		昼白色（5000K）、Ra83 器具光束980lm、電圧100V 拡散タイプ、壁直付型・棚下直付型、 コンセント付、フルスイッチ付 カバー：プラスチック（乳白）	
H	LEDベースライト LSS1-2-15	I	LEDシーリングライト 白熱灯60W程度	J	LED赤色灯						
消費電力：11.6W		消費電力：6.1W		消費電力：2.2W							
											
一般タイプ、1600lmタイプ 定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵		昼白色（5000K）、Ra83 器具光束565lm、電圧100V 拡散タイプ、防雨型、ツマミネジ方式 カバー：アクリル（乳白） 本体：プラスチック（ホワイ）		予備電源別置型・非常用LED併用型 光源寿命40000時間 天井直付型・壁直付型 防雨型							

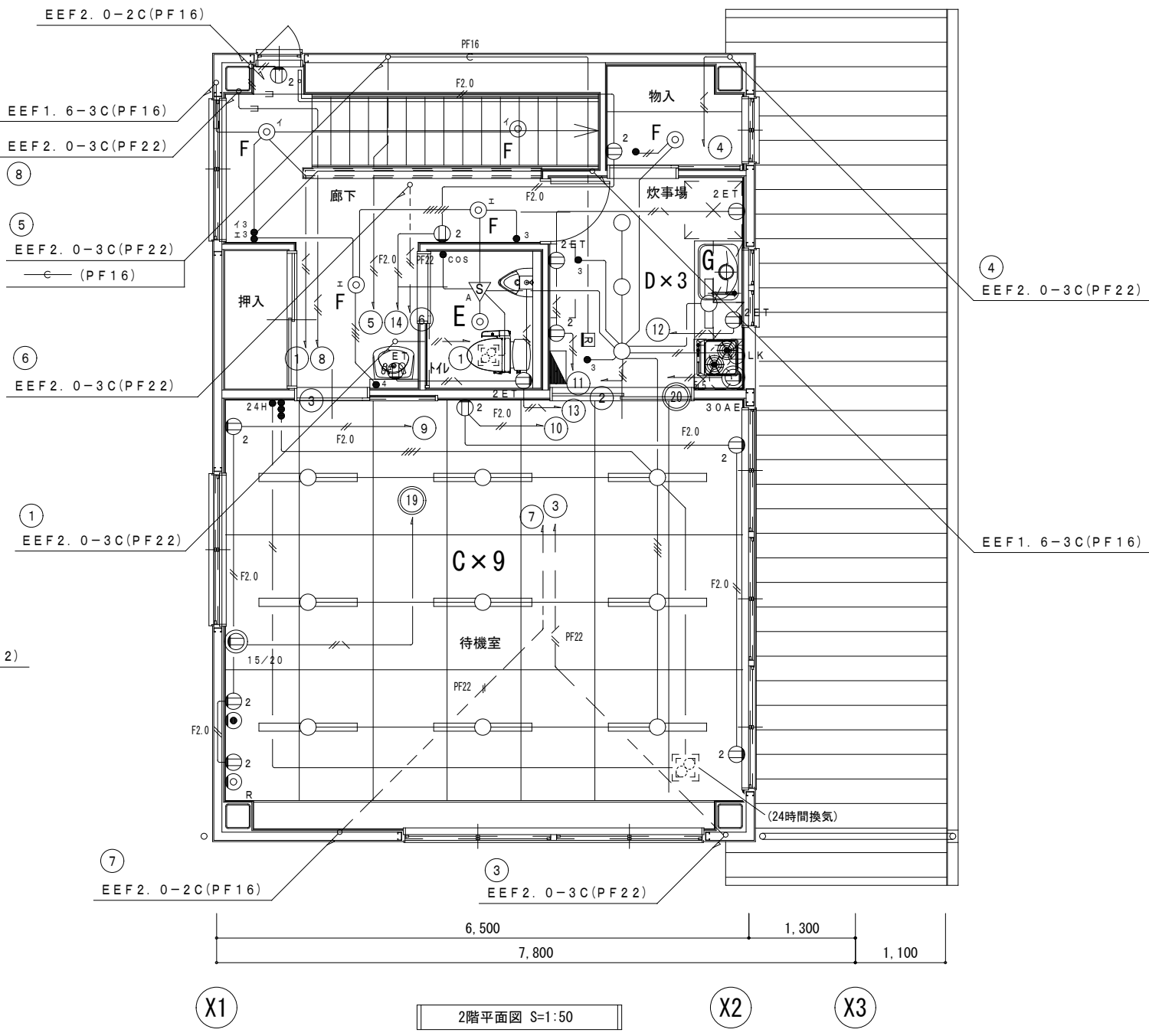
※照明器具の消費電力は、JIS C 8105-3の測定方法による。

工事名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント			高知県知事登録119号	管理建築士
	高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			代表取締役	一般建築士登録第203207号
図名 照明器具姿図	縮尺 N / S A2(100%) A3(70.7%)	年月日 2025/03	図面No. E — 05	製図 福家正義	村田憲明
					一般建築士登録第370400号 山本優太



注記事項		
図中明記なき配管配線は下記による。		
	EEF 1. 6-2C	コロガシ
	EEF 1. 6-3C	〃
	EEF 1. 6-2C x 2	〃
	EEF 1. 6-3C x 2	〃
	EEF 2. 0-2C	〃
	EEF 2. 0-3C	〃
	CE 5. 5sq-3C	〃
	EEF 1. 6-3C (PF 16)	インベイ
	EEF 1. 6-2C x 2 (PF 22)	〃
	EEF 1. 6-3C x 2 (PF 22)	〃
	EEF 1. 6-3C (PF 16)	〃
	EEF 2. 0-2C (PF 16)	〃
	EEF 2. 0-3C (PF 22)	〃
	EEF 1. 6-2C x 2 (PF 22)	〃
	(PF 16)	〃

※壁への立下りはPF管で保護とする



凡 例	記 号	名 称	備 考
		電灯盤 (L-1)	別図参照
		埋込スイッチ	1P15A x 1 新金属プレート共
			1P15A x 3 〃
			3W15A x 1 〃
			1P15A x 1 + 3W15A x 1 〃
			1P15A x 2 + 1P15A x 1 PL付 〃
			1P15A x 3 + 1P15A x 1 PL付 〃
			3W15A x 2 〃
		熱線センサー自動スイッチ	観器 1. 2A 検知後動作時間約10秒~30分可変形・明るさセンサー付・換気扇遅れOFF機能付
		操作ユニット	熱線センサー自動スイッチ用
		24時間換気用スイッチ	機械設備支給品取付
		自動点滅器	定刻消灯タイマー付 照度調整型 スマートデザインタイプ
		埋込コンセント	2P15A x 2 新金属プレート共
			2P15A x 1 ET 〃
			2P15A x 2 ET 〃
			2P15A x 1 抜止 〃
			2P15/20A 付 x 1 (200V) 〃
			2P30A 付 x 1 (200V) 〃
			2P15A x 2 EET 〃
			2P15A x 1 EET 入線機能付 〃

工事名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明
図名 電灯コンセント設備図	縮 尺 1 / 100 A2(100%) A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. E — 06	製 図 山 本 優 太	一級建築士登録第370400号

特 記 仕 様 書 (1)

工事名称	令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事(機械設備)									
	設計年度(設計図) 令和 6 年度									
	工事期間(完成図) 令和 年 月 日～令和 年 月 日									
工事場所	高知県吾川郡いの町大内字ムロヤシキ809-1									

棟 名	構 造	階 数	延床面積 (㎡)	用途地域	消防法施行令別表第一の区分
屯 所	S 造	2	135.85㎡		(15) 項
		戸 数			
		1			

I 共通事項

種目

項目

特記仕様

適用仕様

スリーブ

機器類
区画貫通処理
耐震措置

（例：外壁の地中部等 水密を要する部分はツバ付銅管スリーブ等。地中部で水密を要しない部分はVUスリーブ。柱、梁以外の箇所では、開口補強が不要でスリーブ径200mm以下は紙スリーブでもよい。）

○ 国土交通省仕様 ● メーカー仕様

区画貫通処理の必要な箇所については、箇所別に設置場所・設置状況が確認できる記録を写真及び図面等で残す。

※ 「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成8年度版」（建設大臣官房官庁営繕部監修）

よることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針」（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修 2014年版）による。

建物の種別： ○ 特定の施設 ● 一般の施設 地域係数： 1.0

1) 設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。

特記なき場合の設計用標準水平震度は次による。

2) 設計用鉛直地震力は設計水平地震力の1／2とする。

重要機器

防火機器

火を使用する機器

タンク類

消火設備機器

設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び塔屋	防振機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中層階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

基礎のアンカーボルト・吊り基礎ボルト・吊り金物及び防振を施す機器類の取付けボルトは、ロックナット又は2重ナットにて固定する。

注）ナットに対するボルトの余長は3山以上を標準とする。

※ 機器の固定に使用する金属系アンカーはスリーブ打込み式または、ウエッジ式とする。（県標準図16） ※ ケミカルアンカーは、天井方向に使用しない。

※ 防振架台を設置する場合、耐震ストッパーの調整を製造者の指定どおりに行うこと。

※ 一般土間コンクリート下部配管は耐蝕性のある吊りボルト（亜鉛ドブ漬又はステンレス製）にてスラブ筋に支持する。

※ 屋外及びビット内配管の支持金物・吊り金物は亜鉛ドブ漬又はSUS製とする。屋内外露出部には既製品支持架台は使用しない。

※ 仕様のとおりにより配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振れ止めを適宜設ける。

流体種別		給水		給湯		冷温水			
管 材 等 種 別		ステンス管	ライニン管	水栓金具	弁類	ステンス管	ライニン管	弁類	ステンス管
テーパーシール材				(イ)					
ペーストシール剤	(ロ)			(ロ)	(ロ)	(ロ)	(ロ)	(ロ)	(ロ)
		(ハ)				(ハ)		(ハ)	(ハ)

(イ) テーパーシール材は、JIS K 6885（シール用四ふっ化エチレン樹脂未焼成テープ（生テープ））によるものとする。

注）水栓類は、防食シール材を用いない。テーパーシール材を使用する。

※ (ロ) 一般用ペーストシール剤は、管内の流体に溶出せず、使用目的に適する成分のものとする。

※ (ハ) 給用水、給湯用及び冷温水用の防食用ペーストシール剤は、JWWA K 161（水道用ライニング鋼管用液状シール剤）に規定する水道用シール剤とする。

注）水道用シール剤において JWWA K 161 に適合している主なペーストシール剤は下記による。

ステンレス鋼管等防食の必要がないネジ部には水道用シール剤（ロ）

(例：日本ヘルメテックス株式会社のヘルメシール 403・株式会社ヘルメテックのHERMETIC F-119・山王工業株式会社のヘルメテック No. A0-9など)

ライニング鋼管に使用する防食用ペーストシール剤（ハ）

(例：日本ヘルメテックス株式会社のヘルメシール55-88-403・株式会社ヘルメテックのHT-Seal F-109・山王工業株式会社のヘルメテック No. A0-9など)

※ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は呼び径50以下は青銅製、呼び径65以上はステンレス製とする。

※ サヤ管工法で施工する場合、サヤ管施工後に配管挿入を行うこと。（同時施工を行わない。）

● 一般敷地300mm以上 ● 車両通路600mm以上 ○ 公道800mm以上 ○ 公道1,000mm以上 ○ 公道1,200mm以上。

● 埋設管は周囲100mm程度に保護砂を入れる。ただし排水管は別記による。

○ 量水器以降の埋設給水管はクイックチューブ等で巻く。

※ 石綿含有分析調査 ○ 本工事 ○ 別途 ○ 無し

アスベスト含有品（ガスケット、パッキン、たわみ継手、保温材、天井材等）は関係法令に従い適切に処理を行う。

※ 構外搬出

処理場所（ ）所在地（ ）距離（ ）km

その他 建設発生土の搬出先は上記を予定している。搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。

○ 構内指定場所に敷き均し ○ 構内指定場所に堆積

※ アスファルト、アスファルト路盤は原則として再生品を使用する。

※ 浄化槽・樹類の砂利地盤は原則として再生クラッシュランを使用する。（アスファルト再生品混じり又は不可）

※ 本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。

※ はつり、欠け及びあて施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行う。

なお、『コア抜き・はつり工事チェックリスト』を作成し段階確認を行って施工する。

※ 下記項目の総合調整を行い、測定表を監督職員に提出する。（測定場所等は監督職員の指示による。）

○ 風量調整 ○ 水量調整 ○ 室内外空気の温湿度の測定 ○ 騒音の測定 ○ 室内気流及びじんあいの測定

○ 配管施工（配管工事） ○ 熱絶縁施工（保温工事） ○ 建築板金施工（ダクト製作及び取付） ○ 冷凍空調調機器施工 ○ その他

完 成 図 ※ CADデータはCD-Rに保存して提出。 ※ 画像データ（PDF形式） ※ A4版黒表紙金文字製本 1部 ※ 2ツ折りA3版製本 1部

施 工 図 ※ CADデータはCD-Rに保存して提出。 ● 画像データ（PDF形式） ○ 2ツ折り製本（サイズは原因による）

工事管理資料（写し） ○ フラットファイル等に閉じたもの。

工 事 写 真 ※ フラットファイル等に閉じたもの。

工 事 日 誌 ※ フラットファイル等に閉じたもの。

工 具 類 ● マンホールフック ○ 制水弁ハンドル ○ 掃除口ハンドル ○

●
室内空気汚染対策

対象建築材料等	使用制限
① 合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、 単板積層材、MDF、パーティクルボード、ウリア樹脂板 壁紙、緩衝材、断熱材、保温材、仕上り塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
② 塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。
③ 木材保存剤（防腐処理、防蟻処理等）	クロルピリホス、ダイアジノン、フェノカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、 十分乾燥した後現場搬入する。
④ 内装用接着剤、木工用接着剤、配管用接着剤、接合剤	1）ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していないものとする。 2）フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
⑤ 家具、書架、実験台、什器、洗面化粧台、流し台	①、②、③、④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。

室内に関わる材料（上記②～④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシル、クロルピリホス、ダイアジノン、フェノカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

配管材料	①	配管用炭素鋼鋼管 【SGP黒管】 (JIS G 3452)	②1	ポリブチン管 (JIS K 6778)				
	②	配管用炭素鋼鋼管 【SGP白管】 (JIS G 3452)	②2	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 【D-VA】 (WSP 042)				
	③	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-VA】 (JWWA K 116・WSP 011)	②3	排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管 (WSP 032)				
	④	水道用内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-VD】 (JWWA K 116)	②4	排水用鑄鉄管 【メカニカル形2種管】 (JIS G 5525)				
	⑤	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 【SGP-PA】 (JWWA K 132・WSP 039)	②5	鉛管 (HASS 203)				
	⑥	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 【SGP-VS】 (WSP 041)	②6	硬質ポリ塩化ビニル管 【VP】 (JIS K 6741)				
	⑦	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-HVA】 (JWWA K 140)	②7	硬質ポリ塩化ビニル管 【VU】 (JIS K 6741)				
	⑧	一般配管用ステンレス鋼鋼管 【SUS 304 TPD】 (JIS G 3448)	②8	排水・通気用耐火二層管 【内管VP】				
	⑨	配管用ステンレス鋼鋼管 【SUS 304】 (JIS G 3459) ・ ・ ・ 60A以下は拡管式	②9	卵形管 【ゴムリング】 (JAWAS K-3)				
	⑩	水道用ダクタイル鑄鉄管 【3種管】 (JWWA G 113)	③0	プレキャスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372) ヒューム管				
管種・使用区分	⑪	鋼管 【M】 (JIS H 3300)	③1	硬質塩化ビニル被覆鋼管 【ガス】 (JIS G 3452原管) 白				
	⑫	外面被覆鋼管 【M】 (JIS H 3330) 給湯	③2	ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774)				
	⑬	耐熱性硬質塩化ビニル管 【HTVP】 (JIS K 6776)	③3	ガス用ステンレス製フレキシブル管 【原管 (JIS G 4305)によりガス用に製造されたもの】				
	⑭	水道用硬質塩化ビニル管 【VWP】 (JIS K 6742)	③4	断熱材被覆鋼管 【ポリエチレン保温材】 (JCDA 0009) 冷媒				
	⑮	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 【HIVP】 (JIS K 6742)	③5	屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管 (日本消防設備安全センターの性能認定取得品)				
	⑯	水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-VP】 (JWWA K 127)	③6	空調用保温材付ドレン管 【ポリエチレン保温材 NDD・MDP同等】 (内管JIS規格品)				
	⑰	水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-HIVP】 (JWWA K 129)	③7					
	⑱	水道用ポリエチレン二層管 (JIS K 6762)	③8	-				
	⑲	水道配水用ポリエチレン管 (JWWA K 144)	③9	-				
	⑳	架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769)	④0	-				
塗装・防食	工 種 \ 場 所	屋内一般	屋内ビット	屋内コンクリ	屋 内 土 中	屋 外 埋 設	屋 外 架 空	
	給 水 (直 圧)	⑧				⑮⑱		
	給 水 (一 般)							
	汚 水	②⑥ ②⑧			②⑥	②⑥		※125A以上の地中埋設は ②⑦ とする。
	雑 排 水	②⑥ ②⑧			②⑥	②⑥		※125A以上の地中埋設は ②⑦ とする。
	通 風	②⑥						
	ガ ス	②					③①	
	消 火							
	給 湯	⑧					⑧	
	器 具 接 続							
保温・防露	冷 温 水							
	冷 却 水							
	中 水							
	冷 媒	③④					③④	
	空 調 ド レ ン	③⑥				②⑥	②⑥	
	※ 亜鉛メッキ面の塗装下地は化学処理(エッチングプライマ)を施す。							
	※ 鋼管類のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。							
	※ 土中埋設する鑄鉄管、鑄鉄異形管(メカ型継手共)及び特殊継手類はポリスリーブ巻きとする。							
	○ 居室等に露出して使用する配管支持金具類(電気メッキ品)は塗装(さび止めペイント・中塗り・上塗り)を施す。							
※ 下記の露出配管、ダクト(ダクト構成部材含む)、電線管、フード類の塗装を行う。								
屋外: ○ドレン管(指定色塗装) ○金属電線管(指定色塗装)								
屋内: ○ダクト(指定色塗装) ○金属電線管(指定色塗装) ○フード類(指定色塗装)								
保温・防露	工 種 \ 場 所	屋内露出	機械室・倉庫	天井・PS内	床下暗室内	屋外露出	屋外埋設	備 考
	給 水	a ₂ (□)Ⅶ	b()Ⅶ	c ₂ (□)Ⅶ	d()Ⅶ	e ₂ (ハ)Ⅶ	()	一般換気OAダクトは保温する。 一般換気EAダクトは外壁から2m保温する。
	排水・空調ドレン	a()Ⅶ	b()Ⅶ	c ₂ ()Ⅶ				
	給 湯	a(□)Ⅰ	b()Ⅰ	c ₂ (□)Ⅰ	d()Ⅰ	e ₂ (□)Ⅰ		
	冷水・冷温水管	A()Ⅲ	B()Ⅲ	C ₁ ()Ⅲ	D()Ⅲ	E ₂ ()Ⅲ		
	冷 媒 管	(チ)+スリムダクト	(チ)	(チ)	(チ)	(チ)+(□)+(又)		
	矩 形 ダ ク ト	J ₁ ()XI	I()XI	I()XI		K ₂ ()XI		
	スパイラルダクト	O ₁ ()XI	N()XI	N(□)XI		P ₂ ()XI		
	(イ)ロックウール保温材 (ロ)グラスウール保温材 (ハ)ポリスチレンホーム保温材	(ニ)簡易保温筒10mm (ホ)簡易保温筒20mm (ヘ)簡易耐熱保温筒10mm	(ト)簡易耐熱保温筒20mm (チ)冷媒用被覆鋼管 (リ)SUSラッキング	(ヌ)ガルバリウム鋼板 (ル)カラーガルバリウム鋼板 (ヲ)-				
● フレキシブルジョイントは配管に準じた保温・ラッキングを施す。								
※ 器具類(洗面化粧台・給湯器・温水器等)と接続するステンレスフレキは簡易保温筒にテープ巻きを施すこと。								
表示	※ 配管表記 ①機械室・ビット・PS内・天井点検口付近には必ず表記する。 ②表記内容は、流体・サイズ・系統名とする。 ③場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。							
	※ 設計記号の付いている主要機器には、カッティングシート・ペンキ等にて表記(管理番号・室名・設置年月等)を行う。なお、該当する主要機器を事前確認する。							
	※ パッケージエアコン等の空調機は、室内外機に表記を行う。(県標準図13)							
	※ 水中に設置するような各種主要機器類(水中ポンプ等)は銘板を盤付近にも設ける。(製造者名・製造年月・形番・性能等を順記する。)							
	※ 屋外に設置するバルブ札は固定するか、表示方法を協議する。							
	※ バルブBOX内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。							
	※ 埋設バルブボックスの蓋の向きは流体の行き先側に蓋の付根を向ける。							
	※ 排水以外の屋外埋設管には曲・分岐部その他埋設管の位置が確認できるように標示柱(県標準図8)を設ける。							
	※ 配管の埋戻し時は、GL-200mm程度に埋設表示用アルミテープ(W)を埋設する。(排水・通気管を除く)							
	発生材の処理	○ 引渡しを要するもの ()						
○ 現場において再利用を図るもの ()								
※ 再生資源化を図るもの ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。								
※ 発生材搬出時の写真記録の方法は特記仕様書(共通編)による。								

工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL.088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一般建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 特記仕様書 (1)	縮 尺 1 / NS A2(100%)、A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. M — 01	製 図 一般建築士登録第370400号 山 本 優 太		

特 記 仕 様 書 （ ２ ）

工事種目																																														
●衛生器具設備	取付位置	※ 衛生器具及び周辺機器類の取付位置は総合図・展開図等を作成して、確認後に取付けること。 （特に、便器類と手すり・便器類と操作ボタン類・操作ボタン類と手すり等の位置関係に注意）																																												
	大便器	※ 和風大便器下面でコンクリートに接する部分はアスファルト塗布（3mm以上）とする。（県標準図1）																																												
化粧鏡	化粧鏡	※ 和風大便器を防火区画に設置する場合、和風便器用耐火カバーを設ける。																																												
	化粧鏡	※ 化粧鏡取付にあたっては落下破損防止のため、裏面シール材等による張付にて取付などの処置を施す。																																												
流量調整	流量調整	※ 小便器・大便器等の手動フラッシュ弁流量調整は、下記の流出時間を目安とする。ただし、衛生器具のマニュアル等に記載があれば内容に準ずること。 大便器 8～10秒 小便器 8～10秒 自閉式水栓 7秒																																												
	洗濯機パンシール（コーキング）	※ 洗濯機パンを設置する床面は、耐荷重性と平滑性に注意する。 ● 器具類と壁・床のシール（コーキング）打ちは右記の表による。																																												
<table><tr><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">設置場所の床が湿式(防水)</th><th colspan="2">設置場所の床が乾式(非防水)</th></tr><tr><th>壁</th><th>床</th><th>壁</th><th>床</th></tr><tr><td>洋風便器</td><td>—</td><td>不</td><td>—</td><td>不</td></tr><tr><td>洗面器類</td><td>不</td><td>—</td><td>要</td><td>—</td></tr><tr><td>掃除流し</td><td>不</td><td>—</td><td>要</td><td>不</td></tr><tr><td>洗濯流し</td><td>不</td><td>—</td><td>要</td><td>不</td></tr><tr><td>洗濯パン</td><td>—</td><td>—</td><td>要</td><td>不</td></tr><tr><td>ステンレス流し台</td><td>要</td><td>不</td><td>要</td><td>不</td></tr><tr><td>化粧棚</td><td>不</td><td>—</td><td>要</td><td>—</td></tr></table> 壁・床の仕様にかかわらず、自動水栓装置・コンセント・非常呼出しなど電気機器類に水かかりが好ましくない場合はシール打ちを施す。			機器種別	設置場所の床が湿式(防水)		設置場所の床が乾式(非防水)		壁	床	壁	床	洋風便器	—	不	—	不	洗面器類	不	—	要	—	掃除流し	不	—	要	不	洗濯流し	不	—	要	不	洗濯パン	—	—	要	不	ステンレス流し台	要	不	要	不	化粧棚	不	—	要	—
機器種別	設置場所の床が湿式(防水)			設置場所の床が乾式(非防水)																																										
	壁	床	壁	床																																										
洋風便器	—	不	—	不																																										
洗面器類	不	—	要	—																																										
掃除流し	不	—	要	不																																										
洗濯流し	不	—	要	不																																										
洗濯パン	—	—	要	不																																										
ステンレス流し台	要	不	要	不																																										
化粧棚	不	—	要	—																																										
●給水設備	負担金	○ 不要 ● 要（ 20mm：88,000円（税込） ）																																												
	継手類	※ 直圧給水弁は水道事業者の指定品（指定のない場合は、二次側給水に準じた弁） ※ 二次側給水弁（土中）：40A以下は青銅製で蝶ハンドル付き止水栓、50A以上はソフトシール制水弁（内面ライニング） ※ 二次側給水弁（一般）：40A以下は管端防食ねじ込み形青銅弁5K、50A以上は鋳鉄製 F 付き内面ライニング弁5K																																												
バルブボックス隠蔽部の保温	バルブボックス隠蔽部の保温	※ 水栓エルボ、水栓ソケットは器具側砲金内ねじ形とする。 ※ ユニツバス付属の水栓エルボへの接続は砲金継手等を使用し、管端の防錆をする。 ※ ビニル管とライニング銅管の接続には水栓エルボ・水栓ソケットは使用しない。 ※ TSバルブソケットは金属製（砲金）おすネジを打込しているものを使用する。 ※ 水道事業者の指定がない場合の埋設弁のボックスは、県標準図5・6による。 ※ 給水管の細部保温は特記なき場合は下記の通りとする。壁中等で仕様書通りの施工が困難な場合は監督職員の指示により保温を施す。 空間の有る壁中配管 → 要 流し下の空間配管 → 要																																												
	既設給水銅管への接続	※ 改修工事等で銅管類（ライニング銅管）を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、銅管類の切断部の防錆処理として、JWWA K 135規格適合品（エポキシ系DEVCON SF等バイプライニング用）にて処置する。ただし、コアー体型管端防食タイプソケットRC-LA型喇リケンを使用する場合は処理不要とする。）																																												
水槽類の施工手順	水槽類の施工手順	※ 水位設定の協議後に、水位高さ入り施工図を作成し発注・施工を行う。なお、県標準図4を参考とし水位高さを協議する。																																												
	水槽類の衛生管理	※ 受水槽・高架水槽を新設（改修等含む）施工する場合は、清掃・消毒等後に水張りを行う。 ○ 残留塩素濃度の測定を行う。（端末において0.2mg/L以上検出されるまで消毒を行う。） ○ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく水質検査（11項目）について行うこと。採水場所は指定の箇所で（ ケ所）とする。																																												
●排水設備	保護砂	● 第1樹以降の屋外ビニル管部分には、保護砂（180度台）を要す。 ○ 遠心力鉄筋コンクリート管部分には砂利台を要す。																																												
	樹脂製排水樹衛生器具等の接続	※ 防護蓋を設置する場合は県標準図7による。 ● 洗面器等の排水金具と専用の排水アダプタでビニル管に接続できない場合、VCパッキンを使用する。 ※ 既製流しの排水金具に使用しているジャバラホースはそのまま使用せず、VP配管直結（VCパッキンでも可）とする。県標準図5による。 ● 雨水立管の下部受部は差込継手を使用する。（但し平屋建は不要とする。） ※ 空間のある壁中配管・集合住宅等のスラブ上配管・受水槽水槽からドレンバルブまで一必要 流し台下空間配管・実験台等への立ち上がり露出配管一不要																																												
排水管の防露	排水管の防露	○ 満水試験 ● 通水試験 ○ 鏡確認																																												
	排水管の試験等その他	※ 洗濯機排水金物の床貫通部等は共用区画に適合する処理を施す。																																												
○消火設備	消火栓箱	○ 消火栓箱は（○ 県標準図12 ○ 国土交通省仕様 ○メーカー仕様） ○ 共用区画の消防検査受検必要																																												
●給湯設備	弁絶縁対策	● 40A以下は青銅弁5K、50A以上は一般配管用ステンレス鋼弁10K ※ 銅管及びステンレス配管は支持金物との絶縁処理を行う。 ※ 銅板製ボイラー及び銅管との接続等、異種管との接続には絶縁継手を使用する。																																												
	給湯管の保温	※ 給湯配管に簡易保温筒（クイックチューブ）を使用する場合は耐熱性のものを使用する。 ※ 被覆銅管の継手カバーは保温付きのものを使用する。 ※ 給湯器の配管化粧カバー内は凍結破損防止を考慮した保温（簡易保温筒）施工を行う。																																												
大気汚染対策	大気汚染対策	○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。																																												
●ガス設備	ガス集合装置	※ ガス集合装置は県標準図9・10・11を参照し、漏洩検知装置・耐震遮断装置・転倒防止金具等の必要有無に注意する。																																												
	給湯器用止水弁その他	※ スプリングチャッキ内蔵ボール弁を使用する。 ※ ガス用フレキ管とガスコック等（ヒューズコック）との接続は、コック等の固定が出来る部材等を使用して接続する。 ※ ゴムホース接続なきコックはゴムキャップを付ける。 ※ ボンベ支持クサリ用のアンカーボルトは、10mm以上のもので、下記のいずれかとする。 ※ 埋込アンカー・雄ネジ形メカニカルアンカー・接着系アンカー（ケミカルアンカー）なお、チェーン、フックも同様の強度を持つものとする。 ※ 日記記録計によるガス圧テスト表の写しを県に提出し、正本は施工業者で5年間保存する。																																												
●浄化槽設備	種汚泥	※ 使用開始時には必要に応じて種汚泥を投入する。																																												
	試運転調整	※ 浄化槽の使用開始後おおむね3ヶ月間の試運転調整を行うもので、浄化槽法による「保守点検及び清掃等」を行うほか下記の事項を言う。 イ 維持管理を管理業者に引継ぐ場合は直前に水質検査（BOD、SS、PH、大腸菌、塩素イオン）を行い、そのコピーを維持管理業者、施設管理者、工事監督者に渡し、設計・施工・現況の注意事項を申し送ること。																																												
その他	その他	※ 見やすい場所に型式、施工者名、設置年月、処理能力、放流水質を記入した銘板を設置する。 ※ コンクリート頂版スラブを施工する場合、モルタルの浮き上がり、及び、水たまりが出来ないように仕上げ勾配に注意する。 ○ 補助金申請設備																																												

●空気調和・換気設備	空調機器の仕様	※ グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成十二年法律第百号））の判断基準適合品とする。 なお、パッケージ及びマルチエアコン等については、各メーカーの最高効率機種とする。 ○ 屋外機はJRA耐重塩害仕様とする。 ○ 屋外機は耐塩害仕様とする。 ※ パッケージエアコン屋内機の施工については県標準図13を参考にして注意する。 ○ 天カセ形室内機の取付等による天井の開口及び補強・補修を行う。（建築工事標準詳細図参照） 1）補強野縁は野縁と、補強野縁受及び取付け用補強材は野縁受と同材とする。 2）野縁受のはね出しが300mm以上の場合は、増し吊りをつける。 ※ 室外機には設置場所を問わず、溶融亜鉛メッキ製またはSUS製の転倒防止金具もしくは転倒防止ワイヤーを設ける。 ○ 不要 ○ 要（ ）ヶ所 自動空気抜き弁にはGV及びブストレーナーを取付ける。 ※ 配管ラッキング（溶融アルミニウム－亜鉛鉄板・配管化粧カバー）は室外機の直近まで施す。 ※ 配管樹脂化粧カバー（スリムダクト）も室外機の直近まで施す。なお、屋外スリムダクト最終部は閉塞処理を行う。（コーキング処理、またはエンドキャップ処理）（フリーコーナー（ジャバラ）は使用しない。） ○ アルミフレキ（不燃材料認定品） ○ ステンレスフレキ（不燃材料認定品） ● スパイラルダクト ※ 内貼りチャンパの寸法表示は、外法寸法とすること。サプライチャンパにはその上に銅きつ甲金網押えを行う。 ※ 消音材はグラスウール（吹出口チャンパー・吸込口チャンパー・レターンチャンパーは25mm厚、サプライチャンパーは50mm厚）とし、ガラスクロス押えとする。 ※ 排気フードは、SUS430製とする。（1.0mm厚） ※ フィルターは分解掃除が出来るものにする。 ※ 黄銅製コックは20mmのものとする。（キャップ止でもよい） ※ 火器使用機器が確定後にフードの形状寸法を変更して、投影面積が変わる場合はフードの面風速もチェックする。（参考：フードの面風速は一般的に0.3m/sとして設計している。） ※ 送風機の機器表にファンの番手（＃）を明記している場合、小さい番手にしない。 ※ エアコン設置に必要な一次側電源送り以降の、室内外渡り電源線、制御線、アース（CE2sq/4C・CE3.5sq/4C程度）を要す。 ※ リモコン線はEM-AE0.9mm/2C～3C、又はVCTF0.75sq/2C～3Cとする。（但し延長が10m以下のリモコン線は機器付属品でもよい。） ※ 室内外の渡り配線で、冷媒配管と同じルートに施工する場所は同保温外装内に納める。（電源・制御配線の最低離隔距離は機器メーカーの基準に準ずる。） ※ 表示窓の付いたリモコンの取付場所は視認性の良い高さ（1,300～1500㎜）照明SWの上を標準とするが、総合図で充分打合せ調整を行う。 ※ 防振ハンガーの設置判断基準は県標準図14による。 ※ 震災後の設備機能確保を図る実務的設備耐震対策措置は県標準図15による。 ※ 冷温水発生機、ボイラ及び温風暖房機の盤の始動スイッチの二次側に煤煙濃度計用電源端子を設ける。 ○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。
	パッケージエアコン等	
自動空気抜き弁装置冷媒配管のラッキング	自動空気抜き弁装置冷媒配管のラッキング	
ダクト消音内貼り	ダクト消音内貼り	
厨房等の排気フード	厨房等の排気フード	
耐震対策措置機器付属の制御盤大気汚染対策	耐震対策措置機器付属の制御盤大気汚染対策	
●別工事	別 途 工 事	○ スリーブ、箱入れの補強筋 ○ ガラリ ○ 点検口 ○ ● 天井および壁貫通に対する下地補強 ○ プロパンボンベ庫 ○ ○

Ⅲ 材料メーカー表	
材 料	材 料 メーカー
衛生陶器	TOTO、LIXIL（INAX）、ジャニス工業
水栓金具類	TOTO、LIXIL（INAX）、ジャニス工業、三栄水栓
FRP水槽	三菱、日立、積水
うず巻ポンプ	荏原、日立、㊞、川本
水中モーターポンプ	荏原、日立、㊞、川本、鶴見
汚水・汚物ポンプ	荏原、日立、㊞、川本、鶴見、新明和
電気温水器	三菱、ユバック、日本電熱、東芝、パナソニック、三菱、日立
厨房機器	日本調理、フジマック、北沢、ホシザキ四国、タニコー、マルゼン
小型銅板ボイラー	巴、昭和、愛知、ネボン、ヒラカワ
FRP膨張タンク	日立化成、三菱樹脂、ホーコス
ルームエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
パッケージエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
冷温水発生機	矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工、パナソニック
エアハンドリングユニット	新晃、ダイキン、三菱、昭和、日立、木村、東芝キャリア、三菱重工
送風機	日立、テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミツヤ、旭電業
冷却塔	矢崎、日立、荏原シンワ、空研、日本スピンドル
自動制御機器	アズビル、ジョンソンコントロールズ
ロールフィルター	日本スピンドル、東洋空気調和、日本エアフィルタ
全熱交換形換気扇	三菱、パナソニック、テラル、東芝、日立、ダイキン
その他	国土交通省仕様適合品

完成後必要な取扱資格者	ボイラ	○ 資格不要 ○ 特別教育修了者（小型ボイラ） ○ 講習修了者 ○ （ ） 級ボイラ技士
	危険物	○ 資格不要 ○ 危険物取扱主任者
	冷凍機	○ 資格不要 ○ 第（ ） 種冷凍機械作業主任者

	官公庁等	打 合 せ 事 項	確 認 日
給 水			令和 年 月 日
排 水			令和 年 月 日
消 防			令和 年 月 日
浄 化 槽			令和 年 月 日
ガ ス			令和 年 月 日
そ の 他			令和 年 月 日
			令和 年 月 日

工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 089-883-1030 FAX 089-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 特記仕様書（2）		縮 尺 1 / NS A2(100%)、A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. M — 02	製 図 一級建築士登録第370400号 山 本 優 太	

県標準図 1	洗面器廻り・インパート・樹・和風大便器据付	作 例 令和 2年 6月
--------	-----------------------	-----------------

洗面器・手洗器回り納まり図
(洗面化粧台も同じ)

※台面の高さは鏡取付位置を建築と調整して、施工すること。

※女性利用の鏡の高さは男性利用高さより100mm程度低く取り付ける。

※車椅子利用者が想定される場合は(県標準図3)を参照する。

和風大便器取付要領図

支えブロック製作要領

Y型インパートの切り方

注: 水が配管方向に流れる様にする。

裏にも丸みをつける

(イ) 支えブロックはセメントモルタル製とし、必要に応じ鉄筋を入れる。

(ロ) Hは、仕上がり床面に応じ定める。

(ハ) 支えブロックの形状、寸法は図面に適合したものとす。

標準準図 2

大便器廻り納まり図

作 図
平成28年 7月

和式トイレ納り図

洋式トイレ納り図

一般腰掛便器

平面

平面

側面

側面

(参考) 一般的な便器の高さは 約400
(車いす対応便器の高さは約450)

[illegible]

標準図 7

樹脂製インポート樹（ビニマス）・防護蓋

製作
平成28年 8月

防護蓋の設置高さはアスファルトやコンクリートでは上蓋すり合わせするが、土や砂利等の場合は事前に仕上り高さを確認しておく。

防臭キャップの取付高さは製造者の指定された高さとし、立ち上がりパイプ内部に土などが入りにくく、蓋が閉まる高さとする。

(Moozawa・アロンマス・タキロン)

立ち入りパイプは水平な切り口とし、バリを除去して防臭パッキンを保護させる。

ビニマスの下流側にV.P配管で接続する時はV.P変換ソケットを併用して、上りの段差なく接続する。

ビニマスの蓋し込み部に挿入して、隙間は最小限とする。

ビニマス内に付着した接着剤等は除去する。

※ ビニマス周囲の保護砂は管上100まで埋め戻す。

樹脂製インポート樹の施工における主な注意点

県標準図 8	コ ン ク リ ー ト 標 示 柱	作 図 平成28年 6月
--------	-------------------	-----------------

A-A断面図

B-B断面図

矢印及び溝部は指定色 (マンセル値)	
給水管	10B 5/10
消火管	7.5R 4/14
ガス管	7.5Y 9/12
オイル管	

作

令和 2年 6月

標準図 9

プロパンガス集合装置(2~6本立)転倒防止具金具

※ 使用材料等は規格に合ったものとする。

Figure 9 illustrates two configurations of propane gas collection equipment (GL) equipped with anti-tipping hardware.

Left Diagram (Note ①): Shows a GL with two 20kg cylinders. Components include a Gas Meter (Gas Service User's), SUS304 Bracket (Note ②), Automatic Shut-off Valve (8kg/h), High Pressure Hose (Gas Discharge Prevention Type), Support Bracket (SUS304-φ4mm), and Fixed Member (Pitch ≤ 10mm). Dimensions: Total height ≈ 1,100 mm (approx.), cylinder height ≈ 1,050 mm (approx.), distance from ground to top of cylinders ≈ 150 mm.

Right Diagram (Note ③): Shows a GL with two 50kg cylinders. Components include a Gas Meter/Gas Shut-off Valve Assembly, Stop Check Ball Valve, High Pressure Hose (Gas Discharge Prevention Type), Support Bracket (SUS304-φ4mm), and Fixed Member (Pitch ≤ 10mm). Dimensions: Total height ≈ 1,250 mm (approx.), cylinder height ≈ 1,000 mm (approx.), distance from ground to top of cylinders ≈ 150 mm.

Labels: 自動切替調整器 8kg/h, ボールバルブ, ドレンチャンバー100mm以上, ガスメーター(ガス事業者貨物), ガス配管へ接続, 高圧ホース(ガス放出防止型), 支持脚(SUS304-φ4mm), 固定金具(Pitch≦10mm以下), 50kgボンベ, 1200×170, SUS製ボンベ支根拠(※口), GL, G.L.

注) ※イ 20kg以下のボンベの場合
注) ※ロ ボンベハウス無しの場合。(継2段併付)

高圧集合装置(自動切替方式)2本立

The figure includes cross-sectional views of the equipment on the left:

- Supporting member (支持金物)
- SUS304-φ4mm
- Upper section (上段)
- Lower section (下段)
- Standard type (標準型)

Main Diagram (Note ④): Shows a GL with four cylinders (50kg each). Components include a Gas Meter/Gas Shut-off Valve Assembly, Stop Check Ball Valve, High Pressure Hose (Gas Discharge Prevention Type), Support Bracket (SUS304-φ4mm), and Fixed Member (Pitch ≤ 10mm). Dimensions: Total height ≈ 1,600 mm (approx.), cylinder height ≈ 1,400 mm (approx.), distance from ground to top of cylinders ≈ 150 mm.

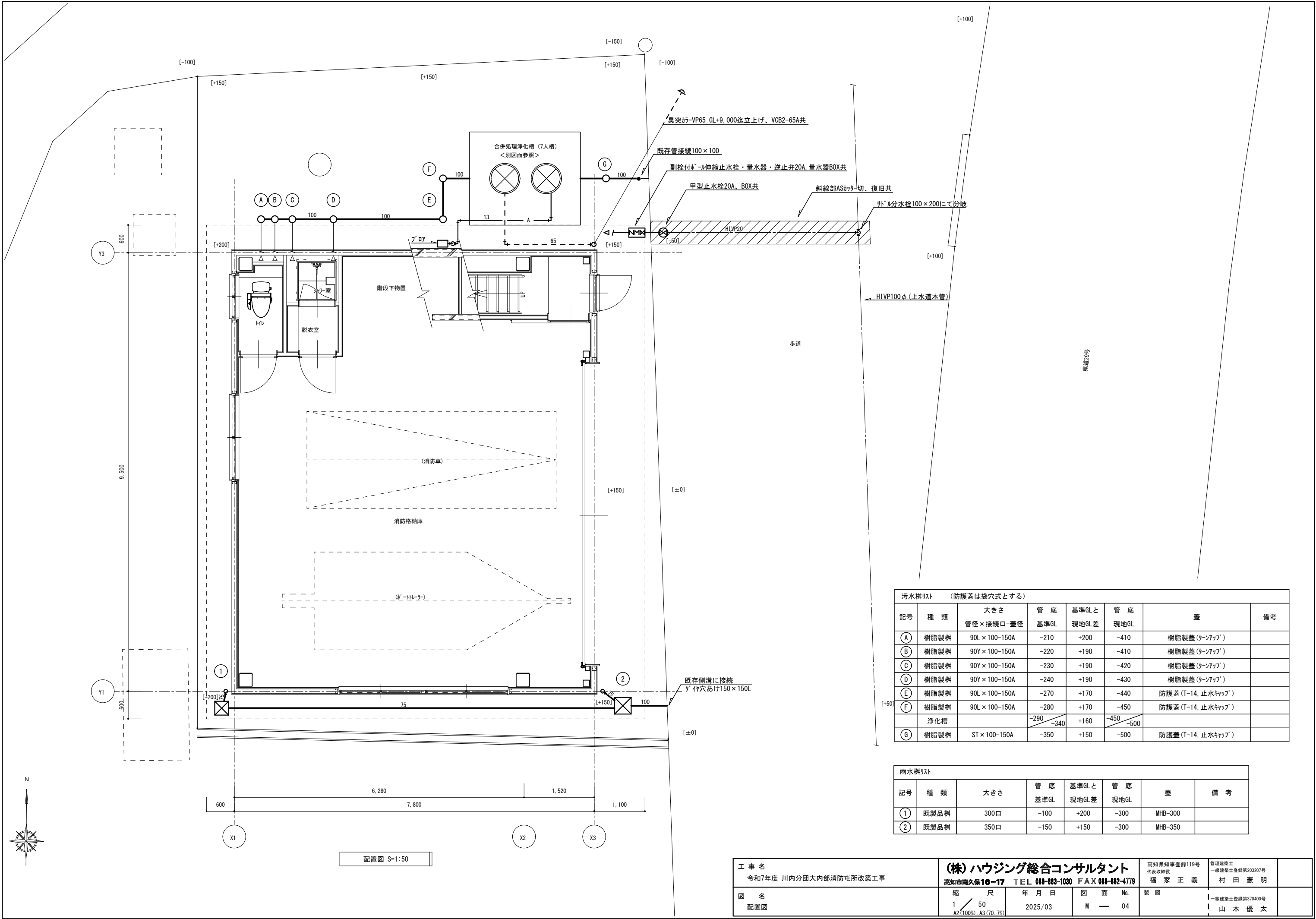
Labels: 自動切替調整器 10kg/h, ボールバルブ, ドレンチャンバー200mm以上, ガス配管(設計図面に特記がある場合)(マイコンメータの場合は不要), ガスメーター(ガス事業者貨物), 止逆付ボールバルブ, 高圧ホース(ガス放出防止型), 支持脚(SUS304-φ4mm), 固定金具(Pitch≦10mm以下), 50kgボンベ, GL, G.L.

注) ※ア ボンベハウスが無く津波等の浸水時はボンベが浮上して倒れないようにチェーンの2重化等を必ず行うこと

高圧集合装置(自動切替方式)4~6本立

ボンベハウス型

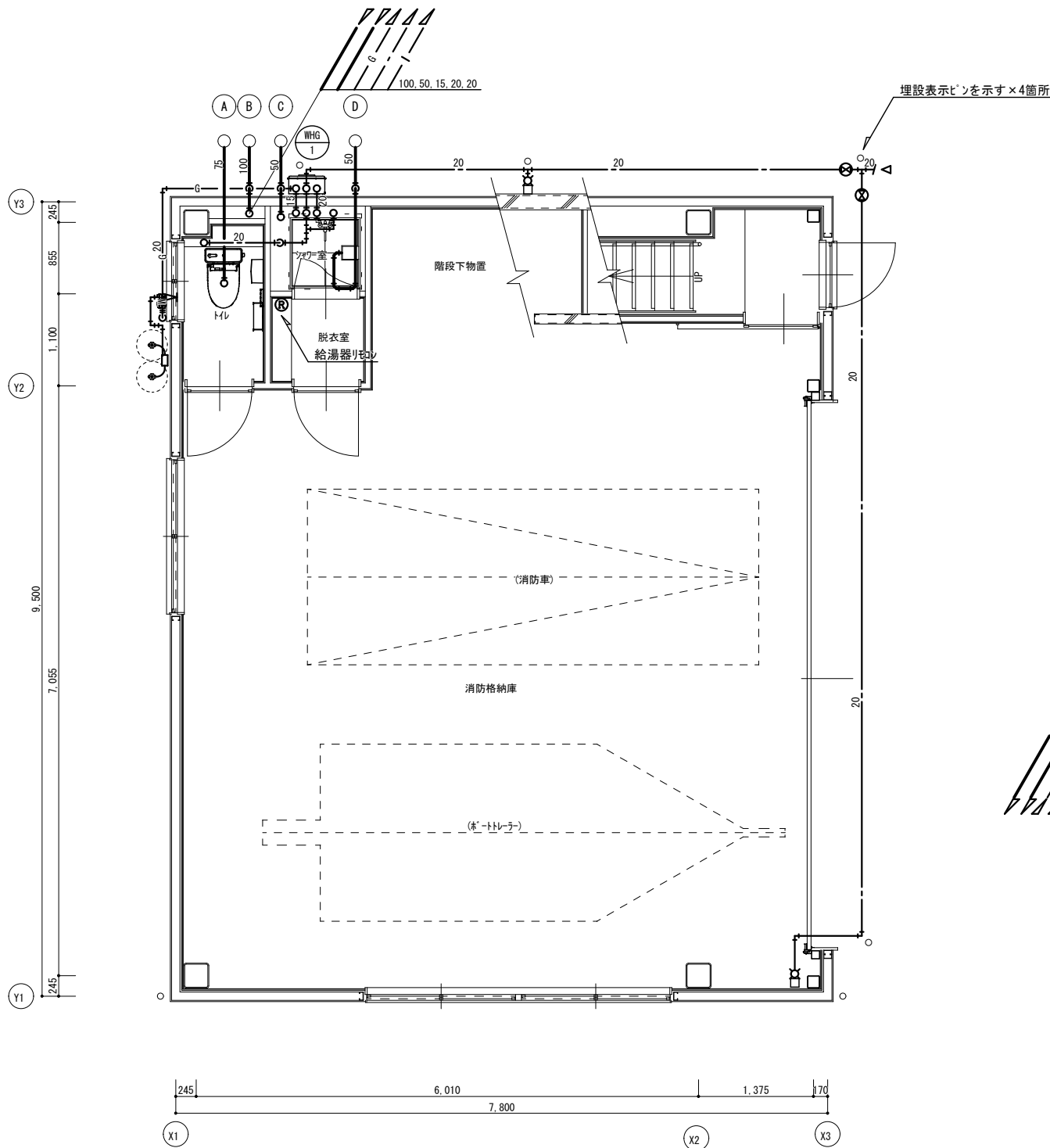
工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 089-883-1030 FAX 089-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 特記仕様書 (3)	縮 尺 1 / NS A2(100%) A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. M — 03	製 図 一級建築士登録第370400号 山 本 優 太		



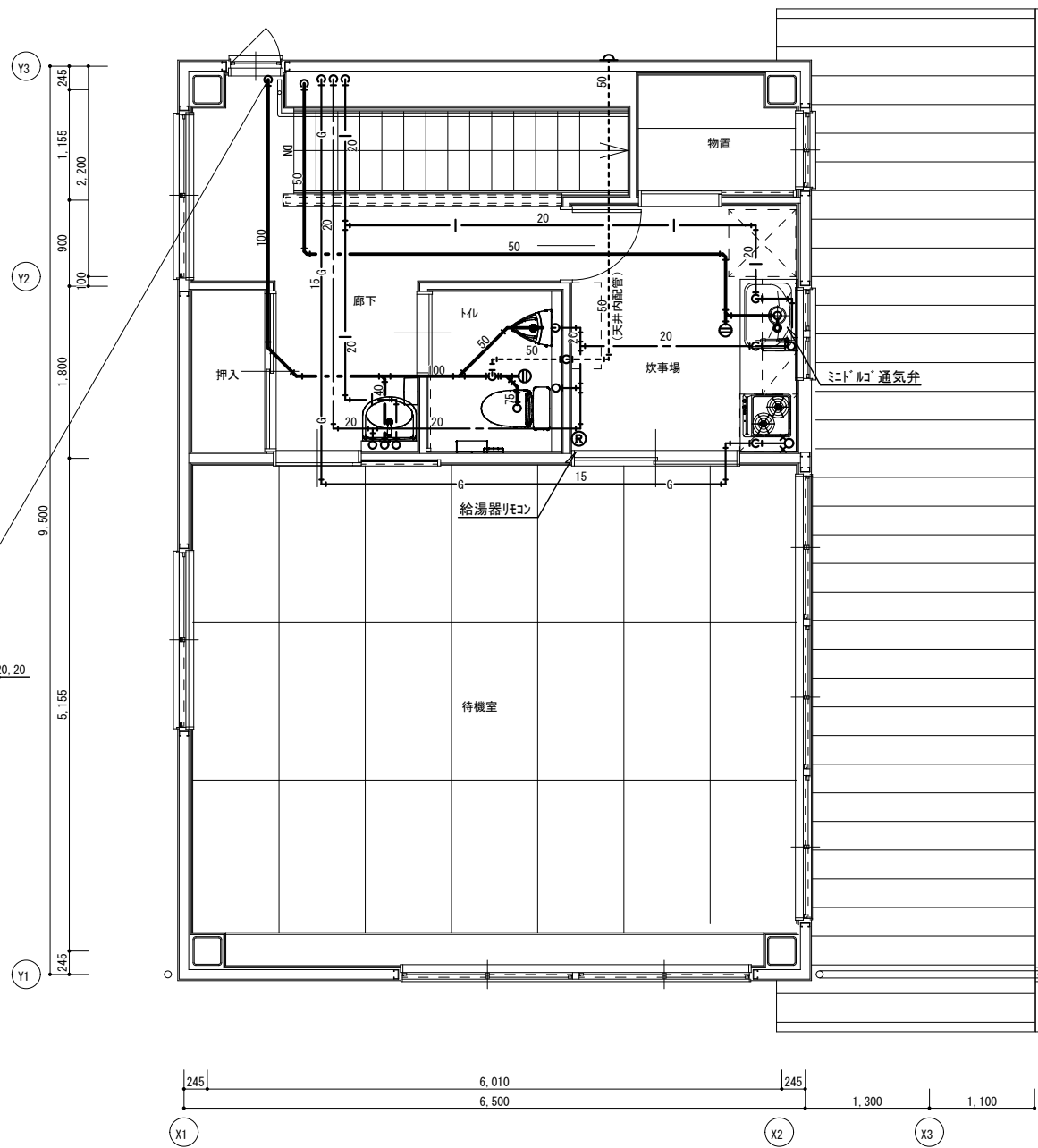
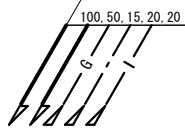
汚水樹リスト (防護蓋は袋穴式とする)							
記号	種 類	大 き さ 管径×接続口-蓋径	管 底 基準GL	基準GLと 現地GL差	管 底 現地GL	蓋	備 考
Ⓐ	樹脂製樹	90L×100-150A	-210	+200	-410	樹脂製蓋(タンアップ)	
Ⓑ	樹脂製樹	90Y×100-150A	-220	+190	-410	樹脂製蓋(タンアップ)	
Ⓒ	樹脂製樹	90Y×100-150A	-230	+190	-420	樹脂製蓋(タンアップ)	
Ⓓ	樹脂製樹	90Y×100-150A	-240	+190	-430	樹脂製蓋(タンアップ)	
Ⓔ	樹脂製樹	90L×100-150A	-270	+170	-440	防護蓋(T-14, 止水キャップ)	
Ⓕ	樹脂製樹	90L×100-150A	-280	+170	-450	防護蓋(T-14, 止水キャップ)	
	浄化槽		-290	-340	+160	-450	-500
Ⓖ	樹脂製樹	ST×100-150A	-350	+150	-500	防護蓋(T-14, 止水キャップ)	

雨水樹リスト							
記号	種 類	大 き さ	管 底 基準GL	基準GLと 現地GL差	管 底 現地GL	蓋	備 考
①	既製品樹	300口	-100	+200	-300	MHB-300	
②	既製品樹	350口	-150	+150	-300	MHB-350	

工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義		管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明
図 名 配置図		縮 尺 1 / 50 A2(100%), A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. M - 04	製 図		一級建築士登録第370400号 山 本 優 太



1階平面詳細図 S=1:50



2階平面詳細図 S=1:50

衛生器具リスト（品番は参考とし、同等品以上とする）				
大便器（ウォシュレット付）紙巻器共	CS597BS	SH597BAR, TCF5514AU, YH702	1	
大便器（ウォシュレットなし）紙巻器共	CS597BS	SH596BAR, TCF5514AU, YH702	1	
小便器	UFS900R		1	
洗面器	L250C	TLE28SS1A, T6BMP, TL250D	1	
ペーパータオルホルダー	YKT100R		2	
鏡	YM3045F		1	
床上掃除口	COA50		1	
床上掃除口	COA100		1	
通気金具	VCS2-50		1	
流し用ミニ冷暖	50A		1	
双口ヒューズコック			1	

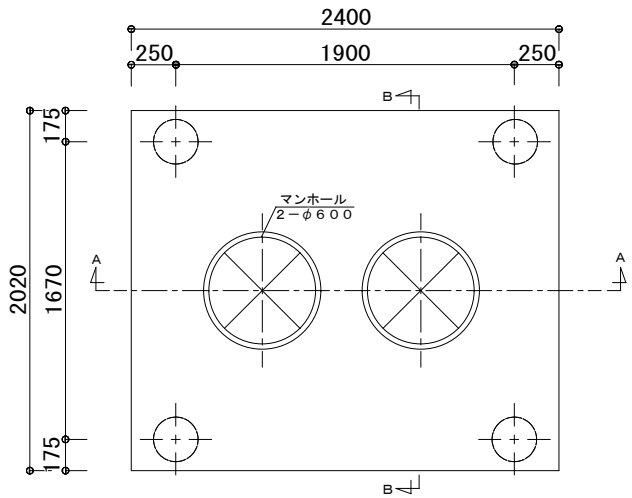
LPG集合装置			1
50kg×2本立て	集合装置	GC20A SUS75×20A×300L	
SUS製ケサリ×2本	マイコンガスメーターは供給業者賞与		

屋外		
甲型止水栓	20A	2
止水栓BOX		2
給水栓	T200SNR13C	2
水栓柱	樹脂製1200L	2

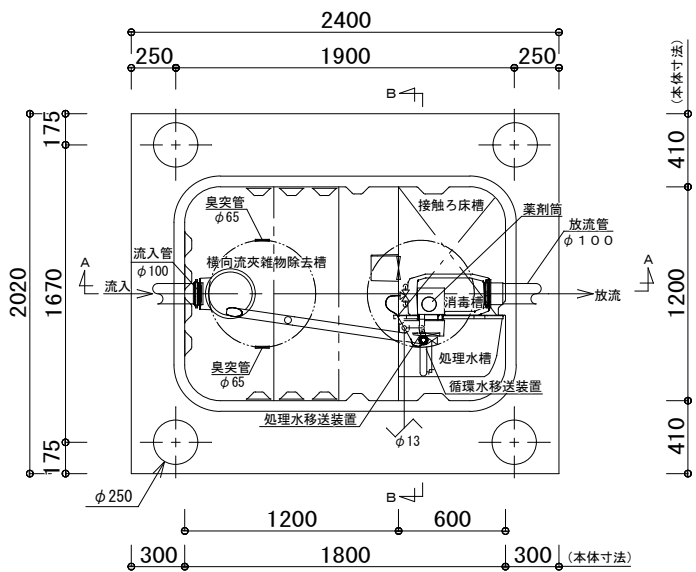
WHG-1 ガス給湯器（給湯専用）		
20号屋外壁掛け型	配管カバー（450H）	1
逆止弁付BAV20A	SUS製75×20A×300L×2	
可とう管コック15A	可とう管金属75×15A×300L	
水撃防止装置15A	リモコン配線・取付本工事	

工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明
図 名 衛生平面詳細図		縮 尺 1 / 50 A2(100%) A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. M — 05	製 図	一級建築士登録第370400号 山 本 優 太

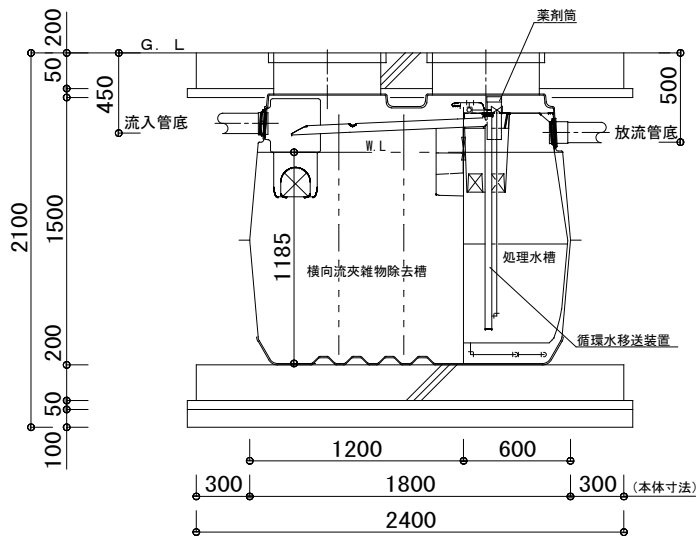




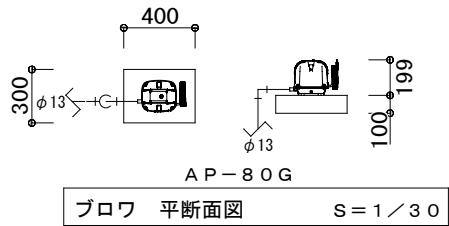
頂版開口図 S=1/30 主筋方向



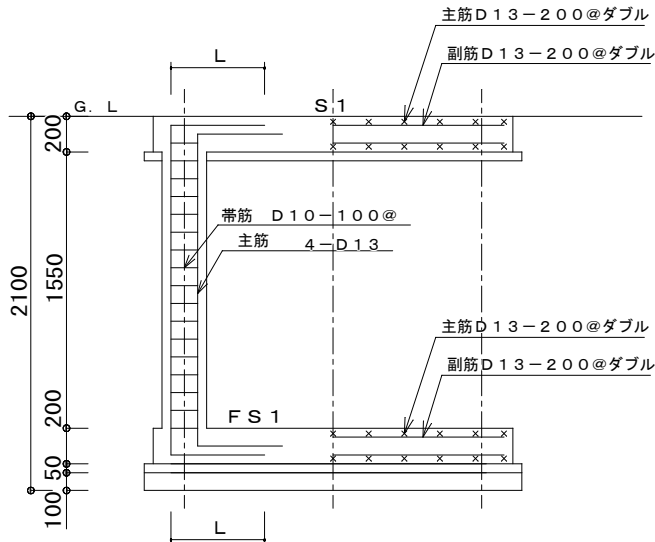
平面図 S=1/30



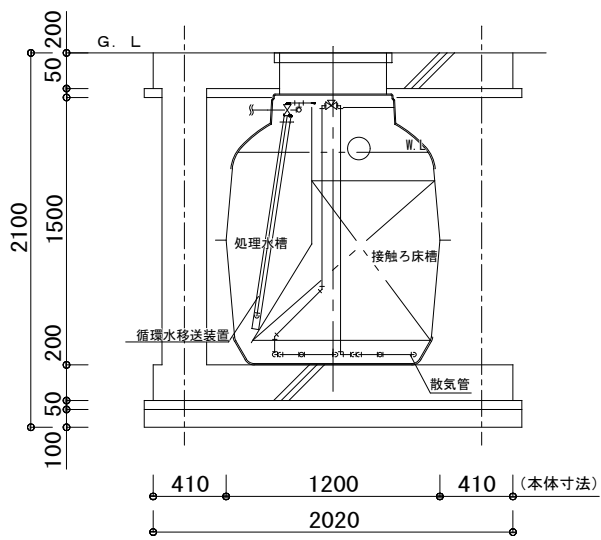
A-A断面図 S=1/30



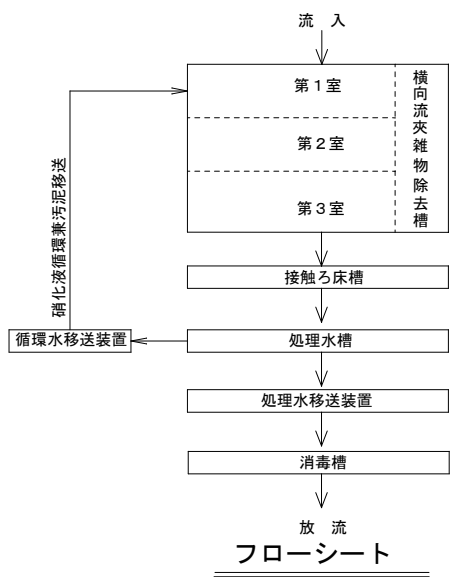
B-B断面図 S=1/30



B-B断面図 S=1/30



B-B断面図 S=1/30



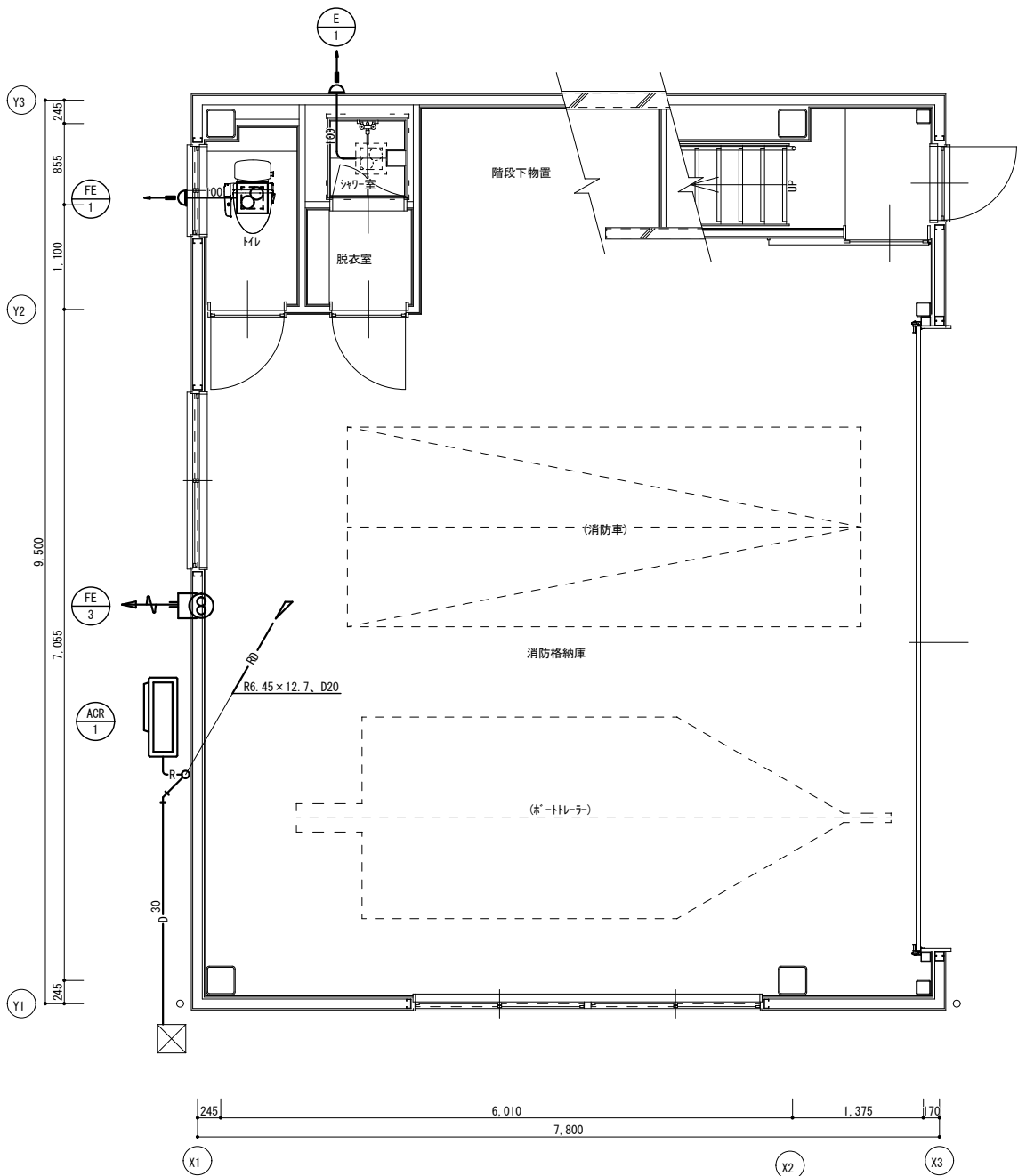
人槽算定（集会場）
n=0.08A A：対象面積=74.43㎡（延べ面積－車庫面積）
A：延べ面積=135.85㎡
車庫面積（除外面積）=61.42㎡
n=0.08×74.43㎡=5.9544人
上記より、7人槽とする。

※ 駐車場利用者が、当該建築物利用者のみなので、車庫面積を除外した。

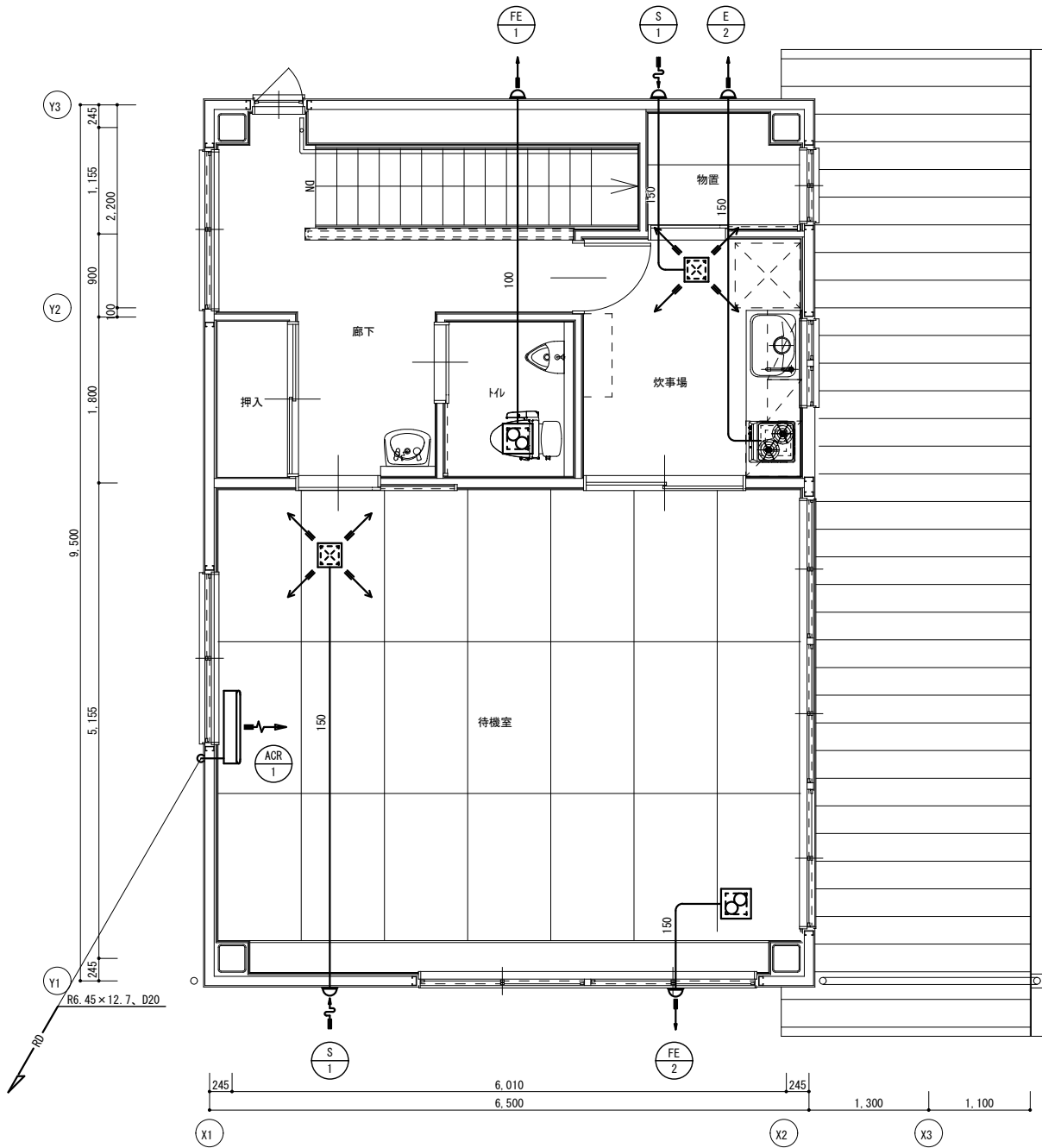
ダイキアクシス浄化槽	
型式	XJ-7
型式認定番号	8-24-H-002
仕様表	
分類	合併処理
処理計画人員	7人
処理計画汚水量	1.4 m ³ /日
流入水質	BOD 200mg/L
	COD 100mg/L
	SS 160mg/L
	T-N 45mg/L
放流水質	BOD 20mg/L
	COD 30mg/L
	SS 20mg/L
	T-N 20mg/L
処理方式	横向往来雑物除去接触ろ床循環方式
有効容量（m ³ ）	
横向往来雑物除去槽	1.471
接触ろ床槽	0.501
処理水槽	0.215
消毒槽	0.015
電気機器仕様	
ブロウ	100V-単相-51W 1台

注記
スラブ荷重は、T-20とする。
コンクリート強度：F_c=21N/mm²とする。
開口部補強筋を設けること。
開口部補強筋の定着長さは、L=40dとする。
マンホールは、防臭型ロック式とする。
臭突工事は、処理槽工事外とする。
臭突横引き配管は、上り勾配施工とする。
流入・放流配管は、処理槽工事外とする。
処理槽流入部付近に給水栓を設けること。但し、処理槽工事外とする。
臭突管の工事ができない場所は、放流ポンプ槽から放流先に空気逃がし配管を行って下さい。
本図は、嵩上げ材H=300mmを設置した図面となります。

工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 合併浄化槽図	縮 尺 1/30 A2(100%)、A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. M - 06	製 図	一級建築士登録第370400号 山 本 優 太	



1階平面詳細図 S=1:50



2階平面詳細図 S=1:50

換気機器リスト

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 源		消費電力 W	台	
			相	電圧			
			φ	V			
FE-1	天井換気扇 低騒音形	風量70m3/h 静圧10Pa時 プラスチックタイプ ダクト径100φ 脱着枠	1	100	10	2	1階トイレ、2階トイレ
		SUS製ダクト付深形フード 100φ					
FE-2	天井換気扇 DCモーター (24時間換気)	風量急速330m3/h 静圧40Pa時 強220m3/h 弱40m3/h プラスチックタイプ ダクト径150φ 脱着枠	1	100	20	1	待機室
		SUS製ダクト付深形フード 150φ 24HRコントロールスイッチ (3ノッチ)					
FE-3	有圧換気扇	550m3/h 10Pa時 250φ 格子タイプ 電動シャッター付	1	100	40	1	消防格納庫
		SUS製給排気形防鳥網付ウェザーカバー 不燃枠					
E-1	シャワー室換気扇 (別途建築工事)	SUS製ダクト付深形フード 100φ				1	シャワー室
E-2	レンジフードファン (別途建築工事)	SUS製ダクト付深形フード 150φ				1	炊事場
S-1	給気グリル	樹脂製 フィルター付 風量調節機構付 (プッシュ又は回転式) ダクト径150φ				2	炊事場、待機室
		SUS製ダクト付深形フード 150φ					

消費電力値は近似値で可とする。

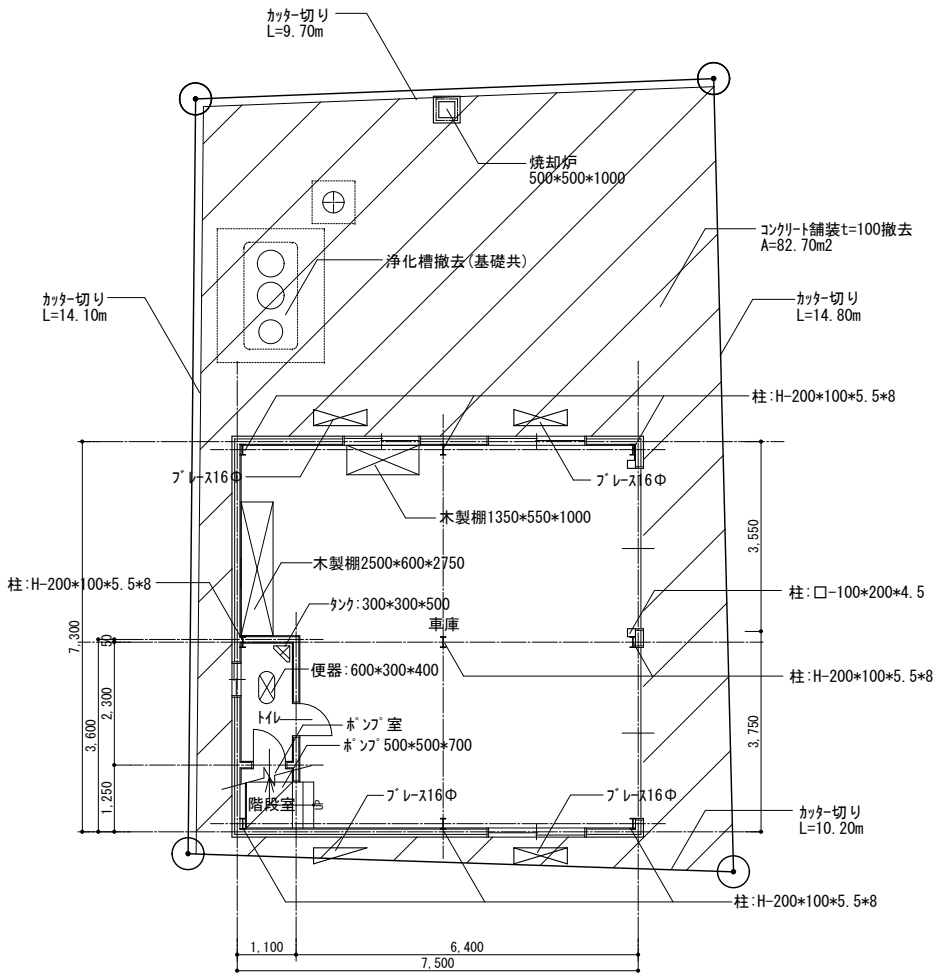
24時間換気計算 (換気扇は計算による必要排気量以上を確保する事)									
室 名	床面積 m ²	平均天井高 m	容 積 m ³	換 気 種 別	必 要 換 気 回 数	必要排気量 m ³ /h	実排気量 m ³ /h	実 質 換 気 回 数	適 用 換 気 扇
炊事場	6.75	2.5	16.88						
待機室	35.10	2.7	94.77						
合計			111.65	三 種	0.3	33.5	40	0.35	FE-2

空調機器リスト

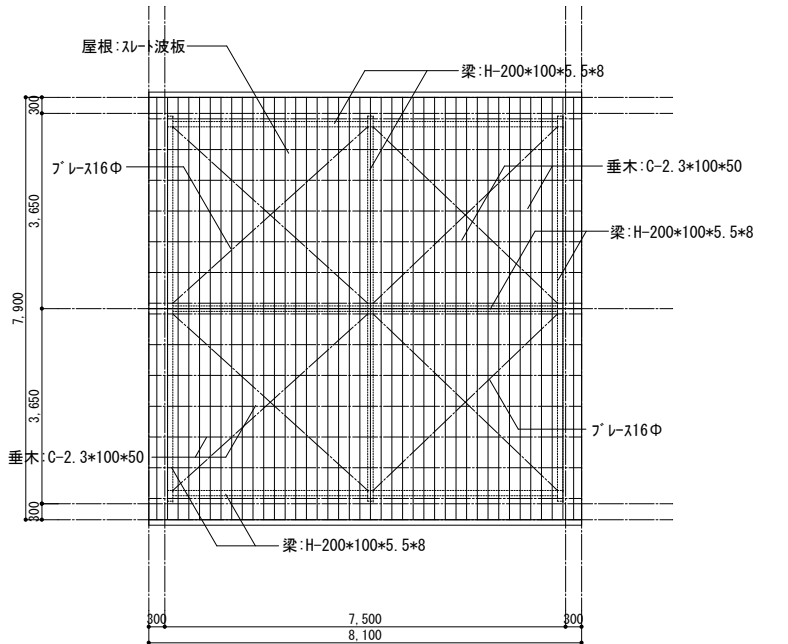
記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 源		消費電力 kW	台	備 考
			相	電圧			
			φ	V			
ACR-1	ルームエアコン	壁掛形 クリーン購入法適合品	1	200	冷房	1	待機室
		冷房能力：定格7.1kw 暖房能力：定格8.5kw					2.4
		冷媒配管6.4×12.7 ドレン管20A ワイヤレスリモコン					暖房
		ブラケット 転倒防止金物 (SUS又は溶融亜鉛メッキ)					2.3

エアコンの消費電力表記は近似値で可とする。

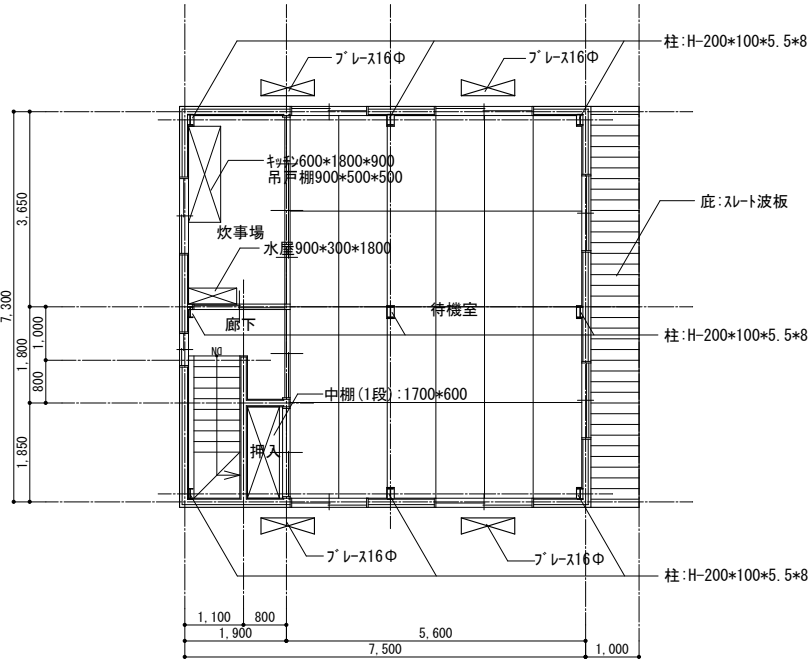
工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
	図 名 空調・換気平面図	縮 尺 1 / 50 A2(100%)、A3(70.7%)	年 月 日 2025/03	図 面 No. M - 07	製 図 山 本 優 太	一級建築士登録第370400号



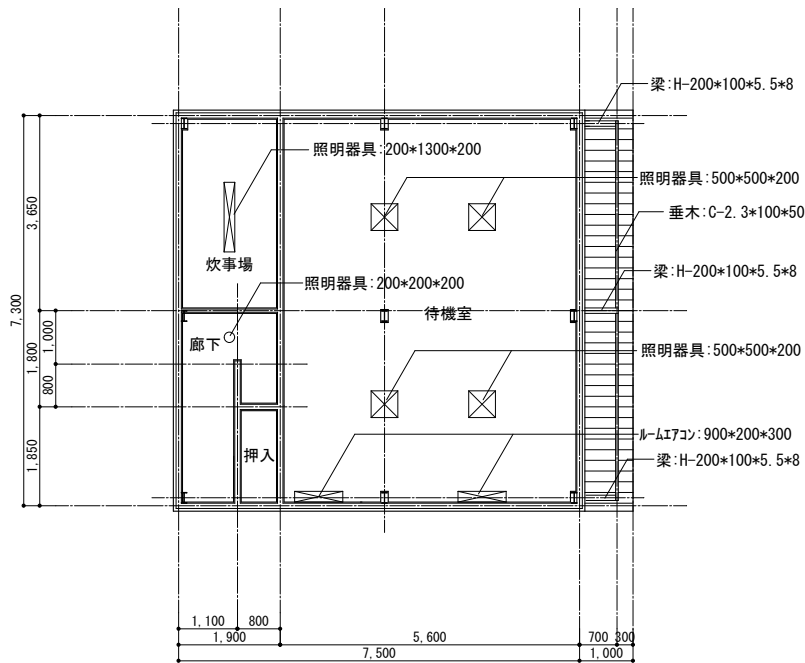
配置図・1階平面図 S=1:100



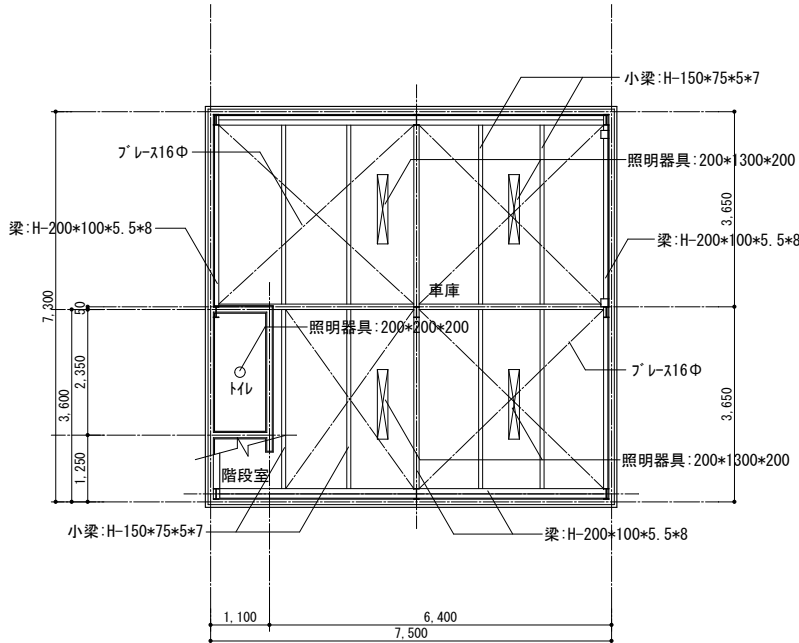
屋根伏図 S=1:100



2階平面図 S=1:100



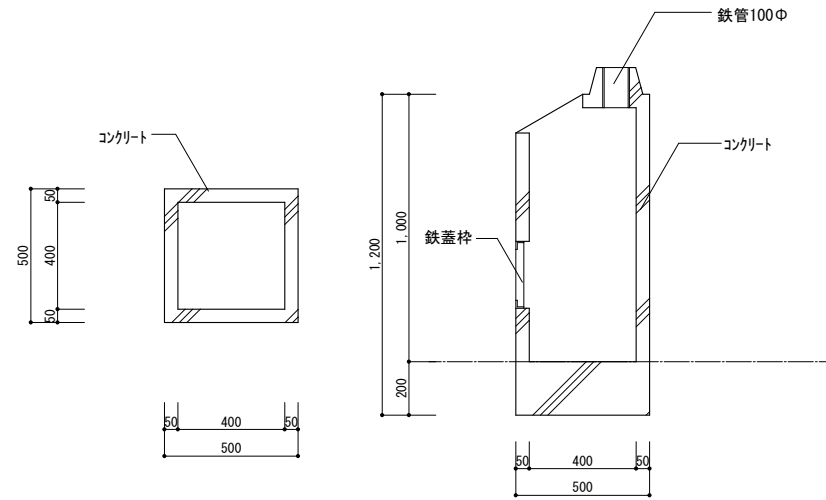
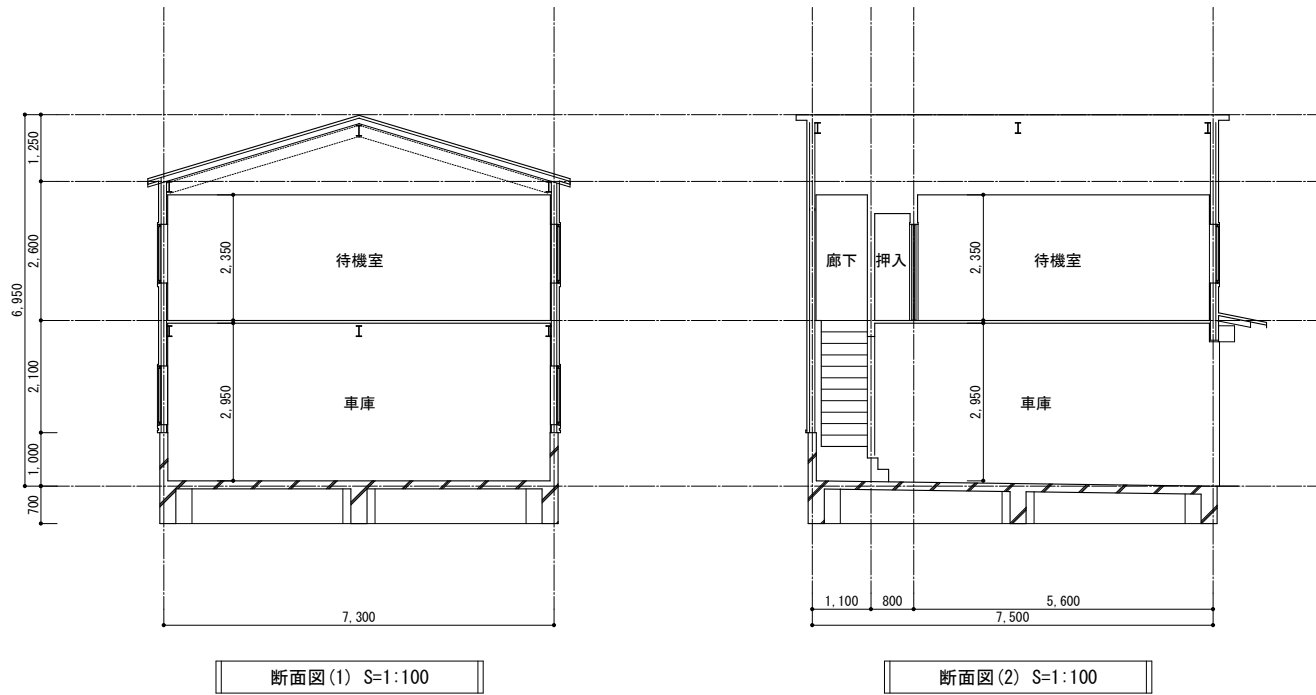
2階天井伏図 S=1:100



1階天井伏図 S=1:100

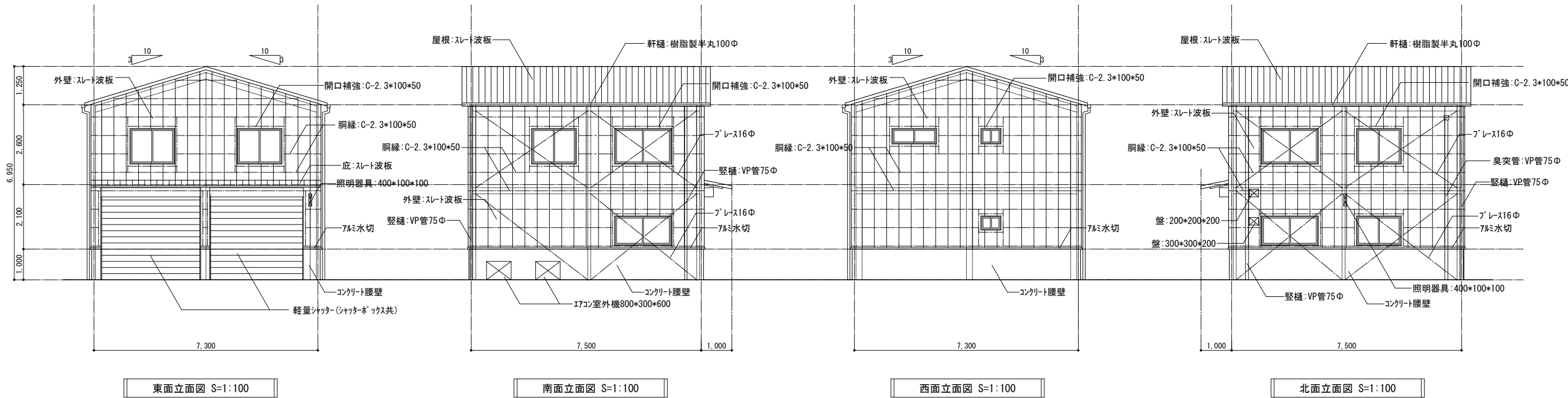
外 部 仕 上 表											
屋 根 ・ 庇		スレート波板（※7ｽﾍﾞｽﾄ含有）		と い		縦樋： VP管75φ / 軒樋： 樹脂製半丸100φ					
外 壁		スレート波板（※7ｽﾍﾞｽﾄ含有）		腰 壁		コンクリート打放し					
内 部 仕 上 表											
階	室 名	床		巾木/腰壁		壁		天井	廻 り 縁	天 井 高 さ	備 考
1階	車庫	コンクリート直均し		コンクリート打放し		ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6 EP塗（※7ｽﾍﾞｽﾄ含有）		畳木下地見出し	---	2,750	
	ﾄｲﾚ	コンクリート直均し		コンクリート打放し		ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6 EP塗（※7ｽﾍﾞｽﾄ含有）		野地板見出し	---	2,400	
	ｷｯﾁﾝ 室	コンクリート直均し		コンクリート打放し		-		階段木下地見出し	----	----	
	階段室	木製階段踏板		木製サﾗ		(1F)ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6 EP塗（※7ｽﾍﾞｽﾄ含有） (2F)ﾌﾟﾘﾝﾄ合板		石膏ﾎｰﾄﾞ t=9 EP塗		----	
2階	待機室	畳敷き、木製下地t=12.0		雑巾摺		ﾌﾟﾘﾝﾄ合板t=4		桎目石膏ﾎｰﾄﾞ t=9.5	木製廻縁	2,400	
	炊事場	木製ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ 張t=12.0		ﾋﾞﾆﾙ巾木H=60		化粧ﾊﾞﾙﾌﾞ ｾﾐﾝﾄ板t=6（※7ｽﾍﾞｽﾄ含有）		石膏ﾎｰﾄﾞ t=9.5、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張	木製廻縁	2,400	
	ﾎｰﾙ	ﾌﾟﾘﾝﾄ合板t=9		ﾋﾞﾆﾙ巾木H=60		ﾌﾟﾘﾝﾄ合板t=4		石膏ﾎｰﾄﾞ t=9.5、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張	木製廻縁	2,400	
	物入	ﾗｳﾝ合板t=9		雑巾摺		ﾗｳﾝ合板t=6		ﾗｳﾝ合板t=6	木製廻縁	2,000	

工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明
図 名 解体図(1)		縮 尺 1 / 100 A2(100%)、A3(70.7%)	年 月 日 2024/03	図 面 No. K - 01	製 図	一級建築士登録第370400号 山 本 優 太



焼却炉詳細図 S=1:20

※ダ イキシ含有無



工 事 名 令和7年度 川内分団大内部消防屯所改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明
	図 名 解体図(2)	縮 尺 1 / 100 A2(100%), A3(70.7%)	年 月 日 2024/03	図 面 No. K — 02	製 図 一級建築士登録第370400号 山 本 優 太